

岐阜県文化財保護センター

調査報告書 第162集

岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書
第 1 分 冊
(岐阜圏域)

2023

岐阜県文化財保護センター

ぎ ふ けん こ だい ちゅう せい じ いん あと そう ごう ちょう さ ほう こく しょ
岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書

第 1 分 冊
(岐阜圏域)

2023

岐阜県文化財保護センター

序

当県は、「飛山濃水」と例えられるように、北部には標高3,000mを超える山々が連なる一方、南部は木曽三川により形成された濃尾平野が展開する、豊かな自然環境に恵まれた地です。また、日本の中央に位置することから、古くより東西文化の接点の地としても発展し、多くの文化財を有しています。特に寺院については、古来からの信仰が今なお受け継がれる、著名な寺院が数多く存在します。さらに、近年、各自治体が実施する発掘調査等により重要な調査成果が蓄積され、各地の古代・中世寺院の実態が明らかにされつつあります。しかし、寺院が多く立地した山間地では、山腹から山麓にかけて開発事業が行われつつあり、その計画と埋蔵文化財保護の調整が急務となっています。

そこで、県下における古代・中世寺院の現状を把握し、将来の文化財保護に資するために、平成30年度から令和4年度にかけて、「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査」を実施しました。本報告書が「ふるさと岐阜」に対する認識を深めるとともに、岐阜県の歴史研究の一助となれば幸いです。

最後となりましたが、史資料や寺伝の情報を御提供いただいた各寺院関係者の皆様、現地での調査を御快諾くださった土地所有者の皆様、並びに様々な面で御支援・御協力をいただきました関係機関並びに関係者各位、地元の皆様に深く感謝申し上げます。

令和5年3月

岐阜県文化財保護センター

所長 岡田 知也

例　言

- 1 本書は、平成30年度から令和4年度にかけて行った、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書である。
- 2 調査は、岐阜県が文化庁の国庫補助を受け、岐阜県文化財保護センターが基礎資料調査・現地確認調査・内容確認調査・測量調査・遺物分布調査・整理等作業・報告書作成を行った。
- 3 各年度の調査担当者は、第1章第2節に一括掲載した。
- 4 本書の執筆は、第2章は三輪・近藤、第3章は近藤、第1章・第4章・第7章1～2節・第9章第3・4節は日置、第5章・第9章第1・2節は櫛田、第6章は吉村・櫛田・柴山・安江、第7章第3～5節は近藤・吉村が行った。第8章は、第1節を菱田哲郎氏、第2節を藤岡英礼氏、第3節を上川通夫氏に依頼した。また、編集は、第1分冊・第2分冊は近藤・柴山・安江、第3分冊は日置・柴山・安江、第4分冊は櫛田、第5分冊は櫛田・柴山・安江、第6分冊は近藤が行った。
- 5 第2～6章の各第3節に掲載する地形観察図のデジタルトレース業務は、株式会社イビソクに委託して行った。
- 6 第7章に記載した内容確認調査、地形測量、遺物分布調査は、その一部を委託して行った。
- 7 遺物の実測及びトレースは、龍溪寺跡出土遺物、横蔵寺借用遺物、寿楽寺廃寺跡出土遺物の一部を調査担当職員が行った。横蔵寺旧境内・寿楽寺廃寺跡出土遺物の一部については株式会社イビソクに委託して行った。
- 8 龍溪寺跡出土炭化材分析及び寿楽寺廃寺跡出土土製品元素マッピング分析は、株式会社パレオ・ラボに委託して行い、第7章第2節及び第5節に掲載した。各節の第1項のうち、龍溪寺跡を日置が、寿楽寺廃寺跡を近藤が執筆した。
- 9 内容確認調査及び地形観察図作成における遺構の写真撮影は、調査担当職員が行った。遺物の写真撮影は、アートフォト右文に委託して行った。
- 10 岐阜県所在寺院関係者の皆様には、本調査の趣旨について御理解いただき、快く御協力いただいた。記して感謝を申し上げたい。
- 11 本調査及び報告書の作成に当たって、次の方々や諸機関から御指導・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である（敬称略五十音順・全国地方公共団体コード順）。
上村俊邦、高橋教雄、中島義晴、早川万年、藤澤良祐、水上精榮、三好清超、山梨県文化財保護センター、一般社団法人岐阜県獣友会、岐阜市、大垣市教育委員会、高山市教育委員会、多治見市教育委員会、閔市、中津川市、美濃市教育委員会、瑞浪市教育委員会、羽島市、恵那市教育委員会、美濃加茂市教育委員会、土岐市教育委員会、各務原市教育委員会、可児市、山県市教育委員会、瑞穂市教育委員会、飛驒市教育委員会、本巣市教育委員会、郡上市教育委員会、下呂市教育委員会、海津市教育委員会、羽島郡二町教育委員会、養老町教育委員会、垂井町教育委員会、関ケ原町教育委員会、神戸町教育委員会、輪之内町教育委員会、安八町教育委員会、揖斐川町教育委員会、大野町教育委員会、池田町教育委員会、北方町教育委員会、坂祝町教育委員会、富加町教育委員会、川辺町教育委員会、七宗町教育委員会、八百津町教育委員会、白川町教育委員会、東白川村教育委員会、御嵩町教育委員会、白川村教育委員会
- 12 本文中の方位は座標北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標系第VII系を使用する。
- 13 土層の色調は、小川正忠・竹原秀雄2015『新版標準土色帖』（日本色研事業株式会社）による。
- 14 調査記録及び出土遺物は、岐阜県文化財保護センターで保管している。

第 1 分 冊 目 次

序

例言

第1章 調査の経過

 第1節 調査に至る経緯..... 1

 第2節 調査の方法と経過..... 1

 第3節 各図表凡例..... 7

第2章 岐阜圏域の寺院

 第1節 岐阜圏域の概要..... 15

 第2節 寺院一覧表..... 17

 第3節 寺院地形観察図、遺構図..... 69

 参考文献

 第4節 寺院分布図..... 101

 第5節 岐阜圏域のまとめ..... 140

報告書抄録

挿図目次

図 1 調査票	4
図 2 行政区画図	5
図 3 宗教団体法以前の仏教宗派	8
図 4 地形観察図凡例	10
図 5 地籍図凡例	11
図 6 寺院分布図名索引図	12
図 7 岐阜圏域市町区域図	15
図 8 不動閣不動院 地形観察図	71
図 9 三輪山真長寺 地形観察図	73
図 10 茂光山水月院 地形観察図	75
図 11 岩滝山毘沙門堂 地形観察図	77
図 12 象耕山山田寺旧境内（山田寺跡） 伽藍推定図	79
図 13 象耕山山田寺旧境内（山田寺跡） 基壇土層断面図	79
図 14 南法山承国寺（承国寺遺跡）遺構分布図	81
図 15 野口庵寺遺構全体図	83
図 16 椎倉山弘誓寺（弘誓寺山上遺跡） 地形観察図	85
図 17 白華山甘南美寺旧境内（釜ヶ谷奥の院遺跡） 地形観察図	87
図 18 阿弥陀寺（阿弥陀寺跡）地形観察図	89
図 19 船木山弥勒寺（弥勒寺跡）地形観察図	91
図 20 五台山大龜寺（文殊廬寺跡）地形観察図	93
図 21 祐向寺（祐向谷遺跡）地形観察図	95
図 22 能郷白山神社神宮寺 地形観察図	97
図 23 分布図 (I3 能郷白山)	102・103
図 24 分布図 (I4 平家岳)	104・105
図 25 分布図 (J3 能郷)	106・107
図 26 分布図 (J4 下大須)	108・109
図 27 分布図 (J5 上ヶ瀬)	110・111
図 28 分布図 (K3 榛見)	112・113
図 29 分布図 (K4 谷合)	114・115
図 30 分布図 (K5 洞戸)	116・117
図 31 分布図 (L3 谷汲)	118・119
図 32 分布図 (L4 美濃神海)	120・121
図 33 分布図 (L5 岩佐)	122・123
図 34 分布図 (M4 北方)	124・125
図 35 分布図 (M5 岐阜北部)	126・127
図 36 分布図 (M6 美濃関)	128・129
図 37 分布図 (N4 岐阜西部)	130・131
図 38 分布図 (N5 岐阜)	132・133
図 39 分布図 (N6 犬山)	134・135
図 40 分布図 (O4 竹鼻)	136・137
図 41 分布図 (P4 津島)	138・139
図 42 岐阜圏域地形断面図（1）	149
図 43 岐阜圏域地形断面図（2）	150
図 44 岐阜圏域古代寺院分布図（1）	151
図 45 岐阜圏域古代寺院分布図（2）	152
図 46 岐阜圏域中世寺院分布図	153
図 47 岐阜圏域 地形観察図模式図	154

表目次

表 1 各年度における調査対象市町村	2
表 2 市町村コードと市町村番号の対応表	2
表 3 調査票作成要領	3
表 4 寺院一覧表凡例	7
表 5 調査略票凡例	9
表 6 分布図名一覧表（1）	13
表 7 分布図名一覧表（2）	14
表 8 岐阜市寺院一覧表（1）	18

表 9	岐阜市寺院一覧表（2）	19	表 42	各務原市参考寺院一覧表（1）	48
表 10	岐阜市寺院一覧表（3）	20	表 43	各務原市参考寺院一覧表（2）	49
表 11	岐阜市寺院一覧表（4）	21	表 44	山県市寺院一覧表（1）	50
表 12	岐阜市寺院一覧表（5）	22	表 45	山県市寺院一覧表（2）	51
表 13	岐阜市寺院一覧表（6）	23	表 46	山県市寺院一覧表（3）	52
表 14	岐阜市寺院一覧表（7）	24	表 47	山県市寺院一覧表（4）	53
表 15	岐阜市寺院一覧表（8）	25	表 48	山県市参考寺院一覧表（1）	53
表 16	岐阜市寺院一覧表（9）	26	表 49	山県市参考寺院一覧表（2）	54
表 17	岐阜市寺院一覧表（10）	27	表 50	山県市参考寺院一覧表（3）	55
表 18	岐阜市寺院一覧表（11）	28	表 51	山県市参考寺院一覧表（4）	56
表 19	岐阜市寺院一覧表（12）	29	表 52	瑞穂市寺院一覧表（1）	56
表 20	岐阜市寺院一覧表（13）	30	表 53	瑞穂市寺院一覧表（2）	57
表 21	岐阜市寺院一覧表（14）	31	表 54	瑞穂市寺院一覧表（3）	58
表 22	岐阜市寺院一覧表（15）	32	表 55	瑞穂市参考寺院一覧表	58
表 23	岐阜市寺院一覧表（16）	33	表 56	本巣市寺院一覧表（1）	58
表 24	岐阜市寺院一覧表（17）	34	表 57	本巣市寺院一覧表（2）	59
表 25	岐阜市参考寺院一覧表（1）	34	表 58	本巣市寺院一覧表（3）	60
表 26	岐阜市参考寺院一覧表（2）	35	表 59	本巣市寺院一覧表（4）	61
表 27	岐阜市参考寺院一覧表（3）	36	表 60	本巣市参考寺院一覧表（1）	61
表 28	岐阜市参考寺院一覧表（4）	37	表 61	本巣市参考寺院一覧表（2）	62
表 29	岐阜市参考寺院一覧表（5）	38	表 62	瑞穂市参考寺院一覧表（3）	63
表 30	岐阜市参考寺院一覧表（6）	39	表 63	岐南町寺院一覧表	63
表 31	羽島市寺院一覧表（1）	39	表 64	岐南町参考寺院一覧表	64
表 32	羽島市寺院一覧表（2）	40	表 65	笠松町寺院一覧表（1）	64
表 33	羽島市寺院一覧表（3）	41	表 66	笠松町寺院一覧表（2）	65
表 34	羽島市寺院一覧表（4）	42	表 67	笠松町参考寺院一覧表	66
表 35	羽島市寺院一覧表（5）	43	表 68	北方町寺院一覧表	66
表 36	羽島市参考寺院一覧表（1）	43	表 69	北方町参考寺院一覧表（1）	66
表 37	羽島市参考寺院一覧表（2）	44	表 70	北方町参考寺院一覧表（2）	67
表 38	各務原市寺院一覧表（1）	44	表 71	寺院の成立状況	148
表 39	各務原市寺院一覧表（2）	45	表 72	時期別の成立数等	148
表 40	各務原市寺院一覧表（3）	46	表 73	時期別の立地数	149
表 41	各務原市寺院一覧表（4）	47			

第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯

岐阜県には白山信仰の三馬場の一つである郡上市長瀧寺や、重要文化財を多数所有する「美濃の正倉院」と呼ばれる揖斐川町横蔵寺、身毛（むげつ）氏の氏寺として建立されたと考えられる関市赤勒寺跡など、多数の著名な古代・中世寺院（寺院跡含む）が存在している。また、近年、各市町村教育委員会等では発掘調査等を実施して、各地域に残る「古代・中世寺院」の実態を明らかにしようと試みている。これらの発掘調査の調査成果では、当該遺跡の「地域における歴史的位置付け」についても言及しなければならず、そのためには、「県内の他の古代・中世寺院と比較し、その寺院の特徴を見出す」ことが必要である。しかし、現状では県内の古代・中世寺院の数や規模・様相等の実態は明らかとなつておらず、十分な検討ができると言えない。それに加え、寺院跡については近年の開発行為等による遺跡への影響が懸念される。そこで、岐阜県内の古代・中世寺院の分布状況を明らかにし、所在位置や時期、内容等を調査・整理することで、埋蔵文化財包蔵地として周知し、開発行為等との調整や保存・活用のための基礎資料を作成することを目的としてこの調査事業を実施した。

第2節 調査の方法と経過

1 調査の対象

県内に所在する古代及び中世に成立した寺院を主たる対象とし、それらに関係する遺構や施設（平坦面、法面、土壘、石積、塚、岩窟、池、谷、滝、墓域、石塔等）についても基礎資料調査及び現地確認調査を実施した。対象年代は、江戸開府の1603年以前としたが、近世以降に成立したと伝えられる寺院でも、中世以前に遡る可能性があることを考慮し、1604年以降の近世に成立した寺院についても調査の対象とした。調査の対象とした寺院は3,464か寺、このうち今回の事業で地形観察図を作成したのは127か所である。

2 調査の方法

調査は、年度毎の調査対象市町村を表1のとおり定め、市町村ごとに基礎資料調査を経て、現地確認調査を実施した。

基礎資料調査では、県内の各寺院に対し、全国地方公共団体コード（以下、市町村コードという。）順に連番を付した市町村番号（表2）と、3桁の通し番号を組み合わせた5桁の寺院番号を付して管理した。各寺院について、各自治体史等の文献資料、発掘調査・遺跡詳細分布調査資料（発掘調査報告書等）、各地域・関係社寺に残る口承・伝承等を含む資料を参照し、各寺院の沿革やこれまでの調査歴と、資料上で確認できる所在地等を調べた。寺院数の把握については、岐阜県県民生活課より提供を受けた平成30年度の現存寺院の一覧表「仏教系一覧」を基にし、基礎資料調査によって把

2 第1章 調査の経過

握した寺院跡¹⁾の様相を等の遺跡を一覧の末尾に順次追加した。基礎資料調査の成果は、調査票作成要領(表3)に従い、1か寺ずつ調査票(図1)を作成した。作成した調査票は、各市町村教育委員会等に照会し、所在地不明寺院の現況や文献資料等に記載がない新たな情報の提供等の協力を得た。得られた情報をもとに、調査票の修正・加筆を行った。

表1 各年度における調査対象市町村

調査年度	調査対象市町村(市町村コード順)
平成30年度	大垣市・関ヶ原町・揖斐川町
令和元年度	山県市・瑞穂市・本巣市・下呂市・海津市・養老町・垂井町・神戸町・輪之内町・安八町・大野町・池田町
令和2年度	岐阜市・高山市・瑞浪市・土岐市・飛騨市・郡上市・岐南町・坂祝町・川辺町・七宗町・白川町・白川村
令和3年度	多治見市・関市・中津川市・美濃市・羽島市・恵那市・美濃加茂市・各務原市・可児市・笠松町・北方町・富加町・八百津町・東白川村・御嵩町

表2 市町村コードと市町村番号の対応表

市町村コード	市町村名	市町村番号	市町村コード	市町村名	市町村番号
212016	岐阜市	01	213021	羽島郡岐南町	22
212024	大垣市	02	213039	羽島郡笠松町	23
212032	高山市	03	213411	養老郡養老町	24
212041	多治見市	04	213616	不破郡垂井町	25
212059	関市	05	213624	不破郡関ヶ原町	26
212067	中津川市	06	213811	安八郡神戸町	27
212075	美濃市	07	213829	安八郡輪之内町	28
212083	瑞浪市	08	213837	安八郡安八町	29
212091	羽島市	09	214019	揖斐郡揖斐川町	30
212105	恵那市	10	214035	揖斐郡大野町	31
212113	美濃加茂市	11	214043	揖斐郡池田町	32
212121	土岐市	12	214213	本巣郡北方町	33
212130	各務原市	13	215015	加茂郡坂祝町	34
212148	可児市	14	215023	加茂郡富加町	35
212156	山県市	15	215031	加茂郡川辺町	36
212164	瑞穂市	16	215040	加茂郡七宗町	37
212172	飛騨市	17	215058	加茂郡八百津町	38
212181	本巣市	18	215066	加茂郡白川町	39
212199	郡上市	19	215074	加茂郡東白川村	40
212202	下呂市	20	215210	可児郡御嵩町	41
212211	海津市	21	216046	大野郡白川村	42

表3 調査票作成要領

記載項目		記載内容
【左欄】		
ID	地区	県内5圏域名(岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨)から選択し、記載する。
	寺院番号	寺院番号は5桁表示とし、市町村コード(1~42)・通し番号(市町村毎に001~)を組み合わせ記載する。
名称	寺院名、遺跡名、県遺跡番号	寺院名は、山号・寺院名(通称)の順に記載し、遺跡名・県遺跡番号は岐阜県遺跡地図に準じ、記載する。
指定状況	日付・名称	日付は西暦で記載し(追加指定は除く)、指定名称は最新の名称を記載する。
所在地		現在の住所表示とし、可能な限り小字名まで記載する。
分布図番号		報告書に掲載する分布図の番号を記載する。
時代区分		岐阜県遺跡地図に準じ、記載する(包羅地外は「-」)。
発掘調査履歴		発掘調査の実施の有無を記載する。
現状	立地	「山地・丘陵・台地・段丘・崩れ地・低地・その他」から選択し記載する(複数選択可)。
	用途	「うち山地・丘陵については、山頂・山腹・尾根上・山麓から選択し記載する(複数選択可)。
残存状況		「宅地・水田・耕地・山林・道路・墓園地・原野・境内地・その他」から選択し記載する。
成立・廃絶		【】内に伝承又は文献名、続けて元号(西暦)年、開山(又は開基、再興)者の順に記載する。
遺物		「絶滅」についてはその理由(火災、地震、戦乱等)がわかる場合に記載する。
沿革		寺院の概略史を記載する。
遺構		種別を記載する。様々な時代の遺構がある場合は主体となる時期を記載する(「中世前期主体」等)。
主な美術工芸品・建造物		土器類・土師器・瓦・須恵器・灰陶陶器・山形鏡・白磁・青磁・古鏡戸・大窓・常滑窯陶器など。
絵図・文獻		石造物・石仏・五輪塔・宝鏡印塔・一石五輪塔など。
参考文献		遺構種別(礎石建物・樹立柱建物・平坦面・土器・石積・石垣・墓・直隣道路)を記載する。
備考		原則として中世以前のものとし、所蔵地名が明らかな場合は()内に時代名を記載する。
【右欄】		絵図は近世以前の地図を描いたものの、文獻は古文書・聖教類の所在と概要を記載する。
(遺跡管理GIS、測量図)		「歴史を記載した自治体史・発掘調査報告書などを記載する。
測量調査	地形観察図・調査実作成者	寺院の伝承、開道が予想される小字名、構成要素と考えられる周辺環境(谷・海・池・巨岩・岩窟)、
	平坦面分類	測量2012年の分類による、A,B,C1,C2,D(類から選択し記載する(複数選択可))。(第1章第3節参照)
	調査所見	現地確認、地形観察図においての所見(遺物分布状況を含む)を記載する。
東西(南北)規模、標高		地形観察図を作成した場合に、規模を計測し整数で記載する。標高は寺院の中心施設の位置とする。

*記載項目のうち寺院名・ふりがな、遺跡名・県遺跡番号・時代区分・指定区分、地形観察図について、該当のない場合は「-」と記載する。

現地確認調査は、調査票を作成した寺院全てを対象に、主に調査担当職員が行った。各寺院において、その正確な所在地及び範囲と周辺の地形、遺構や遺物の残存状況を確認し、写真撮影を行った。また、現存寺院については沿革や伝承等についての聞き取り調査を行った。聞き取り調査によって、地域での口承・伝承でのみ知られている寺院跡が特定できたこともある。現地確認調査の結果に基づき、特に山中及び山裾に立地する寺院のうち、寺院に関する平坦面等を確認した寺院において測量調査により地形観察図を作成した。なお、地形観察図のデジタルトレースは、業務委託により行った。さらに、地域において重要と考えられる寺院のうち、当該市町村及び地元から調査の了解が得られ、かつ、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会(下記参照)により承認された寺院を対象に、内容確認調査、遺物分布調査を実施した。内容確認調査及び遺物分布調査は、業務委託により行った。

平成30年度には中津川市龍溪寺跡及び飛騨市寿楽寺廃寺跡の内容確認調査、揖斐川町横長寺跡の遺物分布調査及び測量調査、令和元年度には2度目の飛騨市寿楽寺廃寺跡の内容確認調査及び寿楽寺廃寺跡が所在する太江区の遺物分布調査を実施した。内容確認調査及び遺物分布調査で出土した遺物の一部については、業務委託により実測及びトレースを行った。

4 第1章 調査の経過

岐阜県古代・中世寺院跡総合調査 調査票				
□	地名	中世寺名	調査登録ID、測量ID	
名称	ふりがな	実地図番号		
寺院名		遺跡名		
測定範囲	区分	日付-名稱		
測定員		分担測量者		
時代区分		年代区分	測量	
測定者	立地	用途	操作状況	
成年				
対立 面積				
内側 面積				
外側 面積				
測量				
補助				
追跡				
主な施設工 具品-建設物				
鉛錠-文様				
新考文献				
備考				
	東西 幅程(m)	南北 幅程(m)	標高 (m)	
	調査所況			
	平野区分番	斜面	山腹/山頂	海岸/海岸付近
	調査実力分析			

岐阜県文化財保護センター

図1 調査票

報告書の作成は令和4年度に岐阜県文化財保護センター（以下、「センター」という。）で行った。なお、報告書内における県内の地域区分に関しては、「岐阜県文化財保存活用大綱」²³⁾に準拠し、5圏域表記とした（図2）。

3 調査組織

（1）調査体制

本事業では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会の指導のもと、センターが事務局を担当し、岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課（以下、「文化伝承課」という。）が事務局補佐を担当した。調査の体制は以下のとおりである。

事務局【岐阜県文化財保護センター】

センター所長	野村幹也（平成30年度）、小林法良（令和元年度）、 森勝利（令和2年度）、岡田知也（令和3・4年度）
センター調査課長	春日井恒（平成30～令和2年度）、三輪晃三（令和4年度）
センター調査担当係長	三輪晃三（平成30～令和3年度）、近藤正枝（令和4年度）
センター調査担当職員	加中雅章（平成30年度）、吉村晶（平成30～令和3年度）、 日置真穂（平成30・令和2～4年度）、平田篤志（平成30年度）、 近藤正枝（令和元～3年度）、中馬裕太（令和元～3年度）、 柳田尚人（令和元～4年度）、柳坪武志（令和2年度）、 柴山慶祐（令和4年度）、安江太佑（令和4年度）

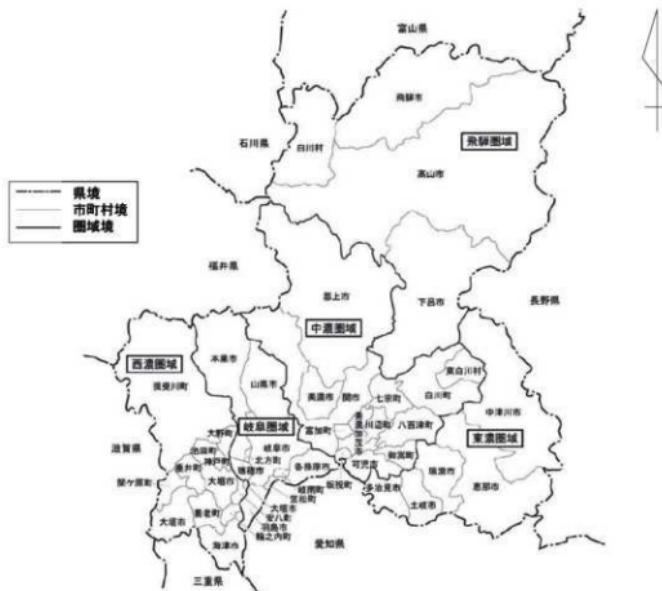


図2 行政区画図（「岐阜県文化財保存活用大綱」に加筆）

事務局補佐【岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課】

県民文化局長 矢本哲也（平成30・令和元年度）、市橋貴仁（令和2・3年度）、
 笠橋智基（令和4年度）

県民文化局副局长 北川博満（平成30・令和元年度）、高橋洋子（令和2・3年度）、
 大野陽一（令和4年度）

文化伝承課長 浅野浩司（平成30年度）、有田誠二（令和元～2年度）、
 河田哲也（令和3・4年度）、

文化伝承課担当係長 北村昌弘（平成30年度）、小野木学（令和元～4年度）

文化伝承課担当職員 小野木学（平成30年度）、近藤正枝（平成30年度）、
 小林新平（令和元～4年度）、吉村晶（令和4年度）、

(2) 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会

本事業では、調査の方法及びその成果について指導・助言を得るために、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会（以下、「検討委員会」という。）を設置した。検討委員会の組織体制は以下のとおりである。各委員の肩書は令和4年度時点のものである。

6 第1章 調査の経過

検討委員会委員 委員長	三輪嘉六（文化財保存支援機構理事長、山梨大学客員教授）
副委員長	菱田哲郎（京都府立大学文学部教授）
委 員	上川通夫（愛知県立大学日本文化学部教授）
委 員	村木二郎（国立歴史民俗博物館准教授）
委 員	林正憲（奈良文化財研究所都城発掘調査部考古第三研究室長）
委 員	藤岡英礼（栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課主査）

（3）検討委員会の審議経過

検討委員会の実施状況は以下のとおりである。なお、これらの委員会の他、調査に係る現地指導も必要に応じて行った。

平成30年度	第1回 平成30年5月18日 14:00～16:30	於岐阜県図書館
	第2回 平成30年8月24日 9:30～12:00	於飛騨市役所 ※寿楽寺廃寺跡内容確認調査現地視察
	第3回 平成31年3月8日 13:30～15:30	於揖斐川町歴史民俗資料館
令和元年度	第1回 令和元年9月12日 9:00～12:00	於飛騨市役所 ※寿楽寺廃寺跡内容確認調査現地視察
	第2回 令和2年2月27日 13:10～16:00	於養老町中央公民館 ※養老町柏尾廃寺跡現地視察
令和2年度	第1回 令和2年9月17日 9:00～15:50	於瑞浪市総合文化センター ※瑞浪市伝心宗寺跡・清来寺現地視察
	第2回 令和3年3月11日～令和3年4月30日	※書面会議にて実施（文伝第979号）
令和3年度	第1回 令和3年9月14日～令和3年11月19日	※書面会議にて実施（文財七第191号）
	第2回 令和4年2月22日 10:00～12:15	於岐阜県図書館 ※リモートにて実施
令和4年度	第1回 令和4年9月10日 13:30～15:30	於岐阜県図書館

注

- 1) 神宮寺や神仏習合時の様相を残す神社等、寺院に關係する神社も一部調査の対象に含めた。しかし、本調査では神社を主たる調査対象に含めていないため、網羅できていない。
- 2) 岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課 2021『岐阜県文化財保存活用大綱』

第3節 各図表凡例

ここでは、各分冊第2～4節の寺院及び参考寺院一覧表、地形観察図、遺構図及び地籍図、分布図の凡例について説明する。なお、以下より寺院と寺院跡を包括して「寺院」と表記する。

1 寺院一覧表・参考寺院一覧表

(1) 寺院一覧表

寺院の成立¹⁾時期が中世以前（1603年の江戸開府前）又はその可能性があるものを抽出した（基礎資料調査や聴き取りにより中世に遡る可能性があるもので道場や堂を含む）。各図域における市町村の掲載順は、市町村コードの若い順とした。一覧表の凡例は、表4のとおりである²⁾。

表4 寺院一覧表凡例

項目	概要
番号	各表における通し番号。
寺院番号	寺院番号は、市町村番号と連番号（市町村毎に001～）を組み合わせた5桁表示とし、記載した。前身寺院は、新しい順に枝番号（b,c,d…）を付けて区別した。現存寺院と前身寺院が異なる市町村に所在する場合は、前身寺院の寺院番号は現存寺院の寺院番号に枝番号を付した。
史跡	国指定、県指定、市町村指定がある場合に、国、県、市、町、村と記載した。
寺院名 (史跡・遺跡名)	寺院名は原則として山号・院号・寺院名の順（ただし、聴き取り等の情報を優先した）とし、史跡の名称は指定名称、遺跡名は岐阜県遺跡管理GISに準拠し内に記載した。なお、現存する寺院から離れた跡地については「○○寺旧境内」と呼称した。寺跡の可能性がある場所で、調査時点で遺跡名称がなく仮称を付した場合や俗稱には、寺院名の前に（仮）を付した。
所在地（旧郡名）	現在の住所表示とし、旧郡名を()内に記載した。近世以前の詳細な郡域は明らかでないため、旧郡名は株式会社平凡社1989『岐阜県の地名』を参照し、美濃国は正保郷帳、飛騨国は元禄検地反歩帳の表記を記載した。
建立時期	分布図に示された位置に寺院が建立した時期について、基礎資料調査又は聴き取り調査の情報を記載した。以降の記載は、自治体史記載の表現を採用し、聴き取り調査や伝承による場合は先頭に「伝」と記載した。また、寺院の位置が不明な場合は「不明」と記載した。
宗名	自治体史で確認できる宗名について記載し、転宗している場合は（古）→（新）の順に記載した。宗名の表記は、文化庁2021『宗教年鑑 令和3年度版』の宗教団体法以前に公認された13宗とし、宗派は省略した。この13宗以外の宗については、参照した文献の記述のとおりに記載した。
沿革等	沿革には寺院の概略史を記載した。また、必要に応じて現地確認の状況等を記載した。概略史中に宗名を記載する場合は、参照した文献等の記載に従った。
遺物・遺構等	参考文献の記載や現地調査の結果を基に、遺物には種別名、遺構には寺院跡に係る種別（塔心礎・礎石・基壇・池跡等）を記載した。遺物のうち、石造物の種別は次の略号を記載した。五輪塔：G、一石五輪塔：I、宝鏡印塔：H、その他の石造物や遺物は種別名を記載する。
調査略表	調査略表を掲載した寺院の場合に、掲載頁数を記載した。
分布図	分布図に位置を掲載した寺院の場合に、掲載頁数を記載した。

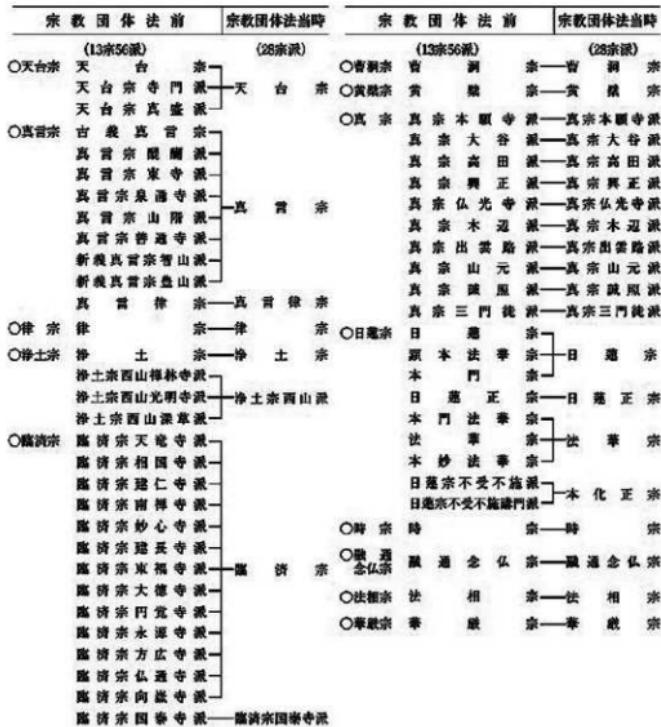


図3 宗教団体法以前の仏教宗派（文化庁2021『宗教年鑑 令和3年度版』から抜粋）

(2) 参考寺院一覧表

近世成立又は成立時期が不明な寺院を一括し、参考寺院として抽出した。表の項目と内容は、寺院一覧表と同様である。なお、成立時期が近代以降の寺院については、一覧表に記載していないため、寺院番号に欠番がある。

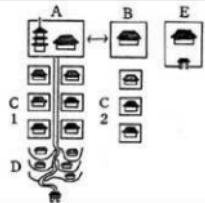
2 地形観察図・遺構図・地籍図

地形観察図を作成した寺院³⁾、これまでに発掘調査が実施された寺院、地割や小字名等により伽藍範囲・配置の検討が可能な寺院を対象に、図面と併せて調査略票を掲載した。掲載順は、各図毎に寺院番号順とした。以下に調査略票及び各図の凡例等について記す。

(4) 調査略票

各図と併せて、調査略票を掲載した。調査略票の凡例⁴⁾は以下のとおりである。

表5 調査略票凡例

項目	概要
地区	県内5圏域名（西濃・岐阜・中濃・東濃・飛騨）から選択し、記載した。
寺院番号	表4の寺院番号と同じ。
県遺跡番号	岐阜県遺跡管理GISに準拠し、県遺跡番号を記載した。
分布図	寺院の位置等が掲載されている本書の分布図頁数を記載した。
ふりがな 寺院名 (史跡・遺跡名)	表4の寺院名と同じ。寺院名（史跡・遺跡名）には、ふりがなを付した。
所在地	現在の住所表示により、寺院の所在地を記載した。可能な限り小字名まで記載した。
時代区分	岐阜県遺跡管理GISに登録されている時代を基本とし、基礎資料調査や現地確認調査、聴き取り調査で得た情報を加味して記載した。また、現存する寺院については、末尾に「～」を付した。
宗名	表4の宗名と同じ。
立地	「山地・丘陵・台地・段丘・扇状地・低地・その他」から選択し、うち山地・丘陵については、山頂・山腹・尾根上・山麓に分類して記載した。
現状（植生）	「宅地・水田・畑地・山林・道路・荒蕪地・原野・境内地・その他」から選択し記載した。山地・丘陵等に立地する場合においては、「ぎふの植生分布マップ」（平成6～10年調査）により代表的な植生を()内に記載した。
東西（南北）規模	地形観察図を作成した場合には作成範囲、作成していない場合には寺域範囲を推定できる場合にその最長値を整数で記載した。寺域範囲を推定できない場合には「-」を記載した。
標高（比高差）	中心伽藍（本堂）の標高、中心伽藍と中心伽藍とから最も近い現集落との比高差を()内に記載した。ただし、計測値は各々整数とした。
平坦面分類	藤岡2012の分類（右図）による。 A、B、C1、C2、D、Eから選択し記載した。 複数を選択した場合には、A+C1のように記載した。 
沿革	寺院の歴史を記載した。ただし、宗名は参考文献の記載を参照した。
遺構	表4の遺構・遺物に同じ。
遺物	参考文献の記載や現地調査の結果を基に、遺物の種別を記載した。
有形文化財等	中世以前の美術工芸品・建造物・古文書・聖教類、近代以前の境内を描いた絵図の名称を記載した。()内には、有形文化財の指定区分と有形文化財の所属時代を記載した。
参考文献	沿革を記載した自治体史、発掘調査報告書名を記載した。
備考	上記以外に、特記すべき事項があれば記載した。

(1) 地形観察図

中世以前の遺構（主に平坦面）を確認した寺院を対象に、現地確認の結果を基に遺跡の時期や遺構の遺存状況、検討委員会委員の助言を基に優先順位を与え、地形観察図作成対象寺院を抽出し、地形観察図を作成した。

測量は、岐阜県林政部森林保全課（旧治山課）から貸与を受けた赤色立体図や等高線図、岐阜県森林研究所作成のCS立体図を下図とし、主にレーザー距離を使用した簡易測量により、1/1,000縮尺で行った。なお、行場遺構の可能性がある岩場や滝、渟水の調達先と考えられる池や湧水地については、可能な範囲で把握するよう努めた。一部の岩窟・磐座については、可能な範囲で個別に測量を行った。地形観察図は、原則1/2,500縮尺で掲載したが、測量対象が入る任意の縮尺で掲載した寺院もある。その場合は、測量範囲の中心とその周辺を別途1/2,500縮尺で掲載した。また、掲載範囲で標高が高い方を頁の上側若しくは左側となるようレイアウトした。

地形観察図の表記や使用した記号は、図4のとおりである。なお、平坦面の上端を実線、下端を破線で表記することを原則としたが、不明瞭な上端を破線、不明瞭な下端は表現しないよう描き分けた。明瞭・不明瞭の判断は、各測量者の判断による。また、地形観察図内に示した湧水点とは、地下水が自然に地上に湧き出す地点をさすほか、実際に地下水が湧き出しているかは不明だが、地形観察時に沢・流水を上流方向にたどり水の流れを確認した最初の地点も湧水点として取り扱った。



図4 地形観察図凡例

(2) 遺構図

これまでに岐阜県内で行われた寺院に関する遺構の主な発掘調査について、寺院施設に関する遺構の図面等を報告書より抜粋、又は一部加筆し掲載した。調査成果の概要等は、調査略票に記載した。

(3) 地籍図(図5)

境内地の位置や各堂宇の配置等について、地籍図を用いて検討を行った場合にその地籍図を掲載した。原図は、寺院が所在する市町村に保管されている、明治時代に作成された地籍図を用いた。掲載した図は、各市町村に複写を依頼した地籍図を、事務局でデジタルトレースしたものである。

地目等の表現は、図5のとおりである。



図5 地籍図凡例

3 分布図(図6)

本調査で寺院の位置を特定することができたもののうち、その位置への建立時期が中世以前であるものや、地形観察図等を作成した範囲を分布図に示した。分布図に使用した地図は、国土地理院発行の電子地形図 25000(1/25,000、飛騨圏域は令和3年発行、他の圏域は令和4年発行)を 1/35,000 に縮小したものである。

寺院の位置及び範囲の表示方法については、以下のとおりである。

①範囲表示

赤の実線(網掛けあり)：本調査で地形観察図を作成した範囲を示す。

赤の実線(網掛けなし)：岐阜県遺跡管理 GIS に搭載されている範囲(飛騨圏域は 20211019 時点、他の圏域は 20220214 時点)を示す。

上記 2 つが重なった場合は、地形観察図を作成した範囲のみを示した。

②地点表示

赤のドット：基礎資料調査及び現地確認調査の結果、古代・中世寺院が存在していたと判明できる箇所を示す。

なお、本調査で古代・中世における所在地が特定できない寺院は、その位置を表示しない。

(例) 寺院の成立時期は古代(中世)であるが、近世以降に現在地へ移転を行っており、古代(中世)の旧境内の位置が特定できない寺院。

4 旧都の取り扱いについて

第2～6章の各第5節では、それぞれの圏域の旧郡単位で寺院の数や分布を検討した。美濃国及び

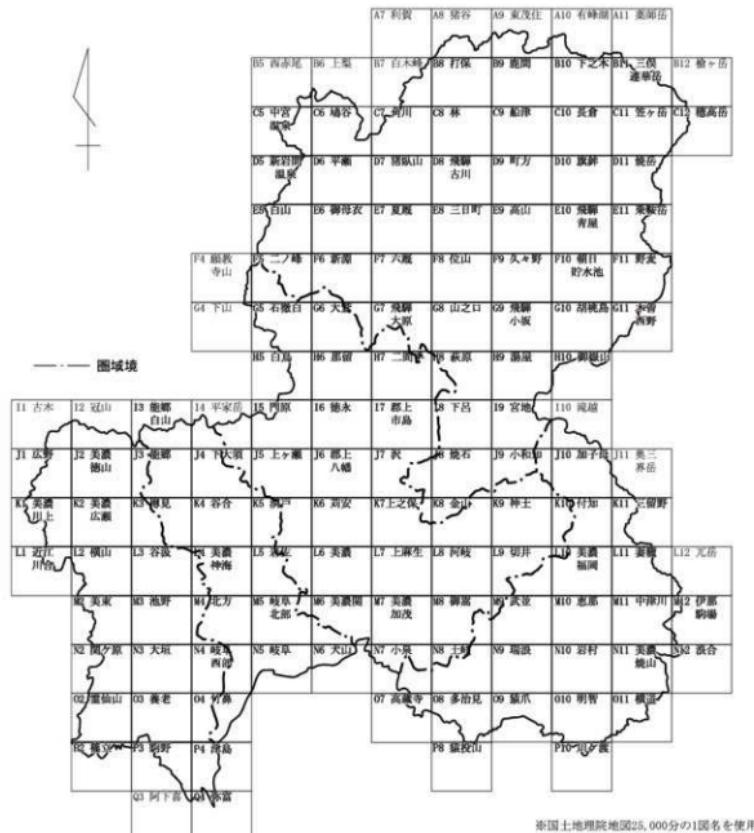


図6 寺院分布図名索引図

※国土地理院地図25,000分の1図名を使用
グリッド名はセンター設定

飛騨国の旧郡については延喜式にその郡名の記載がみえるが、近世以前の詳細な郡域は明らかではないため、「行政区画変遷・石高一覧」を使用し、現在の地名から旧郡名を参照した⁵⁾。また、第2～6章の各第5節に掲載した各分布図に表示する郡境は、近代の推定郡域図を参照した⁶⁾。

注

- 1) 自治体史の中で開山・開基・創建・建立の使い分けがなされていない場合があるほか、同じ用語でも自治体史によってその定義が異なる場合が散見された。本調査では、基礎資料調査や聴き取りによって確認できた最も遅る年号を「成立時期」として扱った。寺院の沿革上で確認できる堂宇が建った時期を「建立時期」とし、成立時期と区別して扱った。
- 2) 寺院名の旧字体の使用は、現地確認調査及び聴き取りで旧字体を使用していることが確認できた場合は旧字体を使用。

表6 分布図名一覧表(1)

分布図名	市町村名	圖城名	掲載頁	分布図名	市町村名	圖城名	掲載頁	
A7 利賀	飛驒市	飛驒	5-82・83	B6 墓留	郡上市	中濃	3-150・151	
A8 鶴谷	飛驒市	飛驒	5-84・85	B7 二間手	郡上市、高山市	中濃・飛驒	3-152・153, 5-178・179	
A9 東浅井	飛驒市	飛驒	5-86・87	B8 萩原	郡上市、下呂市	中濃・飛驒	3-154・155, 5-180・181	
A10 有賀郡	飛驒市	飛驒	5-88・89	B9 重原	下呂市	飛驒	5-182・183	
A11 鶴来岳	飛驒市	飛驒	5-90・91	B10 錦山	下呂市	飛驒	5-184・185	
B5 西山尾	白川村	飛驒	5-92・93	C1 古木	飛驒川町	西濃	2-168・169	
B6 上梨	白川村	飛驒	5-94・95	C2 远山	飛驒川町	西濃	2-170・171	
B7 白木峰	飛驒市	飛驒	5-96・97	C3 御嶽白山	飛驒川町、本郷市	西濃, 岐阜	2-172・173, 1-102・103	
B8 打保	飛驒市	飛驒	5-98・99	C4 平家岳	本郷市	岐阜, 中濃	1-104・105, 2-156・157	
B9 開湖	飛驒市	飛驒	5-100・101	C5 門原	郡上市、関市	中濃	3-158・159	
B10 乙之木	飛驒市, 高山市	飛驒	5-102・103	C6 磐水	郡上市	中濃	3-160・161	
B11 ひびき華厳	高山市	飛驒	5-104・105	C7 標上島	郡上市	中濃	3-162・163	
B12 鶴ヶ岳	高山市	飛驒	5-106・107	C8 下呂	郡上市, 下呂市	中濃・飛驒	3-164・165, 5-186・187	
C5 中宮温泉	白川村	飛驒	5-108・109	C9 宮地	下呂市, 中津川市	東濃・飛驒	4-84・85, 5-188・189	
C6 地谷	白川村, 飛驒市	飛驒	5-110・111	C10 阿越	中津川市	東濃	4-86・87	
C7 角川	飛驒市	飛驒	5-112・113	C11 広野	飛驒川町	西濃	2-174・175	
C8 林	飛驒市, 高山市	飛驒	5-114・115	C12 美濃能山	飛驒川町	西濃	2-176・177	
C9 和守	飛驒市, 高山市	飛驒	5-116・117	C13 重原	飛驒川町, 本郷市	西濃, 岐阜	1-106・107, 2-178・179	
C10 長曾	高山市	飛驒	5-118・119	C14 下大瀬	本郷市, 山林町	岐阜, 中濃	1-108・109, 3-166・167	
C11 黒ヶ岳	高山市	飛驒	5-120・121	C15 上ヶ瀬	山県市, 関市	岐阜, 中濃	1-110・111, 3-168・169	
C12 鶴鳴	高山市	飛驒	5-122・123	C16 巻上八幡	郡上市	中濃	3-170・171	
D6 新治開風景	白川村	飛驒	5-124・125	C17 武	郡上市, 関市,	中濃・飛驒	3-172・173, 5-190・191	
D6 平瀬	白川村, 飛驒市, 高山市	飛驒	5-126・127	C18 姥石	郡上市, 白川町,	下呂市	宇濃・飛驒	3-174・175, 5-192・193
D7 離歌山	飛驒市, 高山市	飛驒	5-128・129	C19 小和知	白川町, 東白川村,	中濃・東濃・飛驒	3-176・177, 4-88・89, 5-194・195	
D8 飛驒古川	飛驒市, 高山市	飛驒	5-130・131	C20 加子母	中津川市	東濃	4-90・91	
D9 町方	高山市	飛驒	5-132・133	C21 三界界	中津川市	東濃	4-92・93	
D10 鶴鉢	高山市	飛驒	5-134・135	C21 美濃鶴上	飛驒川町	西濃	2-180・181	
D11 仙舟	高山市	飛驒	5-136・137	C22 遠造庄廻	飛驒川町	西濃	2-182・183	
D5 白山	白川村, 高山市	飛驒	5-138・139	C23 見見	飛驒川町, 本郷市	岐阜, 西濃	1-112・113, 2-184・185	
D6 脚舟	白川村, 高山市	飛驒	5-140・141	C24 谷合	本郷市, 山林町	岐阜	1-114・115	
D7 夏瓶	高山市	飛驒	5-142・143	C25 湾戸	山県市, 関市,	岐阜, 中濃	1-116・117, 3-178・179	
D8 三日町	高山市	飛驒	5-144・145	C26 逍安	郡上市, 美濃市,	中濃	3-180・181	
D9 高山	高山市	飛驒	5-146・147	C27 上之保	郡上市, 関市,	中濃・飛驒	3-182・183, 5-196・197	
D10 飛驒青龍	高山市	飛驒	5-148・149	C28 金山	下呂市, 七宗町,	中濃・飛驒	3-184・185, 5-198・199	
D11 乗鞍岳	高山市	飛驒	5-150・151	C29 神士	白川町, 東白川村	中濃	3-186・187	
F4 願教寺山	郡上市	中濃	3-134・135	C30 付知	白川町, 東白川村,	中濃・東濃	4-94・95, 3-188・189	
F5 二ノ峰	郡上市, 高山市	中濃・飛驒	3-136・137, 5-152・153	C31 三留野	中津川市	東濃	4-96・97	
F6 新瀬	郡上市, 高山市	中濃・飛驒	3-138・139, 5-154・155	C32 若川合	飛驒川町	西濃	2-186・187	
F7 八咫	高山市	飛驒	5-156・157	C33 嶺山	飛驒川町	西濃	2-188・189	
F8 仙舟	高山市, 下呂市	飛驒	5-158・159	C34 泰深	飛驒川町, 本郷市	岐阜, 西濃	1-118・119, 2-190・191	
F9 久々野	高山市	飛驒	5-160・161	C35 美濃神海	飛驒川町, 本郷市,	岐阜, 西濃	1-120・121, 2-192・193	
F10 朝日氷水	高山市	飛驒	5-162・163	C36 彩佐	岐阜市, 山県市,	岐阜, 中濃	1-122・123, 3-190・191	
F11 野栗	高山市	飛驒	5-184・185	C37 美濃	美濃市, 関市	中濃	3-192・193	
F4 下山	郡上市	中濃	3-180・181	C38 上麻生	閑市, 美濃加茂市,	中濃	3-194・195	
F5 石徹白	郡上市	中濃	3-142・143	C39 河岐	七宗町, 白川町,	中濃	3-196・197	
F6 大笠	郡上市, 高山市	中濃・飛驒	3-144・145, 5-166・167	C40 望井	白川町, 八百津町,	中濃・東濃	3-198・199, 4-98・99	
F7 飛驒大原	郡上市, 高山市, 下呂市	中濃・飛驒	3-146・147, 5-168・169	C41 美濃福園	白川町, 中津川市	中濃・東濃	3-200・201, 4-100・101	
F8 山之口	下呂市	飛驒	5-170・171	C42 里籠	中津川市	東濃	4-102・103	
F9 飛驒小坂	高山市, 下呂市	飛驒	5-172・173	C43 丸岳	中津川市	東濃	4-104・105	
F10 鶴鳴	高山市, 下呂市	飛驒	5-174・175	C44 東東	飛驒川町, 乗原町	西濃	2-194・195	
G11 木曾西野	高山市	飛驒	5-176・177	C45 逃野	垂井町, 池田町,	西濃	2-196・197	
G15 白鳥	郡上市	中濃	3-188・189	C46 北方	大野町, 堀畠町,	岐阜, 西濃	1-124・125, 2-198・199	

※掲載頁は、分冊番号+掲載頁数を示す。

表7 分布図名一覧表（2）

分布図名	市町村名	圖域名	圖範囲	分布図名	市町村名	圖域名	圖範囲
岐阜北部	岐阜市、各務原市、瑞穂市	岐阜・中濃	1-126・127、3-202・203	S11 美濃盆地	恵那市、中津川市	東濃	4-124・125
66 美濃開闢	岐阜市、各務原市、美濃加茂市、板取町、富加町	岐阜・中濃	1-128・129、3-204・205	N12 美濃合	中津川市	東濃	4-126・127
67 美濃加茂	美濃加茂市、川辺町、可児市、八百津町、御嵩町	中濃	3-206・207	02 霊仙山	関ケ原町、大垣市	西濃	2-206・207
68 御嵩	八百津町、御嵩町、瑞浪市	中濃・東濃	3-208・209、4-106・107	03 美老	大垣市、養老町、輪之内町	西濃	2-208・209
69 武並	八百津町、恵那市、瑞浪市	中濃・東濃	3-210・211、4-108・109	04 竹鼻	大垣市、安八町、南濃町、輪之内町、羽根町、岐阜・西濃島	1-136・137、2-210・211	
70 恵那	恵那市、中津川市	東濃	4-110・111	07 高遠寺	多治見市	東濃	4-128・12
M1 中津川	中津川市	東濃	4-112・113	08 多治見	多治見市、土岐市	東濃	4-130・131
112 伊那駒ヶ岳	中津川市	東濃	4-114・115	09 鶴爪	土岐市、瑞浪市、恵那市	東濃	4-132・133
82 開ヶ原	揖斐川町、大垣市、関ケ原町、飛井町	西濃	2-200・201	010 明智	恵那市	東濃	4-134・135
83 大垣	池田町、神戸町、垂井町、大垣市、養老町	西濃	3-202・203	011 横道	恵那市	東濃	4-136・137
84 岐阜西部	大野町、大垣市、安八町、瑞浪市、岐阜市、羽島市	岐阜・西濃	1-130・131、2-204・205	P2 積立	大垣市	西濃	2-212・213
85 岐阜	岐阜市、笠松町、岐南町	岐阜	1-132・133	P3 駒野	大垣市、養老町、海津市	西濃	2-214・215
86 大山	各務原市、可児市	岐阜・中濃	1-134・135、3-212・213	P4 伴島	海津市、羽島市	岐阜・西濃	1-138・139、2-216・217
87 小坂	可児市、多治見市	中濃・東濃	3-214・215、4-116・117	P6 積投山	土岐市	東濃	4-138・139
88 土岐	可児市、御嵩町、多治見市、土岐市、瑞浪市	中濃・東濃	3-216・217、4-118・119	P10 ケ渡	恵那市	東濃	4-140・141
89 磯岳	瑞浪市、恵那市	東濃	4-120・121	Q3 阿下喜	南摩市	西濃	2-218・219
90 刈村	恵那市、中津川市	東濃	4-122・123	Q4 余富	南摩市	西濃	2-220・221

※番号は、分野番号-掲載頁数を示す。

それ以外は自治体史記載の字体を使用した。なお、「○○守護の「守」は、記載していない。

3) 地形觀察図の作成に関しては、藤岡英礼監査委員の指導を得て、以下の文献を参照して実施した。ただし、最終的な判断はセンター職員が行った。

藤岡英礼2011『郷聚り調査と山寺研究』『佛教藝術』317、毎日新聞社

4) 平坦面分類は、藤岡英礼2012を参照した。

藤岡英礼2012「山寺の空間・空間構造」『季刊考古学』第121号、株式会社雄山閣

A類：中心伽藍。本堂・塔など複数の中心的建物を持つ大規模な平坦面。

B類：小規模な中心部。本堂を持つなど寺域の中核だが、一堂程度が建つだけのもの。

C類：方形を志向する整形された平坦面群。

C1類：直線道路に沿い、方形・整然とした区画を持つ。

C2類：直線道路に沿わないが、方形・整然とした区画を持つ。

D類：不明瞭な平坦面群。細長く不整形で、雑然と配置されているもの。

E類：大規模な平坦面が一ヵ所程度造成され、本堂・庫裏のセットが建つ。』

5) 岐阜・西濃・中濃・東濃圏域においては、正保郷帳（正保2年成立）を、飛騨圏域においては「元禄飛彈国検地反歩帳（元禄7年成立）」記載の旧郡名を参照した。

有限会社平凡社地方資料センター1989『行政区画変遷・石高一覧』『岐阜県の地名』（日本歴史地名大系第21巻）、株式会社平凡社

6) 三輪晃三2021『GISを用いた近代における岐阜県郡域の復元と変遷』『岐阜県文化財保護センター研究紀要』第6号、岐阜県文化財保護センター

第2章 岐阜圏域の寺院

第1節 岐阜圏域の概要

岐阜圏域は岐阜県の南西部、美濃地方の中西部に位置し、福井県・愛知県に接する。構成する市町は、岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町の6市3町であり、その面積は993.28km²で、これは岐阜県全体の9.4%を占める。

岐阜圏域には、福井県境の越美山地があり、長野県鉢盛山が源となる木曽川が岐阜圏域を西南流し、伊勢湾に注ぐ。越美山地は標高約1,200mから1,400mの山地で、能郷白山（標高1,617m）など、白山信仰に関連の深い山々が連なる。岐阜圏域の地勢は、南部に海拔0mの低地を含む濃尾平野、北部に標高1,000m以上の山々を有する白山山地が広がる。このような地勢で、寺院は標高30m以内の平地に造営されるものが全体の7割を占め、標高100m以上の高地に立地する寺院は全体の1割に満たない。西濃圏域には根尾川及び圏域内中央を長良川が南流し、濃尾平野に面した山麓には複数の扇状地が形成され、街道沿いや河川沿いの交通の要衝に寺院群が展開している。また、福井県境の山地では、長良川等の支流沿い谷部に寺院が展開している。古代以降には東山道や鎌倉街道、中山道などが岐阜圏域の東西を通過し、美濃国と尾張国の境にあたる境川沿いの両国側に寺院群が展開している。

今回の調査では、岐阜圏域において954か寺の寺院を調査対象とし、そのうち530か寺の古代・中世寺院を確認した。

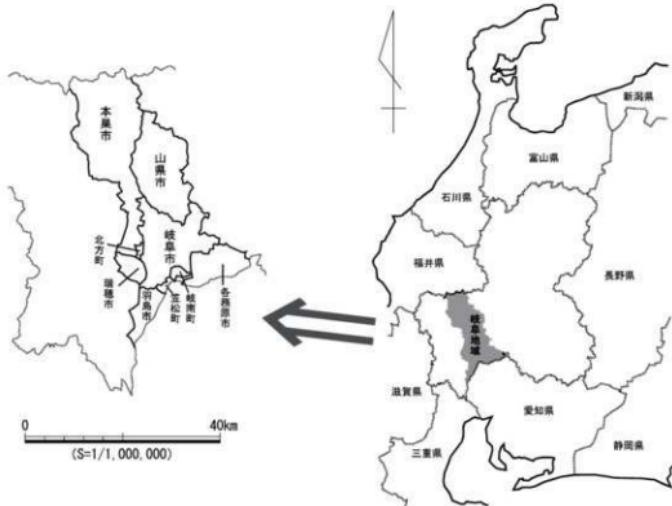


図7 岐阜圏域市町区域図

第 2 節 寺 院 一 覧 表

表8 岐阜市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡名	山(庭)寺 今宮名	所在地 (旧県名)	建立時期	宗派	沿革等	道物、遺構 調査状況	分布図	
1.	01002	不動院 (自野不動洞 遺跡)	日野西町 (厚見郡)	伝奈良時代	7→ 天台宗	本文参照		本文参照	70 MS	
2.	01003	大山 圓融院 美光寺	美江寺町 (厚見郡)	天文年間	天台宗	貴老7(733)年、頼朝により本堂堂宇及美光寺(現福岡市010030)に創建。天文元年(1532~35)に、藤原道三が福聚山を開いた。現、復興移転し、城下の繁栄を守護されたという。また、鎌倉信長が移したともいう。門内には12坊があった。		G		MS
3.	01009	三輪山 高光寺	三輪(山縣郡)	神龜年間若し くは天慶3年	真言宗	本文参照		本文参照	72 LS	
4.	01010	定門寺 圓明院	加納天神町 (厚見郡)	正暦7年	真言宗	正暦2(991)年に元覚が下加納村に開山し、圓明院と称した。東承1(1631)年に一度か山奥開山した。			NS	
5.	01012	雄鷲山 圓寂寺	吳良雄鷲 (方県郡)	奈良時代末	真言宗	創建時期の記録は不明であるが、規模の面から出土した瓦片は奈良時代後半に所属する。境内にはこの時期のものと思われる心礎が残る。			MS	
6.	01013	密雲山 西光寺	向加野 (山縣郡)	延喜年間	真言宗	今後では創建は行方も空海とも言われている。当時は百濟町の現住地地盤(現在境内よりもやや西といふが、詳細位置不明)の小町西方に「七塚御廟」をもつてあったが、信長の時代に長火のために「七塚を焼くまですべて焼失した」とい。延喜年間(1741~1748)に崇辨が現在地へ移転し、寺号を西光寺から西光寺に改めた。			MS	
7.	01014	圓地山 圓通寺	曾我郷 (方県郡)	伝古代	真言宗	弘法大師の創建と伝わるが詳しく述べ、安永年間(1368~75)淨瑠璃院と号した。天正17(1589)年供花が中興。		G, I	MS	
8.	01015	八幡山 圓成寺	春日町 (厚見郡)	不明	真言宗	創建時期は不明であるが、代々住持の位牌に正承2(1172)年のものがおり、成立は宝曇寺附属ある可能性がある。また、元々は武藏國都幾村(美濃國)にあったが、田畠の位置及び移転時期は不明。				
9.	01016	五重山 蓮華王院 正法寺	小野 (方県郡)	寛正8年	真言宗	高野山三室院の末寺である。天平17(645)年、光明皇后の御誕に於いて、天皇の勅願により大般若經を受けて了した。寛正8(645)年には蓮華王院と號する。この今は12世の蓮華王院が建立し、蓮華王院と改称した。高麗が贈り僧始。天文13(1542)年、永禄5(1562)年兵火による火災があり荒廃したが、文禄3(1594)年、加藤麻呂門副貢が再建し、元光山圓成寺と正法寺と称した。		H, G, I	MS	
10.	01017	岩井山 延命寺	岩井 (山縣郡)	不明	真言宗	弘1(635)年、最澄が創立したと伝う。猪突天皇により御觀を600石に定め御守護院と号され、現在地の下(後楽の辺)に七丈御塔のある立派な寺なり。弘10年(649)に元氣が再興した。延喜年間(1024~65)淳仁が再興。		G, I	MS	
	01017b	延命寺庭内	岩井 (山縣郡)	延弘6年						
11.	01018	圓寶山 法華寺	三田瀬 (方県郡)	貞享元年	真言宗	弘1~7(636~642)年、空海が創立したと伝え。法華經の講座を開いた。後に、順慶天皇により勅願所とされ、順慶寺の寺号を賜う。その後、兵火や御津波により荒廃したが、延喜年間(1024~44)に金剛が再興、貞享元(1644)年に則厚が三田瀬山中から現在地に移した。三田瀬山中に旧堂と判断できる箇所は確認できず。詳細説明不明。		G, H, I, 石仏	MS	
12.	01019	密雲山 寶乘院	密野西 (方県郡)	昭和61年	真言宗	延長10(685)年、佐円が現在の密雲山寺跡に創建。昭和6年には岐阜市密野西へ移転。昭和61(1986)年に現在地に移転。				
13.	01022	安樂院 善光寺	伊奈通 (厚見郡)	安土桃山時代	真言宗	延長10(685)年に、順慶天皇によって日押善光寺東来が岐阜に赴きさせられたのが岐阜善光寺の前身であるという。善光寺初めに創建された重要な、難波秀信が薦進善光寺を建立し、善光寺の御分院となった。			MS	
14.	1023	玉性院	加納天神町 (厚見郡)	不明	真言宗	延喜年間(1056~1055)。法衡御墓により成立。成立時の境内は現在地とは異なる場所にあった可能があるというが、位置不詳。		G, H, I, 五輪塔碑 輪轉塔碑	MS	
15.	01025	北嶺山 舍利院	城田寺 (方県郡)	15世紀後半	真言宗	天慶5(912)年、武天天皇の御顯所であったとい。かつては、現境内の南側にあるため池が「本堂池」と呼ばれており、ため池周辺の竹林内(01026)に御跡があつたという。沼田合戰(1464~65)の際に池は上杉氏の御顯所となつたが御守破失し、矢張を逃げて本寺等が隠された。			MS	
16.	01025b	舍利院寺境内	城田寺 (方県郡)	天慶5年						
17.	01026	如意山 圓成寺	大洞 (各務郡)	養老5年	真言宗	壬申の乱で功績を挙げた村国男依が、天武天皇から賜った御前寺と圓成寺の跡地に於いて、天武天皇の御顯所として、養老5(721)年に創建したと傳わる。天武天皇の御顯所として、天武(745)年には七重塔を造り奉安しているが、養老7(733)年頃圓成院の願主の天皇により火災。後年、神室空寺が現在地に一宇を再興し今に有る。現在の大洞町内本郷課本郷を境にして南北2地区に「山門」と字が付いていたが詳記は難明。養老5(721)年に01026圓成寺へ移転し、大洞山善光寺と称す。		G, H	MS	
18.	01026b	圓成寺庭内 (旧圓成寺跡)	大洞 (各務郡)	養老5年以 前	真言宗				MS	
19.	01029	圓通山 圓通寺	門屋門 (山縣郡)	永祿3年	淨土宗	永祿3(1560)年、延慶開基。明和7(1770)年に即身が本堂を再建した。		G	MS	
20.	01030	圓通山 本智寺	矢島町 (厚見郡)	享禄年間	淨土宗	延喜時開闢山。元は圓通山三宅村(岐南町)にあった念佛道場であったが、享禄年間(1508~1532)に現在地へ移転。天正9(1581)年まで圓通寺と称した。		G, H	MS	

表9 岐阜市寺院一覧表(2)

番号	寺院 寺号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (田郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
21	01033	寂靜山 淨是教院 西方寺	黒納新本町 (厚見郡)	中世末～ 江戸時代初 期ごろか	淨土宗	創建圓山。久松基基。成立時期不明だが、敷地は慶長20(1615)年に設す。和田山記にある「明応4(1495)年石丸利光基並に兵庫助と、船田の西、西方寺に降す。」ある。01032寂靜寺の前身寺院西方寺から名付けられたか。	G		NB	
22	01034	広大山 超勝寺	街立 (方県郡)	天正13年	淨土宗	天正12(1584)年、成應圓基。初め馬鹿天神坊(または転心坊)と称した。寛文元(1661)年堂宇を改築し、山号を広大山に改称した。	G, I		NB	
23	01037	法源寺	加納美平町 (厚見郡)	14世紀	淨土宗	成立時期不明だが、寛永15(1638)年の加納山下団に当寺の記載がある。また、当寺は西方寺(01033西方寺とは異なる)の別跡に建てられたといい、西方寺は長森城である。岐阜城邊が創建した。法源寺は平成版に廃寺となり、現在は公園となっており地蔵堂がある。			NB	
24	01040	松翠山 阿弥陀寺	要野西 (方縣郡)	大永元年	淨土宗	大永元(1521)年、向賀心喜大膳園山。01041法円寺の末寺であつた。	G		NB	
25	01041	蘿照山 法円寺	伊奈首通 (厚見郡)	天文3年	淨土宗	寛永6(1399)年、曾水開山。齊藤山惣守が創建し、始め山縣郡大桑村にあつた。天文3(1534)年に同村の櫻家とともに現在地へ移転。	G, I		NB	
26	01048	淨土院	東駒爪町 (厚見郡)	17世紀後半 頃	真言宗 →淨土宗	寺伝によると、文昭11(899)年、現在地よりも南方數百間の地に中畠天王社を祀られたのが起源であるという。その後、加納城主松平政守が中畠上人を招いて一字を建立し、真言宗崇正王山大乗寺開山と称した。明治20(1887)年本堂を建立し、慈尊伊奈首通の號を淨土院の寺号を移した。				
27	01050	龜平山 護國院 立政寺	西莊 (厚見郡)	文和2年	淨土宗	文和2(1353)年(文和3年とも)菅通能化が開山。立政主小野機堂と立島御主河義綱が墨字を建立した。菅通は後光明天皇に満願持を行ったことから天皇の御靈廟造りとなり「立政寺」の号を付した。かつての寺領は、現城東側の軽井7号線の向かい側の御靈院があつたといい。	G, B, I		NB	
28	01051	西谷山 淨音寺	三輪宮町 (山縣郡)	寛喜嘉元 しくじは 文応元年	淨土宗	文応元(1296)年、西谷淨音の開創にして開山。寺伝では、喜嘉元(1220)創建。その後一時廢するも、永正17(1520)年修復上人が再興。			LB	
29	01053	虎藏山 立江寺	江崎川筋 (厚見郡)	不明	淨土宗	淨土宗開基の木として天禄2(1393)年、圓了(01065圓了院 西御行院、詳の圓了不開)に開山された。天禄不開が3度移転し、以降は現城西の川向いにあつたといい、寺名も改めて立江寺とされる。01050立政寺の末寺であったともいいう。				
30	01054	普照山 普照寺	伊奈首通 (厚見郡)	天文3年	淨土宗	天正3(1575)年、米空普照開山。本尊は薦田信昌公が比叡山に安置してあつたものを当寺の開山の際に遷したのであるという。			NB	
31	01055	大雄山 薦壽寺	伊奈首通 (厚見郡)	天文10年	真宗 →淨土宗	宝治2(1288)年、松浦創建。始め真宗。開山は、池田輝政の庶兄徳宗と諱と伝わる。もと尾張清所あり、池田信長の姫岐入城と共に下竹町に附に移転(現在の常磐町)。上竹町・常磐町(近)、駅をめぐらして中央に敷地の堂宇を建立し、出城形の大寺院であった。さらに天文10(1542)年、善光寺の山門近くに移つた。	G, I		NB	
32	01056	法東山 華嚴院 華嚴寺	伊奈首通 (厚見郡)	文祐・慶長 年間	淨土宗	天正12(1584)年、厚見郡今村景に二郎堂行政が創建。月春栄が開山した。文祐・慶長年間(1592～1610)に、織田秀信公により当地をいたゞき現在に移る。	G, H		NB	
33	01057	本藏山 大泉寺	万力町 (厚見郡)	16世紀後半 頃	淨土宗	天文元(1572)年(天文11(1542)年とも)、文智法師等創が創建。佑仙にいると、それは岐阜八ヶ寺町の邊にあったが、織田信長に従って移さざつたといい。	G, H		NB	
34	01058	觀音山 安樂寺	伊奈首通 (厚見郡)	永祿6年	淨土宗	永祿6(1563)年、曾水觀音開山。本尊の阿彌陀如来は2009立政寺より移受したものであるといい、薦田信忠が乱戦の中で志半ばで敗死した者たちを350にふきわしい地として淨土宗寺院を統べ善光寺の門前に無めた。			NB	
35	01060	圓國山 含政寺	伊奈首通 (厚見郡)	16世紀後半 頃	淨土宗	永祿3(1560)年、曾水圓國開山。元は岐阜市開武の地に創建されたが、後に織田信忠公が淨土真言寺を曾水門前に集めた跡に、現在の地に移転された。伊奈首八ヶ寺の一つ。	G, H, 宝篋		NB	
36	01061	松龜山 賢安寺	猪八町 (厚見郡)	天正5年	淨土宗	詳確な創立時期不明。尊尼の證が開山。元は曾我指揮所にあったが、織田信長の曾我守とともに今井の地に移転。天正元(1573)年に伊奈首に移転し、さらには天正5(1576)年現在地に移転した。				
37	01063	以應山 龍福寺	石原 (山縣郡)	元亀2年以 前	天台宗 → 淨土宗	元亀2(1571)年創建とされているが、これ以前の天台宗寺跡であり、この頃の寺跡は不明。享保2(1717)年に成立寺12寺中御前御前寺に転化したといい。かつては日代護寺と称したが、江戸時代に龍福寺に変わった。	G		NB	
38	01065	玉保山 觀音寺	鷹口山 (山縣郡)	建久6年	天台宗 → 淨土宗	建久6(1195)年、山根鶴人國雲・世保國成見翁が父国持の菩提を弔うために建立。初めは天台宗に興したが正長元(1248年)、立政寺の龍福寺石氏がこれを再興し、上宗に転化。	G, I		NB	
39	01066	東方山 觀音寺	中屋山 (山縣郡)	慶長年間	淨土宗	成立時期不明、元は郡上郡(現上大町)御前寺にあり)にあって方台寺であったが、慶長年間(1596～1615)以後法木のため現在の地に移転した。山神を圓山として、転化する。	G		NB	

表10 岐阜市寺院一覧表(3)

番号	寺院 番号	史跡	山号(別 院名)	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
40	91067	大澤山 淨土寺	祇富 (山縣郡)	不明	天台宗→ 淨土宗	弘安3(1280)年。空庭山により成立。正徳2(1289)年に瀬通 氏によって御室を襲えられ、天台宗から淨土宗へ転宗。元は宇 天神という場所(近置觀音門)にあった。現在地への移転時期は不 明。	G, II			
41	91069	土佐山 日王寺	加野 (山縣郡)	不明	淨土宗	天平勝宝5(733)年。日王丸が現在の古伊勢シネル行近に建立し たのが久遠により消失した。高応元(1062)年。齊藤という僧が七 の山中の七處音聲を編り出し、土佐施という堂宇を建て、天正の 終わる頃まで存在。後に土佐山日王寺と改称。その後、白山神 社西側の現在地への移転するが時期不明。現在は更地となって いる。				
	91069b	日王寺旧境内	長良吉原 (原見郡)	仙天平勝宝 5年					M5	
42	91070	長立山 清閑寺	世保東 (山縣郡)	宝曆13年	淨土宗	建久2(1191)年。源空開基。念仏三重堂と称す。延文5(1360) 年。清淨閑院と改称。応永年間(1394~1428)大火により焼失す るが、延文3(1400)年に再建。元和元(1615)年。後再び焼失。 寛永5(1628)年。清淨閑院の右隣の一字堂を建立。足利山清 閑院寺と称す。本堂は(1762)年法華のため被災し、翌年現在地に 移転。旧舎は長良川沿いにあったというが、詳細位置不明。	G, II			
43	91071	福原山 弘光寺	廣口中 (山縣郡)	文明18年	淨土宗	文明18(1486)年。光宗智國が父の菩提を弔うために創建。			M5	
44	91072	大橋山 正蓮寺	三輪宮西 (山縣郡)	承暦4年	天台宗→ 真宗	治承4(1170)年。源氏の末裔である源内公とその子ら、山縣源 氏を率いてこの地に進軍。源内公は大河の畔に寺を建立して天台宗の弘 道に奉仕し、真宗功を建てる。元治元(1570)年、織田信玄と上石山 本郷寺との戦いの際、石山本郷寺で敗戦し戦死に至ったが、戰 陣場所方はずと判明しこの間に引き揚げた。この時の住職秀光 は、この戦いのものかの宿縁と、天文元(1573)年に天台宗から真 宗に転宗。大橋山正蓮寺を開いた。			L5	
45	91073	寺田山 円成寺	寺田 (方県郡)	14世紀後半 頃	天台宗→ 真宗	成立時期不明。安徳(應永2(139)年)役に開基。元は天台宗で あったが、3~4代目の間に真宗に転宗したという。かつては 七堂伽藍を有していたという。			N4	
46	91074	志賀山 妙法寺	八代 (方県郡)	不明	禪宗→ 真宗	天文2(1533)年。教円が淨圓(位置不明)に禪宗寺として創 立。1562年に真宗に転宗。移転時期不明。	G, II, I			
47	91075	蟹山 真龍寺	長良清水 (方県郡)	17世紀頃	真宗	明応4(1499)年。円慶創建。400年前に現在地へ移転したとの ことだが、移転前の所在は不明。	G, II			
48	91076	出雲山 明嚴寺	福光東 (方県郡)	応永19年	真宗	応永19(1412)年。淨範創建。本堂は躉尼震災時に再建されたもの である。	G		M5	
49	91077	聖德山 上宮寺	西野町 (原見郡)	貞和2年	真宗	貞和2(1366)年。善蔵創建。			M5	
50	91078	本願寺 岐阜別院	西野町 (原見郡)	慶長8年	真宗	准の岐阜延命寺に、慶長7(1602)年、小野木三郎を頭領道 某・井上善兵衛常春・土井某体良昌らが坊舎の創建を企てた。 准は、坊舎創建に関する万事を1000萬圓岐阜寺の姫命に委託する とともに、坊舎の後見役を命じた。翌8(1603)年。現地に堂宇が完成。	G		M5	
51	91080	梅廣山 安養寺	下土居 (方県郡)	享禄2年	真宗	源永は元禄2(1689)年に下土居に道場を建立し、源永の子水明 の時、安養寺の号を得る。寛文3(1663)年。安養寺の号を今井を 得る。			M5	
52	91084	今小路 祖宗教寺	曾我屋 (方県郡)	明応7年	真宗	美濃守義房に仕えていた曾我屋高光が、明応7(1498)年義房の弟 となり了善屋をも乗り、因幡寺を建立。その子了心が寺号を祖廟寺と改 称した。天文2(1533)年本堂を再建し、祖宗教と改称。			M4	
53	91085	經正山 船勝寺	村上町 (原見郡)	天文10年	真宗	天文10(1541)年。手府城主土岐義勝守下原山船勝別院定が 出生しては教秀と號して創建。			N5	
54	91086	白山 船勝觀音寺	西野町 (原見郡)	慶長8年	真宗	寺伝では、もとては比叡山にあったが10世紀に難島に移り、慶長 8(1603)年に01078本願寺岐阜別院ができる際に現在地へ移動し た。			M5	
56	91088	聖勝山 教寿寺	鏡島 (原見郡)	大正5年	天台宗→ 真宗	寛正年間(1460~1466)の大災で史料が消失したため創建時の詳 細は不明。寛政と齊衡を祀り、15世紀末に淨瓶が入寺したと 傳。天正宗から寺名真宗に転宗。元は日枝神社の北側にあった が、大正5(1916)年現在地に移転。				
56	91088b	教寿寺旧境内	鏡島 (原見郡)	寛正以前					M4	
57	91090	門南山 西福寺	島田西町 (原見郡)	不明	天台宗→ 真宗	成立時期不明。初めは天台宗で延宝院と称したが、葛葉が美濃 造教の折に廢依し、承永元(1232)年に淨瓶が入寺したと傳。西福寺 と改称した。土舟真宗に転宗した跡の創建は遅い。	G		N4	
58	91091	福照山 光明寺	石原 (山縣郡)	仙中世	?	寛文2(1662)年。01086觀音寺門の長前が開祖・創建とする が、寺伝によると淨土真宗に転宗したのが寛文2年であるとい う。転宗以前に6代まであったというが詳細不明。			M5	
59	91092	桑田山 法光寺	下野町 (原見郡)	慶長6年	真言宗→ 真宗	天正年間(1574~80)、若松村に開山した。大水2(1522)年に本願寺実 知に請ひし。寺主吉宗に転宗。かつての境内は長良川の対岸近くまで あったが、織田6(1601)年現在地に移転。谷汲街道の坂 の脇の宿場の役目を果たしていた。			M5	

表11 岐阜市寺院一覧表(4)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在施 (旧都名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査類別	分布 図
60	01093	寂照山 信淨寺	加納清木町 (厚見郡)	万治3年	真宗	応永22(1415)年(寺領では1500年頃)、初代源氏は横浜矢田郡谷上に天子堂を建てて御所とし、元うどん屋敷に住んだ。明応5(1496)年、寺は、元の天子堂の跡地に遷り、西門院と改め、元和2(1616)年に厚見御殿跡に一宇の堂を建立し奉ったが、慶永4(1627)年に了心が加納にこの場を建てるが、信淨寺と号した。その後、了惠が万治3(1660)年清木の地に伽藍を建立した。	G, I			
61	01095	中極山 慶應寺	六条東 (厚見郡)	貞永元年	天台宗→ 真宗	貞永元(1222)年、淨藏開基。元は天台宗であったが、淨藏の時代に真宗に転宗した。河野門後の一つ。			N4	
62	01096	龜池山 妙円寺	鶴屋西町 (厚見郡)	明応7年	真宗	嘉禄元(1235)年、三河の領主木上宮守通行が開基。佐久木上宮寺別院心光坊として、文政3(1820)年に大山に分院。明応7(1496)年に大山から現在地に移転し、慶永7(1630)年に妙圓寺と改称。現在地にはかつて天台宗寺があり、その跡間に移転してたとい。			N4	
63	01097	信樂山 真念寺	佐久間町 (厚見郡)	大正期	真宗	天文22(1553)年、鐵雲法師が郡上郡刈村方に創建・開基。宝曆元(1751)年、教宗の時に船橋郡芥見大領に移転。明治24(1891)年に、及び、大正元(1912)年の風にて本堂倒壊し、直後に現在地に移転。				
64	01098	河野 西蔵寺	菊池町 (厚見郡)	慶長年間	天台宗→ 真宗	始て天行で舟棺院と称し、厚見御殿跡(現岐阜市生駒の豪商町)に在ちた。貞永半期(1220~1230)に開基が木上宮庵で説法を行ひ、当時の住民西方坊主と號號に称し、河野西蔵寺と改められた。慶長年間(1596~1615)に、加納宿役より住い現在地に移転。	G		N4	
65	01098	西蔵寺旧境内	加納電町 (厚見郡)	貞永以前	天台宗	明応6(1497)年、數善教主の弟子の駿教が木上郡中村町に開基。しばらくして加納に移転し、第三次洪教堂の時に、現在地に移転。			N5	
66	01099	如意山 印得寺	木造町 (厚見郡)	不明	真宗	明応6(1497)年、數善教主の弟子の駿教が木上郡中村町に開基。しばらくして加納に移転し、第三次洪教堂の時に、現在地に移転。				
67	01100	慈日山 智覺寺	瓦森細柳町 (厚見郡)	不明	真宗	文明7(1475)年、成立。元は10112真宗の裏側に所在したといふが詳細な位置は不明。現在地への移転時期不明。	G, I			
68	01101	法性山 善應寺	加納御町 (厚見郡)	元和年間	天台宗→ 真宗	嘉慶2(1707)年(嘉禄元(1235)年とともに)、創建は法性で始て始め天台宗。義成天皇の御廟所として成立。以前は苯にあり、國道21号線バイパスの南にあったとも伝わるが、詳確位置不明。元和年間(1615~1622)、加納の街づくりのために現在地に移転。	G, H			
69	01102	林曳山 淨性寺	西園本郷 (厚見郡)	不明	天台宗→ 真宗	貞元1(1222)年、空齋により成立。始め天台宗で国性寺といひ、少し東の施設にあつたというが詳細な位置不詳。9代目住持の時に真宗となり。現在地に移る。転宗及び移転の詳細時期不明。	H, I, 石仏			
70	01104	興福山 覺應寺	長良 (方県郡)	文祿3年以 前	真宗	正慶2(1333)年、圓智妙法院により成立。元は川島町辻口にあつていつ移転したのか不詳だが、文政3(1820)年の太閤旗地図には現在地に当たる名前がある。				
71	01106	萬井山 円光寺	御松 (方県郡)	妙徳4年	真宗	明徳4(1393)年、創建により成立。圓智圓辰炎於境内の室宇が開壇し、匾額を縦小して題して替えたとい。	G		N4	
72	01107	寿楽山 明禪寺	御松 (方県郡)	明応7年若 しくは元和 8年	真宗	成立時期は明応7(1498)年とも、元和8(1622)年ともいう。正定が創建。			N4	
73	01108	大宝山 應生寺	木造町 (厚見郡)	慶長11年	真宗	天文5(1536)年、義秀により成立。數秀が松から門徒20余名と共に門に移住し、明星院に庵をかえたのが始まり(位置不明)。永禄10(1567)年、信長被説入城の時、寺号を歎生寺と改し。慶長11(1606)年、現在地へ移転し。三代目善通師の時、推如上より寺号を應り應生寺と改名。				
74	01109	田中山 江戸闇 顯明寺	河原 (方県郡)	昭和	真宗 →天台宗 →真宗	正應3(1290)年、圓明院了真が江戸の草庵尾形門院に六字の名号を授け、江戸守と號す。一代御守は、萬宗より天皇宗と号す。元和10(1624)年、天台宗の天台宗上人となり。約40年前の堤防の修築工事に伴い、現在地に移転。田畠内の詳確位置不明。田畠内備から刀と刀切と32(1957)年に発掘したが、慶長年間(1596~1615)年作成のもの。				
75	01111	小坂山 法勝寺	城田寺 (方県郡)	天承4年	真宗	大永4(1524)年、空齋により成立。元は園名寺末であった。			N5	
76	01112	眞谷山 眞宗寺	織屋 (厚見郡)	嘉禄元年	真宗	嘉禄元(1235)年、創建は法性。			N5	
77	01114	慈光山 淨安寺	西脇新所 (厚見郡)	明治時代	真宗	慶長13(1608)年、空齋により成立。以前は高桑(位置不明)にあつたが洪永で渡され、5代前の住職が明治簾に現在地に移転。				
78	01116	西光山 善應寺	清本町 (厚見郡)	貞永元年	天台宗→ 真宗	貞永元(1222)年、源正により成立。初め西光院と称し、天台宗。源が義経と聞えられ御殿格の御御殿を蒙り、弟子となり淨一真宗に転宗。河野門後の一つ。	G		N4	
79	01117	松原山 善應寺	長島呂戸 (厚見郡)	平明	真宗	仁治2(1241)年、比叡山延暦寺の権大僧都の善應が厚見郡井ノ口村に堂宇を建てて善應道場とした。善應は世善家の時水様の長火にかかる堂宇消失したため伊張伊勢町に避け、のち岩戸に移住。道場を善應寺と称め現在に至る。				

表12 岐阜市寺院一覧表(5)

番号	寺院番号	史跡	山院(院)号	寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、古樹	調査結果	分布図
80	01118	円應寺	神田町 (厚見郡)	慶長年間	天台宗→ 真宗	比叡山延暦寺の極大僧都の御園山で、上源納良園に勅使山法皇寺を建立したのが始まり。のち嘉禎元(1235)年、転坐して本廟寺と號り淨(清)泉坊の名をもつたが、慶長年間(1596~1615)に現在地に移り圓應寺を名乗った。	G, H		NB		
81	01119	松寿山 善福寺	千手堂北町 (厚見郡)	伝承保元 君しきは明 治6年	天台宗→ 真宗	成立時期不明だが、承保元年(964~68)とも明店(6(1497)年ともいいう。宗祖代または承元(1209)に真宗に転宗したものと思われる。			M5		
82	01120	紫雲山 玄觀寺	春ノ町 (厚見郡)	元和年間	真宗	明治年間(1492~1501)。弘蓮が御園に一宇を建立。6世正宗の 慶長13(1608)年、加納御園の地を借りて御園から移転。7世了 得の次と年間(1615~24)。天神町北側に寺地を購って移転。					
83	01121	市湯山 淨慶寺	切通 (厚見郡)	文明18年	天台宗→ 真宗	文明18(1468)年、正勝法皇の寺号を認める。天台宗の御院とし て創建された歴史は不明。以後正勝庵と称し、元和7(1621) 年、3世軒正導(軒教尊)のとき善福寺・寺号を継ぎ、淨慶寺と 号する。	G, H		NB		
84	01122	龜光山 福氣寺	西鶴 (厚見郡)	大永4年	真宗	大永4(1524)年、淨西園基により成立。法藏坊と称した。	G, H		N4		
85	01123	風雲山 西勝寺	西莊 (厚見郡)	大永3年 君しきは 17世紀頃	真宗	教義寺の六世祖了然(天和元(1081)年の二月出生)が、市橋郷に あつた慶慶寺を復興してここに住んだ。これが西勝寺の起源であ る。大永3(1523)年に西船が創建したという説もある。	G		N4		
86	01124	和光山 普賢寺	高柳町 (厚見郡)	慶長5年	真宗	永正7(1510)年、正了創建。以前は岐南町(01126)寶實寺旧庭 内にあったが、慶長5年(1600)年、織田家の家臣林基衡内の部 隊である現在地に移転。			M5		
87	01125	江口山 善教寺	東島 (厚見郡)	不明	?	成化時代不明だが、復興時代に伝道が真宗に転宗。以前の宗派 は不明。実は江口にあったが、水引出までの現在地に移転。移 転時期不明。					
88	01126	利生山 法久寺	長良 法久町 (方県郡)	寛文13年	?	貞永元(1232)年創立。寛文6(1466)年、正運が真宗に転宗し利 生山法久寺へと寺号改称。寛文13(1673)年、現在地へ移転。					
89	01127	今泉山 真應寺	島栄町 (厚見郡)	不明	真言宗→ 真宗	伝承によると、元は真應坊といい、懶因時代に土淨真涼が転坐した といふ。懶因や転坐の詳細は不明であるが、転坐した時 の住職が山中飯被で亡くなつた。その無住住だったが、真應寺の 恩賜として再興。真應寺に変わつたのは昭和期である可能性 がある。	G		M4		
90	01129	浮華山 安養寺	又丸 (方県郡)	明治10年	真宗	成立時期不明だが、尾張国伊那新勤兵割が石合戦での武功に より尾張から阿波守加来の御影像を受けた。方県郡小幡村で戸 門智滿(戸門智滿)が先祖晋のための墓を建立し、天正8(1570) 年小幡安養寺の寺号などを下附。もと合濃村一丁市町にあった が、明治10(1877)年現在地へ移転。大正9(1920)年浮華山と改 めた。					
91	01130	妙光山 影度寺	正木 (方県郡)	不明	真宗	正永元(1091)年、足利源氏肥前守性通(豊後守)木村(寛利昌氏) に在住。その後、膳田信重の兵火に巻き込まれたが、吉備国人 源氏が現在地へ移転して復興。移転時期は不明。寛文年間(1661 ~73)源可が開基という説もある。					
92	01131	慈照山 尊崇寺	中西部 (方県郡)	文安2年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明だが、文安2(1445)年に01128善教寺住職宗宝が此 地に隠居し、専崇帝と号して善教寺の隠居寺となつた。その後 文明年間(1469~1487)善教寺と共に真宗となり。尊崇寺と称 した。			M4		
93	01132	白雲山 法光寺	雲山 (方県郡)	不明	真宗	文政16(1823)年、近江彦根に成立。道秀が実跡から寺号法光 山を認めた。大永2(1522)年、方県郡下濃光難に御園に一宇 を建立。のちが寺号に改められた。雲山の雲一帯に本城根山の御園で再 建後、七世御龍が創建した。のち洪武で市場へ、更に日本で復 在地に移転。					
94	01133	般若山 教應寺	西改田村前 (方県郡)	慶長7年	?	大和国の歌瀬寺は行基が開基し、本作は其作の阿弥陀如来像で ある。天正10(1582)年に本作が開基され、天正11(1583)年に御園の御 淨御本尊を捧げて当時の山田隆善を頼った。そこで山田隆善 を継ぎとして御園御尼原一平を建立。文安2(1444)年、真宗 に転じた。慶長7(1602)年現在地に移転し「教應寺」から「教 應寺」に改称。			M4		
95	01134	清水 圓應寺	木田 (方県郡)	明治7年頃	真宗	創建初期、明治7(1874)年。源如が正木御寺へ寄られる途中こ の地に立ち寄り、川の水を飲まれたが、水がありにもおいしかった からそぞうで縁より清水圓應寺と稱に書き。福相和尚に譲りて 渡したという由来がある。			M4		
96	01136	石谷山 正服寺	石谷 (方県郡)	明治~昭 和	真宗	寛文2(1662)年に寺号を受けた。かつては現本堂裏の一段高い 山腹中にあったが、明治~昭和の初めごろに山が当たって危険 であるため現在地へ移転した。天正元(1573)年勘定が創建という 説もある。			M4		
97	01136	正應寺旧境内	石谷 (方県郡)	天正元年							

表13 岐阜市寺院一覧表(6)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在郷 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
98	01137	安善山 佛心寺	木田 (方原郡)	承応3年	真宗	大永3(1523年)、教善の創建で長福寺と称し、現在より300mほど北へ移転。慶長10(1605)年高野加賀の源氏御守代を下駄に現在に至る。現在地に寺が移されたのは承応3(1654)年、享保元(1716)年改称佛心寺と改める。	5			
99	01137b	佛心寺旧境内	木田 (方原郡)	大永3年					M1	
100	01138	觀音山 福満寺	石谷 (方原郡)	天文10年	真宗	天文10(1541)年、正木村山田善助が金券を創出し正木坊といた。長慶15(1610)年、薄上加藤貞壽は城下繁昌のため、正木より黒野町に移転。この移転は正木院が水を受けていたのが原因の一つともいわれる。移転後は馬鹿坊舎、黒野禰坊と呼ばれた。寛永9(1632)年、光祖院の寺号をうけ正木にあった当場の管理もした。しかし、光祖寺と黒野禰坊(01372)の区別がつかず、明治10(1877)年分離。	6, 8		M1	
101	01140	鶴持山 光順寺	黒野 (方原郡)	慶長15年	真宗	天正5(1577)年、正木村山田善助が金券を創出し正木坊といた。長慶15(1610)年、薄上加藤貞壽は城下繁昌のため、正木より黒野町に移転。この移転は正木院が水を受けていたのが原因の一つともいわれる。移転後は馬鹿坊舎、黒野禰坊と呼ばれた。寛永9(1632)年、光祖院の寺号をうけ正木にあった当場の管理もした。しかし、光祖寺と黒野禰坊(01372)の区別がつかず、明治10(1877)年分離。				
102	01141	西輪山 尊長寺	墨野 (方原郡)	慶長15年	真宗	文明元開(1469～70)木田町の山田小郡重久(法名重正)により成立。山号は西輪山と称し、文永17(1520)年寺号を尊長寺と改め、慶長15(1610)年、墨野城主より墨下町の繁昌のため移転を許諾する。黒野禰洞門に移転。				
103	01142	弘仁山 供奉寺	本荘西 (河尻郡)	平明	天台宗→ 真宗	貞永元(1222)年、足峰により成立、始め天台宗、新羅僧聖が開基。足峰の前に通じし、淨・真言宗に転化。最慶初(1230)年山道の開拓のため黒野八幡神社(新羅)にあったが、豈恐切れの荒廃され。小高い寺で止まるから、ここに地蔵堂(たどりの堂)といわれる。	6, 8, I		M1	
104	01142b	供奉寺旧境内	西島町 (河尻郡)	貞永元年	真宗				M1	
105	01143	圓真山 金剛寺	多喜長山 (各務郡)	文政11年	天台宗→ 真宗	長禄2(1458)年、足見により成立。古くより足見長山にあったが、文政11(1828)年、01151真輪寺住職の善勇山が当山に移住して金剛院を再興。金剛院寺境内からは、文永9(1227)年銘の石塔1座、善勇古土器多数が昭和11(1936)年に発見され、長巻山東方に出土したから、ここに地蔵堂といわれる。				
106	01144	青龍山 丸山寺	山県北野 (山梨郡)	宝暦13年	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗。本郷郡北方村西寺町に帰依したが中絶。天正3(1575)年、寺住持の山内廣義と寺住持の山内尚典と称す。尚典とは山内尚典の別名である。山内尚典は山内尚典の孫山内尚典(1633)年には寺住持となつたよう。宝暦13(1763)年、菅原が現在地に移転再建。天保2(1831)年西本願寺直末となり、青龍山丸山寺となる。			L6	
107	01144b	丸山寺旧境内	山県北野 (山梨郡)	天保3年以 降	真宗				L6	
108	01145	聖正山 正福寺	東川手 (厚見郡)	不明	天台宗→ 真宗	延文元開(1356～1361)(貞和元開(1346～1350)や文和2(1355)年とも)。土岐親康建立。聖子府守要域城、城北に一大伽藍を建立して聖正山正法寺(01145b)と名付け、城統一族寺とよばれ。土岐親康の子土岐頼宣が正法寺の住持となり、正法寺の住持を土岐頼宣寺と十数ヶ寺があった。その後純にした正法寺の後継者が寺号を承継して正法寺と改めた。第三世善理・幸寺を正届寺と改む。天文11(1542)年菅原善勇の孫善城攻没の際に莊所を失ひ、直ちに再建したが、永祿10(1567)年信長の兵火にかかる。翌年再建。正法寺寺領は現在住宅であるが、岐阜清美高等学校の南西に聖御堂がある。			N5	
109	01145b	市 正法寺旧境内 (正法寺跡)	聖御町 (厚見郡)	14世紀後半					N5	
110	01146	森嶽山 正運寺	岩利 (力無郡)	不明	真宗	創建年代は天正10(1582)年、淀西によるが記載が撲滅し詳細不明。さて、淀西か岩利か東山の山間に境内にあったと伝うが詳記定説や移転説は不明。岩利城の保護を受けたため、旧跡は現存せず改めて、その後純にした正運寺の後継者が寺号を承継して正法寺と改めた。第三世善理・幸寺を正届寺と改む。天文11(1542)年菅原善勇の孫善城攻没の際に莊所を失ひ、直ちに再建したが、永祿10(1567)年信長の兵火にかかる。翌年再建。正法寺寺領は現在住宅であるが、岐阜清美高等学校の南西に聖御堂がある。				
111	01147	華林山 最乗寺	寺田 (方原郡)	永禄9年	真宗	永禄9(1566)年、郡上郡富の見賀郡共農祐祐は大和国奈良華林院に入り、後木本寺道顕に師事してこの地に寺を創建したという。額扁も祐祐と伝わる。			M1	
112	01148	巌后山 圓照寺	織前 (厚見郡)	平明	真宗	天文4(1535)年、道照創建。以前は手力駿の北にあったが、跡地位置不明。また巌后堂の御厨如来は、手力神社に開祖する仏像である。				
113	01151	圓照山 圓照寺	君畠東 (各務郡)	寶文12年	天台宗44 淨土真宗→ 真宗	圓成寺二坊の一つ。天平13(741)年、聖武天皇の勅願で圓照寺として創立したが位置不明。建保伊豫守(1213～1219)小島太郎重俊が再建。後醍醐寺とある。仁治2(1241)年23代住職が淨土真宗に転向。文明2(1470)年まで天台宗と真宗を交番に転向。慶長6(1601)年小野寺・池田辯(位記不明)に慈惠を贈り。元和(1616)年菅原善方が移転再建。正保3(1646)年圓照寺圓照院と称す。これは圓照院の御厨如来の御名の由りにあつたらしく、詳記不明。寛文12(1672)年復在に移転。往古より六所神社の社寺であった。	6			
114	01152	弘誓山 明導寺	下尻毛 (方原郡)	文龜3年	真宗	文龜3(1503)年、開闢名の末寺として現在地に教祐創建永禄(1566)年、開闢寺から独立して妙真寺と称す。やがて明導寺と改称。			M1	

表14 岐阜市寺院一覧表(7)

番号	寺院名	史跡 番号	山(園)号	所在地 (田郷名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、蔵構 調査結果	分布 図
115 01153	高寶山 尊志寺	長良 (方郷郡)	長良	天文2年	真宗	天正2(1574)年。善正創建。		M5	
116 01154	慈光山 明淨寺	黒野 (方郷郡)	黒野	慶長2年	真宗	開基は吉原(古田信道)。慶長2(1597)年当時に像を創建し、阿弥陀三尊坐像を安置した。寛文5(1665)年清瀧の時、本願寺板 知光常より本木と明淨寺の寺号を受けた。		M4	
117 01155	大円山 圓慶寺	中鶴 (厚見郡)	中鶴	平明	天台宗・真 宗	成立時期不明。昔は五藏院といひ、天台宗と真言宗の両方の道場 であったが、圓慶院(1650)年に真宗に転じし。大円山圓慶寺と 改号する。01184萬福寺の東北側に深瀧町境内があり、石塔群 が安置されている。		N4	
118 01156	圓慶寺跡境内	中鶴 (厚見郡)	中鶴	古代～中世			G, II	N4	
119 01156	川並山 圓慶寺	日置江 (厚見郡)	日置江	寛永9年	真宗	大永3(1523)年。西畠開基により成立。寛永9(1632)年以降に 現在に移転。火災に遭い史料喪失のため、移転前の状況不 明。27026永倉寺の末寺であった。			
120 01157	龜兎山 光榮寺	次木 (厚見郡)	次木	大永3年	真宗	大永3(1523)年。正詳により成立。寺種の圓慶寺の遺跡であつ たといが、現在寺種に圓慶寺という寺はない。天明6(1788) 年江戸城から光榮寺に改称。一般には天明5(1785)年に寺守の 寺号を許され、翌年に光榮寺となつたという。		N4	
121 01158	碧江山 善了寺	日置江 (厚見郡)	日置江	大治年間	天台宗→ 真宗	大治年間(1576～31)に善了寺を創立し。善門院と称した。始め天 台宗。文明10(1478)年に真宗に転じし。善了寺と称せ。一般に は、大永3(1523)年創建とある。	G	N4	
122 01160	易行山 嚴安寺	下条良 (厚見郡)	下条良	天正元年	真宗	天正元(1573)年。正西創建により成立。	G, I	N4	
123 01161	一色山 上宮寺	前一色 (厚見郡)	前一色	自永元年	天台宗→ 真宗	貞永元(1522)年。光教(宝光とも)も傳承。始め天台宗。倉倉～嚴 安寺時に至る五輪塔が残してゐるので、この時代からあった とする。また、天正元年初期に寺を上宮寺と改め、本尊本木を安置し ている。船岡妙法不眞。永禄2(1559)年から15代続いているこ とは確かである。	G, II	N5	
124 01162	圓海山 圓音寺	加納南園町 (厚見郡)	加納南園町	天文19年	?	天文19(1550)年。専修創建。慶長6(1601)年転宗。		N5	
125 01163	一重山 圓覺寺	大門町 (厚見郡)	大門町	平明	天台宗→ 真宗	應永2(1562)年。愛知県清洲に成立したと伝う。現在寺への移 転は吉原不眞だが、天文5(1536)年。智教が当寺に播在したの ところが真宗に転宗。本堂に天台宗の名残が残る。	G		
126 01164	圓了寺	圓了寺 (厚見郡)	圓了寺	中世	天台宗→ 真宗	成立時期不明だが、天台宗として11代続き。天文6(1537)年に 了顕が船宗。		N4	
127 01165	淨応寺	市橋 (厚見郡)	市橋	天文2年	真宗	天文2(1553)年。圓法により成立。		N4	
128 01166	市橋山 圓音寺	柳津町 下佐波 (厚見郡)	柳津町 下佐波	慶長6年	真宗	成立時期不明だが、船宗天台宗で、香林坊と云ふ。應永6 (1406)年6月19日に佐波正圓寺より分寺として舟上真宗となり。元の ように舟住寺と称した。秀応3(1653)年木本安房を許可。願主 は柳津町内である。天和2(1682)年寺号を圓音寺と公算許可。		N4	
129 01167	風爐山 法源寺	西村木町 (厚見郡)	西村木町	18世紀	真宗	永禄7(1564)年、森藤家臣の屋敷地が香林坊圓音寺城下、法源 坊と風爐寺の名をもつて、井本用之に風爐寺を建立。元和3 (1617)年本堂再興と圓音寺が併せて、正保2(1646)年開成。 寺号を風爐寺から法源寺に改名。寺伝によると、元々規模 内と隣境にあつたが、江戸時代に真光寺の隣に移り、18世紀に 再び在地に戻ってきた。		M5	
130 01168	東光山 圓勝寺	高森町 (厚見郡)	高森町	明治時代	真宗	天文3(1523)成立の神戸町27023圓勝寺と同寺であったが、明 治初期に分家し、圓勝所として現在地に創建。			
131 01169	水手山 圓正坊	大門町 (厚見郡)	大門町	寛永年間	真宗	天文2(1573)年成立。阿野門後の一つ。当初細部にあり、寛永 年間(1624～1644)に移転。寺伝では、以前は金華山の森(水手 口)にあったという。			
132 01170	白龍山 圓福寺	加納天神町 (厚見郡)	加納天神町	元禄13年	真宗	成立時期不明だが、始め天台宗。明治3(1860)年。智教の時、 加納上に移転し、真宗に転じ。正保4(1511)年、丁正が厚見郡 圓福村に一字を建立。慶長8(1603)年、丁正が厚見郡圓福木屋 敷へ移転。寛永15(1638)年京僧が厚見郡下加納へ移転し。圓福 寺号を賜つた。元禄13(1700)年東天神町へ移転。	G, II, I		
133 01171	月影山 圓福寺	葛田町 (厚見郡)	葛田町	天文13年	淨土宗か? →真宗	天文13(1544)年。証如が空了に「方便法要尊像」を御本尊とし て下付され、「圓福院圓福寺」を建立。慶長5(1600)年圓福原合 院の開創と圓福院の開創とが記載される。圓福院をうなづく江戸時代西尾 氏の別称圓福院寺となつた。元和6(1620)年木造圓福像が下付され 寺号許可となつた。寺伝では、以前は淨土宗で千葉から移転し 可能な可能性があるといつ。	G, II	N4	

表15 岐阜市寺院一覧表(8)

番号	寺院 番号	史跡	山(城)号 寺院名	所在郷 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
134	01172	大曾山 尊福寺		加納新町 (厚見郡)	寛永年間	真宗	嘉祐元(1235)年。觀音堂上人添の郡。尾張國栗葉郡木瀬村の河野四郎通翁が嫡孫として弟子となり専称と号し、郡中に供養堂を建てる聖人の真影を安置する。文治2(1170)年。湛如は河野の専称坊を再興し、觀音堂入道像及び聖教をもして塑像作成とした。天文15(1416)年。石川義親が開基した。元和2(1616)年。本尊は阿彌陀如来(1576年)。石川義親が住職に任命が輶叙し、正三司に移籍。正木御坊と改す。時長(1581)年。円城寺に移転する。圓城寺も御坊として寺号を承継。慶長元(1596)年。火災により消失し厚見郡川手村領下に再建。慶長5(1600)年。岐阜城落成の際に各郡新加納の豪族并内蔵の家に置かれ、真宗の宗廟を祀り與え。寛永甲年間(1624~47)に現在地に移転。阿門門徒の一つ。羽島市0025竹鼻別院は、江戸時代に寺号を称しておらず、本寺は以前は同じ寺であった。河野御坊の後身寺。			
135	01173			長良 (方県郡)	元龜年間	天台宗→真宗	寛弘7(1010)年。惠心僧都が廃寺赤坂廬に今を建てて紫光山來寺と寺号す。始め天台宗。嘉祐元(1225)年。心豈が寺号を河野御坊として改称。弘長2(1192)年。真言真性寺第1世住持となる。正治年間(1288~1293)年。本施院の本村に移転。5世住持が河野御坊と改められ、御坊が力多賀御坊守代人御気守と改む。元禄年間(1617~1673)8世住持の時長良が現在のような流れとなつた時、現在地に移転。		N5	
136	01174	大功山 舍利院 善行寺		善人尾町 (厚見郡)	明徳元年	真宗	明徳元(1390)年。太閤御坊が奥地に草庵を結んだ。永享元(1429)年。善行寺と改称。7世中岡の祖圓清、圓ヶ原の願いの後に山号を大功山と称した。		N5	
137	01176	寶源寺		日野東 (厚見郡)	宝仁2年	真宗	宝仁2(1248)年。是松開基により成立。		N5	
138	01177	後瀬田院 御中山 淨土寺		篠谷町 (厚見郡)	永祿年間	真宗	もとは伊勢長島唐鏡媛村にあったが、永祿年間(1568~70)に燒失し、後に岐阜へ移転した。		N5	
139	01179	白鳳山 淨安寺		中大桑町 (厚見郡)	慶長6年	真宗	觀応元(1338)年(應永2年とも)。伊勢長島のカロフト崎に明闇が創建す。天文14(1545)年。厚見井ノ口長井刻に引被し、天正12(1543)年早朝に移り、慶長6(1601)年現在地に移転。當時は井ノ口總願寺といい号はなつたが、後に寄合寺と号を許さる。	G	N5	
140	01180	永樂山 西夏寺		吉津町 (厚見郡)	天文20年	真宗	大永4(1524)年。尾州蘿原郡大賀郷に空心が創設。のちに厚見御諸頭へ移転し、天文20(1551)年に現在地に移転。		N5	
141	01181	聖慤山 光澤寺		権律町本郷 (厚見郡)	慶長11年	天台宗→淨土宗 →真宗	今仙に薦古天佐6(598)年。聖慤太子が安房新羅のため当寺を建立といふ。太子の子孫が寺号を承継する。6世法師であるといふ。その後伝大師傳教の御法師吉田に移り、續天1(1572)年。慶元(1535)年。舟上宗に転没。光澤寺と称し奉納する。当寺現寺地に西岸城があり。当寺今は西岸律院(一ヶ城)(位置不明)にあつた。天文2(1573)年。信長の兵火にかかる。慶長11(1606)年、現地に御転移。			
142	01183	台輪山 觀念寺	西莊	(厚見郡)	慶長7年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。始め天台宗で地藏院と称した。八町四面の寺域と知覚をえある半羅(不二社)・覗(八重神)を守護として皇太子像を安置し、伏生の道場として栄えた。慶長7(1580)年。了水法師の真宗に帰依し、正応2(1289)年に転宗。寺号は實林坊とす。慶長9(1604)年。現在の御木像本尊と台輪山觀念寺の山号寺号を承認する。		N4	
143	01184	二ツ寺 萬賢寺	中善	(厚見郡)	治承年間	天台宗→ 真宗	成立時期不明だが、かつては傳右衛門坊と称した。泊承年間(1177~1181)序章の寺号は觀音院と称す。了水法師の真宗に帰依する。追迹が真宗に転属(寛仁2(1660)年追出御坊ともいふ)。中興道元二ツ寺の号を下附され、二ツ寺萬賢寺と称す。		N4	
144	01185	普照山 正藏寺	水庭道	(厚見郡)	貞永元年	真宗	貞永元(1232)年。觀音の弟子尊信開基。草薙18(1733)年。中善の僧尊信が正藏院に改め。明和(1842)年正藏院と改める。口伝によると、古来古よりあったというが、本寺ではないかといふ。貞永元年(1231)上官寺の創立と同年代。吉文書にも上官寺との關係交換がある。	G	N5	
145	01188	大谷新岐阜別 院	大門町 (厚見郡)		寛永元年	真宗	慶長年間(1596~1615)。各務原市新加納の旗本内細田氏が、陣屋近にに建立。寛永元(1624)年。在在地に再建したのが、東別院の歴史である。圓城は宣如。東別院と称す。			
146	01190	川北山 尊嚴寺	夷部寺銀鑿	(厚見郡)	不明	真言宗→ 真宗	成立時期不明。以前は郡上にあった。元仁元年(1221)真宗に転宗。墓地に真言宗ゆかりの八角塔がある。郡上からの移転時期は不明。	G, H, I, 八角塔		
147	01192	御殿山 了福寺	中善	(厚見郡)	文明3年	真宗	文明3(1471)年。了明により成立。美平坊と称した。		N4	

表16 岐阜市寺院一覧表(9)

番号	寺院番号	史跡	山川名	山川号	所在地 (別称)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構 調査状況	分布図
148	01193	宝鏡山 高光寺	中大桑町 (厚見郡)	慶長8年	真宗	天文11(1542)年、海賊が尾張御所三郷村に擅有・創建。尾張七 宝巣鷦鷯寺(天正16(1588)年、源氏長田と高須第三が会食した寺 として有名)の末寺。武田義徳は本寺奉持を許された。慶長8 (1603)年、明照院の豪華堂式の尼敷跡である当地に移転。			W5	
149	01194	華光山 正麻寺	柳津町 上佐渡 (厚見郡)	文政元年以 降	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗で大正寺と称す。貞永元(1232)年に 土佐守宗良に転じる。正麻寺の寺号を得る。前院は大寺(今村(01194) で、文政元(1868)年水害により破壊。大正寺由来の大正橋が復 修するが、周囲は宅地であり位置が変更。	G, I		N4	
150	01194b	大正寺	柳(厚見郡)	貞永元年以 前						N4
151	01195	桑原山 善寶寺	柳津町 高名 (厚見郡)	正保2年	宗祇不明→ 真宗	明治元年(1868~1870)、西側にりや伊勢守名長昌齋船津江村 に遷寺改修。天正16(1588)年、柳津領主の高須三郎左衛門(今 村(01194))が柳津守正麻寺の修業僧の住乞が土佐真宗に転 じて善寶寺と改められ、木額を中興開基と定めた。延喜2 (1645)年高桑村に移転。	G			
152	01196	應瑞光 山等光寺	柳津町 上佐渡 (厚見郡)	明治2年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗。明治2(1869)年、空翌が土佐真宗 に転じし、中興開基。安芸八幡宮宿泊の福壽寺の末寺であったが元 禄年間(1688~1704)廃寺。	G		N4	
153	01197	大乘山 通鑑寺	柳津町 上佐渡 (厚見郡)	弘長2年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗。弘長2(1498)年、了義が真宗に転 じて通鑑寺の寺号を得る。	G		N4	
154	01198	太子山 上宮寺	大門町 (厚見郡)	弘治2年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明(01077上宮寺の成立は貞和2(1346)年)、始め天台 宗で擴充加藤市山の種姓にあった。弘治2(1560)年、01077上宮寺 と2つに分かれる。本寺は長男であったが、本家(01077上宮寺) が頼いた。移転時期不明。				
155	01199	薬黃山 大寶寺	山県北野 (山縣郡)	明治9年以 前	天台宗→臨済宗	成立時期不明、始め天台宗であったという。東海製玉酒門下の 年、玉浦開山、繁賢と美作守(近江)重開山。天正16(1588)年、 柳津領主の元伊勢守正麻寺の高須三郎左衛門と、それ の娘の頼乳と、元伊勢守の柳津領主の高須三郎左衛門の娘の 院広院とおまかれて、その子孫養庵、南風谷の院、院宣房、 院法門、院月庵、梅月庵、院松庵、三聖庵、幽林庵、法泉庵など の14坊が學業として修業にあられたが明治に廃経すばて 廃された。	G, II		L5	
156	01201	福圓山 顯教寺	岩田町 (各務郡)	昭和35年	臨済宗	成立時期不明だが、始め上石町(01201b)にあり、今では寺 跡尊慈草堂(ひむねわらわ)と七堂伽藍を備えたといふ。慶長5(1600) 年の旦に焼失し、現存のものとみられる。大慈元貞(大圓寶圓國師) が元禄4(1691)年に新建(元禄3年とも)。名神在道道路建設に 伴い、昭和35(1960)年岩田町に移転。				
157	01202	赤唐山 阿彌寺	東島 (厚見郡)	不明	真言宗→ 臨済宗	同寺の山峰に「一臥雲は天平13(741)年行基菩薩圓鏡の跡に是 處御前御前御前より各寺七堂の山中央の一軒にして舟舍と号す と。文明開基(1669~70)の頃は真言宗。其後兵火にて燐滅、 天保元年(1830~41)天保中興開基の御前院。永承元貞(赤唐山阿彌寺) (1556年)の御前院は御前院立後御前院長公山和泉守清と號して圓山御 院」と伝わる。土岐、善鑑家の縁故所で越後守源朝が御前院 印十石をなえられた。	G, B, I			
158	01203	金光明 羅經寺	寺町 (厚見郡)	応仁元年	臨済宗	御前院、圓山の羅經院は、応仁元(1467)年善鑑妙抄を詔ねた が、途中の山に天子の旗(天子旗(厚見町))をおこることを知り、神櫛行 進にしていと伝した。神櫛博士被成の善鑑を手して同院に 建立し、標榜を上圓山す。圓山には、01201鶴鳴院、01240圓 院、01254臘月院、01259羅經院、01239圓鏡院、01245圓覺 院(大澤)、01260臘月院、01368圓徹院の8ヶ院あり。慈勝の弟 がそれぞれ創建。	G, H, I		W5	
159	01205	福甲山 乙津寺	篠島中 (厚見郡)	弘天平10年	真言宗 →臨済宗	天平10(738)年、行基が十一面觀音の像を刻し、これを安置する ため十一面建てたもの始まるとも伝う。弘仁4(813)年、空海が 訪れる。衆の教化によつて、大いに聲揚を興す。天文2(1533) 年、石高の文部省と通じた。元伊勢守の高須三郎左衛門の 寺の子孫をもつて、後に元伊勢守の高須三郎左衛門(元伊勢守高 須)と號する。十二坊は廉尊院、延喜坊、法圓院、法覺院、圓 覺院、心光院、定樂院、東塔院、法知院、慈壽院、寅生院、櫻 木院がある。	G, H, I		N4	
160	01206	普光山 圓福寺	長良真福寺 (方県郡)	弘天平10年	天台宗 →臨済宗	圓福寺と称する寺があつたことから地蔵が残り、現在は後圓 福寺と云ふ。今に残る圓福寺は、天平10(738)年~11(739)年宇摩久 次第に高須七堂院と具合云々とは天平3(795)年天平開基の御前院大法師 元子三郎頭頸、天平2(761)年圓福寺と合戦の御前院大法師元子三 郎頭頸と云ふ。十二坊は廉尊院、延喜坊、法圓院、法覺院、圓 覺院、心光院、定樂院、東塔院、法知院、慈壽院、寅生院、櫻 木院である。			W5	

表17 岐阜市寺院一覧表(10)

表18 岐阜市寺院一覧表(11)

番号	寺院番号	寺名	山(國)号	寺院名	所在郷(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査結果	分布図	
171	01229	般若寺	微島(厚見郡)		永禄5年		臨濟宗	永禄5(1562)年、権杖主秀徳山。普陀院如意を本尊とする寺があったが、やがて移り、その寺の軸は移されたため龍藏院法燈が選出した時しばらくこの寺に移したが、後又他の地に移した。三つ目で延暦寺は名古寺の鬼門除けのために建立したが、これのみ今まで残存したものであると伝わる。01205乙津寺境内にあり。かつては乙津寺の塔頭であったとい。			N4	
172	01234	福勝山萬壽寺	勝利(方原郡)		建徳2年もしくは永2年			臨濟宗	永和2(1376)年(建徳2(1371)年とも)、無文元選(普辯)が沿岸に創建開基し、遷移を避けるために常に木舟を積み、山を梯場とし舟を笠を戴き舟舟と称し、要塞山來を守護した。享元(1664)年、即ち舟を中興復基した。現在は宝室なく、毘沙門。			M5
173	01235	香林山圓通寺	加納裏平町(厚見郡)		慶長6年			臨濟宗	慶長6(1601)年、月船が開山し、久昌山増福寺を承う。安平信昌、鬼束、三州作城より加納の新境に移住したが、前時地にあった御平家菩提寺の僧院等を当地に引いて寺を建てた。承応3(1604)年、香林山圓通寺と改める。延宝8(1680)年万元長院が再興願いを出した。		G, H	N5
174	01237	釋迦山天衣寺	野一色(厚見郡)		永正元間			臨濟宗	永正元(1504~21)年、仰曉により成立。天正元(1573~92)年兵により破れし、廢亡。その後、元和元(1615)年、遷国後の門徒が、大師典とを以て、武昌寺部兵衛と協力して創建、これを中興すると。天保8(1838)年に焼失し、天保12(1842)年に再建する。			M5
175	01239	金寶山雲霧院	今町(厚見郡)		永正2年			臨濟宗	永正2(1505)年、寿岳宗彦が開山であると伝わる。勃端を私に託す御遺跡御跡という。01203蘿叢寺の塔頭。		G	M5
176	01240	雲霧山雲泉院	三田瀬東(方原郡)		29世纪			臨濟宗	浮石により成立。寺伝によると、創建は慶長年間(1596~1616)年。岩が雲霧院に倒れ、後に雲霧院内に移転し、10年前に復位に移転。		G, H	
177	01241	金葉山大聖寺	栗野(方原郡)		7世紀末	?		?	文龜2(1192)年に上姓氏の外遇によって宗祇寺に仏化し、法傳が中興、創建したとい。天正元(1573)年から29侯領宗祇の法傳供詔が発見し、宗祇5(1576)年11月に以て、浮石玄佐が粗相賀一修の外院によって、慶長年間(1596~1616)年に再興。寺伝によると、この寺は持統天皇の年代(687~697)、国家鎮護のため創建されたとい。			M5
178	01243	雲霧山圓淨寺	太郎丸(山縣郡)		天文年間			臨濟宗	天文年間(1532~55)、玉智が創設。文祿2(1593)年、太郎丸城主(荒尾重政)を祀り、普提寺へなった。延宝4(1676)年、浮石が古跡を守り再興する。延寶寺で尊むる菩薩は圓淨院時よりも古く、建武天皇時代の作で、かつてその付近に存在した龍遊堂に奉られたものである。		G, H	M5
179	01244	大雲山龍興寺	梅林(厚見郡)		明治11年			臨濟宗	豊後國(1577~73)が開基し、龍光院と称した。崇禎元(1655)年に、大雲山龍興院跡に大雲山龍興院を開創。宗祇所院中興開基。延宝11(1683)年、梅林の現の地にて移転する。龍光寺については豊後國不詳。			
180	01245	金寶山天澤院	今町(厚見郡)		永禄元年			臨濟宗	永禄元(1558)年、天瑞和尚が開基・修理し、圓應庵と称していた。享和2(1801)年に名を改め天澤庵とした。01203圓應寺の塔頭。		G, H, I	M5
181	01246	雲霧山成寂寺	伊奈波浦(厚見郡)		慶長元年			臨濟宗	慶長元(1596)年、是ニ法師が創建した。承応2(1653)年01208栗原より浮石上院と改稱して龍寶院に改名。安永2(1773)年興徳より浮石上院を開山に請して法華舞を興し、以東宝徳院改名して今日に至る。			M5
182	01249	金寶山開善院	今町(厚見郡)		文龜元年			臨濟宗	文龜元(1591)年、御宗宗松が開創。雲霧寺の榜所である。01203圓應寺の塔頭。		G	M5
183	01250	應方山圓空寺	木造町(厚見郡)		元和元年			臨濟宗	應方國源氏が天台宗の南寺に父兄の冥福を祈り、普提所として千手觀に依頼し、慶長7(1602)年大應方圓空が開創。元和元(1616)年、圓空圓滿が複数地に移転。享保年間(1716~36)に内斬し廃寺となつた。			H
184	01252	臨濟山大宝寺	大宝町(厚見郡)		永禄5年			臨濟宗	明応3(1494)年、吉野妙誠が郡上郡大宝村に大宝寺を建立。興徳院が開山。30世子所開院の時、圓應庵圓滿の帰依を受け。永禄5(1560)年、圓應院が創建した。興應庵主の菩提寺であつた龍首寺の本尊を祀る。			N5
185	01253	高桑山慈惠寺	横野町高桑(厚見郡)		永禄元年			臨濟宗	永禄元(1558)年、雲外が創建。文祿2(1593)年尼姑多羅院圓門大寺主十世實相が開創した。高桑城主の菩提寺であつた龍首寺の本尊を祀る。		G, I	N4
186	01254	金寶山雲泉院	今町(厚見郡)		天文8年以降			臨濟宗	天文8(1580)年、御宗宗松が01203圓應寺の東南の地に創建開基し、圓應院と称した。その後内に移転され、圓應院と改称した。『今院明細帳』では、永祿2(1559)年に既に創建したとしている。		G, H, I	

表19 岐阜市寺院一覧表(12)

番号	寺院番号	史跡	山(里)号	山(里)号	所在郷(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査點数	分布図
187	01255	星池山	慈照寺	大門町 (厚見郡)	永禄11年	臨濟宗	永禄11(1568年)。織田信長が地蔵堂を建立して延命地蔵菩薩を安置した。この寺は慈光郡小窓村の一乗寺にあったという。			45	
188	01257	圓通山	慈眼寺	長森町 (厚見郡)	永享～寛正の頃	臨濟宗	永享直末(1429～66)の頃。香庭利木が建立。9120頃圓通寺と同門。利木の子利秀は日蓮宗を信仰したので寺号は廢棄した。信長が01332慈眼寺を築いたので、その頃に兵火に罹ったことは想像される。その後、後川の時代に笠松郡代が力を入れて再建。その後が明治初年まであったが、次第に取り戻され現在の寺になつた。		6	45	
189	01259	金寶山	慈雲院	寺町 (厚見郡)	16世紀頃か	臨濟宗	明応10(1511)年祖。天成院受が創建山。天文2年頃から元禄2年(1615～1689)まで空缺であったが、以後は継承しているという。寺伝によると、15世紀末に現境地より南側(琵琶湖位置不詳)に建立されたという。墓地には古代瓦や中世の櫛刺などの遺物が散在しているが、古代瓦は01249厚見寺跡のものと思われる。		1, 古代瓦、中世櫛刺	45	
190	01261	細柳山	吉祥寺	太郎丸 (山縣郡)	応永年間	天台宗→曹洞宗	応永年間(1397～1428)成立。始め天台宗。天文年間(1473～92)に落成し焼失し、寛文年間(1661～73)に耕牛を引き古跡の僧帽に再建し、曹洞宗となつた。		6, 8	45	
191	01262	多賀山	多賀寺	交人 (方縣郡)	慶長年間	曹洞宗	慶長年間(1596～1615)。石垣光宣が開基。安永9(1780)年大火が中絶していたものを再興した。			34	
192	01263	祐陀山	全福寺	野一 (厚見郡)	永禄元年	曹洞宗	永禄元(1558)年頃成立。野一色の庄屋浅田氏の由縁の寺で、寺内に庄屋1代等の墓がある。岡山は東濃郡菅原町で正徳7(1765)年久全頃から入る。以降20年かけて現境に至る。境外寺院として、本廟の南三尺坊がある。		6	45	
193	01265	光明山	阿弥陀寺	龜倉 (方縣郡)	明治24年以降	臨濟宗→曹洞宗	文祿3(1594)年成立。後に乾慶で無住となつた。印鏡道元和尚の開基。元龜を奉じて、寺の協力を得て草創した。元龜は13(1718)年座禅塔を建立した。この頃、曹洞に転向。元は現在葛尾にある一段高い所(01265)に本堂があつたが、出尾廢寺へと全て移し、現在の場所を埋め立てて本堂を移したという。		6		
	01266	阿弥陀寺	阿彌陀庵	龜倉 (方縣郡)	文祿3年以降					14	
194	01266	龍德山	圓泉寺	加野 (山縣郡)	延証年間	曹洞宗	延証年間(1389～92)、龍德が建立し、東川寺と称した。文祿年間(1593～96)、木原本廣昌が本堂を再建したので岡山第一殿とし、慶元(1648)年削除と改める。下寺に西林庵・度慶庵・珠光庵という3つの寺ができる。文祿5(1622)年火災に遭うが、回廊再建する。		II	45	
195	01270	萬勝寺	勝利寺	勝利 (方縣郡)	応安年間	曹洞宗	応安年間(1367～70)、萬勝が開基を結び、勝利如来を安置。元々～寛永の頃(1615～44)河野元平治が宇を再建して萬勝如来を守護。寛永～延喜の頃(1741～48)、白翁を擴山とし、円端を開拓して萬勝庵となる。			45	
196	01271	八幡山	林福寺	若田西 (各郡)	永禄元年	真言宗→曹洞宗	延壽年間(1782～86)、空海が創立。圓融如來の像を勧請し本尊としたと伝わる。泰和明御の別殿圓融堂としていたが、永禄元(1558)年春日野が圓融院に移転したので、圓融堂は北山圓融院に移転。本尊は圓融院の本尊である。天正16(1588)年公和院が新しく一寺を建立し、八幡山圓融寺と称した。圓融院として松本の永久院13世了然が玄超和尚を招いて圓融山と号した。		6, 8		
197	01272	青霞山	勝林寺	木浦町 (厚見郡)	天文年間	曹洞宗	成立時期不明だが、もと江戸城少牧村にあり勝林寺と號した。鶴原が開基。天文年間(1573～92)、現在地に移転。信長は、当寺の移転の際、軍勢を押し少林寺を勝林寺に改めた。享和2(1802)年再建。		6	45	
198	01278	神龜山	國王寺	此花町 (厚見郡)	昭和16年	天台宗か 真言宗→ 曹洞宗	天足8(831年)、石舟が開基。本尊は過去地蔵菩薩のために參り十方に詣詠し、七重宝瓶を建立。圓王山圓智寺神龜院と稱した。永禄7(1564)年木舟にかかわらず焼失した。本尊等は木舟に運び離れた。重慶を被り、伊近池の邊に草堂を設置して安居。承応2(1653)年無明禪師が再建。寛文8(1668)年妙玄祐和舟を圓山、神龜山圓王寺と稱し曹洞宗に転向。この時は現境内西側の本莊小学校のグラウンド付近にあったという(01278)。幕末には庄屋の役務所、明治には三ヶ村組合役場となつた。昭和16年現地で再建。		6, 8		
199	01278b	医王寺	圓通院	此花町 (厚見郡)	寛文8年					34	
200	01279	宝徳山	本覺寺	藤町 (厚見郡)	江戸時代	曹洞宗	寺伝によると、天文2(1574)年、竹屋町にあったというが詳細位置不明。江戸期に現在地に移転。				
201	01280	靈松山	久遠寺	加納 天神町 (厚見郡)	明応4年	曹洞宗	加納准本教所に於て小廟を建立。延暦4(1765)年真言宗の小廟に込み、明応4(1495)年御所を外に移す。新に小廟を建立。本尊和尚と圓鏡の頭と印及び久遠庵と称する。当寺開山は了昌實達和尚は天文2(1574)年久遠庵に居住して修道場を建立し、山を靈松、久遠を久雲と改める。天文8(1580)年、開室の式あり。現在地に「三尺坊田」の看柱がある。		6	45	

表20 岐阜市寺院一覧表(13)

番号	寺門番号	史跡	山院(院)号	寺院名	所在地(町部名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、蔵構 調査結果	分布図
202	01281	本有山 圓成寺	洞 (方原郡)	天授 6年	曹洞宗	天授 6 (1380年)、輪削入道圓成が創建。天文11 (1542年)輪削山の内に核かれて置庭。正保 4 (1647年)天外火葬により再建されたが、山の山勢が山本有山と改めた。隣には、正保 4 (1647年)の創建で、圓山は漢唐天苑、園基は美濃国奉行岡田普政配下の深谷忠衛の墓である。	6			
203	01284	護國山 龍雲寺	芥見大船 (各務郡)	不明	曹洞宗	寺伝によれば、永祿 10 (1557年)、長慶正綱開山。天正元年 (1573年)、岐阜城陷落の時被焼く。天保 4 (1834年)天外火葬により再建されたが、山の山勢が山本有山と改めた。隣には、正保 4 (1647年)の創建で、圓山は漢唐天苑、園基は美濃国奉行岡田普政配下の深谷忠衛の墓である。	6			
204	01286	多聞山 永福寺	芥見町洞上 (各務郡)	延宝 4年頃	黄檗宗	宝町中野以前長良川が氾濫した時、その川底の砂上に荒沙門天院庵が漂着し、その庵院が靈感に満ちていたため、小字を建てて命名されたとされる。以降、次々と多くの庵院が建てた。延宝 4 (1676年)、圓心院が近江守に請ひて、此處に門院門を守護する。もと時貴院山と木庵院山にそのことを申し上げると、美浜庵を書いて下されたため、木庵禪師を喩托とした。	G, H			
205	01288	法舟山 治泉院	芥見町戸山 (各務郡)	不明	黄檗宗	成立時期不明。直全尼が薦仰如來を安置して冷泉庵を開創した。清水寺教祖和尚と謙して開山した。				
206	01289	清木寺	芥見町戸山 (各務郡)	延宝 4年頃	天台宗→ 黄檗宗	天平元年 (730年) 7月 9日創建とする伝承が残る。以前は宇大別にあつたが中古以降はなく、僅かに一小堂宇が残った。延宝 4 (1676年)頃湛然院寂寂和尚と開山した。現在は黄檗宗として、現在は更地にはなっている。				
207	01296	聖林山 寔在寺	鶴川町 (厚見郡)	宝樹 2年	日蓮宗	宝樹 2 (1450年)、森藤妙躰が日蓮を招き開創。長政新ら鷹門尉の系の森藤氏が宿候を受けた寺院であった。度々兵火にかかり、古文書が焼失している。寺伝によると、以前は現在の名程度の、坪数を有していたという。	M5			
208	01297	法光山 長照寺	矢島町 (厚見郡)	延祐 2年	日蓮宗	延祐 2 (1490年)、円鏡院の述人蔵が開創。明治24 (1891年)の攝尾大火で當座の他仏具、舍宅什器、古記録等全般焼失した。現在の本堂、書院、庫裡は昭和時代に再建。	M5			
209	01300	長松山 妙久寺	三輪 (山県郡)	寛永 4年以降	日蓮宗	建武元 (1334年)、日尊が妙見菩薩を圓滿しして蓮華寺を開創。源長 (1607年)、中村昌昌を招びて苦闘をとする。寛文 7 (1667年)、日蓮の時妙寺と改称し、蓮華寺を三輪村に移し末寺となる。寛永 4 (1627年)、圓祐の時同寺を笠松・移転する。現在地への移建時期は不明。	B, G, I			
210	01301	三北山 妙昭寺	鶴川町 (厚見郡)	慶長 5年 西しくは 明暦 2年	日蓮宗	天文 11 (1542年)、日尊が妙見菩薩今山に創建し、慶長 5 (1600年)に現在地を寄進され移転したが、当初中平長屋敷跡であったとある。一説には、明暦 2 (1656年)現在地に移転したである。	6	M5		
211	01303	聖林山 正興寺	木造町 (厚見郡)	中世末～ 江戸時代	日蓮宗	嘉元元 (1303年)、日尊が妙見24ヶ所の寺院を開創。当山はその内10院目に創建された寺院である。以前は日高小学校の傍り (位置不明) にあったが、現在石碑になっている。明治から江戸時代頃に現在地へ移転。約500年前の御墨看板がある。	G, H	M5		
212	01304	三輪山 円鏡寺	梶町 (厚見郡)	寛元 3年以降	天台宗→ 日蓮宗	寛元 3 (1245年)、圓山は善勝院卿、二輪堂院藤は父母源通のため、鎌倉より井上村に其堂主山妙法寺を移転創立し菩提寺とし大永 6 (1526年)、寛元と日榮が当地に遷拂し、荒廢した寺の再興をはかり日蓮宗に奉宗。圓鏡寺と改称し、自ら圓山となる。		M5		
213	01308	碧源山 法寧寺	矢島町 (厚見郡)	16世紀	日蓮宗	延祐 3 (1491年)、圓山常勝が圓田勘次郎を駒門の當勝新鑑所として、日授を招き開創復興に創建。8歳日崩の時、信長の稱依を受け、岐阜城内へ移転。	G, H, I	M5		
214	01331	光明寺	金町 (厚見郡)	明治～ 大正時代	真宗 →単立	宝町後頭。大隅神社の神體を勧めた一人が弘法に従役。その霊神宮として神仏混交であった大隅神社は、大隅神社と大洞山淨念寺(近江祖坊)に分かれた。明治から大正にかけお数の根掘を美濃井ノ口に移した。				
215	01332	華藏觀音堂	長森戸 (厚見郡)	文安 2年	単立	文安 2 (1445年)、森藤利永が小室を忍窟の壁に建て、茶室が普門院と名づけられた。山を守護する寺を華藏觀音堂と名づけ。鎌利永は日蓮宗で開基したといわれる。文安 2 (1445年)、木庵 7 (1565年)に住持となり火災に罹って焼失した。その跡跡は煙火の少から光を放つため忍窟の中に入れて村民が信仰。戦後1つの頃品な堂を建てた。		M5		
216	01338	高井山 正光寺	城寺町 (方原郡)	宝曆 10年	真宗	天文 10 (1582年)、正賀が創建。以前は現在地の南側にあったが、宝曆 10 (1760年)に水害を遭れて現在地の山麓へ移転。				

表21 岐阜市寺院一覧表(14)

番号	寺院番号	史跡	山(園)号	所在地名	所在郷(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査點張	分布図
217	01349	祇	(厚見寺跡)	寺町	(厚見郡)	飛鳥時代	天台宗	01203端能寺境内に塔の心礎が保存するが位置は移動している。可 能性がある。旧位置は不明で現在は建立されている。飛 鳥内 から「厚見寺」が「祇」へと改められた時期は初期飛鳥時代とされる。新 瓦 堂跡から元正14年に多數の軒丸瓦・軒平瓦・軒尾瓦などとともに、 同様の「厚見寺」の文字瓦が検出された。飛鳥の時期不明。	文字・花鳥 文瓦 新瓦丸屋 文瓦丸瓦 新瓦文 軒丸瓦 新瓦	65	
218	01350	(大宝寺道 跡)		大宝町・ 金宝町	(厚見郡)	7世紀後葉	不明	01252大宝寺の南門から。南側および東北、さらに難明小学校西 門付近に瓦類が散在する。また、飛鳥の北門付近に瓦類が地盤の中に 低くなってしまり、大宝寺の瓦塗地の瓦高床に上古地として 瓦類の出土も、この礎高床土上を中心で見える。おそらく大宝寺魔 寺は、ここに建築された今まで、7世紀後葉の建物にならる寺院魔 寺であったと思われる。現在遺存している瓦類は、軒丸瓦・軒平 瓦、若干の瓦足のみで、遺物としては少量である。軒丸瓦 は、飛鳥式瓦の特徴である瓦足を備えた瓦である。軒丸瓦 丸瓦である。瓦足は面白い翻曲文で、典型的な川原寺式の 丸瓦である。外縁は面白い翻曲文で、典型的な川原寺式の 丸瓦である。魔寺の時期不明。	複数八井 深草文 軒丸瓦 深草文 軒丸瓦	85	
219	01351	(難屋寺道 跡)		難屋西町	(厚見郡)	7世紀後葉	不明	北野神社を中心として建立する。現在でも瓦類の敷石がみられる が、出土遺物は極めて少なく、軒丸瓦・点のほか、平瓦が数点 保存されているのみ。軒丸瓦は、複数八井深草文軒丸瓦で、大 きな中間に1ミリ+5ミリの窓を開ける。軒平瓦は、軒丸瓦 と若干の瓦足のみで、遺物としては少量である。軒丸瓦 は、飛鳥式瓦の瓦足を備えた瓦である。軒丸瓦 丸瓦である。瓦足は面白い翻曲文で、典型的な川原寺式の 丸瓦である。曲面はハーフドームを行く。魔寺の時期不明。	複数八井 深草文 軒丸瓦 平瓦	84	
220	01352	長良慶寺 (城之内道跡)	長良 (方郷郡)			7世紀末	平明	わずかに瓦類が発掘されたのみで、遺跡の規模、御厨の情況は 不明。8世紀前半に最も整備された寺院らしい。このころの 出土品は比較的多い。入母屋の中間に取りつけた軒丸瓦が出土す る。長良郡の駅家があつた所としても考えられて いる。長良の大学(現在の長良高校)と長良高校に隣接する 一帯が寺跡と考えられている。以前の桃谷寺学のテクスコーカー ト付近は、廃寺跡と考えられていた。廃寺跡は、現在は長良 駅前付近に残る。軒丸瓦等が検出される。長良は北側より南 側側面付近に面して多く、寺域の中心の位置がある程度確定で きる。魔寺の時期不明。	複数蓮華 文軒丸瓦、 格子口貫 平瓦。 入母屋。 玉置洋翠	85	
221	01353	市	(成就院跡)	西浦寺跡 (厚見郡)	佐久 (厚見郡)	伝天嘉9年 (698) しくは 延葉3年以 前	不明	「空海の神宮寺として成就院を置く」と伝わる。一説には西浦 神社裏の寺院跡一帯が成就院裏の寺院跡であると推定。成 就院はその悉として考えられている。『岐阜市史』に「承 寺には大宝院なる塔頭が立ちて西浦神社は承寺の神岡となっ ている」とある。魔寺の時期不明。	G, H, I	85	
222	01355	(日吉寺跡)	六条江東 (厚見郡)			平明	平明	成立時期及び舟形不明。中世の寺社跡として遺跡登録されてい る。			84
223	01361	日輪寺跡	茶見 (各務郡)			平明	平明	複数天ヶ瀬辻付近にあった寺で、石基が創建と伝わる。信長 の兵火にあって消失したという。日輪寺池付近に礎石、玉輪塔 があった。この付近より古石器、古墳時代の器が多く出て、昭和 35(1960)年に古墳を発掘し、やや南側に大門と呼ぶ施設があ る。詳細位置不明。01226細今寺12坊の一つ。			
224	01363	祥雲院	厚見郡 井之口庄 (厚見郡)			不明	臨濟宗	宝應元(1449年)、動ひ徳昌が祥雲院を創建して居庵した。祥雲 院は、法系は厚見の寺院で、太田の相国寺塔頭、圓鏡院の 末寺であるべきであるが実際はなく、動ひ徳昌が開創することによ り開創になったかも知れない。藤原の時期不明。位被不明。			
225	01364	承隆寺	西浦 (厚見郡)			15世紀末	臨濟宗	文明13(1481)年～延徳2(1490)年の間に成立。西浦神社裏手の 寺屋敷一帯が承園基の寺院寺跡であると推定されている。永 禄6(1563)年まで存在したが、それ以降に廃寺。	G, H, I	85	
226	01365	持是院	加納 (厚見郡)			平明	日蓮宗か?	資福妙寺が創建として建立。位置は比丘寺正法寺の向かいにあ り、城を築き、馬を繋ぐとして留置し、舟で宮内に入ったとい う。向かいの城主城主とする説と加納城とする説の二説があ る。いずれも加納城内であると思われる。詳細位置不明。			
227	01366	惠慈院	高田 (厚見郡)			平明		順聖寺庵創立の前後(土岐氏の頃)創建されたものである。位置 不明。			
228	01367	龍應院	寺町 (厚見郡)			平明	天台宗→ 臨濟宗	文明年間(1469～87)、西川宗海が開山し、順聖宗へ転宗。法系 は9度目とされている。01203瑞應寺の塔頭で、享保2(1717)年以 前に廃寺。位被不明。			
229	01368	圓淨院	寺町 (厚見郡)			平明	臨濟宗	文永3(1203)年、土岐氏の出である仁清宗が開山。当寺は仁 清門下の中心寺である。01203圓淨院の塔頭で、天保9(1838)年 には無住。明治1(1872)年に廢寺。位被不明。			

表22 岐阜市寺院一覧表(15)

番号	寺門番号	寺跡	山門(院)号	寺院名	所在地 (田部名)	建立時間	宗派	当座等	遺物、蔵構	調査 結果	分布 図	
230	01369	慈群院	寺町 (厚見郷)	不明	臨済宗	文承(1486)年、玉浦京載が開山。01293慈義寺の源頭で、天保9(1838)年には無住、明治5(1872)年に廃寺。位置不明。						
231	01370	集雲院	寺町 (厚見郷)	不明	臨済宗	01203瑞應寺の別院による東南院で、活潑の法脈で一世で地法となりた瑞應とその塔頭集雲院。享保2(1717)年以前に廃寺。位置不明。						
232	01371	龍興院	寺町 (厚見郷)	不明	臨済宗	瑞應寺が開山。大龍寺の師承脉に替を説かれているのが、明応5(1496)年であるので、おそらくこの人に瑞應の印可を受けたのであろう。瑞應の系は4世で地法している。01203集雲寺の源頭で、享保2(1717)年以前に廃寺。位置不明。						
233	01372	正木御坊	黒野 (方原郷)	慶長10年	真宗	本願寺黒野別院。天正5(1577)年、山田孫衡が創立し、正木御坊と称した。慶長10(1605)年、加藤貞義が黒野に移設。慶長5(1600)年の大火後、再びり本院が火事を受けたことが記録に残る。御坊下屋は、黒野御坊の御坊下屋といわれている。移転後は黒野御坊・黒野御坊・御坊下まと呼ばれた。寛永9(1632)年光服寺の寺号を承認。その後、光服寺と御坊の区別がつかないため、明治10(1877)年御坊と光服寺を分離。明治18(1885)年黒野御院と改号。以前は正木権付近にあったといわれる。平成9(1997)年に廃寺。現在は介護施設が建つ。						
234	01374	仙鶴山 慶昌寺	黒野 (方原郷)	元禄13年	真言宗 →?	慶長2(1597)年、黒野城の奥門に仙鶴山慶昌寺として創建を慶立。慶長16(11)年、八代山慶昌寺と改め、黒野町に移転。その後廢寺となったが、元禄13(1700)年に現在地に建立。						
235	01375	慈光院	西郷小野 (方原郷)	不明	不明	明応5(1496)年成立。以降は松懸庵と称した。大永6(1526)年、田中光業が移へ移し慈光院と改称。天文11(1542)年の鶴劍山の戦いで火事によって地法。位置不明。						
236	320086	正道寺跡境内	黒野 (方原郷)	不明	真言宗	成立時期不明。以前は黒野にあり花山忠長光寺といつたが、永禄7(1564)年信玄に木代守に破却され、小堂の近くになった。良範が越前郡池田町の之井間に移して再興し、32008華中山正道寺といった。黒野の寺跡址は地名長光寺を残している。位置不明。						
237	01377	蘿夷山 木月院	黒野 (方原郷)	天正～文禄 年間	臨済宗	本文参照		本文参照	74	14		
238	01378	神守山 長松寺	網代副松 (方原郷)	不明	不明	慶長年間(1596～1615)、徳島初庵上座が開創。後黒羅に覆って度成。元和元(1615)年、落慶鑑和中興。寛永16(1642～44)高門院惠和院、官部吉信・吉覽・吉重の3人及び23ヶ村の後援により再興。明治5(1872)年廢寺。位置不明。						
239	01386	小林山 伝灯護国寺	早田 (厚見郷)	不明	臨済宗	永禄3(1560)年、直藤義龍が建立。別伝が關山。元浜町北の裏側にあった。義龍は、美濃四寺守と配属する寺にしようとしたが、義龍の死後、伝灯護国寺は後繼者を失い、信長に焼き払われ、別伝は今で通けたという。位置不明。						
240	01387	庚申堂	早田 (厚見郷)	慶長6年	不明	知性が開基。天正2(1574)年、信長は01386伝灯護国寺の廢跡(位置不明)に庚申堂を再建。慶長2(1597)年の大坂水害大原村まで焼かれたが、常安が慶長6(1601)年復旧地に再建。01003美江寺の分配下についた。	6			MS		
241	01390	安國寺	東西郷 (方原郷)	不明	不明	釋迦寺(2)(1339)年、足利義満が夢意峰石の勧めにより、光嚴上皇に請ひて創立した。別に尼寺寺地にはなかった。西門、東門の地名は、寺の東西の門があつたと伝わる。尼寺は掌律2(1340)年に開基。開基の志士は「西門」。現在、西門の跡地に、現今も地名の跡が残りうりといえる地に名古都君とは平安時代末もみえる古跡の古木を発掘せず。安國寺は以前におこる。廢絶の寺院ありし。」と注記がある。						
242	01392	慈照山 西福寺	瀬口 (山縣郷)	不明	淨土宗	弘治2(1556)年。善柱が開創。文禄2(1593)年真海が開山。位置不明。						
243	01393	福圓庵	山県村 岩 (山縣郷)	不明	臨済宗	明応2(1493)年、01220上林成程が定光寺建立の時保護のため、近隣7ヶ所の施主を説き、当院はその一つである。後に山縣と岩尾寺(1717)の源流を承認が移譲したが再度廢絶する。宝曇7(1757)年延保萬次郎が再建。位置不明。						
244	01394	知足庵	山県村 岩 (山縣郷)	不明	臨済宗	明応2(1493)年、土岐政教が01220定光寺建立の時保護のため、近隣7ヶ所の施主を説き、その内の一つである。後に廢絶するが、文化3(1806)年普參が再建。位置不明。						

表23 岐阜市寺院一覧表(16)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (田郡名)	建立時期	宗派	沿革等	書物、遺構	調査 状況	分布 図
245	01395		圓應堂	上川手 (厚見郡)	昭和51年	不明	概下に圓應堂が二つある。北の圓應堂は高山線の鉄道線敷地にあたって南北に分断されている。現在は南側の一部が小堂、北側は土蔵などとして位置する。南の圓應堂は圓應院と號してさがわ寺の別院で、不動院圓應院圓應院の通称で、平安時代に加藤・羽田野両家の協力で創立。市指定文化財となり、金華山頂二の丸跡に岐阜市の大門除けとして昭和51(1976)年に建立。			
246	01396		小林寺	大洞 小林 (各務郡)	不明	真言宗 真宗	養老5(721)年、白毫院が01296願成寺十二坊の一つとして創立。承平4(934)年願成院が移転し院号を改めて、丘谷寺たる感失し。正和2(1114)年真宗に転向し、各務郡市作念寺と併合。小林寺の位置不明。			
247	13016b		尊徳寺旧境内	大洞 豪好院 (各務郡)	不明	真言宗 真宗	岩井寺といった。天平年間(729~749)、行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。豪好院は要石の名もあった。現在境内圓應院にあたったといわれる。弘仁11(820)年、岩井寺は飛鳥大門の守護院たる山門圓覺院が移転し、圓覺院は、現抄大門の守護院たる。後に岩井市圓覺院が宮代に移転し、13016大洞の岩井寺となる。天平年間(1532~55)頃真宗に改めた。位置不明。			
248	01398		具門寺	大洞 ゴモンジ (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。大洞地内ゴモンジにあつたといわれるが位置不明。癡絶時期不明。			
249	01399		法華寺	大洞 (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。01400智廣出華寺との關係が考えられるが、通常な法縪がない。位置不明。癡絶時期不明。			
250	01400		桜本坊	大洞 (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。痴絶時期不明。			
251	01401		講水寺	大洞 (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。願成寺の前身講水寺や01289圓成寺とは別の寺である。位置不明。			
252	01402		山本坊	大洞 山本 (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。大洞地内山本にあつたという。位置不明。痴絶時期不明。			
253	01403		輪念坊	大洞 (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。位置不明。痴絶時期不明。			
254	01404		十乘坊	大洞 (各務郡)	不明	天台宗	行基が01286願成寺十二坊の一つとして創立。位置不明。痴絶時期不明。			
255	01405		蔚霞山 圓淨院	羽根東 圓淨院 (各務郡)	延天平18年	不明	本文参照	本文参照	76	△5
256	01410		萬福寺	伊奈波通 (厚見郡)	寛永年間以 降	不明	伊奈波神社の神宮寺地因幡古院とも称した。寛永年間(1624~44)一如が再建。現在の木造はあたしにあつた。神仏分離で廢絶。木造は、以前01088重別院にあった。			
257	01413		西界不動堂	不動町 (方原郡)	16世紀後半	不明	弘仁11(820)年、尾張守海津郡都筑飯村寺舎を建立し、加藤又九郎が代當寺守定められた。後に見見郡八ヶ郷に移転。信長により現在地に移転。鳴尾寺を守るため、城下町西方に伊奈波青光寺、小熊の寺蔵、西町の不動、美江寺の御堂を四天王とした。			△5
258	01414		仙壽寺 全久院	加納 木町 (厚見郡)	不明	曹洞宗	永正11(1514)年、三所田戸山圓覺光が足守光光屋の為に創立。笠置院が1515年、若狭守(1620)年、松平氏(1704)年が加納へ移転の際に寺を領し、本性寺跡と置く。正徳元(1711)年に山城へ移転。加納全久院が1634年とさういものに、長寿院、瑞光院、幸春院、芭翁院、淨空院がある。明治3(1870)年、松本で焼く。詳細位置不明。			
259	01416		妙光山 靈鷲院	加納 寺山敷 (厚見郡)	不明	真言宗	圓山は青舟(長享3(1489)年卒)で、松本に創建。松本の礎所であった。寛永16(1639)年、元豊が寺山敷上となり、靈鷲院が赤坂に移転。元豊が寺山敷上に移転する(1753)年と元豊院。馬頭より再び松本に移るや、既もじ跡跡と。位置不明。			
260	01417		林光院 安養寺	加納 木町 (厚見郡)	不明	真言宗	圓善山正法寺の創建如來は「三宝又駆門が預っていたが、慶長7(1602)年林光院を相続。のちに圓善安養寺に創建。昭和10(1835)年、古城櫻井川村へ移転。位置不明。			
261	01419		常樂院	加納 木町 (厚見郡)	不明	真言宗	成立時期不明。明治攝新院の壇場存在なし。寺子屋であった。現在、秋葉神社境内に圓善堂と圓善寺神社があるが、當字跡と關係するが不明。			
262	01425		芭見山 永隆寺	芭見 八幡坂 (各務郡)	平明	?	「正和2(1313)年、当寺先住長善坊ニ夢想ア」、「明徳2(1391)年淨業坊院第二世を離ぐ」と伝え、祇園院と呼した。享和4(1729)年に芭見山永隆寺の寺号を得る。宝政4(1857)年に金庭山の新所となり、その跡を退かれた石の灯明台が芭見山の奥殿跡に残るやうというが、御蹟ではない。治27(1804)年の神仏分離により廢寺。詳細な位置不明。			

表24 岐阜市寺院一覧表(17)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号	寺(院)名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査結果	分布図
263	01426	羅刹寺	柳津町 (原見郡)	不明	不明	成立時期不明。0123慈忍寺の一子圓覺彌勒は、高麗城主の僧慈忍寺である羅刹寺の本尊であった。大永7(1527)年高桑氏は慈忍に敗退し、羅刹寺僧も今も黙れはてた。位置不明。					

表25 岐阜市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号	寺(院)名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	01001	青函山 勤王寺	木曽町 (原見郡)	明暦3年	天台宗	明暦3(1657)年、本寺01003美江寺玉堂盛純の弟子道哲創建。明治42(1909)年までは美江寺に所属、美江寺の門前にはあらて12坊のうちの一つである。			
2	01006	長久山 正覚寺	北八ヶ岳町 (原見郡)	不明	天台寺門宗	成立時期不明。01003美江寺の門前12坊の1つ。			
3	01008	羅立山 勤王寺	太郎丸 新屋敷 (山縣郡)	不明	真言宗	成立時期不明。寛文元年(1661~73)に僧潮が中興した坂は羅立山中(位置不明)にあつたが、太郎丸の時に現在地に移転する。	G, H		
4	01011	宝篋山 真光寺	太郎丸 (山縣郡)	不明	真言宗	成立時期不明。当初は佛國山白毫寺と称した。元和7(1621)年に真相が渡辺源助の請書の従在地に移転再興し、宝篋山新光寺と改称、後に現名に改める。位置不明。			
5	01027	松月庵	長良 田中町 (方原郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。境内に江戸期の墓碑がある。			
6	01028	地藏寺	折立 (方原郡)	天保8年	淨土宗	神山兵の兵寺で庄屋長四郎が尼證を書き裏手を弔った。安永7(1778)年武儀郡の保谷より引致し、天保8(1837)年に現在地へ本堂を再建。現在は地蔵堂のみ。			
7	01031	木本山 宝樹院	加納 市水町 (原見郡)	慶長年間	淨土宗	三州岡崎の生まれである印立の圓山。慶長年間(1596~1615)に加納の地に来て、城主典平作守により、一区の地を賜り当寺を創立した。			
8	01032	良福寺	太郎丸 久知之道 (山縣郡)	明治32年	淨土宗	成立時期不明。もとは山城國八幡町にあつたが、明治32(1899)年に01029長政寺 ² 輪澤寺とその徒弟より現在地へ移転した。長政寺墓地で「良福寺 ² 代基」と刻記された無縫塔を確認した。			
9	01035	瑞應山 清泰寺	松ヶ枝町 (原見郡)	明治34年	淨土宗	文化13(1818)年、第三大御開祖として成立。明治10(1877)年、01003美江寺より曳坐して立す。富田登村にて清泰庵と称し、その後清泰寺と改称。明治34年に現在地に移転。			
10	01036	願報山 最求院 妙淨院	加納 金町通 (原見郡)	江戸時代初期	淨土宗	法川清康が附近諸藩の勤務を探るために、家庭を再度別業させ諸国の要所に寺院を建立した寺の一つ。家臣の光曾林資を開山とした。以前は現在よりも腹内が広がつたが、空襲により焼失したという。	G, H		
11	01039	柳陶山 正道院	柳町 (原見郡)	江戸時代末期	淨土宗	江戸時代末期成立伝。初めは正道庵と称する尼寺であった。本尊は、東町織田とされ、寺の由来書には天保元(1830)年に織田上人が額下の靈魔堂から移したとある。			
12	01042	善光教会	城寺町 (方原郡)	明治末期	淨土宗	天明・寛政(1781~1801)の頃当地の豪族小数小姓が妻と共に授入道して、一字を冠す。明治末期に、善光廟の元座敷より50m程近くの奥地に移った。			
13	01043	山上院	萬葉 大野町 (原見郡)	不明	淨土宗	加納城主善平作手守信昌公の御所である東照宮之源君(寛永2(1625)年の普請)を引うたために、召仕3名が発心度し創建。当庭最初は持院町北端(矢場町3丁目)、詳翻院置不明)にあった。			
14	01046	阿弥陀寺	長良 (方原郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。			
15	01047	西方山 極楽寺	白石町 (原見郡)	近現代	淨土宗	明和元(1764)年、広空授教尼開山。元は西島にあつたが、戦争で焼けて現在地に棲む。			
16	01049	圓照寺	圓島 (原見郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。位置不明。			
17	01052	惟智山 千束院	西莊 (原見郡)	不明	淨土宗	成立時期不明。かつては、01050立政寺の末寺であった。			
18	01059	壽滿山 安樂院	西莊 (原見郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。01050立政寺末であつた。	G, I		
19	01062	峰雲寺	元宮町 (原見郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。位置不明。			
20	01064	清風寺	長良 古津 (原見郡)	昭和55年	淨土宗	成立時期不明。元は尼寺で、当寺の南西約40mにある白山神社の脇にあつたが、昭和55(1980)年9月に現在地へ移転。現在は無住で地域で管理している。	G		
21	01068	建福寺	森 (山縣郡)	貞享4年	淨土宗	貞享4(1687)年、土本治右衛門(法名宥寺)により成立。建福庵と號す。憤念を請じて開山し、後に難玄が再興して建福寺と改めた。	G, H		
22	01079	松風山 立專寺	栗原西 (方原郡)	寛延5年	真宗	成立時期不明。寛延5(1807)年、01138松風寺の法嗣養了が、厚見郡加納町(位置不明)立專寺を移転創設した。			
23	01081	悲夷山 極樂寺	栗原 (方原郡)	寛永2年	真宗	寛永2(1625)年成立。第1世は海入。			

表26 岐阜市参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	寺籍	山(院)号	寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	
24	01080	不動山	光明寺	一日市蕃	方集郡	明暦4年	真宗	明暦4(1658)年、普智が開基し、木仏許可を同年受けている。		
25	01087	瑞光寺	加納神明町	(原見郡)	不明	真宗	成立時期及び泊奉不明。所在地は現在アパートが建つ。平成塔に魔除したか。			
26	01103	大樹山	明照寺	秋沢(方集郡)	天保4年	真宗	天保4(1833)年成立。かつては「明應寺」と称したが、秋沢に同じ名前の寺(01211明王寺)があるため、文久3(1863)年に「明照寺」に改めた。			
27	01105	龜食山	觀音寺	鶴進寺	方集郡	貞享4年	真宗	寶徳式古記録では元安龜山と号し魔除不明だが、貞享4(1687)年了泰圓成すとある。丁寧は5代住職であり、4代迄は単なる住守であつたと考えられる。	6	
28	01115	賀池寺	九重町	(原見郡)	不明	真宗	成立時期及び泊奉不明。現在は空地で建物や今のは経廻と思われるものは確認できない。			
29	01128	松月山	觀音寺	阿武西(方集郡)	慶安2年	真宗	開明寺の末寺として、慶安2(1649)年成立。初代開基は佐保。			
30	01135	西光寺	下西瀬	(方集郡)	不明	真宗	成立時期不明。現地確認時には、寺と無関係の新しい建物が建設中であり、廃寺になつたと思われる。			
31	01139	七寶山	尊教寺	城田寺	方集郡	寛永19年	真宗	寛永19(1642)年、当村尺頭鈴八が01141専長寺西を招いて住職とし、以来相続した。	6	
32	01149	西明院	詔田西	(各務郡)	万治3年 若しくは元禄2年	真宗	万治3(1660)年(元禄2(1689)年とも)。梅岳創建、圓基により成立。天明7(1787)年、想語圓明道寺と号す。			
33	01150	甚岡山	善入寺	西秋沢(本郷郡)	宝永年間	天台宗→	宝永年間(1704~11)、玄了創建により成立。地域に点在していた小堂が集約され寺格化した。転領した時期等不明。			
34	01159	觀光山	本來寺	墨屋新田	(原見郡)	昭和6年	真宗	明治11(1878)年「寺院明細」に「天和2(1682)年壽照が創立」とある。しかし、天和2(1682)年資料編纂は世三にて、「天保2(1645)年惟波江村より開基とす者を引出せ二院。僧に本東寺と申号せられたれど」とある。寺の記録が正しいと考えられる。昭和6(1931)年本香川上流改修工事にともない、現在地に移転。		
35	01178	明達寺	五至町	(原見郡)	不明	真宗	成立時期。現在は建物が残るが無住寺。			
36	01182	永照寺	八久場町	(原見郡)	不明	真宗	詳細不明。			
37	01187	光莊山	香齋寺	北一色(原見郡)	宝曆2年	真宗	宝曆2(1752)年、法據創建。当時周辺に寺院がなく、お隣いされて建立した寺であるといふ。	6		
38	01186	光明山	日光町	(原見郡)	昭和38年	真宗	天和3(1683)年、掛雲川町延福寺の別院として掛雲川町鶴見字宮戸に成立。始め掛雲川町櫛橋村にあり、明治12(1879)年に八幡神社に隣く櫛所へ移転。真宗寺の寺号を得る。昭和38(1963)年、横山ダムの建設に伴い、現在地に移転。			
39	01200	華嚴寺	鈴利	(方集郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び泊奉不明。位置不明。			
40	01204	瑞昌寺	打越	(方集郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び泊奉不明。10年前に廃寺となつたといい。堂宇は残っていない。			
41	01207	後背山	栄昌院	佐野(方集郡)	明治初期	臨濟宗	浅井長景の次女・初の香林寺。初は、寛永10(1633)年に江戸で没し、法名を常高院と號す。安政院昌景大輔といった。常高院の後、侍女7人は小浜にそれぞれ別處を結び、全体で安昌院として常高院の子孫を行つた。明治維新的に、尼僧たちは小浜から丸龜(香川県)に移つた。明治初期に常高院の位牌とともに尼僧が方集郡佐野町に来住し、安昌院を復興した。	6		
42	01210	禪惠山	成功院	鈴利(方集郡)	不明	臨濟宗	成立時期不明。本院の北西の八幡社に「夫レ当院ハ岩利誠ノ居住属本小太源ナル者、守護ニ為ニ八幡宮ヤ安政二院(成功院)ヲ設立シ別當ト稱ス。延宝ナキ後、空房穂波スルアツ河瀬瀬村正宗寺住住峰和尚此土ニ來テ一院ヲ興シ成功院ト号ス」とある。			
43	01211	經純寺	詔西	(各務郡)	不明	臨濟宗	成立時期不明。以前は岩屋山詔西寺にあり。多年無住にして廢寺同様で、開基などについては不明。元禄3(1690)年(今后では貞享3(1686)年)、福原郡加納町森作が再興。	6, H		
44	01212	賢王山	本光院	詔崎	(方集郡)	元禄年間	元禄年間(1688~1704)、玄謙が南極公を御門(本光院)別院御碩士(書院)のために舟宿を結び、萬休和尚を請じて圓山とし、尼船を以て住職とした。01214董松院本寺。			
45	01213	多寶山	明王寺	秋沢(方集郡)	江戸時代	臨濟宗	成立時期不明であるが江戸期の可能性がある。創建当時から当地にあり、移転はないという。掛雲山豊龜口、中腹は江戸坂と境内の無縫壁にあるが、時期について開闢なく不明である。	6, H		
46	01215	龍祥院	城田寺	(方集郡)	寛文4年	臨濟宗	寛文4(1664)年、龜峯圓山。天保2(1832)年再興。	6, H		

表27 岐阜市参考寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山號(寺號)	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	前革等	遺物、遺構
47	01217	大崩山長樂寺	石谷(方原郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び沿革不明。		G、H、板付玉輪塔
48	01221	松久山覺寳寺	藤原町(厚見郡)	元和元年	臨濟宗	元和元(1615)年、雲心如開創。圓澤は悟源の転。至和元年(1716~36)、第六代大椿祖印禪師が再建。井ノ口山下に伝来した古木を祀る。		
49	01222	心城山乾祐寺	城田寺(方原郡)	佐寛文12年	臨濟宗	寺伝によると、寛文12(1672)年、原通寺9世萬職東宣が退居したのが寺の始まりである。また、承応2(1653)年、法定万舟が中興開山となる。		
50	01227	萬松山曉園寺	木挽町(厚見郡)	寛文年間	臨濟宗	寛文年間(1661~73)、柳家宗達が開山。大規模に配慮して、自力及び信後の資助を得て順次立て小堂を建立し、物販をなし、相続して岐阜名門の祈念寺とした。これをもって、圓福寺代々の御宿所と御懸上候式である。		
51	01228	切通藏教院	長森町(厚見郡)	不明	臨濟宗	成立時期不明。切通陣屋跡に藏教院がある。境内の石碑には「切通藏院は長森城跡」と記されており、かつて長森城があった場所であるといふ。		G、H
52	01230	円通山慈恩寺	岩利(方原郡)	現代	臨濟宗	成立時期及び沿革の詳細不明。かつては山近くに本堂があったが、近年現在地に移したという。		
53	01231	正岳院	大崩(各務郡)	宝曆~明和年間	臨濟宗	宝曆(1751~72)の頃、照嚴尼の開創で、第2世祖教の時に正岳庵と号した。現在は無竹で前の向かいにある慈善堂は解体された。近年新しいお堂を立て、本尊釈迦如来と薬師如来を安置するといふ。		G
54	01232	保福山慈済寺	西川手(厚見郡)	寛文年間以降	臨濟宗	成立時期不明。院号はないが鎌守也平西面の碑があり、寛文年間(1661~73)大崩し難破できなかったという。宝曆5(1755)平巻尺四面の天満宮社を建立した。		
55	01233	岩利山長泉寺	岩利(方原郡)	江戸時代か	臨濟宗	成立時期不明。境内に江戸崩の元号が記された無縫塔。本堂前に「第十九世光峰和尚和尚賁山記念」と記された石碑があり、江戸崩以前の創建である可能がある。		G、H、I
56	01236	水上萬木叢院	加納南広江町(厚見郡)	元和3年	臨濟宗	慶長17(1612)年、清水伊三郎が広江川から金の仏像を拾った。清水家で小龕を開け、冠して之を萬木叢と名したが、やがて01258光明寺に寄附した。二代目加納義主・松永公政の元龜院がその水上に殿を造つて龕を安置したことから上院といつた。元和3(1617)年、北傳が広江川の川縁を埋めて水上殿を陸地に移転。		
57	01238	福岡山岩松院	安富(方原郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び沿革不明。墓地にある無縫塔に江戸崩の記載がある。		G、H
58	01242	大崩山少林寺	福宮(山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期不明。昔この地に少林庵という叢林があったが、寛永年間(1624~44)土木・大野の両氏が再興し、01211聖松院の歎を請ひて御根とし少林寺と改め、寛文年間(1661~73)妙心寺院となる。		G、I
59	01248	宮側山空泰院	土上村(方原郡)	寛永19年	臨濟宗	寛永19(1642)年。浮舟により成立。		
60	01256	敷園山地藏寺	木挽町(厚見郡)	享保19年	臨濟宗	月江理清禪尼の坐跡により。享保12(1728)年、下竹屋土居にあった庚申堂を移した。享保19(1734)年に美濃吉田の福圓院を遷り受け、敷園山地蔵院の寺号を得た。大広正願院時應寺大和尚を圓山始祖に、真性淨中興開敷山大和尚を創建興院に勅願して法繼を建立し、圓福院坐鏡の寺院となつた。		
61	01258	大崩山光国寺	加納西広江町(厚見郡)	慶長19年	臨濟宗	慶長19(1614)年、加納領の草創。同年忠政が寄託し、法名光国寺と讃し。当寺を御供養を行つたため、大広山光國院の寺号を得た。後光國寺と改称。圓山は勅願妙心寺南大和尚、創立の際は廣成院三万石屏であった。		G、H
62	01260	保寿山圓王寺	見足(各務郡)	承応元年	曹洞宗	以前は圓王山圓王寺という仲上宗(法華宗)の寺があつたが、承応元(1662)年に萬長正顕が梵鏡を鉢持して伽藍を修理し、万治元(1668)年開山。寺号を保寿山圓王寺と改めた。寛延3(1750)年火災に遭う。		G
63	01264	畜宮寺	木田(方原郡)	不明	曹洞宗	成立時期及び承応不詳。位置不明。		
64	1267	円通院	茶見中野郷(各務郡)	文化年間	曹洞宗	文化年間(1604~8)茶見月尼が草庵を結んだ。その後、海月尼が病魔に犯され寂したが、舟明尼が舟見月尼の物語を集めようと一庵を建立した。単根祖印大和尚を圓山に仰ぎ01284電燈寺の末寺となつた。		G
65	01268	乗輪山金剛寺	木田(方原郡)	元禄5年以後	曹洞宗	成立時期不明。以前金光寺があつた。元禄5(1692)年金久院より蓮山萬廟が蓮山中興し末寺にする。		
66	01269	天瑞山妙楽寺	上野郷(方原郡)	享保5年以前	天台宗→曹洞宗	享保5(1720)年、舟風徵が0806田寺克に入り寺を繼承したが、後に退位して、興徳の上院に開創して本寺を開く。住吉は天台宗の小寺院であつたが、この時曹洞宗に改めた。		
67	01273	普門山智照院	岩田西(各務郡)	正徳元年	曹洞宗	正徳元(1711)年、智照元明尼が小寺庵を創立。それから100年余後、道題和尚が普門山智照院と改称し、中興開山となる。		

表28 岐阜市参考寺院一覧表(4)

番号	寺院 寺号	史籍 山(院)号 寺名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	書物、遺構
68	01274	薬師山 東林寺	石谷 (方原郡)	明治41年	曹洞宗	成立時期不明。以前は坂戸内にある八幡神社の西側竹林内にあり、方形の平坦面が残る。かつては瓦片が敷在し、井戸跡もあったという。明治維新後は八幡神社の祭地も執り行っていた。明治41年に現在地へ移転。	
69	01275	薬山 音福寺	松山町 (厚見郡)	大正15年	曹洞宗	宝曆3(1753)年創立。以前は薬山元寺により薬山と称する寺院があったが、いつしか音福寺となった。音福寺には大正15(1926)年脇瓶より寺号を移転し、牧牛薬山と開山して開かれた。	G
70	01276	永月寺	谷地 (厚見郡)	17世紀頃	曹洞宗	元禄元年(1688)年創立とするが、権現堂に奉られる薬世音菩薩は、延宝年間(1673~81)に菅原由土にした私邸で、後に天枝和尚を開山によって永月庵と称し、宗祖信体法施によって永月寺となった。	
71	01277	光照山大日寺	西川手 (厚見郡)	文政13年	曹洞宗	文政12(1829)年、萩原本利和尚は「下川手大日廣光國寺都之始。今年鑑寺へ譲受く。香資金六両鑑畫」である。翌13年に建立し照應和尚を講じて開山した。	G, H
72	01282	薦音寺	貴良 (方原郡)	不明	曹洞宗	薦音堂が現存するが成立時期や沿革等の詳細不明。	
73	01283	圓林山 大覺寺	長良 (方原郡)	不明	曹洞宗	現存するが詳細不明。	
74	01287	廣教院	茶見 (各務郡)	万治年間	黄檗宗	成立時期不明。もとは松原寺と称した。觀音を祀り五輪石塔も存在した寺であった。万治元年(1658~61)自駿院が小庵を結び、觀世音を守護。延宝初年(1673年頃)了説が她的らに懇意を建て崇雲山廣教院と称し、中興開基となった。	G
75	01290	慈雲山 正法寺	茶見加野 (山縣郡)	延宝元年	黄檗宗	延宝元(1673)年創立。延寶和尚が小庵を建立。寛文4(1684)年、01289清水寺の住持として崇雲山正法院を開いた。延宝和尚が死んで後は、寺を守護できなくなることを愁ひ、慈雲山正法寺と名付け、創始者となった。渾然と併存する。文政年間(1818~30)大火で焼失したが、天保3(1832)年雄琴が再興。	G
76	01291	太華山 真聖寺	茶見 (各務郡)	明暦3年	黄檗宗	明暦3(1657)年、明豈が開創し慈雲山真聖寺と称した。渾然雄森が開山のうちに慈雲山真聖寺と改めた。平成14年(2002)に岐阜市史跡博物館の調査で、境内付近から800年代にさかねられた舟底が4つ同じ位置で発見された。船にも仏具や仏の頭が出土し、以前は明豈が存在した可能性がある。	纏骨器
77	01292	紫金山 安樂寺	細倉 (方原郡)	不明	黄檗宗	寺は現存するが、成立時期や沿革等の詳細不明。	G, H, I
78	01293	金鳳山 正法寺	大仏町 (厚見郡)	天和3年	真言宗→ 黄檗宗	天和3(1683)年、応音が文殊菩薩の坐像として開基し、手足もしくは大休を園山に安置。延宝2(1674)年、「織田金鳳寺」に、元禄3(1690)年久堂守成となる。享保2(1717)年、黄壁山万福院の末寺となつた。	
79	01294	法雲山 妙泉寺	加納 (伏見町) (厚見郡)	明暦3年以 前	日蓮宗	以前は法雲寺と称したが詳細不明。明暦3(1657)年妙泉寺と改め。日蓮上人を御山とした。	G, H
80	01295	日行山 藍壽寺	聚雲新田 (厚見郡)	文政4年	日蓮宗	文政4(1821)年成立。寺伝によると、成立は天保12(1841)年とあるが、この源流は道場のような位置から寺号として承認されるまでに数年かかったのではないかと思われる。	
81	01296	金華教院	長森町通 (厚見郡)	不明	日蓮宗	現在の出音寺地界を支配したことと思われる。成立時期等、詳細不明。	
82	01305	妙寿寺	加納 八幡町 (厚見郡)	天保年間	日蓮宗	天保の初期(1830~44)、鶴見城家若狭庄十全の私財敷地といわれる。信長姫御寝以後、清州の日蓮堂法華寺は三分し、その一つが妙寿寺へ移転。慈眼であつた草薙院(現:現正寺)も岐阜へ移転。元禄2(1689)年現正寺を公稱した。	G
83	01306	圓融山 圓融寺	矢島町 (厚見郡)	17世紀後半	日蓮宗	創建は(1630~44)、鶴見城家若狭庄十全の私財敷地といわれる。信長姫御寝以後、清州の日蓮堂法華寺は三分し、その一つが妙寿寺へ移転。慈眼であつた草薙院(現:現正寺)も岐阜へ移転。元禄2(1689)年現正寺を公稱した。	
84	01322	こしき地藏堂	近島 (厚見郡)	不明	單立	成立時期及び沿革不明。小さな地藏堂が現存する。	
85	01324	弘壽寺	薬山宇中園 (方原郡)	不明	單立	成立時期及び沿革不明。位置不明。	
86	01326	圓融院	中江丘町 (厚見郡)	不明	單立	成立時期及び沿革不明。堂が現存する。	
87	01327	薬師寺	越屋西町 (厚見郡)	不明	單立	成立時期及び沿革不明。本堂や薬師堂が現存する。	
88	01328	薬山 觀音會	薬山 (方原郡)	不明	單立	成立時期不明。岐阜市史跡である森田草平生誕の地に「薬山觀音」という石碑を確認した。	
89	01329	仏国寺	上加納山 (厚見郡)	不明	單立	成立時期及び沿革不明。境内にあった看板には「無宗派」とある。	

表29 岐阜市参考寺院一覧表(5)

表30 岐阜市参考寺院一覧表(6)

番号	寺院番号	史跡	山(國)号	所在地	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
112	01412	才合寺	無	福富 (山縣郡)	不明	不明	01067淨土寺の門前に五輪塔と一緒に「才合寺跡」という石柱を確認。昭和40年代にはすでに石柱だけしかなかったといい、その石柱を淨土寺に移したという。	
113	01415	妙光寺	下加納 (厚見郡)	不明	日蓮宗	寛文年間(1661~73)製作とされる松平時代の地圖に、明光寺の寺名がみえる。松平の移転とともに間に移転。位置不明。		
114	01418	川島山 良善寺	加納 寺町 (厚見郡)	不明	淨土宗	元和元(1615)年、安藤重信が川島(上州高森町)に創建。田辺山橋寺院良善寺と称す。萬治元年(1658)大坂の御門守として、主と8(1711)年信玄公を尊ぶ御門守として加納に移転。宝暦7(1757)年、白油が平の八幡小路に堂宇を移転。平へ移建後の良善寺は、建築はそのまま加納にあり、久遠寺に預けられた。位置不明。		
115	01420	諸宝院	加納 中庄町 (厚見郡)	不明	真言宗	成立時不明、京三宝院末。位置不明。		
116	01421	大室山 長慶寺	加納 八幡町 (厚見郡)	不明	真言宗	御城廻院八幡宮別当であったが、明治維新後分離廃寺。八幡神社は現存し、城内南側にやや広い土地がある。		
117	01422	華藏院	瀬口 (山縣郡)	不明	淨土宗	寛永10(1633)年、寛永上人の義滿孝真の創建にして額を賄給して開山とし、華藏院と称す。位置不明。		
118	01423	觀空庵	山県村 北野 (山縣郡)	不明	曹洞宗	正徳3(1713)年、武儀郡小野寺施施寺源惠和尚本村海登臣に一字を創建し開祖となる。位置不明。		
119	01424	覺性山 圓空寺	河渡 土居 (方知郡)	不明	臨濟宗	成立時不明。河渡土居内に圓空寺墓地がある。以前般空寺があったが廢寺となり、圓空寺の一部が残る。圓空に密接な作法おおき。明治10(1870)年頃までは建物一部が存在していたという。現在は河渡集落があり、玉縄塔を確認できるが、石五輪塔は確認できず。圓空寺自体が移転してきている。詳細な位置不明。	6、I	

表31 羽島市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(國)号	所在地	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
1	09005	寺島山 德林寺	桑原町 大須 (中島郡)	昭和26年	真言宗	長保年間(999~1004)、大江式部太江汎衡(中島郡)が創建(現平田町種子守郷)に建立して成立。応永年間(1394~1428)、土門二品尼證誠王が五輪塔を建立し寺島山万葉院院林寺の寺号を附せられた。則と26(1951)年海津郡平田町種子から大須領内の視認・移転。				
2	09007	龜坂山 福恩寺	上中町 長間 (中島郡)	伝延町時代	淨土宗	成立時不明、支那寺第34代一空法士の開基。後小室天皇(1372~1392)から阿弥陀堂を奉修する。木曾川の洪水で宝物を失出し、他の寺と合併して改称。これを岐阜市立文化センター事務所。日々が作られた阿弥陀堂の尊像を報恩寺の本尊としたとの伝承。			04	
3	09008	佛法輪山 光明寺	竹鼻町 (羽根郡)	慶長2年	淨土宗	慶長2(1597)年、空円豊と圓山により成立。寛政10(1798)年、木曾川の洪水で諸宝物等が流出。舟宿第一殿の協力で諸宝を再建。明治10(1877)年、大火に罹り同3年再建。明治24(1891)年の大火時に宝物多く全焼。今のお本堂は明治27年の建築。			04	
4	09009	常楽山 圓音寺	尾張町 小荒井 (羽根郡)	永祿元年	淨土宗	永祿元(1558)年、尼妙香創建により成立。元祿首堂と称しているが、明治24(1891)年に圓音寺と改称。			04	
5	09010	大慈山 正法寺	竹鼻町 (羽根郡)	慶長19年以降	淨土宗	天正15(1587)年、立政寺15世應智空の創建により成立。福海村本郷にあったが、慶長19(1614)年の洪水で被災し、現地に移転。難波と呼んでいたが、正徳4(1714)年、大慈山正法寺と改称。当時は西郷原。享和4(1719)年と明和9(1772)年焼失。大正8(1919)年、桜林寺に転出。			6、I	
6	09016	尊重山 賢寶寺	上中町 長間 (中島郡)	明応元年	真宗	明応元(1492)年、淨勝(小山田勝十郎)の創建により成立。			6、II, 石仏	04
7	09017	般禪山 光福寺	下中町 城垣郷 (中島郡)	天正年間	天台宗 →真宗	往古は天台宗で心纏坊と称した。応永の頃(1394~1428)舟宿前九郎の開基により成立。天正年間(1573~92)加賀野井古屋繩から難波の姓によった。				04
8	09018	江瀧山 安覚院 福安寺	江吉良町 (中島郡)	嘉慶2年	天台宗 →真宗	保元元(1156)年、空専坊の創建により成立。元覚宮地内にあつて江瀧山安覚寺と称し天台宗であつた。往古は江吉良の西南に「神宮」という大社があり、当時はその宮守であつた。永万元(1163)年、平氏の守護である佐伯を守護とし、尊號が安忍(1170)年ごとに付与された。現在(現在地)に於けるのち御前御所の御所と號して置かれていた。川越六坊の6号の寺の僧が土人に帰依し、真正に改宗。寺号を福安寺と改称。前年の安覚寺を記念して安忍院福安寺と称する。			04	
9	09019	緑入山 進順寺	竹鼻町 綠尻 (中島郡)	寛正2年	真宗	寛正2(1461)年、本願寺少林院法印子心の創建により成立。				04

表32 羽島市寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、蔵構 調査結果	分布図
10	09020	西鈴山 南春寺	桑原町 小鶴 (中島郡)	明治38年	天台宗 →真宗	往吉は天台宗で文禄2(1593)年。和泉国柳原新屋敷にあって極寺と称した。寛永9(1632)年、北海道福山城主松前佐渡守の二男秀南(木幡守九郎左衛門次第子了法法勝)が極樂寺を移し、真宗南春寺と改めた。明治38(1905)年に現地に移り、明治44(1911)年覺宇堂と再建。			
11	09021	東高山西音寺	正木町 須賀寺 (中島郡)	文明2年	真宗	文明2(1470)年。本願寺第八世蓮如法子了念の創建により成立。		N4	
12	09022	妙高山西立寺	小鶴町 西小鶴 (羽根郡)	明応年間以 降	天台宗 →真宗	成立時期不明。元天台宗。明応年間(1492~1501)住職西光坊祐達が蓮如の真弟となり西光に転属。現在の本堂は明治27年の重建。		N4	
13	09023	嘉行山明照寺	小鶴町 栗原 (羽根郡)	16世紀後半	真宗	天文3(1534)年。勢州姫名郡長島郷江法城寺住職兼正永男了俊が開基に創めた。長島の一一向揆後に当地へ移転したという。	G	N4	
14	09024	宝福山顯教寺	足近町 市場 (羽根郡)	大正時代	真宗	治承4(1180)年。源保で御平合戰があり、その戦没者の供養のために建立。元の寺号は本福寺で天文7(1538)年。誕宗の第二道族(木幡十一代玄蕃加人延子)が顯教寺と改称。真宗に転属。寺の本堂は09028西方寺の間にあった。大正期に現在地に移転。	G, I	N4	
15	09024b	顯教寺旧境内	足近町 直道 (羽根郡)	治承4年				N4	
16	09025	竹森別院	竹森町 (羽根郡)	室町10年	真宗	嘉祐元(1235)年。觀智の教化をきっかけに木幡に尊崇が被られ成立。文明(1470)年に蓮如が再興し、「河野御坊」と名付けられたが、後に寺号寺と改称。天正4(1576)年には木幡村にあり、その後見原郡上川手村に移転。慶長1(1604)年に竹森下町(09025b)。現在の09034開運寺の廃寺)に移転し、室町10(1760)年に現地に移転。明治11(1878)年に寺福院から竹森別院に改称。			
17	09025b	竹森別院 旧境内	竹森町 (羽根郡)	慶長9年					
18	09026	正覚山賢義寺	足近町 賢道 (羽根郡)	文永4年	真宗	文永4(1257)年。淨教(田中助左衛門守吉)の創建により成立。蓮如に仰慕し、木幡本尊六字名号を受け善了坊と称し、貞享2(1685)年に賢義寺と改称。		N4	
19	09027	金剛山正明寺	桑原町 東方 (中島郡)	長享3年	真宗	長享3(1489)年。本願寺第九世宣如の法子敦了道の開基により成立。		O4	
20	09028	寺田山西方寺	足近町 直道 (羽根郡)	慶長年間	法相宗 →天台宗 →真宗	准吉天保20(1612)年。太子寺が成立。寛仁2(1011)年に准吉が法相宗の開基として成立。寶永3(1606)年に藤原氏家が開基して西方寺となり。太子寺も西方寺と改称。その後の鑑鏡の弟子となつた若狭守が淨・真宗に転属。戦国期には織田信長と対立し、9回の移転を経て慶長年間(1596~1625)に現在地へと戻る。	G, H	N4	
21	09029	龍糸山極楽寺	正木町 御井 (中島郡)	正応3年	真宗	正応3(1290)年。長兵の創建により成立。はじめ天台宗であったが、寛永16(1609)年に蓮如が真宗に転宗。同年從来尊黙坊と称していたものを極楽寺と改称。		O4	
22	09030	知慧山正圓寺	上中町 一色 (中島郡)	応永27年	真宗	応永27(1440)年。三河本願寺第五世淨心法子、正圓の創建により成立。慶長2(1597)年。正圓寺と改称。		O4	
23	09031	白梅山光濟寺	上中町 寺 (中島郡)	文明3年	真宗	文明3(1471)年。本願寺第8世蓮如法子仙海の創建により成立。文永3(1303)年に寺号を改めた。	G, H, I	O4	
24	09032	真宝山徳仁寺	上中町 中 (中島郡)	天文5年	真宗	成立時期不明。佐久羽賀郡真島村(岡島村)にあって西照坊といつたが、天文5(1410)年現地に移転。天文2(1533)年徳仁寺と改称した。川越六時堂に。		O4	
25	09033	聖通山正寿寺	下中町 石田 (中島郡)	応永24年以 降 詳しくは 貞治元年	真宗	応永24(1417)年に尾張国愛知郡黒田(一宮市木曾川町)に開山された天台九ヶ寺の本坊実相院豊竹山昌寧寺が起原。その後、祖父江を継て現在地に移転。本願寺印心に帰依して正寿寺と改称。現在地への移転時期について『羽島市史』には、貞治元(1363)年とある。	G, I	O4	
26	09034	的場山開舟寺	竹森町 (羽根郡)	慶政年間	真宗	成立時期不明。天文7(1538)年、浅井津祐が真宗に転宗。元竹森町的場の前に現地に遷れてきたとされる。寛永11(1634)年に淨光院(1789~1863)に移転。	G		
27	09038	熊本山永明寺	小鶴町 西小鶴 (羽根郡)	16世紀後半	真宗	成立時期不明。三重県松阪市乙部町にあったが、長島の一向一揆の後に現地に遷れてきたとされる。寛永11(1634)年に淨光院が中興開基。		N4	
28	09039	鳳亭山圓應寺	竹森町 飛穴 (羽根郡)	明応5年以 降	真宗	明応5(1490)年、円照(河合庄右衛門秀長)の創建により成立。始めは土岐市河合にあったが、現在地へ移転。移転時期は不明。	G		
29	09040	一雲山法源寺	竹森町 御井 (中島郡)	天文年間	真宗	天文年間(1573~92)、民部卿長雲一雲の創建により成立。		O4	

表33 羽島市寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史籍	山(院)号 寺院名	所在地 (町字名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構 調査結果	分布 図
30	09041	幽谷院 西岸寺	竹鼻町 (羽島郡)	天正年間	真宗	天文年間(1573~92)、足利村西方寺九代の住持祐龍が慈福寺として建立したことにより成立。			04
31	09042	空濱寺	正木町 三ツ柳 (中島郡)	永正7年	真宗	永正7(1510)年、本願寺第九世実如法子である了西の創建により成立。			04
32	09043	華光山 圓照寺	下中町 右田 (中島郡)	貞觀19年	真言宗 →真宗	貞觀13(871)年、空海の弟の真難が建立して成立。永正2(1505)年、了善が本願寺蓮如に帰依して真宗に転宗。			04
33	09044	蓮光山 圓廣寺	正木町 坂丸 (羽島郡)	江戸時代	天台宗 →真宗	時期不明、天台宗であったが、09043蓮龍の末子として文明3(1471)年に真宗に転宗。寺院の歴史については、転々と移転していると考えられ、現在地に移ってきたのは江戸時代だと考えられる。			
34	09045	西野山 圓淨寺	正木町 西野 (中島郡)	元祐5年	真宗	明応3(1494)年、実心が上中町長間に創建して成立。元禄5(1692)年に現在の地に移転。			
35	09047	飛雷山 榮壽寺	正木町 森新田 (羽島郡)	嘉靖3年	天台宗 →真宗	成立時期不明、始め天台宗であったが嘉靖3(1527)年に宗円が圓覺に帰依して真宗に転宗。川並六箇の一ヶ榮壽坊と称した。	G, H	N4	
36	09048	円満山 伝信寺	緑津町 (中島郡)	文亀元年	真宗	文亀元(1501)年、行専の創建により成立。寺伝によれば明応5(1496)年に赤藤利光が現在の地で利空、天台宗開闢王寺を創建。天正10(1541)年、玉象が再興し、のち真宗となる。	G	04	
37	09050	普慶山 傳慶寺	緑津町 (中島郡)	元和9年	真宗	正安2(1390)年、本願寺第二世如知舟慈鷹の創建により成立。天正9(1581)年に正木町大通か移転し、慶長10(1605)年安六郎名森村に一寺を建立したが、元和9(1623)年に再び現在地に移転。			
38	09052	東源山 圓福寺	桑原町 御野 (中島郡)	天正18年	真宗	天正18(1590)年、豊後の開基により成立。寺伝によると石山合戦および長島一向一揆の時に負けて崩壊してきた者によって建立された。		04	
39	09053	長岡山 圓應寺	桑原町 久神 (中島郡)	寛正5年	真言宗 →真宗	寛正5(1464)年に成立。往古は真言宗で道源が本願寺八世蓮如に帰依し、真宗に転宗。			04
40	09055	證登山 淨榮寺	竹鼻町 (羽島郡)	享禄4年	天台宗 →真宗	成立時期不明。号号を法勝院と称し、中島郡西加野井村の住人、道源の開基で元天台宗であったが、川並六箇の坊主となつた。二代目壽圓が寛正2(1466)年に住職となりた。享禄4(1503)年に加賀野井村より当町に移転との伝承有。			04
41	09056	大忍山 圓藏寺	緑津町 本郷 (羽島郡)	寛正元年以降	真宗	成立時期不明、当初曹洞宗で、寛正1(1460)年住僧、萬如意に帰依して真宗に転宗。守号を元尊法印呼んだ後法藏と改稱。出家は安六郎木戸村(輪之内町)牛井の末裔で川並六箇の一つ。			04
42	09057	誓德山 傳法寺	竹鼻町 阿原 (中島郡)	延徳元年以降	真宗	康永3(1254)年、圓證が麻羅尼を建てて成立。八代目慶順が延徳元(1489)年に寺を建立。のち領主石河氏が現在の地に移築したと伝承有。			
43	09069	華嚴山 圓信寺	上中町 圓聞 (中島郡)	弘治3年	真宗	弘治3(1587)年、本願寺第10世、延喜法主の圓証の創建により成立。			04
44	09060	白雲山 東光寺	桑原町 大須 (中島郡)	明治45年	真宗	文明2(1470)年、誓の開基により八神村に成立。延宝8(1680)年、大須西川田村に易地。明治38(1905)年末河川改修につき再移転し、明治45(1912)年現在の地に移り本堂及び諸建物を新築。			
45	09061	天道山 圓教寺	桑原町 八神 (中島郡)	永正5年	真宗	永正5(1508)年、元元(藤名桑原助兵衛)実如法主の法弟となり景宇を建立して成立。	I	04	
46	09062	光明山 本照寺	福寿町 平力 (羽島郡)	16世紀頃	真宗	天文2(1533)年、伊奈国圓鏡寺住職兼摩五郎、圓光が一字を創立して成立。光融寺と称し、天正年間圓田信長、長島妙寺の御堂兵火に罹り、その後庵在地へ移転して今号を本照寺と改称。	G	04	
47	09063	太閤山 圓福寺	福寿町 圓舟 (羽島郡)	伝13世紀中頃	天台宗 →真宗	成立時期不明。往古は天台宗で東勝寺と称した。寺伝によると圓覺の時代に寺伝が現在の位置に創建したとされる。元禄11(1698)年4月6日 本照寺を改称。	G, H	N4	
48	09064	圓寶山 圓応寺	下中町 加賀野井 (中島郡)	延祐2年	天台宗 →真宗	延祐2(1490)年、圓教の創建により成立。元天台宗圓智寺末で東光寺と称していたが真宗に転じて圓応寺と改称。初代住職を圓教と称した。			04
49	09065	無量山 正寿寺	近町町 小荒井 (羽島郡)	寿永2年	真宗	寿永2(1182)年、正口(左側上から)、曾、西、丁の字、右側由の創建により成立。始め天台宗であったが寛永元(1604)年に第十二世宗寿が本願寺第八世蓮如に帰依して真宗に転宗。			N4

表34 羽島市寺院一覧表(4)

番号	寺院番号	史跡	山(宿)号	所在地 (旧郷名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
50	09068	府中山 照西寺	舟橋町 (中島郡)	慶正2年以 前	真宗	成立時期不明。惠光の開基により成立。始め天台宗であったが 寛正2(1461)年本願寺蓮華の法子専寿が住職となって真宗に転じ、慶長17(1612)年5月別光院を西寺と改称。川並六坊の一 つ。			04	
51	09070	光榮山 了應寺	小鶴町 東小鶴 (羽島郡)	天正年間	真宗	天文20(1551)年に成立。元大徳寺寺住職延喜の三男詰賀が此處に一 宇を創立して成立。光榮寺と称した。天正年間(1573~92)兵火 に罹り、現在はに再興して了応寺と改称。	6	N4		
52	09071	妙高山 大慈寺	足近町 北宿 (羽島郡)	文永元年	臨済宗	文永10(1264)年に成立。元大徳寺寺住職延喜の三男詰賀が此處に一 宇を創立して成立。光榮寺と称した。文和元(1352) 年、直叔を開基として城主・吉良山城守を中興開基とする。 天正年間(1573~92)妙心寺派に転属。	6, II	N4		
53	09072	南江山 延命寺	正木町 大浦新田 (中島郡)	天正元年	臨済宗	天正元(1573)年、大恵寺を五世豊後の創建により成立。臨済派 元大徳寺寺住職延喜の三男詰賀が此處に一宇を創立したが、明治2(1869)年大慈寺から繩木本山直 末となる。	6	04		
54	09073	慈日山 金寶寺	桑原町 八神 (中島郡)	慶長元年	臨済宗	慶長10(1605)年、松江大和勘を開山とし、毛利輝元介解次を 開基として成立。明治24(1891)年の濃尾震災で諸堂が全壊したので明 治27(1894)年7月本堂を再建。	6, III, I	04		
55	09074	小熊山 一乘寺	小鶴町 西小鶴 (羽島郡)	伝弘仁10年	真言宗 →臨済宗	弘仁10(819)年に布施の開基として成立という説がある。当初真言 宗であった。その御開祖が本堂を再建。その後、荒廃し方治元 (1658)年に真言宗から臨済宗淨心寺派に転宗再建。	6, III, I	N4		
56	09076	面壁山 少林寺	竹幡町 瓢穴 (中島郡)	延宝2年 若しくは 慶安2年。 明暦元年	臨済宗	成立について複数の説がある。明暦元(1655)年、本有音道(道家 氏)の開基により成立。延宝2(1357)年、近江国本願寺第二代寂 庵蓮峰が圓山により成立。慶安2(1649)年、永源寺末西明寺 の開基の建立山より成立。	6, III, I	04		
57	09080	真如山 本覺寺	竹幡町 (羽島郡)	承和元年	天台宗 →曹洞宗	承和元(1058)年、尾張国正根寺八代玄長の私創により成立。往 古は天台宗、後に真懶したが天台期に竹幡尋常小学校の開設 で本覚寺と改め大蔵院大居するの為に天台を創立。寛弘山大蔵院本覺 寺と称し、玄巣院空谷が天台宗を曹洞宗に転化。慶長5(1600) 年、竹幡城被築の時諸堂が焼失。延宝3(1695)年或は享享4 (1687)年、乙巳秀秀を勧請し開山。安永3(1774)年、火災で焼 失したが天明6(1786)年本堂を再建。	6, I	04		
58	09083	泰寿山 續江寺	江吉良町 (中島郡)	延宝12年	?	平成2(1990)年、豊成天長が泰壽に命じて建立との伝承有。その 後、大水で倒れ再建。承元万(1165)年平重盛が神宮御社 (0910)年吉良神(通鑑)を焼失。後も落成した時、この寺も焼失。承元末 (1177)年重盛が再建し、泰寿山泰寿寺と命名。応永4(1417) 年、宜庭が再建。御飯を齋して開院したのが、天正の泰壽で無 住となる。天正2(1562)年、乙巳秀秀が再興したが、濃尾震災 で倒壊し現在の仏堂を昭和35年に建設。	6	04		
59	09088	北野山 宝生院 真福寺	桑原町 大須 (中島郡)	昭和34年	真言宗	成立は唐久年間(1190~99)、嘉祐(1226)年。寛正(1243~47)の 頃などと諸説ある。土地の入達が尾張國中島郡長岡町大須(現岐 阜県羽島郡中島町)に中島郷真福寺を建立。約130年後、京都北野天満宮の 分身堂として、中島郷の開基であるとされる。その開基の名前を 冠する。その後、伊勢守・能庭という僧が京都の天満宮の子院を 開くことになり、北野山真福寺と号する真言の寺院が創立。宝生 院と改称。慶長5(1600)年の大須水と笠塔婆堤山。元和元(1618) 年、徳川家康の改修によって名勝・星城下に転化。慶長の當 年は、慶長17(1612)年名古屋に移転の由来の深いこの地に新 たに1ヶ寺を新設して御飯真福寺と称したもの。この真福寺も 水災等により崩壊を繰り返しており、現在地へは昭和34年改 定。昭和地の花園は、09060東光寺付近近くという説と異不 明。	6, II			
60	09094	七宝山 聖德寺	正木町 大須 (中島郡)	不明	真宗	寛永年間(1629~32)、圓融の開基で成立。現存舟舟によれば十供 圓融の時、大須から長岡郡寺合村に移転し、又大須に移り、 永正元(1504~21)岐阜郡中島郷白井村(現岐阜市)に移転。天正 (1573)年(?)の小牧・長久手の戦いで焼失。慶長年間(1596~ 1615)、萬葉郡三ツ原(笠原町長池)に再興されたが、慶長7 (1602)年木曾川の大洪水で伽藍が焼出。翌年、尾張清洲に再 建。慶長10(1605)年名古屋東門前に移り、寛永19(1642)年現 在の御坂町に移ったというが、位置不明。				
61	01096b	繼聖寺旧境内	舟橋町 舟北 (中島郡)	天正8年	?	成立時期不明。非繼聖寺社の宮寺で同神社の西園にあったとさ れる。舟本尊の裏には「繼如、文明二(1470)年五月二十二日、中 島郡御作村北方之内、舟良真御」とあり、天正8(1560)年に舟 草原千代(01086b)に移転し、出身地を姓として「舟良繼聖 寺」といっている。真宗寺としての創建は繼聖の時で天文5 (1536)年の文書で寺号が記載される。		04		

表35 羽島市寺院一覧表(5)

番号	寺院番号	寺籍	山(院)号	寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査駆除	分布図
62	09101			善薰寺(院内)	竹鼻町(羽島郡)	不明	真宗 →曹洞宗	現在は松島山善薰寺と号し、善薰寺に所在。元永年間(1394~1428)、大徳院の原基により成立。始め江岐阜県竹鼻村にあり、善薰寺と号する真宗の寺院であった。文亀2(1602年)、大徳院貢が牧正願寺八度宣室と謹して末法としその名に改称。天文4年間(1535~36)、清洲に移り、さらには中区門前町に移転。安永5年(1776年)、火災で焼失し、天文4(1714年)に堂宇を再建。昭和12(1937年)、名古屋市千種区城山町に移転。羽島市内における旧跡位置不明。			
63	09109		(吉良神宮 道跡)	江吉良町(中島郡)	信龜天皇廟	不明		承仁天皇(BC29~70年)の時代に倭姫命が父承仁天皇の祀を貢みたとされる。倭姫命の御代として、吉良郡の吉良村に御代に近く、永万元(1665年)平清盛に使者を遣われるまでは武田の子孫が神官宮近に居住していた。平清盛に焼き払われた後、社殿の再建を企てるもなく、神主は農民となり、東郷中に移転し、寺号(990年)吉良安寺と09083江吉寺。『神宮』とともに永万元年に焼き払われた。)も現在の位置に移転し、その後形ばかりの小社(現在の神宮神社)を建てて今日に及んでいる。	須恵器、 土師器、 山茶碗、 石器、 吉良村 の古跡、 骨董	04	

表36 羽島市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	寺籍	山(院)号	寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構		
1	09002			法恩院	上中町長岡(中島郡)	不明	真言宗	成立時期及び沿革不明。位置不明。			
2	09006			電雲山瑞興光寺	小熊町西小熊(羽島郡)	不明	淨土宗	成立時期不明。尊士真宗西山源元名古屋市瑞興光寺。往古は村東にあって神宮寺と称した。後兵火に罹り宝宇が焼失。			
3	09012			淨光山慈峰寺	上中町長岡(中島郡)	不明	淨土宗	成立時期不明。慈祐の創建により成立。慈祐の來を安置したが明治19(1886)年火災に遭り史料被失。昭和22(1947年)、倒立等不詳の慈光庵とこの慈祐堂を合併して慈祐寺と公称。			
4	09013			慈祐寺	小熊町東小熊(羽島郡)	文化年間	淨土宗	成立時期不明。文化年間(1604~18)、慈祐が現在の地に再建。昭和30(1955年)、萬福寺と改称。			
5	09018			空林山円覚寺	竹鼻町宍戸(羽島郡)	明治30年	真宗	成立時期不明。佐藤河野氏の祖先は尼張に居住し、圓覺が木瀬に退転した時に帰依して寺を興した。右山の戦で住吉尼姓は教祖として力んで戦死。上人がその功業を嘉し、代々木瀬通路の守護番とし、慶長9(1604)年御坊等守令と共に当通路を守護。明治19(1886)年に本山との合併に備えて別院を創建。昭和41(1966)年に転廃。昭和39(1967年)、三重県朝日村にあった円覚寺を現在の地に移した。			
6	09035			積德山法円寺	小熊町島(羽島郡)	明治37年	真宗	寛永9(1632年)、慶應の開基により成立。三河国豊橋郡原野に創建以実七代を経て柳澤國周に移り明治37年現在の地(古来阿弥陀堂と称する堂があった)に移転。			
7	09036			宝地山遍行寺	上中町牛半(中島郡)	元和8年	真宗	元和8(1622年)、東本願寺十三世宣如上人の法子了教の創建により成立。			
8	09046			聚花山因聚寺	正木町三ツ塚(羽島郡)	大正5年	真宗	承応元(1622年)、東本願寺第五代の如智子正伝の創建により成立。大正5(1916)年に三ツ塚地内の宇土郡から現地に移転。			
9	09049			般若山生蓮寺	江吉町西(中島郡)	慶長8年	天台宗→真宗	慶長8(1603年)、実相が今いの寺に創建して成立。天台宗數家の末寺であつたが、第二代淨沙は延宝5(1677)年に真宗に転宗して生蓮寺と改称。			
10	09051			松鳴山円道寺	織津町中郷(羽島郡)	元和元年	真宗	元和元(1615年)、東本願寺第十二代法知如法子円道により成立。			
11	09054			延日山是性寺	上中町舟(中島郡)	寛永16年	真宗	寛永16(1639年)、本願寺第十三世宣如上人法子了教により成立。		C	
12	09058			慈雲山光泉寺	正木町新井(中島郡)	寛文6年	真宗	寛文6(1666年)、吉庄田兵衛の創立により成立。			
13	09066			大悲山興雲寺	下中町舟之枝(羽島郡)	寛正元年	真宗	寺伝によれば寛正元(1660)年創建で、往古は天台宗であったが往古蓮心が圓覺に帰依し、文明2(1470年)に真宗に転宗したという。元和元(1615)年、宗門の創建により成立の説もある。		C	
14	09067			南無化山華法寺	福寿町浅平(羽島郡)	寛文6年以降	真宗	成立時期不明。無垢印陀羅に帰依して本寺創建により成立。無垢印と称した。寛文6(1666年)、華法寺と改称。		I	
15	09069			龍華山尊光寺	桑原町西小森(羽島郡)	大正10年	真宗	成立時期不明。太閤府中附内都龍華村にあった尊光寺の寺号と本尊阿弥陀如来を大正10(1921年)に現在地へ移転。			
16	09075			神光山圓廣寺	足近町南宿(羽島郡)	慶安2年	臨濟宗	慶安2(1649年)、大惠寺第二世圓別川の創建により成立。元心月庵といつた。		I	
17	09077			圓應山大乘寺	江吉良町(中島郡)	寛保元年	臨濟宗	寛保元(1741年)、竹鼻町宍戸の少林寺で得度修業した梅迎桃丘の開創により成立。その後、少林寺の兄弟子大乗の協力によって無量が完成。		C	

表37 羽島市参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	寺號	山(院)号	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、直構
18	09079	龍門山 法輪寺	桑原町 小倉 (中島郡)	正徳元年	曹洞宗	正徳元(1711年)。本覚寺第四世恵通の創建により成立。圓上院と称したが、元治元(1864年)に法輪院と改号し後法輪寺と改称。		
19	09081	觀光山 圓音寺	桑原町 西小倉 (中島郡)	正保3年	曹洞宗	正保3(1646年)。恵通の創建により成立。	G, H, I	
20	09082	源谷山 秀現寺	龜津町 源谷山 (中島郡)	貞享2年	曹洞宗	貞享2(1685年)。竹島町本覺寺第六世博道の創建により成立。大正10(1921年)本堂西壁。		
21	09084	地藏寺	上中町 長良川 (中島郡)	不明	曹洞宗	本覚寺の支廟。圓住穂は八代目で明治24年の震災後本堂を再建したが、火災に遭ったので明治27(1894年)更に新築。		
22	09085	高福寺	足近町 高福 (羽島郡)	明治17年以 降	曹洞宗	曹洞宗能壽寺。当地の豪家加藤義通の私廟であったのが明治17年に武儀郡下石知能壽寺の寺号を受け昭和11(1936年)3月法蓮に寺格昇。加藤家没落後は荒廃。現は加藤一統で管理。無住で礼拝堂設置もない。	G	
23	09086	幽遠山 安養寺	江吉良町 (中島郡)	天保年間	日蓮宗	京都の大本山妙心寺第十世鐵鶴院日宗が元禄13(1700年)西濃守に一宇を建立し成立。十二世征修院が天保4年(1833~44)に現在の出来方に移転。	G	
24	09089	圓隆寺	竹森町 丸の内 (羽島郡)	不明	単立	成立時期及び沿革不明。		
25	09090	大仏寺	竹森町 (羽島郡)	寛延3年	単立	寛延3(1760年)。木曾佐吉が大仏や教説堂などを建立。寺院としては登録されていないからだが、昭和36(1961年)に宗教法人として教説事の認証を受けた。		
26	09092	圓善山 御宝寺	上中町 中区 (中島郡)	寛文年間	真宗	真宗大谷派元徳寺に寺末。寛文年間円山の創建であるが、明治6(1873年)廟寺の改修が取られている。現在は般若堂とも呼ばれているが里山によれば60年ほど前までは近隣の者が世話をしていた。現在の建物は仏堂で僧房内の廊柱を9柱安置。御宝寺と般若堂との関係は不明。		
27	09093	小林堂	下野町 石田 (中島郡)	明治初年	不明	成立時期不明。圓善寺は春山禅林上層。元和の吸九州浪人横井某夫婦で寄植し、施主となる。曰小林堂は、石田門にあり。木曾川洪運防改修により明治初年規範へ転化。		
28	09095	玄音庵	足近町 小荒井 (羽島郡)	不明	曹洞宗	成立時期及び泊宿不明。位置不明。		
29	09096	正本山圓心庵	足近町 南宿 (羽島郡)	不明	不明	成立時期不明。明治6(1873年)、圓心寺として廟寺の手続。圓善和尚を安置した圓善和尚が没するの記録あるが、位置不明。		
30	09097	自性寺	足近町 直道 (羽島郡)	不明	不明	成立時期不明。0902西方寺のすぐ近くに江戸時代末まであったとされるが、詳細位置不明。		
31	09098	龍泉寺	竹森町 飯柄 (中島郡)	不明	不明	成立時期及び泊宿不明。位置不明。『新撰美濃志』に「飯柄村龍泉寺跡は今田園」とある。		
32	09099	龍泉院	福寿町 本郷 (羽島郡)	不明	不明	成立時期及び泊宿不明。位置不明。		
33	09102	蓮生寺境内	桑原町 牛久新田 (中島郡)	不明	真宗東講	成立時期不明だが北新田の09036蓮行寺と同時代の成立とされ。17世紀前半の成立か。明治13(1880年)牛久新田、幼命院跡に仮堂を建立、09052真福寺の院籍が兼務したが、明治24(1891年)以降は本郷。御山山館像を真福寺に移した。昭和の名古屋市千種区大手手門移転して本堂を再建したが空襲により焼失したので、昭和36年鉄筋コンクリートの本堂が再建。旧経位證不明。		
34	09103	阿弥陀堂	竹ヶ桑 今町 (中島郡)	不明	不明	桑永寺開基(1848~54)。小川又衣郎即座に重建によって成立。明治初年小川又衣郎、太田藤十郎が発起して私財即座に作成を立て、昭和の初め、大坂市松の森跡へ合併。土地の人は俗に大通寺と呼んでいた。旧経位證不明。		
35	09104	圓勝寺	小熊町 西小熊 (羽島郡)	不明	淨土宗	成立時期及び泊宿不明。岐阜縣圓勝寺本圖に「西小熊淨土宗禪林寺末圓勝寺」と挙げられているが詳細不明。位置不明。		
36	09105	圓音寺	正木町 (中島郡)	不明	臨済宗	成立時期及び泊宿不明。岐阜縣圓音寺本圖に「正木町臨濟宗新納東光寺末圓音寺」と挙げられているが詳細不明。位置不明。		
37	09106	小作寺	江吉良町 (中島郡)	不明	不明	成立時期及び泊宿不明。昔小作山の形墓地造り「小作寺」と云う寺があつたとの伝承有。位置不明。		

表38 各務原市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	寺號	山(院)号	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、直構 調査結果 分布図
I.	13004	矢森山 佛祖院	兩教 安町 (各務原)	明治時代	真言宗	山城国圓覺院の古刹で、建仁3(1203年)種僧正成賢和尚の創建。貴臣氏の祈願であった。明治初期に現在地に移転。宝塚印塔及び五輪塔は承久の乱合戦供養塔でたり、かつてこの辺り一帯に散在していた石塔を移したものである。	G, H	

表39 各務原市寺院一覧表(2)

番号	寺院 番号	史跡 名	山(里)号 寺院名	所在郷 (各務郡)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構 調査 結果	分布 図
2	13007	心藏山 正覚院	川島 河内町 (各務郡)	繩倉時代頃	淨土宗	およそ700年前に河野の島(川中島)の本城がこの地に草庵を建立。木炭により焼失したが、享保年間(1716~36)再興。文政年間(1818~30)後佐雲鑑院より本尊を奉附。		N5	
3	13010	太子山 大徳寺	藤原 東郷町 (各務郡)	文明15年以 前	真宗	成立時期不明。太子信仰のある愛知県前旗家の上宮寺の分家として成立。始め天台宗、文明15(1483)年、淨土真宗に転宗。		S6	
4	13011	松原山 西徳寺	川島 松原町 (各務郡)	文化9年	真宗	およそ700年前。松原島村に正興院として創建。正和5(1316)年、真宗に転宗。寛文9(1669)年、木炭で建物を焼失。寛保2(1742)年、各務大野村に寺都を移す。文化9(1812)年、再び旧地松原島村に寺都を定める。		N5	
5	13012	川島山 長光寺	川島 松倉町 (各務郡)	明治時代	天台宗 →真宗	寺伝によると、平安時代に竹子村に天台宗寺院があった。天福元(1233)年、朝倉が真宗に転宗し、中興の祖とする。明治元(1868)年大洗水で竹子島が沈没し寺院も流失。一時松村原小原忠夫が本堂を仮堂にてて頃度し、その後現在在地に本堂を再興し移る。			
6	13013	寺島山 河野安楽寺	小佐野町 (各務郡)	平明	天台宗 →淨土宗 →真宗	成立時期不明。寺伝によると、初代住職は藤原の寺島で、天台宗より寺門に転宗した。繩田信長代に難波に遷り、大佐野村を経て愛知の村屋閑へ遷れた。伊賀の代に難波在地に移転し、明顕が寺地を整備し、堂宇を建立したという。昭和30(1965)年火災に罹り、昭和39(1964)年に再建。尾張河野九門後の一つである。	G		
7	13014	美静山 大願寺	墨加 長坂町 (各務郡)	慶長3年	真宗	天保元(1830)年に尾張国羽栗郡久野庄村の幾彌屋に創立。その後慶長3(1598)年に尾張守に移転した。往古天台宗の寺院であったが、真宗への転宗時期不明。	G	N5	
8	13015	加賀山 湛殊寺	藤原 古新町 (各務郡)	不明	天台宗 →臨済宗 →真宗	成立時期不明。1205年山寺の末寺で吉祥寺があつたが、慶長5(1600)年の大火で焼滅。明和5(1768)年繩田が宇摩の造営を計画し、寛永5(1628)年繩田公吉を安葬した慶昌が落成。寛政4(1792)年には奥院院が作られた。天台宗に属したが、天明3(1783)年に臨済宗妙心院に転宗し、慶応3(1867)年淨土真宗本願寺派に転宗。			
9	13016	大洞山 寶應寺	藤原 宮代町 (各務郡)	文和年間	真言宗 →天台宗 →真宗	輪草山の1026靡成寺十二坊のひとつで、岐阜市木曽(13016)にあつた。天平年間(729~49)、行基創建。承久3(1221)年小畠大郎重義に命じて十二坊を再建。月輪・法華寺・懶臥寺・清水寺・毒蛇寺の頭陀として毘沙門如来を安置。文和年間(1352~56)に宮代岡崎山に移転し、天台宗宝應院如來の供持を取る。薬王寺と改称。初期の正押住職の文明5(1423)年からである。	G	M5	
10	13017	廣光山 西徳寺	藤原 東山 (各務郡)	大永3年	真宗	大永3(1503)年、了禪と教導によって成立。	G	S6	
11	13018	小川山 正法寺	鶴沼 小伊木町 (各務郡)	慶長4年	真宗	成立時期不明。佐々木本昌(愛知県)の分地。今川義元の兵荒に罹り、尾州木曾郡へ移転し、平を建立。慶長元(1596)年より4年間、当地の墓地場所に寺社があつたが、度々出水の魚、慶長4(1599)年に現在地に遷る。	G, H	S6	
12	13019	新宝山 正應寺	墨加 山田町 (各務郡)	嘉祥年間	天台宗 →真宗	嘉祥年間(646~711)、天台宗南山門の無量院ににより成立。当時薬師寺とし、石川・東宮院の号を変えてともいわれる。貞永元(1232)年、宗常に転宗し、正應寺と名を替えた。	G	N5	
13	13020	功德山 法藏寺	墨加 西市郷町 (各務郡)	寛永元年以 前	天台宗 →真宗	成立時期不明。寺伝によると、石山山門前の無量院ににより成立。当時薬師寺とし、石川・東宮院の号を変えてともいわれる。貞永元(1232)年、宗常に転宗し、正應寺と名を替えた。	G, I	N5	
14	13021	寶念山 教源寺	各務 東町 (各務郡)	天文4年	天台宗 →真宗	天文4(1535)年、天台宗の説収によって創立。のちに真宗に転宗。		S6	
15	13023	光明山 淨念寺	藤原 大島町 (各務郡)	天文19年(1540)	真言宗 か →真宗	成立時期不明。岐阜市01205輪成寺の十二坊に淨念坊があり、淨念寺の元寺であると思われ、天文19(1540)年創建と伝わる。承平7(937)年、藤原源次の賊兵が風を起して兵火により焼失。その地区にあった1396小林守を駆逐して輪成大島の庄小字岡寺寺地を移転。正応3(1334)年淨念が淨土真宗に改宗。		M5	
16	13024	光麗山 空安寺	鶴沼 羽場町 (各務郡)	天文3年	真宗	天文16(1484)年、輪岡次郎が藤原寺島に結合を建立。天文17(1485)年、寺号を空安寺と公称。その後、鶴沼の小伊木の地を経て天文3(1534)年現在の羽場町に移転。	G, H	S6	

表40 各務原市寺院一覧表(3)

番号	寺院 番号	寺 跡	山(院)分 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構 調査結果	分布 図
17	13025	相生山 光泉寺	藤原 古山郷町 (各務郡)	仙延野24年	天台宗 →真宗	寺伝によれば、延暦24(805)年美濃郡各路郡吉野加佐美山に創建された天台宗の寺院で、のち文明15(1483)年津土真宗に転宗、最澄と伝える阿彌陀如来坐像があり、弘仁8(817)年より開創の加佐美社境内の堂に安置されていたものを弘治初年に光泉寺へ遷した。文化元(1894)年に庫裡と山門が建築され、天保10(1839)年に本堂が再建された。		NB	
18	13026	開崎山 明通寺	藤原 三輪野町 (各務郡)	文明9年	真宗	文明9(1477)年、河野了善修の権主園によって創立。元禄年間(1688~1704)に大火に見舞われる。13033西入寺(別)の7世が延慶寺として建てたという説もある。		NB	
19	13029	高光山 善休寺	藤原 野口町 (各務郡)	貞永元年以 前	天台宗 →真宗	成立時期不明。始め天台宗で、光勝坊と称していたが、貞永元(1223)年5代空懶が高宗へ転宗。後世慶長年間(1596~1615)、善休寺と改める。	G	NB	
20	13030	河野 行念寺	各務 東町 (各務郡)	嘉永6年	真宗	行念により明応元(1492)年1303西入坊の東隣の地に延経寺として創立。嘉永6(1853)年本尊が現在に移転。	G	NB	
21	13031	聖通山 上總坊	各務 西町 (各務郡)	伝16世紀後 半	真宗	寺伝によると、愛知県江南市にあり、創建は聖通太子の娘に遡ると言われ、上總寺と呼ばれた。正應が聖通聖人の教義に帰依したのち、藤田長良の時代に江南市から現在の地に移り、聖通太子の法の字をいただき、上總坊に改めた。		NB	
22	13032	藤野山 榮林寺	前渡 西町 (各務郡)	天文10年	真宗	天文10(1541)年延慶師によって創立。		NB	
23	13033	河野 西入坊	山脇町 (各務郡)	長徳2年	天台宗 →真宗	寺伝によると、長徳2(990)年岩利和尚と智賀坊が草創。始め天台宗。延暦元(1235)年行國が報應聖人に帰依。河野五郎徒の一つ。	G	NB	
24	13041	清北山 大安寺	藤原 寺島町 (各務郡)	承和2年以 前	天台宗 →臨済宗	開創前の大安寺は空庭庵と称した天台宗寺院。横庭庵の火供養の記録の中に実相漢圓と見入るが、承和2(1037)年の庚午に藤沼山空庭庵と記す。承永3(1595)年、十輪般若開基。寛安元(1625)年、西山法印が開基。延宝2(1674)年、無量寿院が開基。尚が開興し五山開山碑を立てる。寺が藤沼御妙心院に改めた。明治維新の頃までは、山内寺守地区に7ヶ寺を有した塔頭には、西白院・又廣院・知足院・淨慶院・正統庵・慈福庵があって、昔は七ヶ御靈が祀っていた。明治創始すべて本坊に併合。慈福院の跡地は、山林・駐車場となっている。	G, H, I, 礎石、 塔心磚	NB	
25	13042	難波山 少林寺	前渡 東町 (各務郡)	明応8年	臨済宗	明応8(1499)年、津田加我守が建立。東福院を相いりて中興禪山。その後、松平忠長を歓待した藤沼山の丘陵地及び、御殿もこごとく跡先もついで後裔を遺した。寛永年間(1624~44)内氏が尚の日向を再興し、體道和尚を君として中興の祖とする。その後坪内氏の業代の菩提所として保護を受ける。	G, H	NB	
26	13045	河北山 桃林寺	各務西町 (各務郡)	昭和3年	臨済宗	天文7(1530)年、片山成政が開基。菅原が開山。木勞禪の中州に位置していた。そのために、寛永年間(1624~45)の洪水で寺院流失。忠直が中興。文化元(1807)年再建だが、本宮を懸れて昭和3(1928)年に現在地に移転。			
27	13059	集福山 山田寺	藤原 (各務郡)	享保年間	?	藤我倉山田石川麻呂の創建という伝承をもつ。出土した瓦や唐内に唐の心柱瓦がある。南側の光明神社境内に、石造瓦があり、その裏面に「光明神社」と刻まれている。光明神社の裏面の碑が古代寺院の金剛界と推定される。「岐阜県史」では、權姓が各務氏と考えられるとしている。また、最古の遺物として9世紀の須恵器(無耳鉢・碗)や灰陶器が出土しており、山田寺跡の7ヶ寺もそれを基礎に考えられている。享保年間(1716~36)宗宥が山田寺の旧地を訪ね、土地を所有していた小林三郎兵衛より土地を買つて家を創立し、宝珠庵と称した。元文2(1737)年難波内飯守の生日を奉納するが、喜木次郎九郎が如意日によ依頼し、代役の山田寺の寺号をこの寺に付した。	7B	NB	
28	13059b	(山田寺跡)	坂町 (各務郡)	坂島時代		本文参照		7B	NB
29	13060	鳳年山 法永寺	前渡 西町 (各務郡)	不明	無宗 →臨済宗	1600年に無名和尚が創建したとされる。現在の寺はもともと西市にあったものをこの寺に移してきたもので、藤沼時は無宗の寺であったという説もある。			
30	13063	慈雲山 繼音寺	下切町 (各務郡)	建久年間	臨済宗	成立時期不明。建久年間(1190~99)に難波院の寺によって天龍の人生傳教院式に改廟の新設が施し再建された。中興院のの後參院が当地に宝珠庵を建立。永承年間(1558~70)までは社大な伽藍があった。寛永年間(1684~89)壁立が再興。	G, H	NB	

表41 各務原市寺院一覧表(4)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在郷 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 発見場所	分布 図	
31	13065	国玉山 桃春院		藤原 野口町 (各務郡)	永禄7年	曹洞宗	永禄2(1564)年、面心が櫛檜葉頭彌縫を冠すを法堂に安置。慶長5(1600)年、沖内高兵衛が修造して御堂を改造。御所とし、大文寺と称した。元禄5(1692)年には天安大英が御山。享保14(1729)年には大文寺を大文山桃春院と改める。安永6(1777)年には山号を源王山と改める。	G	N5		
32	13066	補陀山 慈照寺		各務東町 (各務郡)	仙養老年間	曹洞宗	養老年間(717~26)に奈瀬が草庵を結んだことに始まると言われるが、度々の火災により史料は残っていない。元和7(1621)年御山が再興。集山に請じて開山とし慈照と号をもって開基とされる。	G, H	M6		
33	13067	北洞山 延壽寺		藤沼町 三池 (各務郡)	伝延暦14年 若しくは寛 永16年	天台宗か →曹洞宗	延暦4(795)年、延譽の墓堂を立てたと伝えられる。今はその墓堂の延壽院堂だけの時代もあったが、寛永16(1639)年松平(宇治)光重が岐阜市中納城の墓院除けとして創立。天安大永を請して開いた。それまで良何寺と称したが、この時延寿寺に改称。松平家の御所となる。	G, H	M5		
34	13072	萬年山 長榮寺		藤原 飛田町 (各務郡)	昭和2年	曹洞宗	文禄2(1593)年、□(字不明)鈴存僧が草庵地で開基。昭和2(1927)年藤沼町三池の地に移転建堂。				
35	13074	瀧岡山 宝嚴寺		瀧沼 西町 (各務郡)	貞享元年	黄檗宗	寛文10(1670)年銀座元英和尚によって開山とあるが、創建は貞享元(1664)年といわれる。鹿田村にあった13076平蔵寺の東方に当たる瀧沼の地に建てていたのを現在地に真言宗の空き寺がありこれを利用。	G			
36	13075	松林山 清見寺		原加 原新町 (各務郡)	延宝年間	黄檗宗	延宝年間(1673~81)。無庵円拙が草庵をつくり清見寺と称した。寺号は以來圓滿の八幡神社の社宮号となる。	G			
37	13076	無盡山 平蔵寺	無尽 勝ヶ丘町 (各務郡)	明和8年	?	→黄檗宗	出土した瓦から、創建は白鳳後半と思われる。明和8(1771)年、平介が嘉善の平蔵寺と呼ばれている木本から古仏(十一面觀音像)を拾い上げこれを祀って寺としたという伝説がある。	古代瓦、 鍋足、 勝化、G, 唐草心透	M5		
38	130766	(平蔵寺跡)				明和				M5	
39	13088	(永国寺跡)		藤沼 大安寺町 (各務郡)	長祿2年以 前	不明	本文参照	本文参照	80	M6	
40	13090	(野口廟寺)		西光寺 (各務郡)		飛鳥時代	不明	本文参照	本文参照	82	M6
41	13091	(長者屋敷廟 寺)	新加納	藤原 吉市郷 (各務郡)		飛鳥時代	不明	長者屋敷の名は寺町所在域の通称で、長者屋敷寺とよぶ。現跡では正福が崇拝しているだけで、遺構や碑石などは確認されていない。	古代瓦		M6
42	13092	(各務燒寺)		藤原 吉市郷 (各務郡)		飛鳥時代	不明	各務小字焼寺附近にあったが、現在では人家が密集しているため寺域を確定することは困難である。	瓦砾、 泥炭、 古代瓦		M6
43	13093	宝嚴庵		藤原 飛田町 (各務郡)	永和4年以 前	不明	機縫寺所蔵の大般若経によると、永和4(1378)年に宝嚴庵といつ天台教系の寺となり、こそに弟房成が創立したこと知られる。現在、13041大安寺に宝嚴庵の堂宇と伝える心礎があり、大安寺の北東500mの地点、馬の背屈殿の台地上にあったものとされるが詳解は不明とのこと。	唐草心 (13041大 安寺境内)		M6	
44	13094	妙性坊		各務 おがせ町 (各務郡)	不明	天台宗 →真宗	自伝によると、大同2(807)年天台宗の性空が開基とする妙光院・毘盧院・香象院・栗栗院・阿那羅院・荒井院に建つ。栗平の足及び大水の災害を免れ一時移転。建久3(1192)年、永田秀吉が田代に栗平を再興する。鎌倉時代となり栗平秀吉の栗平に人を没ぼして在りたる。秀吉が正徳3(1393)年、仁和元(1401)年栗平を妙性坊と改称。大永(1526年)、伏屋(植森町)に移転。天文4(1576)年、北方村(愛知県一宮市)の後左近に移転。位置不明。				
45	13095	西光坊		藤沼 東町 (各務郡)	不明	不明	尾閑秀吉は明応5(1496)年善光寺となし一宇の本堂を河島村西光坊の地に貰ひて西光坊とした。妙光不明知が大野の黒河田村(愛知県一宮市)に移る。各務原市内における位置不明。				
46	13099	天野山 山中不動明王		藤原 吉市郷 (各務郡)	大正2年	不明	嘉祥年間(948~951)頃、この地で不動明王の石像が現れ、以降この寺全体が不動明王の寺となる。いつくか(1913)年、石像を保護するための御殿が作られる。昭和13(1938)年御殿が築かれ、天野山中不動となる。昭和13(1938)年に本堂が焼かれる。13085山中不動、山中追開不動とともに美濃三不動に数えられる。	I	M6		
47	13103	西宮寺		藤原 吉市郷 (各務郡)	中世	天台宗	成立時期や本尊不詳。御殿山の西側に「西宮寺」という小字地名が残る。御殿山の風景写真の際、この辺りで多数の土塹塔群が現れる。その地形から古くても江戸以前のものである。江戸時代の古文書には寺号が見えないため、中世には魔越していたとか。	G	M6		
48	13104	加佐美禪寺 (伊吹庵寺跡)		藤原 吉市郷 (各務郡)	古代	不明	成立時期や沿革等の詳解不明。加佐美神社駐車場付近や西邊の標で古代瓦が出土したという。	古代瓦		M6	

表42 各務原市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	13002	瑞應山 修学院 高安寺	瑞應 北濃町 (各務郡)	平成5年		真言宗	寛永16(1699)年戸田(松平)丹波守光重が「印御加」を請致し、瑞應郡加納の地に創立。圓山。圓巌として、加納城内に居られた城主、戸田(松平)丹波守光重の植ふきかの御廟によつて創立されたものと伝わる。寺前にあった様物はすべて被災で焼失。昭和22(1947)年仮本堂が建立されてそのまま加納の地にあつたが、平成5(1993)年に現在地に移転した。	
2	13008	白井山 覺王寺	白井山 前野町 (各務郡)	明治14年	天台宗 →真宗		承応3(1654)年、道滋が前野西郷に一字を建立。享保10(1725)年、真宗に改宗。明治14(1881)年領内現地に移転。	
3	13022	花園山 桂園寺	花園 伊吹町 (各務郡)	寛永5年		真宗	寛永5(1628)年、真宗寺の分寺格としての名号を受け。小林忠左衛門が創建。文慶11(1761)年に再興された。	G
4	13027	佛国山 竹林寺	前渡西町 (各務郡)	元禄13年		真宗	元禄13(1700)年、竹林上人の圓基・圓山。明治11(1878)年圓圓庵口(音へん)に寶圓住職が。竹林寺の本堂を中興再建。	
5	13028	松岳山 常貞寺	松岳 新加納町 (各務郡)	寛文3年		真宗	寛文3(1663)年、坪内泰兵衛定勝公の鳳凰の上に常貞寺宝宇を建立。	
6	13034	神遊山 金山寺	神遊東 (各務郡)	寛文3年		臨済宗	寛文3(1663)年創建、金山庵と称していたが、雲南忠堤と是立部右衛門が宝宇を建立。忠堤和尚と相組して請請開山。大正5(1916)年玄昌大辯が妙心寺の直末として編入。	G
7	13035	瑞應山 妙留寺	瑞應 新加納町 (各務郡)	寛宝4年		臨済宗	延宝4(1676)年、體道が建立した懶音堂をはじめとする。	
8	13036	不動山 松林寺	川島 小網町 (各務郡)	寛文2年		臨済宗	成立時期不明だが、北松本村に古くから建立されていた。開基は比野次左衛門四郎。圓山は體道、木曾川堤破壊で宝宇が流失。寛文2(1662)年に復活に再建。	G
9	13037	懶音山 見龍院	懶音 見町 (各務郡)	元禄15年		臨済宗	元禄15(1702)年、廢帝が圓山。天保13(1842)年大藏したまま廃廟になつていたを福徳慧基が改興修理をして懶音の住持を行つた。	
10	13038	泰圓山 法光寺	泰圓 大安寺町 (各務郡)	寛享3年以 前		淨土宗 →臨済宗	成立時期不明。古い時代の法光寺で大津寺宗に附するまで、堂宇も破壊したままの宝住の寺となつたが、尼足利源が坪内義長と通じ、堂宇第2(1688)年、臨済宗に転向。圓創となる。後に真興したが天保3(1832)年に本堂を建立する。	G, H
11	13039	補陀山 觀音寺	補陀 新加納町 (各務郡)	安政4年以 前		臨済宗	寛永の頃(1624~44)3042少林寺末寺として建立されたが、安政4(1857)年木曾谷の大火で焼かれて滅ぼされた。その後仏講師の思想に変更し、圓照神明社境内に移築される。明治になつて現在地に遷転改築される。	
12	13040	玉鳳山 瑞願寺	上戸町 (各務郡)	寛保13年以 前		臨済宗	成立時期不明。かつて新川村の圓願林には、寺号を瑞願寺と称する瑞願の碑が立っていたが廃棄となった。もとは13059山田寺の碑だったと思われるが解説不明。文政3(1820)年本懶山七により建立。圓願を號詔。大安寺の末寺として圓山。境内にある感心磑は現在地から50m程西の場所から移してきただので、13059山田寺のものと考えられている。	G
13	13043	高野山 長秀院	小佐野町 (各務郡)	寛政11年		臨済宗	寛政11(1799)年創建。圓山森外。	
14	13044	懶音山 無業寺	各務 おがせ町 (各務郡)	文政12年		臨済宗	成立時期不明。かつて新川村の圓願林には、寺号を瑞願寺と称する瑞願の碑が立っていたが廃棄となった。もとは13059山田寺の碑だったと思われるが解説不明。文政3(1820)年本懶山七により建立。圓願を號詔。大安寺の末寺として圓山。境内にある感心磑は現在地から50m程西の場所から移してきただので、13059山田寺のものと考えられている。	
15	13046	普門寺	三井町 (各務郡)	寛永年間		臨済宗	寛永16年(1644~45)、五石外吉良良清が坪内勇八郎と協力して一字建立。	G
16	13047	東方山 惠王院	大野町 (各務郡)	寛永19年		臨済宗	寛永19(1642)年圓心忍道が建立。万葉が圓山。13041大安寺の末寺。その後火災時の被害があり、大破した院は要要(要サ)が中興。天保8(1837)年には慈惠院が再中興。	G, H, I
17	13048	聾立山 圓應寺	聾立 野口町 (各務郡)	寛保元年		臨済宗	寛保元(1717)年の創建。圓山は聾立。淨照入道が圓創。月皓が中興し、愛知圓應寺の末寺となる。	G
18	13049	實壽山 愛樂園	實壽 須坂町 (各務郡)	寛永元年		臨済宗	寛永元(1704)年創建。圓山。圓山天授庵。	
19	13050	造道山 圓衛寺	造道 須坂町 (各務郡)	寛永2年		臨済宗	寛永2(1625)年創立。丹羽權平が開基、體道が圓山として一字を建立。	
20	13051	圓滿山 大樹寺	圓滿 須坂町 (各務郡)	寛永元年		臨済宗	寛永元(1661)年、安積浦右衛門が圓滿・北源禪秀を圓山として招請し、自らが圓基となつて創建。	G
21	13052	懶音山 金鏡寺	三井町 (各務郡)	寛享2年以 前		臨済宗	成立時期不明。淨士寺と称した。普門が復興再建の志をもつて、坪内櫻之助の帮助によって再興。寛享2(1745)年宗益及び寺号を改め釋宗の臨濟派「紫雲山金鏡寺」と呼称した。淨明を請訖し、当寺の圓山とした。当寺は三井坪内氏の菩提寺であった。	

表43 各務原市参考寺院一覧表(2)

番号	寺院名	史跡 番号	山(院)号 寺院名	所在郷 (旧郷名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、直構
22	善剛山 慈勝寺	13053	善剛山 慈勝寺	善町 (各郷郡)	正様 8年	臨済宗	元禄 8(1695)年に森十左衛門が慈勝庵を建立。圓圓堂を詔請開山に詳し。正徳元(1711)年、森十左衛門自ら開基となり。今寺を慈勝庵から慈勝寺に改める。創建は歴法曾慶。宝暦 5(1755)年に御山慧忠が中興。明治 7(1874)年再中興。	G
23	薄瀬山 安源寺	13054	薄瀬山 安源寺	藤原 平島町 (各郷郡)	寛文～ 延宝年間	臨済宗	寛文～延宝年間(1661～81)、仙林道重が13042少林寺の末寺として建立。万治 2(1659)年に大法要に因った體道を開山として證え。自らを開基とした。	G, H, I
24	櫻王山 妙善寺	13055	櫻王山 妙善寺	藤原 平島町 (各郷郡)	明治 26年	臨済宗	石田彦が櫻門三就が開基ともいいう。天和 2(1682)年、忠勤がこの地を訪れ、一字を筆す。國王山圓鏡寺と号した。明治 6(1873)年無住職となつたため廢寺。明治 26(1893)年、東海軒が福泉寺塔頭にあつて妙善庵を当地に移して今日に至る。昭和 16(1941)年妙善庵を妙善寺と改称。	G, H
25	高麗山 清綠寺	13056	高麗山 清綠寺	藤原 島崎町 (各郷郡)	元 9年	臨済宗	元和 9(1623)年に権杖が開基。創建以後衰微していたものを、万代が中興。応持印心が中興となる。領守として社護地があるが、小社の創立年代は不明である。	G, H
26	応運寺	13057	藤原 伊吹町 (各郷郡)		享保年間	臨済宗	享保年間(1716～1736)に坪内太郎兵衛が開基。玉津を越えて圓山とする。	G
27	西國山 善光寺	13058	前渡東町 (各郷郡)		不明	臨済宗	延宝元(1673)年に體道を請じて圓山となす。中興は圓山道春。現在は公園となつているというが、位置不明。	
28	法雲山 圓應寺	13061	各務 おがせ町 (各郷郡)		寛文 4年	臨済宗	寛文 4(1664)年の創立説があり。樂立和尚が廟を建てたのが始まりとされる。圓敷が圓山をねた。	G, H
29	如意山 圓覺寺	13062	如意山 圓覺寺	北町 (各郷郡)	17世紀以前 か	臨済宗	成立時期不明。平成 17(2005)年に300年の法要を行った。	
30	野原山 安寧寺	13064	野原町 (各郷郡)		江戸時代	曹洞宗	成立時期不明。江戸時代には圓覺寺所村(すえむら)の諸役の集合会所としていた。真言宗の圓覺院末寺である。	G, H
31	慈興山 定林寺	13066	慈興山 定林寺	藤原 伊吹町 (各郷郡)	元禄年間	曹洞宗	元禄年間(1688～1704)に釋素を請じて圓山。慶応元(1865)年、木曾川罹防修造により、田畠および境内地も流失により没失の記録がある。	
32	慈宣山 良守寺	13069	慈宣山 良守寺	藤原 東島町 (各郷郡)	元文 4年以 前	曹洞宗	良守寺と称する釋寺があつたが、元文 4(1739)年に大破し廃寺。安永 7(1778)年に、自然が廢寺となつて良守寺と再興。釋門を請じて圓山。	
33	費珠山 龍泉寺	13070	各務 山の前町 (各郷郡)		正徳 5年	曹洞宗	正徳 5(1715)年に大船が買ひ受けて龍泉を営んだのが創始である。	
34	龍門山 圓谷寺	13071	藤原 圓谷町 (各郷郡)		17世紀頃	曹洞宗	約300年前。龍門山門が圓山。山号を龍門山圓谷庵と称する。中興は徳方祖光。	G, H
35	伊吹山 正福寺	13073	藤原 坂井町 (各郷郡)		明和 4年以 前	黄檗宗	成立時期不明。古い1年間に猶御という體がいて堂宇を建てたが、明和 4(1767)年に林祐之・酒門・佐藤長三郎が北京に移り。西創建年代は定かではないが、猶實を勅願しその延慶寺として入寺圓山。	G
36	久昌寺	13078	鶴原 (各郷郡)		万治 3年	日蓮宗	万治 3(1660)年、坪内氏昌兵衛定道創建。	
37	日乃山不動尊	13085	藤原 新栄町 (各郷郡)		不明	単立	成立時期不明。謡団を行脚する法印が、寢夢を信じ、黒人と謀って一小字を建てて不動尊を奉じたのが、創始である。13099山中不動、園門道開不動とともに美濃三不動に数えられる。	
38	華徹山 圓音寺	13089	墨山 (各郷郡)		寛永元年	不明	寛永元(1624)年に建立。圓音山公達請して圓山。二根曹山が伴土宗に転宗。明治以降は寺号を譲て村内公會堂となる。	G, H
39	東光寺	13096	藤原 領日町 (各郷郡)		不明	不明	大野村の北側にあつたが、位置や宗派不明。享保 3(1718)年、慈雲が復興。内地を内定重に立てて許され、新潟に移転して一字を造営。明治 25(1892)年頃、武藏府宇多院へ移転し、現在は廢寺。	
40	根本寺	13097	鶴原 大安寺町 (各郷郡)		江戸時代	臨済宗	江戸時代の創建。加佐美神社の守護寺ともいいくべき寺であったよう。明治初年の神仏分離の結果廢寺となり。現存していない。	
41	善溪庵	13098	岐瀬 西町 (各郷郡)		不明	不明	成立時期不明。飛騨編世主ともいいう。境内に石造物(庚申・不動明王・羅刹大明神)や灯明・手足鉢・記念碑・弘法入僧場寺標唐が配置されている。G	
42	東光山 圓通寺	13100	東光山 圓通寺	東町 (各郷郡)	不明	不明	成立時期及び名前不明。	
43	広宣山 本榮寺	13101	鶴原 領日町 (各郷郡)		不明	臨済宗 →日蓮宗	成立時期及び名前不明。	
44	月光山 神藏宮寺	13102	鶴原 大安寺町 (各郷郡)		不明	不明	近現代創建の寺院であると思われる。	

表44 山県市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	寺(院)号	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
1	15001	神宮山 慈明院	西深瀬 (山縣郡)	文和年間	天台宗	文和年間(1352~56)。慈主永井定信が建立。比叡山の僧道海を請じて圓山とし慈明院と名付け。文明年間(1469~87)高野藤井院執事に依り天台興國大師寺の別院を開いた。	G, H, I, 石仏	L6		
2	15003	不動山 大本寺	梅原 (山縣郡)	明治中期	天台宗	創建は泰澄。養老年間(717~724)に郷上郡長義に創建。明治中期に梅原田口に移転。大正時代(1912~1926)に梅原梅林寺と大本坊を合寺にして不動山大本寺と改称。梅林寺は、荒加茂神社(当時の北西に位置する)境内にあったという。				
3	15004	飛龍山 三光院	大森 (山縣郡)	江戸時代	天台宗	長徳4(1393)年、慈心僧都により成立。天文13(1544)年、慈源が内賊、寛永へ万葉(1624~66)に飛龍寺に移転。中興は寛延、現在は山門が残る。田舎道に土里を確認しが、草木が生い茂り、立入困難なため、詳細の確認はできず。	G, H, I, 石仏 (石造 像)、 土器(田 跡)	L4		
4	15004b	三光院旧境内	小倉 (山縣郡)	長徳4年	空明				L4	
5	15009	隱住山 恵日院 善導寺	谷合 (山縣郡)	嘉慶3年	淨土宗	嘉慶3(1328)年、谷合の臼井庄司治麻彌秋が創建。境内の南側にある山中の「松木」付近から、前善道寺に隣のあらしのが見つかっているというが、参道が崩壊れに遭い、踏査不可能であった。	G, H	K4		
6	15010	百光山 度身寺	萬原 (山縣郡)	天正2年	淨土宗	天正2(1574)年に建立し、堂宇4(1579)年大西後右衛門古定が仏殿を建立した。再建は文化15(1816)年。以前は1500善導寺の末寺であった。		K4		
7	15011	明智山 光明寺	谷合 (山縣郡)	明治9年	淨土宗	享禄3(1540)年、知加太郎直孟子西所良通上人がこの地に来て、一宇を建立し15009善導寺の童院地とした。明治9(1876)年境内を見棄す西邊へ移転하였다。				
8	15015	大桑山 妙善寺	掛 (山縣郡)	天文年間以 前	真宗	成立時期不明。かつて妙安寺と称したが、天文年間(1532~55)歿。天正元年(1573~92)大桑村を遷坐として復興。慶長7(1602)年新瀬が中興。元和4(1710)年寶流が妙善寺と改称。	G	L6		
9	15016	清瀬山 香教寺	高富 (山縣郡)	応長年間	真宗	応長年間(1331~1332)、明寂の開基・圓山。清瀬大本地で被害を受け、仮本堂を建て遷坐に至る。		L4		
10	15017	釋迦山 西蔵寺	洞田 (山縣郡)	天文3年	真宗	天文3(1544)年、了念により圓山。明和4(1767)年5月の火災により、今のは新築でない。	G	K4		
11	15018	光明山 大性寺	大桑 (山縣郡)	延元~ 承平年間以 前	真宗	成立時期不明。猪佐左右衛門源が寛定と号し、天台宗の天性寺を開く。延元から勝心院(1335~1342)。真宗の天性を信じた。慶長2(1687)年、圓済が度身を修繕。寛文7(1667)年大性寺と号す。		L4		
12	15019	寿福山 正福寺	大桑 境瀬 (山縣郡)	中世	真宗	成立時期不明。木根郡早野村の五郎が創建。天文16(1588)年、了円の時分に、莊から正福寺の跡号を受けた。安永9(1780)年、大火に遭う。天明5(1785)年に再建。		K5		
13	15020	淨光寺	仙尾 (山縣郡)	中世	真宗	成立時期不明。高野山僧院等引と淨光により成立。境内の吉良戸のそばにある五輪塔は、淨光院の墓であると伝えられる。元禄4(1691)年空窓の時、真宗に奉納した。	G	M5		
14	15021	金莊寺	霧盤 (山縣郡)	永治3年	天台宗 →真宗	本應(1293)年、広之助が、度心院山の麓に建立。度心院と名付けた。猪山義が芳野地を開いて正福寺と改称。淨土真宗に改めた。天正7(1579)年に、頼助から正福院を下された而開山。寛永16(1641)年に如意から金莊寺の号号を受けた。	G, H, 石仏	L4		
15	15022	補陀山 手千院	梅原 (山縣郡)	慶長2年	臨濟宗	慶長2(1597)年、阿戸村戸田七郎左衛門のために創建。真宗は頭である元禄4(1691)年空窓の時、真宗に奉納した。	H, 石仏	L5		
16	15025	薦定山 瑞泉寺 (東条寺境内 濃崎)	高富 (山縣郡)	承正14年	天台宗 →臨濟宗	承正14(1517)年成立。以降は天台宗で慈惠寺と称し、南方山麓に住む住持は不詳。にあらず。天正14(1586)年に近江守の子の心之助なる。瑞泉の寺号は入桑城の「瑞泉寺」と呼称される土岐家の羽柴秀吉であった。当寺創建の後は土岐家出身で開山になる。現在の御堂は享保9(1724)年横山三郎兵衛の寄進によるもの。	G, H, I, 石仏	L5		
17	15027	法雲山 弘教寺	西深瀬 (山縣郡)	大永8年	臨濟宗	大永8(1528)年、開基は賢寂若右衛門。開山は淳若。賢寂家の香樹寺。大龜牛木寺。	G, H, I, 石仏	M5		
18	15028	善福寺	椎曾 (山縣郡)	不明	臨濟宗	弘治2(1556)年成立。「15025南皇寺」の末寺で伊賀伊賀守の創建と伝わる。位置不明。				
19	15029	宝林山 開泉寺	大桑 (山縣郡)	慶長年間	臨濟宗	天文年間(1532~55)、成立。寺洞にあった廟宇は「玉削庵」といい、延元4(1339)年に被斬した杉家出家門の菩提寺であつた。本尊は渡来佛。慶長年間(1596~1615)代官の山田六兵衛が田畠を寄進し、廟宇を日側に移し、開泉寺と称する。大龜寺末寺。	G, I	M5		

表45 山県市寺院一覧表(2)

番号	寺院 番号	史跡 寺名	山(里)号 寺院名	所在郷 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構 調査指 示	分布 図
20	15030	延命山 正圓寺	梅原 (山縣郡)	大水 2年	臨済宗	大永 2(1522)年、藤原新蔵利国の子の利直尼が松尾山を開創し、開創していた圓宗を圓山とした。209年を経て、正徳元(1711)年越前大宝寺より聖水が来て、正圓寺と改称した。	石仏		L5
21	15032	椎倉山 弘覺寺	赤尾 (山縣郡)	天文 2年	臨済宗	本文参照		B4	L5
22	15033	伴雪山 多福寺	伊佐美 (山縣郡)	寛文 6年	臨済宗	成立時期不明、圓洞に寺があるが圓洞山多福寺と称していたが、大永年間(1521～1529)に藤原基房の子勝がこれを再興して伴雲山多福寺と改めた。寛文6(1696)年現地に移転、大慈寺と改められた。	6, R, 石仏		
23	15036	南見山 崇藏寺	梅原 (山縣郡)	不明	臨済宗	大永7(1527)年、南見山に地を開山した。当初は圓樹庵と称していたが、後に圓庵と改め、現在の寺名となる。寛文2(1692)年、秋公中興、現在の地に至るまでに3度廟所が東わっている。			
24	15037	鳳凰山 應國寺	東深澤 (山縣郡)	文亀 2年	臨済宗	文政2(1819)年、應國庵と称し妙應尼の開基である。仁和の弟津律首座が南泉寺の快舟を請ひ創建した。	6, R		L5
25	15038	護國山 瑞應寺	椎倉 (山縣郡)	文明年間	臨済宗	文明年間(1469～87)、藤原の臣僚・朝範が竹口の治場寺へ行く途中、山田伊右衛門尉貢宅で休憩した際に如意庵、瑞應庵と名付け創建されたものである。現在、山門や神社が残る。	I		
26	15040	南花山 大林寺	長尾 (山縣郡)	慶長年間	臨済宗	慶長年間(1596～1615)、淳若が建立。その後弟子の幕公が住し、寺慶を完築した。	6, R, 石仏		L5
27	15041	臥白山 多慶寺	長尾 (山縣郡)	18世紀前半	臨済宗	精龍院・如意尼(1751年)の開基で、宝永年間(1704～1711)、大坂の八天界を圓山とした。	6		
28	15042	慈惠山 広福寺	上原 (山縣郡)	16世紀前半	臨済宗	昔は四面・五面の塔寺だった間にあったが、享禄年間(1526～1532)水災で毀滅した。上野御旗(1526年)が大通寺瑞應院の旗標軸に譜うて一字を西興、広福寺と名付けた。	6, R		L5
29	15043	普門山 大福寺	平井 (山縣郡)	元禄年間	臨済宗	成立時期不明、東光寺慈惠院が寺の名であって、宇摩開山は東光寺開山と同く元禄年間(1688～1704)今の地に寺名をうつし、大福寺といい古くは大福院ともいった。	6, R, 石仏		
30	15044	白華山 甘南寺	椎倉 (山縣郡)	天文年間					L4
31	15044b	甘南美寺尼庵 (兼ヶ谷典の 院道跡)	椎倉 (山縣郡)	建久年間	不明 →臨済宗	本文参照		B6	L4
32	15045	施財山 香林寺	高木 (山縣郡)	承永 2年	臨済宗	承永2(1343)年、妙顕尼の創建で、圓山は月林道證である。当寺の北側の山に平垣面があり、そこに小堂が建っている。	6		L4
33	15046	天藏山 仙飼寺	大桑 青井(山縣郡)	不明	臨済宗	元和6年間(1615～1622)、泰輔開基(天正年間成立とも)。大桑飼頭の泰輔が創り、西井に住居をもつて泰輔頭とよわれる所。西井には西井と云ふ村名がある。中世の泰輔頭(たいづねんべいのかみべい)とは大正1(1922)年圓山に阿波八十八ヶ所、西国三十三ヶ所の靈場を開き、昭和9(1934)年本堂を再建。	6, R, 石仏		
34	15048	大雲山 如意寺	高富 (山縣郡)	仁安3年	臨済宗	仁安3(1606)年、佐野太郎左エ門基綱が、村中安全を祈って掛の北側に円通庵を建てたのが創建の始めとされている。その掛の額額は、大富と圓通寺と改め砂心院無量寿院の寺といた。	6, R, 石仏		L4
35	15049	曲木山 多福寺	青萩 (山縣郡)	慶長年間	臨済宗	往昔村内内容に圓福寺、隣に「1696光薦寺」があったが、天正年間(1573～92)、其に長安寺で統合。慶長年間(1596～1615)、大通寺二世雲谷が2寺を合わせて多福寺と改称。	6, R, 石仏		L5
36	15051	霧島山 東光寺	片原 (山縣郡)	文亀年間	臨済宗	文亀年間(1510～164)、創建開山は希雲。希雲の教えを受けていた圓舜は、寺のある山の裏に住んでいたが、その山を希雲に寄贈した。希雲はその創建を受けて、一半の禪寂を建て東光寺とした。圓山は妙の東側とし、圓庵は圓生の禪寂ととした。	6, R, I, 石仏		L4
37	15054	圓天山 太原寺	董木 (山縣郡)	伝平安時代	臨済宗	弘法大師が唐より圓天寺の金剛智の秘符を持ち帰り寺を建立したところが、詳細不明。寛永(1624～44)はじめ幾大師詔印就体跡に残り、当山圓山無大師圓而に參詣し。眞言宗から圓教宗圓心寺と名なった。	6		L5
38	15055	天長山 金龍寺	董木 (山縣郡)	永禄年間	臨済宗	金龍寺を董木から移転する際には、この地に圓天山圓山寺があつた。圓音寺から永禄年間(1558～70)、高木和典が算出。圓末以降、寺子屋として使用したが明治時に荒廃。明治35(1902)年、地主有志により、董木にあつた圓寺の金龍寺の寺山、寺号を譲り受け、村へ返收された圓音寺の土地も貸してもらい、天長山金龍寺となつて復活した。金龍寺(1596)は、元和5(1619)年無伝の創建、正徳3(1643)年山田右衛門の開闢で、武藏郡圓龍寺の末寺。旧境内は大須田通地内にあり、墓地が残る。			K4

表46 山県市寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山県(号)寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査結果	分布図
39	15056	天王山 遍華寺	青波 (山縣郡)	天正10年	天台宗 →臨済宗	伝承では、延喜年間(901~93)、大倉長者某が仏説に感動し、天王ヶ尾の山中に建立。今が深山にあつたので、天正10(1582)年に山の下に移し再建。中世の頃、應雲宗尼が山寺号を定めた。当寺によると、以前は天台宗で、本堂は伽藍であり、現在は移転する前は、川向かいの山中にあつたというが、詳細位置不明。			E4	
40	15059	高野山 法輪寺	大桑 城洞 (山縣郡)	文治年間	臨済宗	文治年間(1184~90)、起立復興野、鶴川の舟頭と膳頭正秀が舊寺の子守静より、平を乞ひて、天正15(1587)年改築引出御院、正保4(1647)年の御外無事の時、妙心寺の直木から武田郡宇多村福輪寺住持となつた。近年、1612(慶長7)年合寺したという。			E4	
41	15062	桂樹院	円原 (山縣郡)	平明	臨済宗	成立時期及び沿革不明。現在は跡地が残るのみ。				
42	15064	西国山 龍音寺	松尾 (山縣郡)	天文~ 天和年間	臨済宗	本寺は信濃大神神の奥の院として開創された。妙心寺の初祖道源が萬葉4(704)年に西國山の時、妙心寺の直木から武田郡宇多村福輪寺住持となつた。近年、1612(慶長7)年合寺したという。			E5	
43	15065	大士山 梅谷寺	西瀬鄉 (山縣郡)	久安6年	♀ →臨済宗	久安6(1150)年、上野大河内源光元が建立。正和2(1213)年、左衛門大夫源通が金堂、庫裡、大門等を建てたが、天正年間(1523~55)になくなつた。寛文年間(1661~73)無伝宗が修復、心に守らせた。以来、臨済宗妙心寺派に所属。現在は跡地が残る。			E5	
44	15066	青松山 長乗寺	谷合 (山縣郡)	慶長年間	臨済宗	慶長年間(1596~1615)、長良豊福寺一派の創建。山の麓の裏山に平に裏窓堂があつたといふ。	G, H, 石仏		E5	
45	15070	金剛山 般若寺	梅原 七日市 (山縣郡)	中世	臨済宗	成立時期不明だが、土岐氏の重臣守寧が前からあつたと伝る。金剛山真傳寺と号し、兼倉建長と大國開山。首尊年代(1684~1689)に足尾と象寺の孫重義が再興し、寺号を改め。実意を開山として深尾氏の守護所とした。			E5	
46	15073	天照山 林泉寺	大桑 城洞 (山縣郡)	天文3年以 來	臨済宗	成立時期不明。書は林泉寺といい、久若林寺(天文3(1534)年遷入)の別創。慶長2(1649)年、松代長が再興し、方県郡岩崎村主岩崎範友を守護として開山始終とした。	G		E5	
47	15074	北峰山福厳寺	大桑 城洞 (山縣郡)	弘安年間	臨済宗	昭和23(1948)年、御嶽山大雲寺と五箇山善光寺の両寺を合併し、元長勝寺跡地に寺院を新築。大雲寺は慶長16(1610)年武儀郡、北峰山福厳寺の施主・御嶽山大雲寺の跡地。位置不明。長勝寺は、国姓(父矢代)、事代(古田の僧)、御嶽山大雲寺の跡地。御嶽山大雲寺は弘安年間(1278~88)、開基若狭守・鎌倉元祐院、多田齊太郎・長重の菩提のために。文和元年(1332)その子義詮が歌謡した。	G, 石仏		E4	
48	15080	勝宝山 本法寺	梅原 (山縣郡)	天文23年	日蓮本宗	天文23(1554)年、榮胤が建立。京都日蓮宗の僧が来て勧化し、その僧のすめで宇守を建立し、法寶寺と名付けた。京都要都の寺の寺号となり、勝宝山本法寺となつた。	H, I		E4	
49	15088	淨光寺	伊賀 (山縣郡)	天文3年	不明	寛文6(1666)年成立。明治6(1873)年に廢寺となり、現在は市場区の人々によって善願堂として祀られている。				
50	15089	広善山 清照寺	伊賀 (山縣郡)	平明	臨済宗	文明16(1484)年。天岩宗山が一宇を草創。位置不明。				
51	15092	圓福寺	伊賀 (山縣郡)	平明	平明	応永33(1420)年。圓創に圓福寺があつたといふ。位置不明。				
52	15093	宝藏坊	伊賀 (山縣郡)	平明	平明	康正2(1456)年。高木に宝藏坊があつたといふ。位置不明。				
53	15094	松林坊	伊賀 (山縣郡)	平明	平明	直政6(1465)年。梅原に松林坊があつたといふ。位置不明。				
54	15095	(阿敷院寺 跡)	伊賀 (山縣郡)	宝徳元年	不明	本文参照		88	E5	
55	15096	(阿敷院寺遺 跡)	大桑 (山縣郡)	不明	不明	現在は荒廃となっている。山腹の道を歩いていくと、五輪塔が安置されている。	G		E5	
56	15097	白雲山 種溪院	湖田 (山縣郡)	明治39年	不明	成立時期不明。元小倉にあったが、明治39(1906)年高光寺の寺庭へ跡転。元光寺創建側山香雲が圓山で、種溪院兼佐常安院士、俗名高井彦左衛門が墓基である。昭和29(1954)年、廢寺。				
57	15102	龍國山 不動庵	平井 (山縣郡)	平明	不明	龍國年間(1596~1615)、創建は優。正保年間(1644~48)佐野治郎左衛門が再興。位置不明。				
58	15104	東福寺	平井 (山縣郡)	永禄年間	曹洞宗	永禄年間(1558~70)、井山伝灯寺から王室歎が一宇を宮東に移し、東福庵といつた。宝室4(1676)年開創圓山和尚が庵号を寺号に改めた。竹鼻町東宝寺法觀。八社神社の近くに当寺があつたといふ。昭和中期に廢寺。			I4	

表47 山県市寺院一覧表(4)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 院名	所在地 (旧地名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 結果	分布 図
59	15114	明音寺	西深瀬 (山縣郡)	西深瀬 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。現在、難音堂が建てられている。1504年(永樂2年)の境内に美濃吉田四番目のお札所の難音堂があるが、明治20(1887)年に大木から移されたものである。			14
60	15121	金玉山 宝輪寺	葛原 (山縣郡)	正応2年	真言宗	神龜年間(724~29)、紀伊伊豫郡那智より移村に移す。大和3(1128)年、仏像を赤色して再建し守護。のちに金玉山宝輪寺と改称。正応2(1299)年、天狗城(1121b)より現在地に再建。明徳2(1391)年再建。承正年間(1455~67)什杵谷後山地蔵院へ預け、乗路を託した。天和元年(1681~84)庫を建立し掃除塔を置く。			84	
61	15125	宝輪寺	葛原 (山縣郡)	伝神龜年間						84
62	15122	法林山 普門寺	佐野 (武儀郡)	天文年間以 降	臨濟宗	成立時期不明。大桑城の本城御護の道場であった。七重御築があったが、天文年間(1532~1555)大桑の城没落の時廃築して、難音堂が残った。			15	
63	15128	利生寺	谷合 (山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び沿革不明。以前は谷合交差点付近にあって、その境内に「8129妙見堂」があったが、現在は谷合宇摩利にある御神社の境内に移動している。境内の一画では輪塔や鐵塔等を確認した。			6	
64	15135	佛光山 西側寺	中河 (武儀郡)	天文11年	不明	明智光秀の母が尼僧となり、住んだ尼寺である。天文11(1542)年、大桑寺開基。宗桂禪尼土岐家誠の子を弔うため、廟を建立。現在は「施の庭」というお庭と石碑。碑がある。	石碑み		15	
65	15137	(摩見山山上 遺跡)	茅尾 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。吉備・古代(草薙・平安)・中世の社跡として追跡調査されている。			15	

表48 山県市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 院名	所在地 (旧地名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	15002	大桑郡 難音寺	東深瀬 (山縣郡)	江戸時代	天台宗	成立時期不明だが、江戸期か。1500年(永徳院の末寺)、「延喜5(1748)年、明王像・大桑山難音寺」と書かれた石碑が山脈の南端辺りにある。		
2	15005	全照寺	東深瀬 (山縣郡)	江戸時代	天台宗	江戸時代に1500年(永徳院の末寺)が建立した。慈明院の末寺。		
3	15006	南嶺山 乗風寺	東深瀬 (山縣郡)	貞享3年	真言宗	貞享3(1686)年、榮運を中興開山とした。田中大秀筆の南嶺山の山号がある。		6
4	15007	御跡山 宝宮寺	伊佐美 (山縣郡)	不明	真言宗	成立時期不明。高野山増福院に住む勢が、この地に留宿、3年後増福院末寺として建立した。貞享3(1686)年、榮運を中興開山とした。		
5	15009	龍王山 三光寺	高富 (山縣郡)	明暦3年	真言宗	明暦3(1657)年、開祖參良。享保21(1736)年再建。宝永6(1709)年、河内国守第9代、或竜唯が当寺を中興し、開山。		8
6	15012	東林山 安樂寺	大桑 (山縣郡)	慶安元年	淨土宗	慶安元(1648)年、尾張国豊楽郡巣栗寺の文慶10世の法孫である組泉が創建。明暦29(1906)年、同宗の京都上京区西山祥林寺と協議の上、祥林寺派の末寺となった。		
7	15013	東林寺	穂倉 (山縣郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。城内の墓地には文化年間の銘のある墓碑が建つ。	G, H, 石仏	
8	15014	聖德山 教應寺	谷合 (山縣郡)	文明6年以 降	天台宗 →真言宗	成立時期不明。郡上長坂峯の末寺だった。文明6(1474)年、源氏により真宗と勅定。相ノ村下り制に居住したが、同年8月宇下り口に移転し、寺号を聖應庵といつた。		
9	15023	普應山 円教寺	高富 (山縣郡)	慶安3年	臨濟宗	「1502年(南嶺山)江戸を展諸し。聖應院を円教寺と改称し稱存するもの中で最古と考えられる一円祖(義叟(1376~1458)事)が保存されている。慶安3(1650)年創立とされる。」	G, H, I, 石仏	
10	15024	南嶺山 大通寺	梅原 (山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期不明。今は美山町富木林寺法顕がある。この寺は以前熱宗の寺であったのを、林泉寺と難波和也が寺号及び地名を買いて開山した。	G, 石仏	
11	15026	東玉山 圓定寺	穂倉 (山縣郡)	元禄年間以 前	臨濟宗	成立時期不明。元禄16(1704)年の始め、熱堂の湛子安山の中興と伝わる。	G, H, 石仏	
12	15031	無量山 定法院	大桑 (山縣郡)	宝永年間	臨濟宗	宝永年間(1704~1711)成立。大桑寺東寺で權兵がこの地区に多くあったが遷域地のため、天秀がこの地に一宇を建立した。	G, 石仏	
13	15034	足性山 普教寺	伊佐美 (山縣郡)	元禄年間以 前	臨濟宗	元禄年間(1686~1704)、菊應祖芳が普教東室(大國宝鑑)を譲じ開山とされた。小倉七日市(位置不明)にあったが安政年間(1858~60)現在地へ移転した。	G	
14	15035	金華山 深瀬寺	高富 (山縣郡)	元禄13年頃 迄	臨濟宗	成立時期不明。元禄13(1700)年難音寺再建。新的大塔を袖浦して開山。享保17(1732)年豪雨で袖浦に没めた。以前は、境内の北西部の山腹に寺があつたらしい。旧本堂があつたと思われる平坦面を確認した。	G, H	
15	15039	牛頭山 経院寺	大門 (山縣郡)	享保年間	臨濟宗	享保年間(1716~36)、開基は全空。開町梅原今江天を開山として建立した。石碑が公館の西側に公園があり、「牛頭山経院院」の石柱と半壁が残っている。魔寺。		

表49 山県市参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	寺名	山(院)号	所在郷	山(院)名	建立時期	宗派	沿革等	遺物、直轄
16	15047	編風山 慈福寺	小倉 (山縣郡)	昭和3年	臨濟宗	元和年間(1615~1624)。開基は阿賴瀬公首善。昭和3(1928)年旧地から約50m北に新築された。羅音堂が裏山にあったが、仏像を本堂に移した。			
17	15050	瑞泉山 正願寺	葛原 (山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期不明。もと多良木村(位置不明)にあって東光寺と号していた。現在地へ移建して。南朝十世後醍醐を園山として正願寺と改称した。			
18	15052	和合院	葛原 (山縣郡)	不明	臨濟宗	開基は杉平平人。元は杉山藤兵衛の邸宅で、松庵ともいつたが、文化8(1811)年延暦寺となつた。園山は大龜寺氣林殿である。			
19	15053	總實山 圓照寺	梅原 (山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び伯平不明。現在は「15076永昌寺」が管理しているという。			
20	15055b	金龍寺境内	富水 (山縣郡)	元和5年	不明	15055金龍寺參照。			
21	15057	垂澤山 電吟寺	西深澤 (山縣郡)	慶長11年	臨濟宗	成立時期や当初の位置不明。垂澤庵といわれていたが電庵。慶長11(1606)年、豊臣譜氏によって、戸界井後の篠尾屋に新築。垂澤山電吟寺と改称。平村電福寺無伝説あり説いていた。園山が枯龍とした。承応2(1653)年電法寺達元通の法系を嗣ぐ法印である。	G, H, I		
22	15058	小糸山 林泉寺	大桑 御前 (山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び伯平不明。墓地には、江戸期の年号が刻まれた墓石がある。			
23	15060	大悲山 普門寺	富水 (山縣郡)	正徳3年	臨濟宗	正徳3(1713)年、村民が暴起して施主を殺す。名古屋泰豊寺攝山を開山した。寛宇は倒産しており、泰寺になっている。	G, 石仏		
24	15061	宝林寺	神崎 (山縣郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び伯平不明。跡地には「宝林寺碑」の石碑が残っている。	G, H, 石仏		
25	15063	碧玉山 圓智寺	大桑 (山縣郡)	寛永元年以 降	臨濟宗	成立時期不明だが、武蔵郡宇多坂村鶴鳴寺の弟子智智が作職となつた。寛永元(1624)年、鶴鳴寺無伝宗祇が当寺を歎讚し開山となつた。	G		
26	15067	高松山 長安寺	井原 片野 (山縣郡)	寛文3年	臨濟宗	寛文3(1663)年、武蔵郡宇多坂村鶴鳴寺の弟子長安寺が創建した寺で、境内には圓鏡堂があつて圓鏡和尚が祀られている。	石仏		
27	15068	東涌山 聖相寺	佐賀 (山縣郡)	天明元年以 降	天台宗 →臨濟宗	成立時期不明。始めは天台宗で、開基は圓源。妙心寺源とあつた時、寺号も圓鏡寺から聖相寺に改めた。天明元(1781)年の火災で焼失、同年に圓鏡寺が再建して中興圓鏡寺。	G, 石仏		
28	15069	玉泉山 靈巖寺	黄岡 (山縣郡)	寛永7年	臨濟宗	寛永7(1630)年、能外祖禪を開山として創建された。宇多院の末寺である。	G, H, I		
29	15071	瑞巒山 淨性寺	梅原 中村 (山縣郡)	延宝6年	臨濟宗	武蔵兵一旗は病気平癒のため、南泉寺副頭を贈じて羽林。圓融圓巒などだったので、この恩を記念して伝むるため、而目谷口に創地を選び、延宝6(1678)年に一字平(淨)。創建は圓道(淨)・加賀大和助。開山は圓融梵阿大和助。	G, H, 石仏		
30	15072	太白山 吉祥寺	大桑 御前 (山縣郡)	慶長15年	臨濟宗	慶長15(1610)年、若松村の佐久人、豊田与三郎が開創し、住職は圓伝などといった。寛文4(1664)年、大桑村圓道寺門口近に搬入分法開山となつた。	G		
31	15075	長翁寺	尾尾 伊佐美 (山縣郡)	江戸時代	臨濟宗	江戸時代、小畠兼業による創建。			
32	15076	桂光山 永昌寺	尾尾 椎倉 (山縣郡)	寛永6年	臨濟宗	寛永6(1629)年、那外祖禪を開山として創建。宇多院の圓通寺の末寺である。	G, H, 石仏		
33	15077	妙見山 永光寺	尾尾 椎倉 (山縣郡)	寛保2年以 降	曹洞宗	成立時期不明。澤田口に開光寺と呼ぶ釋寺があり。寛保2(1742)年澤田五郎氏が西興を開山し、開山を寄託し、贈一體應海を開山とした。	G, H		
34	15078	西深澤 栗原	栗原 (山縣郡)	元和年間	曹洞宗	明和年間(1764~72)、栗原は諱印寂文。	G		
35	15079	水上山 吉祥寺	高木 (山縣郡)	延享3年	黄壁宗	延享3(1766)年。開基は覺照。			
36	15083	大洞寺	小倉 (山縣郡)	元禄8年	曹洞宗	元禄8(1695)年。開基は大庭無得祐基本祐。15065金剛寺から西へ行く道に、「撫仙山大洞寺」の石柱がある。その北の山中に建物跡と思われる半塗面が多所残る。			
37	15084	臨川寺	小倉 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。七日市伊自良山前にあつたという位置不確。七日市城東通跡の西にあつた伊自良山に墓地がある。			
38	15085	福田寺	小倉 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。梅原中村にあつたが位置不確。地名が残っている。			
39	15086	薬師寺	小倉 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。薬師寺の伝承のうち、薬師如意・十二神将などは15023円教寺前御十王像とともに小像を建て祀られているというが、位置不明。			
40	15087	仙巖寺	小倉 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。大桑庄原にあつたが位置不明。			
41	15090	覺正院	大森 (山縣郡)	不明	真言宗	位置不明。大野左主家は薬師藥師院により、真言宗山伏院正院が覺正院になつたもので、角正院・本性院・覺昌院など名稱も変わってきている。			
42	15091	阿弥陀堂	松尾 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。薬師西瓶の旁に弘誓寺木寺として阿弥陀堂があつた。位置不明。			

表50 山県市参考寺院一覧表(3)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
43	15098	龜芳山 黄梅院	松尾 (山縣郡)	17世紀	不明	元和9(1623)年、禪前宰相忠烈公の夫人、黄梅院鷹竹芳舟者大娘の開基。塗壁が開山。忠烈から小舟に移住した人は、谷舟。移転時期は不明。寛文9(1669)年東光寺の住持となつた。明治18(1885)年、寺号を本巣郡系貫石上に移す(現在は認できない)。黄梅院にあったという宝印塔は、熊野神社境内にある。	G、H	
44	15099	吉祥山 觀音寺	松尾 (山縣郡)	江戸時代前 期	不明	江戸時代前期内成立、圓山は東光寺6世塗壁和尚である。現在は十五堂が残る。	G、H、 右伝	
45	15100	河北山 高寺山	勝 (山縣郡)	不明	不明	寛文年間(1661~73)、大延といいう人が建立されたと伝えられ、東光寺の法師であった。位置不明。		
46	15101	大森山 高井寺	平井 (山縣郡)	万治年間	不明	万治年間(1658~61)、一玄道光居士が建立。豊豈國師を開山とした。明治維新後は廢絶。無堂開創記念碑の記念碑が建つ。		
47	15103	河北山 高麗寺	平井 (山縣郡)	元和年間	不明	元和年間(1615~24)、創建は香山春翁。東光寺12世懶菴和尚が中興し寺号で大般若經600巻を奉寄して草堂寺に移された。伊日良南小学校の西側に広い荒地があり、寺の跡であるといふ。		
48	15105	長久院	長坂 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。古来は千体地蔵であり、良久が守つていた。良久の死後、櫻桃第五右衛門によって、東光寺末寺となつた。位置不明。		
49	15106	立義山 立忠庵	勝 大田 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
50	15107	葛巖寺	葛原 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。現在の大門墓地が疫寺葛巖寺の跡地となっている。墓地の東部に平坦な荒地があり、寺の跡地の可能性がある。	G、石仏	
51	15108	喜相寺	草木 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
52	15109	真性院	谷合 (山縣郡)	不明	不明	西方山間にありる墓地の1つは、真性院跡である。1基の無縫塔には元文の年号と「住中萬の墓とあつたと自古歴史に記載あるが、位置不明。		
53	15110	普門山 普門院 萬泉寺	谷合 (山縣郡)	宝永6年	天台宗	延曆寺才空。宝永6(1709)年、良舜院開山の開基地であった。明治8(1875)年、三光院の兼應地になった。明治11(1878)年には三光院に合併された。現在の三光院墓地が跡地であるといふ。		
54	15111	笠仙寺	日原 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
55	15112	高戀寺	桜尾 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
56	15113	智勝院	大桑 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
57	15115	宝寿寺	喜水 原原 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。古戸戸と小さなお堂。倒れた墓石を確認した。平坦面がいくつかあり、宝寿院関係ものと思われる。明治灘に魔寺となったというが、15046御廟寺と合せた。	G、平坦面	
58	15116	福願寺	大洞 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
59	15117	真光寺	平井 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
60	15118	福谷山 福願寺	平井 (山縣郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。15046御廟寺と合せたといふ。		
61	15119	松尾山 梵松院	長坂 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。七社神社の北側の横に魔寺梵松院という宮宇があつたといふ。建物はなく、平坦面が残っている。神社の入口に無縫塔や五輪塔が残る。	G、石仏	
62	15120	前屋鰐首	勝 大田 (山縣郡)	不明	不明	勝大田の山奥にあつたというが役置不明。	G、石仏	
63	15123	天鏡山 圓藏寺	草木 (山縣郡)	正保4年以 前	臨濟宗	成立時期不明。正保4(1647)年額外和尚が再建し。圓山となつた。15069法鏡寺と合せし。現在は住宅地となつてゐる。		
64	15124	大円寺	岩佐 (武儀郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
65	15125	西園山 觀音堂	岩佐 (武儀郡)	不明	臨濟宗	慶安2(1649)年、圓山は圓福寺僧圓宗。山慈大寺管了和尚圓山が一小堂を建立し、般若菩薩像をまつた。圓智寺は、明治維新の際に廢寺となり、圓音堂の残された。位置不明。		
66	15126	蔚松寺	甲戸 (武儀郡)	不明	臨濟宗	成立時期及び沿革不明。位置不明。		
67	15130	懸雲寺	日原 (山縣郡)	不明	不明	当地を知る人はいるが、現地確認ができないため、現時点では位置不明。		
68	15131	真常寺	桜尾 (山縣郡)	不明	不明	位置不明。古い寺院の跡で、天文年間(1532~55)より以前のものと伝わる。		
69	15132	慈恩寺	大桑 (山縣郡)	不明	不明	成立時期不明。江戸末期まで、存続していたと伝わる。位置不明。		
70	15133	春日山 南陽寺	西深瀬 (山縣郡)	江戸末期	真壁宗	江戸時代末期成立と伝わる。春日神社前の住民宅にあった。岐阜市電大仏寺より住職が来ていた。3~4代続いたが、明治5(1872)年に倒れし。廢寺。	G	

表51 山県市参考寺院一覧表(4)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、直構
71	15136	金童寺	大洞(山縣郡)	元和5年	不明		元和5(1619)年無信と花の開創。正保3(1646)年畠永村の山田仁右衛門の隕基で、武藏郡宇多野村藤原寺の末寺として懶堂守益と典が開山となった。15055金童寺が移転する前の寺。	6

表52 瑞穂市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、調査略歴	分布図
1	16001	大池山 藤原寺 千手院	本郷 八幡西(本郷郡)	伝弘仁10年	真言宗	役の行者の隕基。弘仁10(819)年創建と伝わる。本尊十一面千手観世音菩薩は本尊の作で、天台寺の作と云ひ寄贈と伝わる。当寺住持・光明坊、山内坊、光明坊、山内坊、法祐坊、不動院、正林坊等12坊が建っていたといい今はその一部が遺名として残る。	6		N4
2	16002	藤原山 花王院	牛津魔坪 (本郷郡)	伝和銅2年	天台宗 →真言宗	和銅2(709)年創建と伝え。天台宗。藤原が真言宗に転じ7堂伽藍整う広大を誇る。	6, H, T, 石仏		N4
3	16003	今池山 實相寺 修学院	本郷 (本郷郡)	承治年間	真言宗	承治年間(1142~44)、興福開基。文治2(1186)年、黒糸谷門一門作の作と傳わる。安治(1195)年開院と傳わる。本尊十一面千手観世音菩薩の裏に努め、開谷源三左衛門の弟忠兵衛・大御宝生院の弟子となり、修学院の住職となって令門の興福を団り、貞享3(1686)年入寂。大御宝生院の奉主として本末の關係が生じた。	G, B, I, 石仏		N4
4	16005	千林寺	田之上 (大野郡)	中世か	浄土宗	もと浮上・足跡西院に属し、創建は播磨時代後醍醐から室町時代前期か。自然岩山と伝える木仮を安置するので、この名がある。元空作の仏像も所蔵。現在、奥野郡丹波の東寺。	G, B,		N4
5	16008	天徳山 林香寺	中宮 (大野郡)	正保年間	法相宗 →浄土宗	もと法相宗で元治(1668~79)を開基と伝え。安久郡丹波庄納村に在ったが、正保年間(1644~47)(一説に延宝年間(1673~81)とも)に圓成丈が再興。貞享元(1681)年、淨土宗に転宗。	G, B, 石仏		
6	16010	龜頂山 大日院 繼光寺	美江寺 (本郷郡)	承暦以前	天台宗 →浄土宗	もと天台宗。水鏡の頃(1558~70)、淨土宗に転宗。美江寺が永正3(1506)年に田代渡辺により再興され、依頼守の名前が「繩成院繼光院佐佐木承暦道照大日禪定門」といい關係して創建されたもの。	G, B, I, 石仏		N4
7	16012	天徳山 教養寺	田之上 (大野郡)	天文5年	真宗	寺伝によると、天文5(1536)年に創建。寺地が開基し天台宗に属したが、一向一揆があつたころ真宗に転宗。	G, B, I, 石仏		N4
8	16013	繼光山 善光寺	總積 (本郷郡)	大永3年頃	真宗	本尊の裏に大谷本願寺実基が大永3癸未年(1523)3月12日に贈られたと書いてある。その当時の創建と思われる。			N4
9	16014	若群山 善徳寺	七崎 (大野郡)	宝徳元年 以降	真言宗 →真宗	成立時期不明。宝徳元(1449)年、善徳房が真言宗から転宗。	6		M4
10	16015	八池山 正蓮寺	寛田 (大野郡)	昭和2年	天台宗 →真宗	續き取りによる上。嘉吉2(1442)年に創建。天台宗に属し吉祥院と号した。文永9(1477)年に真宗に転宗。昭和2(1927)年に木曾川の法改修により現在地に移転。	G, H		
11	16016	清光山 淨明寺	重里 (大野郡)	正安元年	天台宗 →真宗	正安元(1299)年に創建。開基は了空。元は天台宗に属したが、本願寺2世如信上人に依頼して真宗に転宗。	G, H		N4
12	16017	松洞山 圓融寺	本郷 (本郷郡)	享保年間	真宗	開基は天文年間(1532~1555)に法融院が開基。開基当初は16046延喜寺の南にあつたが、延保年間(1718~1736)系真川改修に伴い現在地に移転。			N4
14	16018	圓本山 超智寺	馬場 (本郷郡)	慶長7年	真宗	寺伝によると成立時期は奈良時代で、始め天台宗。また現在の園庭には移転したのが慶長(1602)年である。創建当時は生津(ありつ)院、跡は現在の圓本山公園で記念碑が建つ。応仁年間(1467~69)に高野村(現在の北之町高野)、詳細位置不明)へ移り、慶長10(1605)年に現在地へ移転した。従う。			N4
15	16019	超智寺境内	生津 (本郷郡)	伝泰良時代	天台宗				N4
16	16019	太子山 善徳寺	別府 (本郷郡)	寛永14年以 前	天台宗 →真宗	寺の過去編によると、成立時期不明だが、善徳太子が生津、江口と称した。寺での書き取りによると、元は生津にあったといふが、位置不明。	6		
17	16020	木仮山 空光寺	總積 (本郷郡)	不明	真宗	永正2(1489)年に法祐が造営を建立。寛永14(1637)年に木仮空光寺と称した。寺での書き取りによると、元は生津にあったといふが、位置不明。			
18	16021	華中山 光量寺	別府 (本郷郡)	明応8年	真言宗 →真宗	弘仁9年(810~24)空海が創建した。厚見郡生津村にあった。真言宗に属し、善徳院光明寺と称した。明応8(1499)年に前野村に移転し、真言宗から淨土真宗に転宗。天文13(1544)年に光量寺と改めた。			N4
19	16022	繼置山 善照寺	只根 (本郷郡)	永享11年	真言宗 →真宗	元は真言宗で真如院といわれていた。永享11年(1439)2月28日長仙開基。五色山善照寺と称すとする。			N4

表53 瑞穂市寺院一覧表(2)

番号	寺院 番号	史跡	山(城)号 寺院名	所在郷 (本郷郡)	建立時期	宗派	沿革等	古物、遺構	調査 略歴	分布 図
20	16023	広大山 西蓮寺	貝塚 (本郷郡)	文明12年	天台宗 →真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属し。広大院と称した。文政12(1860)年に道友が一字を建立。広大山西蓮寺と称した。			N4	
21	16024	大月山 觀照寺	大月 (大野郡)	明治時代	天台宗 →真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属し。慈覚開基、文政5(1873)年に御堂が真宗に転宗。焼き取りによる。明治時代に桑名から水運で搬入したという。	G, I, 石仏			
22	16025	大悲山 蓮光寺	十八条 (本郷郡)	永正3年	真宗	永正3(1506)年、圓基を教頭とす。本尊阿弥陀如来像は悲心相の作と伝える。			N4	
23	16026	西江山 入道寺	別府 (本郷郡)	不明	真宗	大永2(1522)年に別府城主の兼庄義貞が舟船賄ひ弘千番が創建。現在は寛永17(1640)年の開基。焼き取りによると、元は別府城三の丸にあったというが、現在地への移転時期不明。	G			
24	16028	賢祐寺	唐榮 (大野郡)	昭和4年	真宗	天文8(1549)年に空乘開基。天文12(1573)年に智積院。天和3(1683)年に賢祐寺を改めた。元は戸蔵川左岸堤防外にあったが、昭和4(1929)年に木曾川上流改修工事のため現在地に移転。	G, H			
25	16029	五松山 受念寺	古橋 (大野郡)	不明	天台宗 →真宗	正安年間(1299~1302)、辻海左衛門松林が創始。天台宗に属し安八郡大蘇村に草庵を起したが、延宝5年(1677)年に寺号を得た。現在地への移転時期不明。				
26	16030	木井山 仁成寺	總精 (本郷郡)	昭和8年	真宗	大永4年(1524)年に照順が創建し、慶長5(1600)年に西了が再興。元は郡下分寺であったが、木曾川上流改修工事により昭和8(1933)年に現在地に移転。	G			
27	16031	雲霞山 惺溥寺	重里 (大野郡)	文亀3年 親しくは 延享年間	天台宗 →真宗	成立時期は文亀3(1503)年とする後と、延享年間(1744~48)とする説があるが天台宗に属したが、後に真宗に転宗。	G		N4	
28	16032	慧日山 光明寺	(本郷郡)	天正15年	真宗	寺伝によると、天正15(1587)年成立。圓基を継譲と伝える。			N4	
29	16033	雲霞山 正等寺	本田 (本郷郡)	不明	天台宗 →真宗	明応2(1490)年に教勅が開基。元は天台宗に属したが教勅の頃に転宗。創建当時は現在の仁井の西方半中にあったが、現在地(大野)への移転時期は不明。	G			
30	16034	照曜山 相應寺	唐榮 (大野郡)	明治3年以 前	真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属した。明治3年(1870)相應房が開基。真宗に転宗し相應寺の寺号を得た。			N4	
31	16035	大瀧山 德源寺	横屋 (大野郡)	16世紀	真言宗 →真宗	天福元年(1233)に惠忠が開基し真言宗に属した。元は横屋三軒屋にあったが、住民の挑打を恐れて移転。教如上人が専勝寺(慈眼院)の際に真宗に転宗。焼き取りによると、広運寺の近く(詳細不詳不明)から現在地に移転した。	G, H		N4	
32	16036	華香山 広蓮寺	祖父江 (本郷郡)	元龜元年	真宗	元龜元(1870)年に蘭舟が開基。後に広蓮寺と称した。焼き取りによると、創建時は現在地であった。	G, I		N4	
33	16037	華嚴山 圓通寺	牛牧 (本郷郡)	15世紀後半	真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属し円宮院と称した。寛永(文安5(1448)年)後が現在地に移転。寛永6年(1629)に真宗に転宗。	G		N4	
34	16038	法華山 圓慶寺	十七条 (本郷郡)	応永6年	真宗	応永6・文永2(1373)年に南蘿宿僧が創建し天台宗に属した。宝徳2(1460)年に真宗に転宗。	G, H		N4	
35	16039	覺体山 蓮生寺	呂久 (大野郡)	近現代	真言宗 →真宗	長享元(1487)年に昌基が建立し豊休院と称した。寛永9(1632)年に蓮生寺の寺号を承る。元禄2年(1689)に平尾御坊下となる。焼き取りによると、撫琴川改修工事で現在地に移転。				
36	16040	法教山 念慈寺	厨食 (大野郡)	慶長5年以 前	真言宗 →真宗	成立時期は不明であるが、真言宗に属した。空直が開基し法正と称した。慶長5(1600)年に真宗に転宗し、念慈寺と改めた。	五輪塔 材か		N4	
37	16042	光明山 唯敬寺	野白新田 (本郷郡)	明治時代以 降	真宗	成立時期不明であるが、野白新田の開拓者泰安佐内藤が光明寺の隣居として一字を建立。天正2(1573)年、唯教が方県郡甲田村に小室を建立し唯教坊と称した。焼き取りによると、唯教坊は明治時代以降に野白に移転したという。				
38	16043	月向山 良縁寺	呂久 (大野郡)	伝15世紀	真宗	焼き取りによると、1470年前に創建。近藤市郎兵衛良縁が開基。元は天井に属したが、明応2(1493)年に真宗に転宗。	G, H		N4	
39	16046	龍華山 通玄寺	本田 (本郷郡)	平明	臨濟宗	明応5(1496)年又は永正19年(1518)に創建。泰峰宗甫が開基。焼き取りによると、元は天台宗に属し。本田城跡にあったといいう(移転・転宗時期不明)。	G, H, I		N4	
40	16047	龍華山 舞聲寺	十九条 (本郷郡)	弘治2年	臨濟宗	弘治2(1556)年鑿山し金剛羅堂を建立。寛文8(1668)年に如意惠房が創建。	G, H, I		N4	
41	16048	實草山 廣讚寺	牛牧 (本郷郡)	近現代	單立	大永元年(1521)7月が開基。約150年前に横屋(現在の巢南町横屋)から現在地に移転。	G			

表54 瑞穗市寺院一覽表(3)

番号	寺門番号	支院	山(國)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、蔵書	調査 結果	分布図
42	16050	阿南陀院 唯嚴寺	別院 境内 (本巣郡)	建久3年	臨濟宗	建久3(1192)年に郡内六太帝渡が天祐天王社(現在の勝連神社)と藏鏡音堂を併せ、唯嚴寺を建立。長良親福寺で、十三丈五尺の藏鏡音堂の境外に仏龕を持った相当の面積を有したが、明治初年に廢寺。かゝって十一面藏鏡音堂造(平安、現在の別御藏鏡)を安置。		G, I	N4	
43	16053	法輪庵	十八条 延東古 (本巣郡)	不明	真言宗	成立時期不明、始め真言宗の尼寺。南都郡城下村圓滿寺寺領。阿弥陀院の尼庵を安置す。成立開基の年代不詳。北方町円鏡寺と関係あり。		G, H, 私託		
44	01009b	美江寺跡廣内	十六条 (本巣郡)	伝養老3年	天台宗	養老3(719)に伊賀國北張の坐佛寺から一面圓滿音菩薩立像を移し創建。東大寺別当の勅願が開山。美江寺本尊には「正六位上・美江明照・美江寺主・美江寺修」と記載されている。永承3年(1506)土崎成義が御詫修と修理。天正24(1546)に僧舎庭道三が現在の轟山寺に移転。		大藏 (本巣 寺跡)	N4	
45	16055	龍光山 延法寺	吉田 (大野郡)	伝8世紀後 半 ~9世紀前 半	真宗	成立時期は不明であるが、伝教大師が開基・延喜上人(明忠8(1499)年没)の代に真宗に転宗。天正年間、右山合戰に参加した七か寺の一つ。		G	N4	
46	16058	參關音首院	森 (大野郡)	不明	不明	延暦年間(782~806)に、出羽国の豪族大口大膳が京都で豊懐して生れたが、吉喜により一休を森にどめ、一休を谷間に隠んでいた。建久4年(1193)中、藏鏡音堂は唯嚴寺(16050)に遷された。伝教大師。				

表55 瑞穗市参考寺院一覧表

番号	寺院 番号	山(里)号 寺院名	所在地 (都府県)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1.	18006	常住院 即心院	呉久 (大野郡)	明治36年	淨土宗	江戸時代後期、馬頭像右衛門が尼僧の念佛道場として東庵を建立。清海庵と称す。明治36年(1903)庵主立木妙延が高麗朱雀野の即心院(京都北野の転法輪寺末)を当院に転出、即心院という。	
2.	18007	法城山 淨蓮院	十七ヶ (大野郡)	天保5年	淨土宗	天保5年(1834)創立。淨蓮園。不破郡赤坂天保院末寺。本山は黒谷金成光明院。	
3.	18009	光照寺	祖父江 (本巣郡)	正明	淨土宗	成暦時第4明、大和時代に良圓院の寺号を譲り受け、後光照寺と寺号をえたと首肯されている。	
4.	16011	延壽山 龍藏院	細積 (本巣郡)	17世紀後半	淨土宗	当村庄屋屋敷に安置してあった十一面觀音菩薩龕を、定成元(元禄2年(1689))大師が名古屋大須賀楽堂の空室に譲り、延宝4年(1686)党中央建立を勅願し、10年を経て現位する現在の位置に建立。	G. I. 石仏
5.	16027	鷹谷山 忘端寺	十九条 (本巣郡)	不明	天台宗 →真宗	成立時期不明であるが、天台宗に属した、承応3(1644)年に了質が開闢。後に真宗に転出した。	
6.	16041	長洲山 西蔵寺	櫻屋 (大野郡)	慶長9年	真宗	慶長9(1664)年に創建。慶元2(1714)年の「平尾御坊跡下酒」では寺跡寺末とされる。	G. I. 石仏
7.	16044	鶴宮山 佛勝寺	森 (大野郡)	慶安元年以 前	真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属し、慶安元(1648)年真宗に転宗した。壁取り以上るとかで寺跡は広く、昔の池跡に複数室があるという。	
8.	16045	天長山 福応寺	只崎 (本巣郡)	正保5年	臨済宗	正保5(1648)年、広昌菴内藤利が一字を建立。慶安元(1648)年に慶長が開基。	G. H. I
9.	16051	道場寺	稲原 (江戸時代中 (本巣郡))	寛永中	真宗	江戸時代中崩頃に上植村長光寺の領所として建立。	
10.	16052	宝江道場	宝江 (本巣郡)	天明年間	真宗	天明年間(1781~90)に、村人の説教道場として建立。	G. H.
11.	16056	東勝寺	若倉 (大野郡)	不明	曹洞宗	沿革は不明。明治2(1869)年の若倉村明細書に安八郡一色村安春院寺末と記載されているが、その付近の町村跡には記載されていない。今地は集落の東端の平地側に位置する八幡神社の辺りと駄々、土砂改良のため、多数の土塁石や仏龕を出土している位置不明。	
12.	16057	不動堂	櫻屋 (大野郡)	享保17年	不明	享保17年(1732)に宝江寺建立。	
13.	16059	妙樂寺	森 今曲 (大野郡)	不明	天台宗	成立時期不明。妙樂寺の北西側に馬頭像を祀るところがあつたといい、土地の改良以前には東西8m、南北2.5mの茅葺きあり、施主の竹刀器の御厨が出土。現在は水田があり、地盤は確実できず位置不明。	

表56 本農市面積一覽表(1)

番号	寺名		所在地 (市町村名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、蔵物	調査 結果	分布 図
	寺門 番号	史跡							
1	18001	薬師山 圓淨院	三橋 (常陸郡)	伝8世紀	真言宗	開基を行基、空海の来歴をも伝えるが、由縁不明。腹内地から布目瓦が出土した。複数室宇はなく、造営堂が建つのみ。東側の墓地に玉輪塔がある。	古代瓦、 G. I. 石仏	■	■
2	18002	延命寺	右原 (猪田郡)	中世	真言宗	成立時期不明。かつての法華寺か、当處には延命寺という大寺院があつたといい、八幡神社は法華寺の法事住持を祀るという。地名は紙切場、多利坊院。郡分寺の後身か。信長の時御伽美し上一郎再興擴がこの日の延命寺という。	G. II. 石仏	■	■

表57 本巣市寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺(院)名	所在郷 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 要点	分布 図
3	18004	淨妙山 国通寺	春近 (常呂郡)	平安時代 初期	真言宗	空海が美濃国に建てた7か寺の一つと伝わる。新撰美濃志に「國通寺は真言宗なり。往古国分寺を國分寺などひしが、後廢転じて今のか寺となりしものならむか。」とある。近辺から布目瓦等、古代から中世の遺物が出土している。	G, H, I, 石仏、 古代瓦、 中世瓦、 鐵塔、 歌碑、 須弥壇、 瓦輪脚踏、 山茶樹、 中世陶器、 平安瓦		M4	
4	18005	新源寺	上真桑 (木曽郡)	承暦年間	真言宗	上真桑喜多川家は古来親縁として深い関係があり、永禄年間(1558~70)に成立。寺域が広かったと推察される。観音堂は、複札によると元禄4(1691)年の金背、この寺に附属。			M4	
5	18006	三谷山 大福寺	上高尾 (大野郡)	不明	真言宗	天正年間(1573~92)玉子が中興したと伝える。京都から移転してきた寺であるというが詳細は不明。	G, H, I, 鐵塔玉輪 石仏		M4	
6	18010	大應山 福応寺	七五三 (木曾郡)	平安時代 初期	真言宗 →真宗	空海の創建。文治(1186~90)のころ美濃守源光の新編寺。文治六年(1187)大應寺が新編成して前頭へゆき、源光から法名を了智ともい。真宗に転じて寺号を福応寺と改めた。	G		M4	
7	18011	猪塗山 福光寺	山口 (木曾郡)	明応5年以 前	真宗	成立時期不明。天台宗の頃は被園院と称す。明応5(1496)年に再興。清木山金闇覺寺と称す。始め真言宗、建佐作院(1213~19)、上林院、圓澤院。明応5(1496)年、船舟(駄ヶ西)が真宗に転定、余光寺と称した。寛文11(1671)年、猪塗之内(更屋敷)から現在地に移転。	G, H		L4	
8	18012	柳谷山 余津寺	波田 (大野郡)	寛文11年	真宗	延喜開基(901~25)、創建は一乗、清水山金闇覺寺と称す。始め真言宗、建佐作院(1213~19)、上林院、圓澤院。明応5(1496)年、船舟(駄ヶ西)が真宗に転定、余光寺と称した。寛文11(1671)年、猪塗之内(更屋敷)から現在地に移転。			M4	
9	18013	大谷山 円勝寺	金原 (木曾郡)	建仁年間	?	建仁年間(1201~04)、正壽が創立。以前はあま町の見屋一色に寺があった。當選の時、源加から一色の名を並びに六色の御名を授けられた時に転定。天正年間(1573~92)、9代目泰勝の時、繼續信長と敵対し、天正16(1580)年、善勝は首を討ち取られた。	G		L4	
10	18014	法華山 聖皇寺	上真桑 (木曾郡)	享應元年	天台宗 →真宗	享應元(1452)年、僧宗開基。始め天台宗。弘治元(1555)年、第五代開基の至りて、淨空真宗に帰依、本願寺派に属したが後、尾張の人である田舎をもるの浄順が第十一代の住職となると改めて別本願寺派に転す。			M4	
11	18016	文殊山 普永寺	文殊 (木曾郡)	天文8年頃	天台宗 →真宗	平成2(1385)年、圓基は昭南。始め天台宗。厚見郡川端村から方田郡御坂村へ移転。尼飯糸永寺と称す。天正8(1580)年、本願寺開基は智門、本業寺文峰村へ移転し、文殊山智光院普永寺と称す。			M4	
12	18017	繼秀山 長福寺	有里 (大野郡)	文明6年以 前	天台宗 →真宗	成立時期不明。始め天台宗で松徳寺と称す。以前からこの地にあり、五顯音があった。文明6(1470)年、空善が真宗に転じ長福寺と改称。	G, H		M4	
13	18018	法雲山 正壽寺	見尾 (木曾郡)	文明3年以 前	天台宗 →真宗	成立時期不明。始め天台宗。文明3(1417)年、道達が蓮如によつて依して創立したとい。見尾の中河原に馬面觀音堂があつて正壽寺に附属する。	G, I, 石仏		M4	
14	18019	東北院 常樂寺	長尾 (木曾郡)	永正5年	真宗	永正5(1508)年、淨念宗が蓮如として創立したのが始めである。常樂寺を公称したのは大永7(1527)年からと伝える。			M4	
15	18021	法園山 清涼院 正尊寺	脛井 中島 (木曾郡)	享祿3年頃	天台宗 →真宗	成立時期不明。始め天台宗。光泰が、蓮如上人に帰依して光と改名し、真宗に転じて当山圓基の第一代。享祿3(1510)年、永貞川の洪水で現寺地に移転。今も西河原の地に道珍僧の名を残す。永祿七年(1564)年、藏田信長が大義騰めに時。寺も兵火にかかる。			M4	
16	18022	法華山 福乗寺	小林 (木曾郡)	天文年間以 前	真宗	成立時期不明。始め天台宗。天正年間(1573~92)、鶴林院雄闘之平治(空器)で法華坊と称す。慶長6(1601)年に福乗寺とした。	G, H		M4	
17	18023	臥龍山 光福寺	下真桑 (木曾郡)	寶応4年	真宗	建立は元弘17代。光明院の御宇慶心4(1341)年、雲嚴若士草創。始め天台宗。法香和尚明泰9(1500)年春の頃、本願寺蓮如上人に帰依し、宗智を改め真宗に転す。	G, H, 須弥壇、 瓦輪脚踏、 小石臼、 山茶樹、 中世陶器、 土器		M4	
18	18024	不退山 淨進寺	小林 (木曾郡)	長祿2年	天台宗 →真宗	寛永2(1458)年、建立は慈祐で淨進淨進寺と称す。始め天台宗。天文年間(1532~55)、転宗は仁月。	G		M4	

表58 本巣市寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号	所在郷(田郷名)	建立時期	宗派	沿革等	造物、遺構	調査類型	分布図
19	18025	仙石山 教念寺	下真桑 (本郷郡)	明応5年以前	真宗	寺伝では成立当時天台宗。開基は仙石刑部左衛門秀彰で、明応5(1466)年に天台宗を守護する寺として「道」という通称を賜った。元和9(1623)年、一世華宗は、本堂より第11代継承上人より、本仏寺号を賜り、仙石山教念寺と称した。	6, II		M4	
20	18026	慈雲山 蓮教寺	渡木 (大野郡)	康和5年	天台宗 →真宗	唐和5(1103)年、開創は萬野四郎藍実で蓮教院と称す。始め天台宗。文明4(1472)年、藍宗は宗祖と、慈雲山蓮教寺と称す。			M4	
21	18027	清涼山 圓慶寺	上真桑 (本郷郡)	文明7年	真宗	成立時期不明。幾葉郡真村大字公松(現大野町)に在ったがこの地に移転したという伝承がある。上真桑村記録に「文明7年(1475)極溪開基」とある。			M4	
22	18032	水島山 延壽院 西光寺	根尾 水島 (本郷郡)	慶長5年	真宗	建立は存知(永存)。慶長5(1600)年、創建は明顕。根尾西光寺と称す。			K3	
23	18033	高麗山 善應寺	上高麗 (大野郡)	中世	真言宗 →真宗	成立時期不明。始めの真言宗で、延壽院の本坊であったと伝えるが、後に真宗へ転じた。明応5(1466)年の實書を持つ本尊がある。目前は土主の體にあった。脇仏したのは東宮廟。	6, II		M4	
24	18035	花木山 淨樂寺	七五三 (本郷郡)	応永20年	天台宗 →真宗	応永20(1413)年、開基は正信。始め天台宗。寛元元(1243)年に淨土宗へ転宗。			M4	
25	18037	慈雲山 円命寺	上保 (本郷郡)	伝承正元開	真宗	寺伝では坂上田村麻呂の子供である坂上孫石川鷹友が弘仁に入り、坂上を大師と改め、天台宗に歸して是尼院を開いたが、その子行は唐土・真宗に皈依し円命寺とす。本堂は承元開(1445~57)の様と伝える。	6		M4	
26	18038	舟木山 西園寺	十四条 (本郷郡)	伝承正元年	真宗	寛正元(1460)年、開基は了忠と伝ひる。	6		M4	
27	18042	雲金山 光明寺	成田 (大野郡)	江戸時代初期	真宗	成立時期不明。油田郡廣川にあり天照山光明寺と称す。文明5(1473)年、成山の時天台宗から船宗。江戸時代初期に現在地へ移転。仲伝によると、当時は職田住民の荒業収めの廻、經済合戦で焼失した大乗院廃寺跡地とされる。	6, II, I			
28	18043	北野山 専念寺	根尾 東坂尾 (本郷郡)	永享8年以前	真宗	成立時期不明。元覚が毒蛇坊を創建。船津専念寺とち、又上越に在ったともい。尾坂村に隣接ともいう。圓滿草庵を設ける。第二代實正の代の永享8(1436)年に寺号公称。			K3	
29	18044	清淨山 圓義寺	根尾 葛原 (本郷郡)	13世紀後半	真宗	初め圓鏡院圓居寺と称し、白鳳2(663)年成立と伝わる。天武天皇の御廟所、清泰王が建立。清徳王御製の後醍醐法華經、延暦24(805)年。丁丙の時に法相宗から天台宗に転宗。仁治3(1242)年、丁朝の時移転したというが詳細不明。宝安10年~正応2年(1287~89)、現在地への移転(宗門了善)。			J3	
30	18046	天龍山 慈雲寺	上保 (本郷郡)	明応4年	臨済宗	明店4(1495)年に地域の僧衆に創建され、開祖は天龍宗也受。元禄15(1702)年、中興は雷達・大藏。寺伝によると、2005年慈雲寺の裏の間だった時廢もあり。寺城は規模東西側の尾壁まであつたという。			M4	
31	18050	江南山 梅苑寺	曾井 中島 (本郷郡)	寛永7年	臨済宗	天文年間(1532~55)成立。創建時の寺は那見鉄道の西側にあり、但尾川の氾濫で寛永7(1630)年に当地に移転。西側原には現在の寺堂が建っている。	6, II, 石仏			
32	18052	大仙山 龍泉寺 (龍洞寺跡)	外山 木食 (本郷郡)	15世紀前半	臨済宗	開基は蘿頭、開山は大通真誠(土岐美濃守持領)(～永祿12(1440)年の事)現在は建築はなく、平坦面が二段分ある古代中世のものもあると思われる。	6		L4	
33	18055	萬樹山 大安寺	長屋 (本郷郡)	天正2年	臨済宗	天正2(1574)年、長良吉宗寺主三枝伊藤貞頼を開山すると伝え、その後、寺號平右衛門圓尚(無因友巧)が開基した今を寛永12(1635)年に再興。	6		M4	
34	18056	瑞應山 金福寺	金原 (本郷郡)	永正元年	臨済宗	永正元(1504)年、開祖は大須直源。			L4	
35	18057	黄梅山 長慶寺	外山 木食 (本郷郡)	明応年間	臨済宗	明応年間(1492~1501)、義岳慧足創建。開山は東園。寛政年間(1789~1800)に東園正根寺より大空缺が来往。堂宇を増築し、中興圓山。	6, 石仏		L4	
36	18059	舟木山 佛助寺 (佛助寺道跡) (佛助寺跡)	上保 (本郷郡)	天文年間	臨済宗	本文参照			M4	
37	18060	天寶山 了仙寺	春近 (本郷郡)	享保年間以前	臨済宗	成立時期不明。春近の西林寺にあり、臨濟宗妙心寺派に属し、天寶山という。もと北村に西林庵があったが、享保年間(1716~36)、石応が寺を再建したと名づけ、その山になった。	6, II, I, 石仏			

表59 本巣市寺院一覧表(4)

番号	寺院 番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 階級	分布 図
38	18063	瑞雲山 千光寺	数尾 (大野郡)	伝平安時代	天台宗 →曹洞宗	開基は最澄、七堂伽藍を完備したと伝わる。享保7(1722)年、 謹廟院三本の梵龕寺が曹洞宗へ転没。梵山を当寺創立の開 山とし、安政元年(1854~60)の恩賜をもと開山とした。	6. I. 石仏		M4	
39	18064	光正山 照空寺	文殊 (本巣郡)	元禄2年	曹洞宗	応永2年(1405)年、寺井祐祐の開創で、村社八幡神社、権門大門の 東に、長福寺を建立。武藏郡下有知村泰寺第一祖。無極禪師 を開創。元禄2(1689)年、戸田光正の母照空院のために、御青 提所として今のに移す。	6. II. I.			
40	18065	法幢山 增福寺	文殊 (本巣郡)	昭和62年	天台宗 →曹洞宗	寺伝によると、弘和5(1016)年～長承8(1055)年創建。開創は 天正11年～慶長11年(1583～1606)、始め天台宗。開創時の開山 は松谷聖覺。開基は青雲院殿懶叟友菴大居士と桃山五兵衛副則 秀。以前は墨山村にあり、昭和62(1987)年に現在地に移転。	6. III. I.			
41	18066	五台山 大龜寺 (文殊院寺跡)	文殊 (本巣郡)	古代	曹洞宗	本文参照			M4	
42	18070	妙見山 福寿寺	毘尾 下大屋 (本巣郡)	伝永禄2年	曹洞宗	純祐延喜寺末。寛文2(1662)年、不動院寺手村の新羅寺号第七代 萬山祐祐が始めた。寺伝では、永禄2(1559)年、昌山元黒が福 寿寺から入住したものという。	石仏		J4	
43	18072	(元正寺遺跡)	北野 (高田郡)	中世	曹洞宗	元正寺は七堂伽藍を備えた寺で、北野の山前にあったと伝え。 今も地に元正寺・仏供田と残す。天正頃(1573~92)再興。安 政年間(1854~60)曹洞院の開學が新設の寺院として中興。無 無禮で開寺となり。元正寺という草創が続くのみであった。昭 和4年、元正庵と明安寺に改められたが、明安寺の位置不明。			M4	
44	18073	寿延山 顯成寺	牧田 (大野郡)	永禄元年以 前	天台宗 →日蓮宗	成立時期不明だが、創立は賢證。始め天台宗でも堂伽藍を備え たといい。本徳元(1381)年、西興・船主は了因(日法)の輔。宝 永2(1702)年、中興は日慶。平成29年廢寺となり。現在は宅 地。			M4	
45	18074	能郷温泉	觀音 (本巣郡)	文明年間	真宗	文明年間(1469~87)。順信により成立。大坂の多詔院水寿寺の 道場であるといふ。			J3	
46	18078	(高田庵寺跡)	石原(高田 郡)	伝仁和3年	不明	仁和3(887)年、国分寺・國分尼寺徒失の際、一時国分寺の橿原 を移した寺院とされる。寺域は現在の石原八幡神社を中心とする 範囲と推定され、この神社を中心とする約100m四方で古代瓦が発 見された。祇園坊・多聞坊・放生池など跡地もあり。			M4	
47	18079	(猪谷谷遺跡)	猪谷 (本巣郡)	中世か 不明	不明	本文参照			J4	
48	18081	長倉院 香樹寺	經院 (本巣郡)	平安時代後期 ～ 鎌倉時代初期	天台宗	建立は朝倉高清、天台宗。永禄5(1562)年、輪海合戰の兵火に かかり廢寺。東香樹寺・西香樹寺の地名が残る。			M4	
49	18084	能郷白山神社 神宮寺	觀音 (本巣郡)	不明	不明	本文参照			J3	
50	18085	(神所護摩寺 跡)	經尾 神所 (本巣郡)	不明	不明	成立時期や歴史不明。明治14年の町村誌に「能郷寺跡經尾 跡字同敷二處」と記載あり。				

表60 本巣市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院 番号	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	
1	18003	兩界山 地藏院	海老 (大野郡)	伝18世紀	真言宗	寺伝では、1700年に成立したという。海老地区の利山善天津内には、夢 告げ地蔵があり利山九代前の先祖崇伝修持行の孫の之後、夢のお告げで 地蔵菩薩を創り出す。一代の仏堂を構え当家の主人は、この堂を守るために 、京都般願寺三宝院について再度。		
2	18007	福性寺	石神 (大野郡)	不明	真言宗	成立時期不明。圓山は玉王。福性寺に所属する地藏堂と馬頭観音が石神 にある。	6. I	
3	18008	物部山 法華寺 (法成寺遺跡)	上真桑 (本巣郡)	不明	真言宗	成立時期不明。難波社物部神社の神官寺と推察される。境内に経堂といわれる ものあり。岡川からは多くの五輪塔が出土し、往時この地域に七堂伽藍 をそなえた大寺があったか。難波寺の仏壇扉の裏面に記載するところによ ると寛文3(1663)年以前後の建造。廢寺時期不明。		
4	18009	稻月山 覺勝寺	墨井 (大野郡)	寛永19年	真宗	成立時期不明。廢廟は眞。もとの寺場は大野駅料亭にあつたが、寛永 19(1642)年、扇井へ移した。調査時は本堂はなかつたが、本尊は敷地内に ある集会所の中柱に安置されている。		
5	18015	高麗山 円長寺	軒向 (本巣郡)	寛永17年	真宗	始め円長坊と称す。經南西城の縁といわれ、かつて一陣伊豆守越知の別城 であった。寛永17(1640)年、一陣氏の菩提をうだため、その後廢城となつ た城跡に寺が成立したと伝わる。	土壁、6	

表61 本巣市参考寺院一覧表(2)

表62 本県市参考寺院一覧表(3)

番号	寺院 番号	史 籍	山(國)号 院名	所在地 (都道府 県)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、 遺蹟
27	18068	大慈山 普照院	郡院 (宮崎郡)	寛文元年	書洞宗	正保3(1646)年、阿弥陀寺を建て顕心を園基。その後、光重が加納麻土 なり夏支元(1661-62)年、現在地に寺堂を移す。また一説には桑山ヶ嶽上に 草薙が立ったのを現在の所に移して普照院を開いたと。	G, H, I, 石仏	
28	18069	鷲王山 松林寺	見星 (本郷郡)	寛永7年	♀ —書洞宗	宝永7(1710)年、創建は本巣寺の時に殉死した松尾松之丞の跡跡。天保年 間(1830~40)年、住持守德參院戸田義賀がここに隠退。書洞宗になったのは この頃からという。	G	
29	18071	光賀山 恵那院	弘生寺 (御前懸)	寛貞享4年	書洞宗	元禄11(1698)年(当院では貞享4(1687)年)、戸田光賀が母の菩提を弔うた ため南都朝を開始して成立。始め恵雲寺と呼んだが、後に母の名の文字を とめて恵那院と名付けた。	G, 石仏	
30	18075	千尋寺	隼山 川内 (木原郡)	不明	不明	成立時期不明、江戸時代初期。川内、大野の領主であった古田長部が、川 内にあった千尋寺を廢止。川内に、千尋寺の字が残る。位置不詳。		
31	18076	(仮) 木原知 寺	木原知 寺(木原郡)	不明	不明	寺庭数と呼びならわされている一角があるが、鹿寺の跡といわれている。 田原山東側に平塚面を確認した。		
32	18077	(仮) 寺洞院	木知郡 (木原郡)	不明	不明	木知郡鹿の巣の裏山の麓に寺庭が8か所あり、寺の鐘の音共にことにぎやか に鳴りひびいたといわれるが、詳細不明。平塚面と通ずし道標も確認した。	G	
33	18082	普賢寺	辰星 (木原郡)	不明	不明	辰星寺東隣は、眞言宗普賢寺(吉野古墳七(木末寺)があつたといい。辰星 神社境内に兩種の音頭堂と普賢堂があるが、普賢寺との關係不詳。		
34	18093	鹿頭寺	鹿頭 寺(木原郡)	不明	不明	沿革の記録不明。春日神社にはかつて鹿頭寺があつたと伝わり、鹿頭寺 の本尊に伝える像が大樹神社にある。鹿頭前という地名。千人塚の伝えあり。		

表63 岐南町寺院一覧表

番号	寺院 寺号	山(院)号 寺院名	所在郡(都邑)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略歴	分布 図
1	22001	河野山 尊光寺	八剣 (羽栗郡)	嘉祐2年以 前	天台宗 →真宗	成立時期不明。嘉祐2(1050年)、内臣が御懸の御詔となり寛宗 に勅定。天祐10(1052年)、織田信玄が下した無頼に「尊光坊」とある。阿波門院の一つ。		NB	
2	22002	上宮山 尊正寺	平島 (羽栗郡)	承安3年	天台宗 →真宗	承安3(1173年)に、寛宗が一字を削り得正寺と号し成立。貞 永2(1233年)、聖牛により真宗に勅定。	G, II	NB	
3	22003	慶長山 安淨寺	野中 (羽栗郡)	貞応元年	天台宗 →真宗	貞応元(1222年)、藤原朝顕。貞永2(1233年)、勝性により眞 宗へ改め。貞永2(1233年)、松原忠吉が御門院。		NB	
4	22004	金光山 法勝寺	上印食 (羽栗郡)	宝治2年	天台宗 →真宗	宝治2(1285年)成立。始めは空宗。佐藤法勝が起したときに は、佐藤法勝寺等で、元祐5(1090年)には、鎌倉時代の文書では明 徳文書9(1177年)死去。転坐時期が不明。貞永15(1368年)年の 文書には「法勝坊」と記され。寺号ももったのはその後である。	G	NB	
5	22005	泰巖山 懶念寺	伏見 (羽栗郡)	正治2年	天台宗 →真宗	正治2(1200年)成立。始め真跡と称し、笠置町上閑間にあつ たが、延宝5(1677)年寛宗に勅定後に地に移転。前に由白山 社があり、懶念寺の十一面觀音が祀られている。	G	NB	
6	22006	三宅山 淨福寺	三宅 (羽栗郡)	正治元年	天台宗 →真宗	正治元(1199年)、慈性により成立。貞永2(1233年)、慈性に上 り御門院。		NB	
7	22007	鷲年山 御應寺	三宅 (羽栗郡)	天文5年	臨濟宗	『尼子御應見聞録』に、天文5(1536年)、本山妙心寺第10世雲 外圓菴とある。	G, II	NB	
8	22010	大休山 正伝寺	野中 (羽栗郡)	貞享5年	臨濟宗 →單立	慶長6(1601年)龜山開基。しかし、「野中村内寺堂並百姓的 書長」(6)では、野中村開基が「寺を建立する以前と見られ、貞享元 (1681年)に尾張守白林寺守等として野中村内に仮住を立した とある。白林寺(現名古屋市)は、野中村開基(=泰巖懶念人) の菩提寺。貞享5(1688年)、境地に移転。庭園中ごろに趣寺。	G	NB	
9	01124b	普賢寺(城内 官房地)	官房地 (羽栗郡)	永正7年	真宗	永正7(1510年)、正了創建により成立。文政2(1819年)普賢 寺と号す。慶長5(1600年)單立。郡守市(01124)に移る。		NB	
10	09047b	榮應寺(城内 官房地)	八剣 (羽栗郡)	不明	天台宗 →真宗	成立時期不明。始め天台宗。嘉祐3(1057年)、宗円が真宗に勅 定。江戸六坊の一つで、栄應坊と稱した。また、「佐竹正義家 (山崎氏)」には、室町は享元年に一寺を建立して榮應坊と稱し た。前家の西一郎は近江初期に墓地あり、で西て近江正義の所在 地でもあったとする。所在地付近には現在八幡地蔵があるが、 寺との関係は不明。位置不明。現在は、羽島市正木町(09047)に所在。		NB	
11	22011	才壽寺(才壽寺・門 跡)	上印食 (羽栗郡)	鎌倉時代頃 か	不明	成立時期不明だが、後醍醐天皇の第二皇子源通義の名である 材山村の材山院光は才(才)の乳母を預け、元祐2(1333) 年歿死という。その後乳母と妻もこの地で死。慶安2(1362) 年、一族の供養坊が才(才)の西一郎に建立した。江戸時代初期 は、供養坊として存在する毎年ある。オ寺海(寺)が御縁を登録され ているが、現在はオ寺海となっていない。		NB	
12	22016	(玉寺)寺庭敷 (羽栗郡)	神田 (羽栗郡)	不明	不明	成立時期及び名前不明。古代(平安)・中世(鎌倉)の寺社寺舎とし て遺跡登録されている。		NB	

表64 岐南町参考寺院一覧表

番号	寺院 番号	史跡 名	山(國)分 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	22508	見性寺	施田 (羽栗郡)	宝曆 3年	臨濟宗	福井県慈惠院の末寺。宝曆3(1753)年成立。始め見性庵と称す。昭和末期、22009江月寺が兼用。美濃郡代の祈願所でもあった。	G	
2	22009	大般若山 江月寺	施田 (羽栗郡)	元和 4年	臨濟宗	元和4(1618)年、月庭(吉綱)により成立。『尾濃聚落見聞集』に「佐古村ノ上根音太祐庵と云。月庭と舟中吉開基なり。光宗公多贈大般若院。其船江月寺と改む」とある。	G, H	
3	22011	圓通山 聖樂寺	八劍 (羽栗郡)	享保年中	臨濟宗 →淨土宗	享保年間(1716~36)に足利寂寂により成立。加茂郡楢田村(加茂田村)楢桑寺(北山寺の源りか)末寺。明和4(1767)年に各都邑新納村の延慶寺木末、天正4(1576)年、序・吉宗西山院に転宗。	G	
4	22015	瑞應光山 萬福寺	萬福寺村 (羽栗郡)	不明	不明	萬福寺今村は往古萬福院があり。後後呼びて村の名とした。かつて瑞應光山萬福寺といつて大御堂を有し、塔頭2坊があったという。成立時不明。現在も萬福寺が建ち、西側の墓地で五輪塔を発見。	G	

表65 笠松町寺院一覧表(1)

番号	寺院 番号	史跡 名	山(國)分 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 概要	分布 図
1	23003	靈応山 淨光寺	田代 (羽栗郡)	天和元年以 降	天台宗→ 淨土宗	成立時期不明。始め天台宗。字地疊院にあり、礎石が割り出されたことがあるというが位置不明。行基作と伝える薬師如来を安置した大御堂があったが、残草瓦の兵火にかかって焼滅。これを天保元(1831)年延暦寺立候寺の義円が再び、淨土宗に改め淨光寺と称した。その後本地に移転焼却。	G			
2	23004	円城山 尊養寺	円城寺 (羽栗郡)	文祿 4年	淨土宗	文祿4(1595)年、当村の鬼抜野より如意兵衛篤健、尼詔院の慈基翁等15世哲尊圓山、この關係から寺號に三葉を許され。常に野人・相家代々の位牌を祀る。		N5		
3	23005	金光山 慈眼寺	門間 (羽栗郡)	仙 7世紀後 半	→淨土宗	道明が智誓天尊の勅命により一字を創立したと伝わるが寺号宗祖とも不詳。慶長年間(1596~1616)、兵火のため焼滅。寛享2(1680)年。村民挙げて一字を再建。夢現和尚を招請し、慈眼寺と改称。	G, H, I	N4		
4	23006	輪光山 了運寺	田代 (羽栗郡)	文祿 4年以 前	真宗	成立時期不明。延喜3丁卯一字を創立して了運寺と称した。文祿4(1595)年水谷川(渓水)跡、柴宇(佐藤姓)等悉く流去。寛永14(1637)年には念舟再興し、了運寺と改称。	G, H	N5		
5	23009	信詔山 淨福寺	門間 (羽栗郡)	延寶 5年以 降	真言宗か→ 真宗	成立時期不明。元真言宗の寺であったが、天文元(1469)年淨福が一字を再建して法持院と号し、真言に転宗。明応2(1493)年淨福寺へ改称。本尊釈迦如來から、延寶5(1677)年時には三宅村にあったが、後世移転した可能性がある。				
6	23011	河野 円城寺	円城寺 (羽栗郡)	伝延喜天皇 7年	→天台宗 →真宗	伝ひによると、無古天皇7(369)年、蟹坂子の脚力により日濃郡鹿毒母要にて山と号し、尾張国阿野の大穴に一字を建立。清流山城寺と寺号を攬ふ。當山の子弟秀高が美濃の大豆達(現在の前瀬)に御廟を結んで隣接。圓業山巖高麗と称し、ここに入段。同院は城寺の寺号として最もく續いた。唯、寺が天台宗に転じ弘化2(1055)年、虎成院(アシヒサヌイ)が創建。住持は虎成院の孫虎成院(アシヒサヌイ)である。天台宗開祖である最勝院(スルタクニン)が開基。草創より300余り、西院院は本山円城寺の別院に移転。嘉承元(1225)年、真宗に転宗して西正院と改称。河野六坊の一つである。元和年間(1611~24)西正院を西應寺と改めたが、天文2(1531)年円城寺に復した。		N5		
7	23012	河野 称名寺	円城寺 (羽栗郡)	伝延喜 3年	天台宗→ 真宗	延喜3(784)年、延喜創立。円城寺と号した。その後真宗により真言宗に改め法持院と号し、寺名を改め。圓業山巖高麗の一つ。寛永17(1650)年以降、本山より圓業院の新号を付与することを許された。安政2(1855)年、本山より圓業院の新号を許されたが、繼えて弘化9(1876)年賀利と改称。翌年本山所有の賀利を別院と改称したが廃止。		N5		
8	23013	長榮山 福證寺	司町 (羽栗郡)	元和 4年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。寺伝によると始め河野觀父江にあって、福證院と称した。大和7(837)年、尊輪は圓業山巖高麗に移転し、天文4(1535)年真宗に転宗。永祿4(1561)年、渓水で坊舎が流失。元和4(1616)年に現在地に再建移転。				
9	23014	圓行山 法伝寺	上木町 (羽栗郡)	元和 2年	天台宗→ 真宗	寺伝によると寺伝曰(1520)年、圓性院圓圓院長義村に創立。尊輪功と称した。天文4(1535)年、真宗に転宗し、法明院と改めて万福寺と名なる。文祿4(1595)年、渓水で坊舎は淀亡。元和2(1616)年現在地に移転。延宝5(1677)年法傳寺と称した。	G			
10	23015	正淨寺	米野 (羽栗郡)	明治18年	真宗	嘉慶元(1225)年。御淨が尾州糸島郡河野郷(以後美濃に編入)に創立。現在の火の見御社付近にあった。明和2(1765)年の渓水で、堂宇・塑像等を流出。明和18(1885)年復興地に移転。		N5		

表66 笠松町寺院一覧表(2)

表67 笠松町参考寺院一覧表

番号	寺院番号	寺名	山(院)号	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	230002	善光寺		下断町(羽栗郡)	元文元年頃	浄土宗	始め光明院と称した。ここは以前、笠松陣屋の半領があつた善人の施粥場であったが、斎源に恵まれた者を専らうがないので、元文元(1736)年頃、攝正寺の寺領・煮敷夫妻が発願し、一字を建立。昭和10(1935)年に善光寺と改称。今は妙林寺家。	
2	230006	梅宮山 賢福寺		西町(羽栗郡)	不明	天台宗→ 淨土宗	成立時指不明だが、開ケ郡の無い以前には存在していたと伝わる。西町にあつた尼寺高空院が開ケ郡役に兵火で焼失し、本尊のみ残って廢帝となつていたのを諱名と再興。明治12(1879)年付仏の許可を得た。濃尾震災で倒壊したが、翌年御町に本堂を再建。	
3	230007	本願寺 笠松別院		柳原町(羽栗郡)	天保9年	真宗	天保9(1838)年付如の創建。本山山門所と称した。明治元(1868)年本願寺出張所と改め、次いで笠松別院と改称した。	
4	230010	真宗 笠松別院		西宮町(羽栗郡)	天保10年	真宗	天保10(1839)年付如の創建。始め本願寺今歸所と称し、3ヵ年交代の輪番地。明治9(1876)年別院・笠松の南側に、220坪蓮華院(笠松)別院の塔心丸が所在。蓬田山(東城)幾寺の場所から移したものである。	
5	230019	宝應山 誓広寺		北及(羽栗郡)	17世紀後半	天台宗→真宗	成立時指不明。元天台宗で懶頭寺と称した。北及字小屋屋敷地にあった。この寺と現在村立との間に、往昔大門(近辺川)があつて、及種が第4代滅されたことから元及種山と称した。普教が真宗に転宗。元慶(寛文10(1670)年付仮)の時、現在地へ移転し、誓広寺と改称。及種山の山号は後に改めた。	6
6	230022	鷹虎山 西明寺		円鏡寺(羽栗郡)	不明	天台宗 若しくは 眞言宗 →臨濟宗	成立時指不明。元天台宗で懶頭寺と称した。北及字小屋屋敷地にあった。この寺と現在村立との間に、往昔大門(近辺川)があつて、及種が第4代滅されたことから元及種山と称した。普教が真宗に転宗。元慶(寛文10(1670)年付仮)の時、現在地へ移転し、誓広寺と改称。及種山の山号は後に改めた。途中で遷移。後に再興されたが、跡地を中興圓山とした。	6

表68 北方町寺院一覧表

番号	寺院番号	寺名	山(院)号	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 歴史	分布 図
1	330001	地藏山 圓鏡寺	北方(本郷郡)		弘仁年間	真言宗	創建を義志によると、始め地藏山圓鏡院と号し、真言宗であつた。弘仁年間(800年頃)、法宗丸御前命を祀り、定門院と號した。神祇座上人が總持院と改む。一年前の本延年間、貝塚法師中尊して、本功・總門・宿室・懶頭堂・經藏・宝庫・副部ならびに南谷、北谷の塔頭十六坊を造り置く。境内に弁才天女の畫像を興立して、地藏山と名付けたことある。	G, H, I		M4
2	330004	不動山 西念寺	高屋(本郷郡)		巣長7年頃 か	天台宗→真宗	成立時指不明だが、昔この村にあった天台宗の真乗に始まるものかのうえ、その跡地が巣長3(1154)年の水没で流れ去る巣長7(1602)年、巣長が西念に帰依して西舞鶴・東光坊に改称。元禄4(1711)年、西透寺のとき本山から寺号をもらい西念寺といつた。	G, H		M4
3	330005	中島山 西願寺	清水(本郷郡)		正応3年以降	真宗	釋迦によると巣長年間(800~820)、最勝が三河国豊島郡中島(愛知県豊島郡)に誕生。その孫子勝川が又はその孫に傳承され、巣長の時、義慶の隠處に墳を真宗に得て奉了。勝川が正応3(1290)年、義慶に従いこの地に来て寺を建てた。これが西願寺である。始め又丸村に来て、後に現地へ移ったという。	G, H, I		M4
4	330006	自然山 聖賢寺	北方		弘安元年以降	真宗	成立時指不明、始め天台宗。弘安元(1278)年、顕正が義慶の弟子となり真宗に転宗。寛文13(1673)年、受同が大谷派に転じた。2300年西願寺の寺領は後船底武、明和2(1765)年転送したが、西願が努力して中興圓山となつた。			M4
5	330011	上光寺	芝原 上光寺(新田郡)	東町時代頃 か	不明		成立時頃及び沿革不明、実雲印塔や五輪塔が出土しており、本風市町会仏塔にもこの地域に接して上光寺という寺名がある。大輪塔の存在が古びたとを考えられている。宝鏡院は東町頃のものとされる。八幡神社附近から出土。	G, H, I, 板橋五輪塔		
6	330012	了法寺	北方 了法寺(本郷郡)		不明	不明	了法寺という地名が残る。寛文11年の北方村地帳には了法寺という地名があり、元織田信長の義理寺と同様である。また、北方村安藤守宣は弟源氏のため北方村に了法寺を建立。天正10年(1582)の北方合戦で守宣は殺死し南峰寺は焼けたが、敵軍の守護として了法寺は存続。了法寺の跡地は現在の了法寺駅近くの現代の了法寺へ移った。守護の寺名は了法寺今井竹若通延足居士。謎の方が同一でなんらか関係?源氏があると推測される。	G, I, 石碑		

表69 北方町参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	寺名	山(院)号	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	330002	月光山 西瀬寺	北方(本郷郡)		巣長15年	浄土宗	巣長15(1610)年、西瀬開山。西瀬は始め地主吉古吉の隠身地で、この地に尼寺を開いたという。その後、この地の奥村勘右衛門がこの寺を建てたといつた。	
2	330003	慈心山 實明院	高屋(本郷郡)		延宝4年	浄土宗	延宝4(1676)年、善及により成立。11世慈善が中興。	G, I, 石碑

表70 北方町参考寺院一覧表(2)

番号	寺院 番号	史跡	山(隠)号 寺院名	所在郷 (旧郷名)	建立時期	宗派	沿革等	備考、追記
3	33007	雲霞山 龍祥寺	春来町 (本郷郷)	延宝元年 若しくは 延宝5年	臨済宗	始め近江國大井村にあったが、夢告により信者が背負って元興寺の西面、八切坂へ來。二間四方の室を建てて安置したという。延宝3(1655)年、小野三良左衛門が本尊を造りて一字を贈て、延宝元(1673)年雲霞山了性寺と分し、南英寺の基原を開山、如教を開基。小野三良左衛門(名志氏善土)を大旦那とした。延宝5(1677)年開基の説もある。元禄3(1690)年、京都妙心寺領の米寺となる。延享2(1745)年、俗教が再建。	G, I	
4	33008	清涼山 吉祥寺	北方 (本郷郷)	慶安3年	真言宗 →曹洞宗	慶安3(1650)年開創。始め真言宗であったが、享保4(1719)年曹洞宗に転宗。開山は桑山賀勝院圓定大智大第。宝曆6(1756)年の創立ともいう。7世大権の時、無住化再興。	G	
5	33009	法光山 妙峰寺	北方 (本郷郷)	承応3年	日蓮宗	承応3(1654)年、羅受院立大徳開基とし、信州松本からこの地に移して建立。当時の北方代官吉原氏の菩提寺。天和2(1682)年の晴口及び元禄元年の御文に「北方村河原町住丈山妙峰寺」とある。境内から一石五輪塔などが発見されるので、吉原の隣に本寺を建てたものと考えられている。信州小蓮誕生寺の末寺。		
6	33010	圓福寺	北方 円福寺 (本郷郷)	不明	平明	圓江寺とも記載される。成立時期及び沿革不明。33001円福寺の末寺である円福寺があつたので付いた地名と考えられている。北に小・中学校、町営墓地がある調査。		
7	33013	町 (唐辛古墳) (唐辛(東寺) の古墳)	北方	不明	平明	成立時期及び沿革不明。かつて唐寺という寺院があったことから「唐寺の古墳」。古墳から出土した埴輪は、埴輪で作成する土器の外觀をもつた埴輪をいう。「山岡丸山高さ8.5m、円径4.5m、方墳4.5m、斜面積2.5m」と記載されていたが、昭和56(1981)年に町収集が発掘調査して結果、埴輪と考えられていた埴土は、根尾川から始まる扇状地の末端部に位置することから、舶糞による埴縁土の堆積り上がりであると推定された。発掘調査では、「素焼きの壺や小皿の一部、その破片多数、一列に5個並んだ黒石、何か腐食したような厚さ10mm位の土器、寛永通宝5枚」等の外、顯著な出土品は発見できなかった。	H	
8	33014	(敷地寺跡)	更原 中町 (路田郷)	不明	平明	近世の寺社跡として遺跡登録されているが、沿革等詳細不明。住宅地の中に空地があり、玉塚塔が集積されている。	G	

第3節 寺院地形観察図
遺構図

岐阜市

各務原市

山県市

本巣市

[岐阜市]

地区	岐阜	寺院番号	01002・01359	県遺跡番号	09619	分布図番号	M5
ふりがな	ふどうかくふどういん (ひのふどうぼらいせき)			所在地		岐阜市日野	
寺院名 (史跡・遺跡名)	不動閣不動院 (日野不動洞遺跡)						
時代区分	古代、中世～			宗派		天台宗	
立地	山腹			現状(植生)		境内地	
東西規模	300m	南北規模	150m	標高(比高差)	48m(25m)	平坦面面類	D
沿革	成立時期は不明だが、境内に古墳時代後期の古墳があり、布目瓦を焼いた窯跡がある。奈良時代、日野の地に生まれた仏師日野金麻呂は東大寺の大仏造営に携わり、開眼法要の時、聖武天皇から金の仏鉢を授かった。その仏鉢を持ち帰り、七堂伽藍を建てこの地に安置したと伝わる。戦国時代、木下藤吉郎が稻葉城攻略の際に日野西山から峰伝いに侵攻し、その際にこの寺は焼き払われ荒廃した。昭和9(1934)年に中興開山した。						
遺構	瓦窯、中世墓、岩窟、窓						
遺物	古代瓦、土師器、灰釉陶器、山茶碗、中世陶器、铁製品、五輪塔、宝鏡印塔						
有形文化財等	一						
参考文献	岐阜市教育委員会 2003『平成13・14年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書』						
備考	平成13・14年度に岐阜市教育委員会により、不動閣不動院の境内地を含む日野不動洞遺跡が調査されている。その際に上記の遺構や遺物を確認した。						

調査所見 不動閣不動院は、西山の北斜面にある不動洞といわれる谷地形に位置し、約300m北には長良川が西流している。本堂は不動洞中腹の小規模な平坦面に、西向きに位置している。本堂東の岩窟には白寿觀音が祀られている。本堂の西向かいにある窓裏に位置する岩窟には、奥之院とされる不動明王と白龍大明神を祀る石祠がある。谷の水は窓裏内に複数ある池に流れ、境内北側の水路へ繋がる。西山山麓沿いの北部(山下川)と東部に以前川が流れている。境内の北西には、以前「惣門」という地名があったといい、その付近が境内への入口であった可能性がある。境内西側の標高約100mの山腹には、北向きの小規模な平坦面が段状に数段続くが性格は不明である。境内の西にある笠ヶ洞には瓦窯跡があり、その周辺に中世墓がある。笠ヶ洞の東山腹では古代の遺物が出土している。境内東の谷には五輪塔が置かれ、この辺りは字池の尻といい、山際には池があったという。

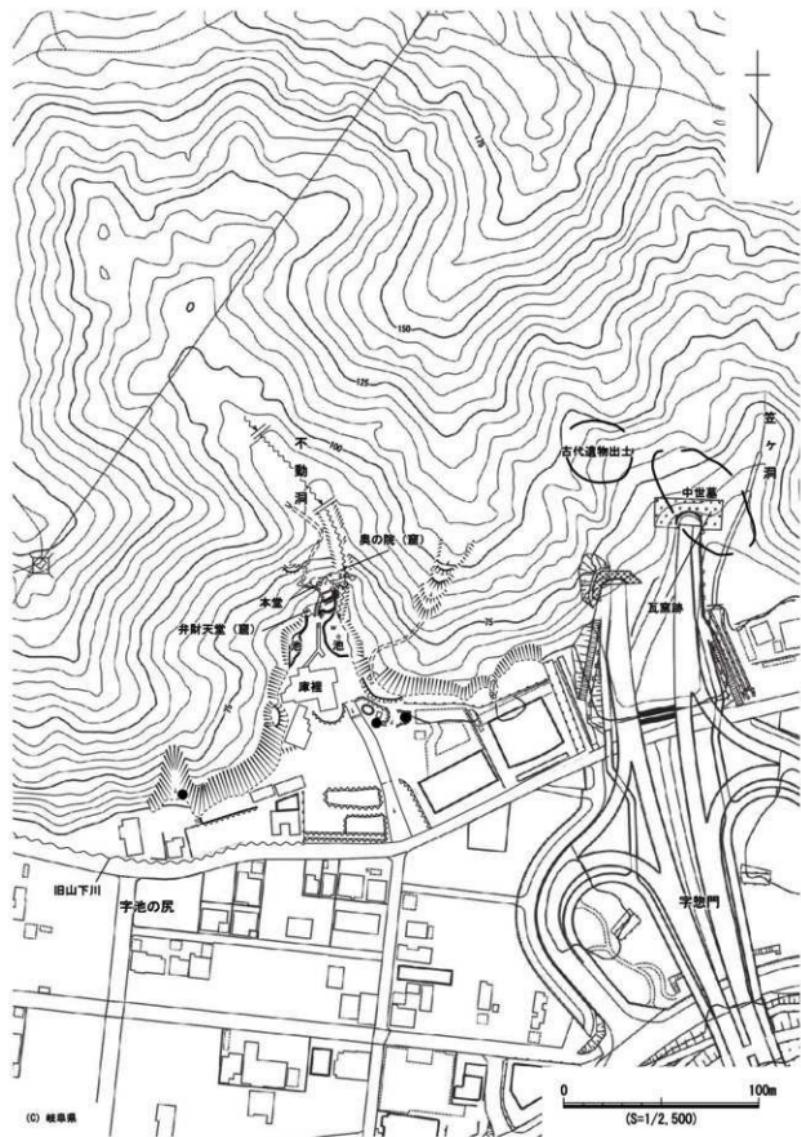


図8 不動閣不動院 地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	01009	県遺跡番号	21201-8701	分布図番号	L5
ふりがな	みわさんしんちょうじ（みわちゅうせいじ）	所在地					岐阜市三輪
寺院名 (史跡・遺跡名)	三輪山真長寺 (三輪中世墓)						
時代区分	古代・中世～	宗派					真言宗
立地	山頂・山麓	現状(植生)					山林(アカマツ)
東西規模	約220m	南北規模	約180m	標高(比高差)	59m(15m)	平坦面面積	B+D
沿革	『当山代々先師墨名傳』には、「当山開闢行基菩薩 聖武天皇御願寺高三百石 天平20(748)年2月2日」とあり、天喜三(1055)年には真言密教寺院になった。承安2(1172)年には天智天皇の御宇に分靈された三輪大明神の本地釈迦如来が祀られる三輪神社の別当寺になった。鎌倉時代には七堂伽藍に十六の僧坊を備える修験道場である東美濃一帯の真言宗の触寺になっていた。室町時代にかけて重要文化財になっている仏画がたくさん描かれた。永禄元(1558)年8月3日大火事になり、安土桃山時代には織田信長によって寺領三百貫(約600石)を召し上げられ衰退したが、江戸時代には、平安時代から祀られている十六釈迦如來坐像をいただき、徳川歴代の將軍から御朱印地をいただいて將軍のご位牌を祀る菩提寺になった。門前や境内は下馬地で制札を掲げる公儀の寺でもある高野山真言宗の修験道場で触寺で別当寺として栄えた。幕末から明治時代にかけて神仏分離令と廃仏毀釈で御朱印地は無くなり、戦後に田畠はすべて召し上げられたが千年の時を経て守り繼がれてきた仏像や仏画や古文書等文化遺産や名勝枯山水庭園や借景の竹林や山林が現存している。						
遺構	中世墓						
遺物	五輪塔、一石五輪塔、宝瓶印塔						
有形文化財等	木造釈迦如來坐像（国指定、平安）、絹本着色涅槃図（県指定、南北朝）、絹本着色文殊菩薩像（県指定、室町）、絹本着色五大尊像、絹本着色釈迦十六菩薩像（市指定、南北朝～室町前期）、絹本着色十二天図（市指定、鎌倉～室町、江戸）						
参考文献	三輪山真長寺『真長寺古文書読解書』第二巻						
備考	三輪神社別当。寺での焼き取りで、かつて庫裡裏に池があったという。						

調査所見 真長寺は、岐阜市と関市の境、武芸川右岸に所在する通称「三輪山」の南側山麓に位置する。現釈迦堂の真北に旧釈迦堂跡といわれる広い平坦面が展開する。参道の石段の位置がこの平坦面の正面中央であるとすれば、東西長約90mの広さがあった可能性がある。旧釈迦堂跡の北西部は墓域に繋がる。墓域周辺は三輪中世墓として知られ、多数の石塔部材や河原石がある。墓域の北西尾根上に参道があり、墓域北の秋葉社から、西と東に参道が分かれ、西には尾根上に平坦面、東には標高山頂西側約178mと山頂部標高179.6mの地点の東西2箇所に平坦面が広がる。尾根上西端部には不動明王などの石仏とともに南東向きの祠がある。山頂西側の平坦面は真長寺山上遺跡（弥生時代・散布地）として知られている場所で、高低差のある2面を確認した。山頂部の平坦面から、真長寺境内の東側の尾根へ降りる通路が続き、三輪神社の境内に至る。三輪神社裏では、急傾斜の途中に小規模な平坦面を確認した。真長寺と妙久寺を区切る尾根の先端には、高さ約2mの高まりがあるが、詳細は不明である。妙久寺境内裏の山麓部には、緩やかな傾斜をもつ広い平坦面があり、近世以降と思われる祠や沼の排水路などを確認した。現在は雑木林となっており、地表面の観察は困難であった。

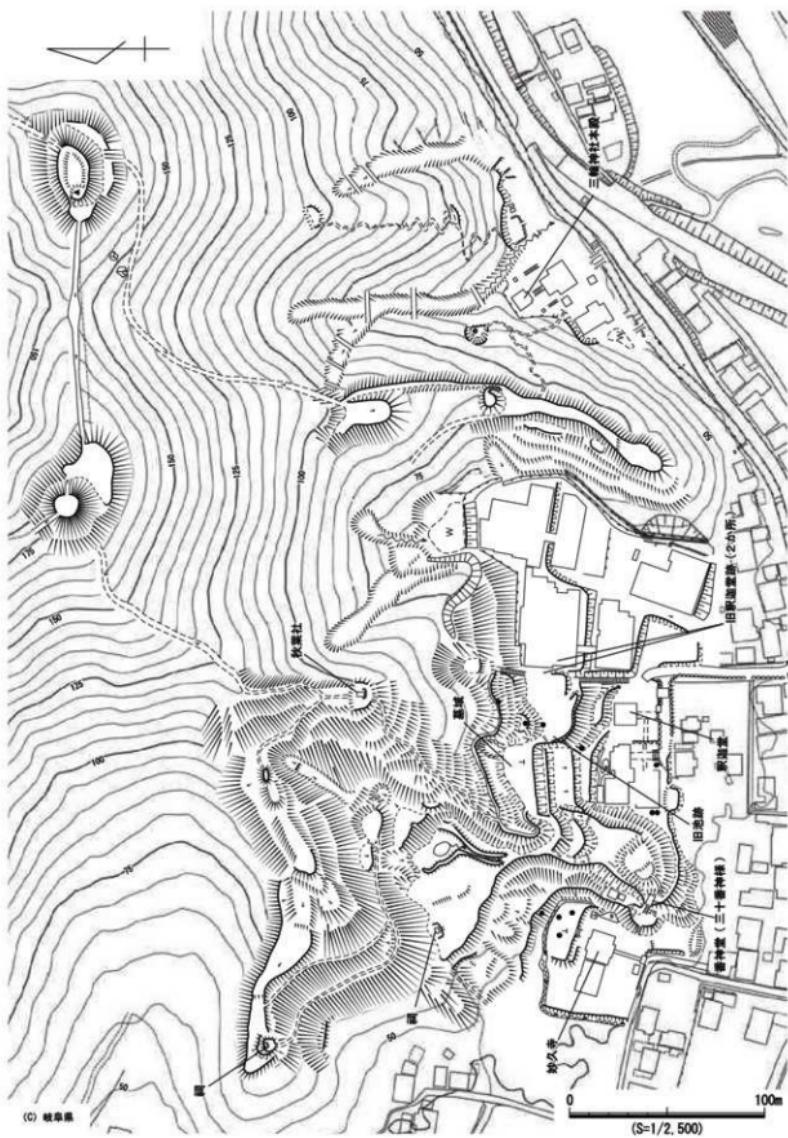


図9 三輪山真長寺 地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	01377	県遺跡番号	一	分布図番号	L4
ふりがな	じこうざんすいげついん			所在地		岐阜市奥	
寺院名 (史跡・遺跡名)	茲光山水月院						
時代区分	中世～近代			宗派		臨済宗	
立地	山麓			現状(植生)		山林(コナラ)	
東西規模	約140m	南北規模	約120m	標高(比高差)	68m(10m)	平坦面面類	B+D
沿革	成立時期は不明である。村瀬平右衛門照信の墓碑に天正19(1591)年とあることから、天正年間～文禄年間(1573～1596)に成立したと考えられる。一時期は荒廃が著しく、本尊を春日神社に安置していた。廃繕を嘆いた村瀬平兵衛重久が延宝8(1680)年に良匠に一堂を建てることを命じたが、同年11月に病で卒し、院の西丘に葬られた。貞享3(1686)年、臨済宗本山妙心寺より素頑(号は断宗)が第一世住職に任命され、中興した。以降は時折尼が住み、時には住持を欠くこともあり、明治5(1872)年の太政官布告によって01209龍峰寺と合併し廃寺となった。						
遺構	石積み、土壘状の高まり						
遺物	五輪塔、一石五輪塔、宝鏡印塔						
有形文化財等	木造十一面觀音立像(本尊・室町末～江戸初)、木造地蔵菩薩像、木造四天王立像						
参考文献	高橋岩雄 1942『網代村志』・本巣郡網代村役場、田下昭夫 1980『郷土誌 網代』岐阜市立網代小学校 PTA、清水真澄・川瀬善忠 1992「通玄寺(徳積町)・水月院(岐阜市)の仏像」『岐阜県博物館調査研究報告』第13号、岐阜県博物館						
備考	現道から本堂のある平坦面へ上がる道や墓域は、約30年前に造成している。						

調査所見 水月院は、岐阜市と本巣市の境にある祐向山の北東部尾根の南側山麓に位置する。管理者によると、境内の範囲は春日神社との境の尾根から、境内西部の墓域背後の尾根までの範囲であるといい、春日神社とともに図化を行った。

観音堂を中心東西方向へ平坦面が広がっている。堂の東側には約11m×7mの範囲の方形の高まりがある。この高まりの後背には湿地が広がるが、池の形跡は確認できない。また、高まりの北西側は小規模な谷地形になっており、谷底はやや傾斜のある平坦面である。建物を建てるにはやや小規模だが、「最初の堂はこの堂(現在の観音堂)の右後ろにあった」(田下昭夫 1980)の位置に該当すると思われる。参道は、現道から西に延び、観音堂の正面に石段が設置されている。この石段の両脇に石積みを確認した。

観音堂の西側には、南北方向にまっすぐ延びる土壘状の高まりがあり、観音堂が建つ境内中心部と谷奥から続く流路に沿って連続する比較的広い平坦面群を隔てている。流路は、谷の最奥部の湧水点から山裾に沿って流れるが、観音堂裏でくの字に屈曲し、山裾まで延びる。

流路を挟んで西側の斜面には、帯状の狭い平坦面が設けられ、江戸期銘の墓碑や五輪塔などが並ぶ墓域が展開する。本堂裏の斜面にも小規模な墓域があり、「當院中興断宗和尚 元禄十六(1703)年十一月六日」と銘のある墓碑や石塔類の部材が見られた。

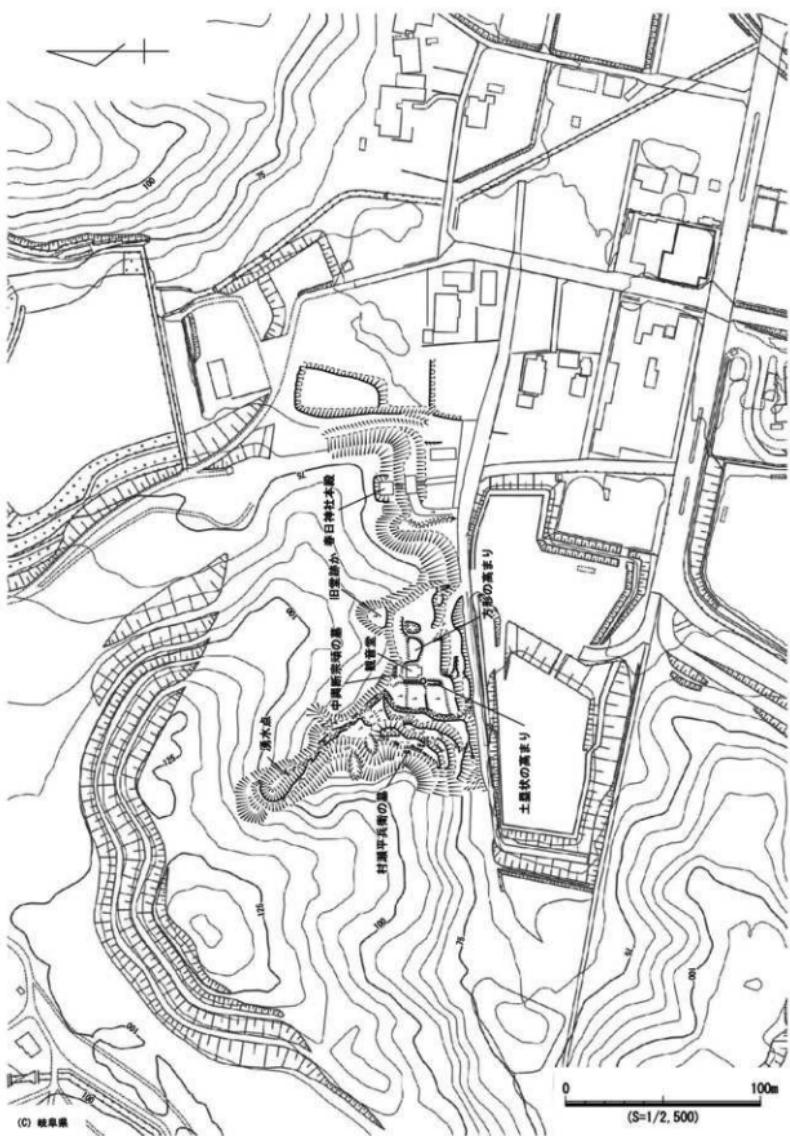


図 10 茲光山水月院 地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	01405	県遺跡番号	一	分布図番号	M5
ふりがな	いわたきさんびしゃもんどう			所在地	岐阜市岩瀬東		
寺院名 (史跡・遺跡名)	岩瀬山毘沙門堂						
時代区分	古代(奈良)~			宗派	天台宗		
立地	山腹			現状(植生)	境内地(アカマツ)		
東西規模	160m	南北規模	300m	標高(比高差)	72m(30m)	平坦面分類	B+D
沿革	沿革は明らかでないが、地元では、天平18(746)年、聖武天皇が行基に勅して毘沙門天をつくらせ、当堂に安置したのが始まりであると伝わる。						
遺構	一						
遺物	五輪塔、宝篋印塔						
有形文化財等	毘沙門天立像(国指定、鎌倉)						
参考文献	岐阜市 1980『岐阜市史』通史編 原始・古代・中世、吉岡歴監修 1987『岐阜県百寺』、郷土出版社、上野日出利 2007『岩瀬土誌』、岩史誌編纂委員会						
備考	現在は01333岩瀬山奉賛会が管理している。管理者からの聴き取りで、境内地の繪図が残り、東西六町、南北廿町の広さで、現在でいうと南端は境川付近であるという。						

調査所見 岩瀬山毘沙門堂は、岐阜市と各務原市の境にある権現山南麓に位置する。本堂である毘沙門堂は南向きで 11m × 8 m の平坦面にあるが、本堂裏にある収蔵庫を建てた際に山を切り開いたため、本堂周辺は改変されている可能性がある。本堂の南には、南北方向に直線に伸びる石段の参道があり、本堂から約 50m 参道を南へ下ると仁王門がある。門の左右には仁王尊が納まり、門と仁王尊は江戸時代のものである。石段の東側には、平坦面が段状に南に向かって数段展開する。このうち最も広い平坦面の中央部には法花寺古墳がある。参道西側には、東側と比べて小規模な平坦面が南に向かって展開するが、上から 2 段目の平坦面に五輪塔や宝篋印塔が並ぶ。本堂の北側の斜面には、祠を建てるために造成した平坦面がある。祠は昭和時代に建てられたが、その周辺に古塗場があったと伝わる。また、複数の谷筋があり、一部には石積みがある。

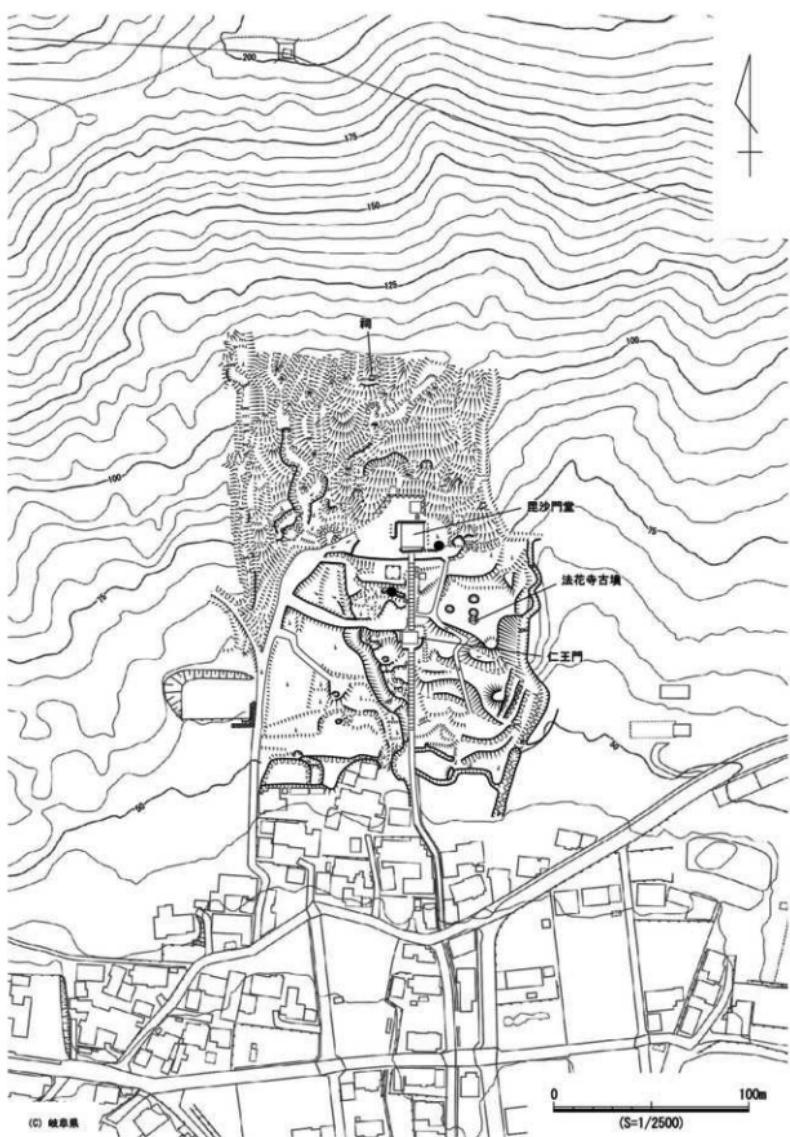


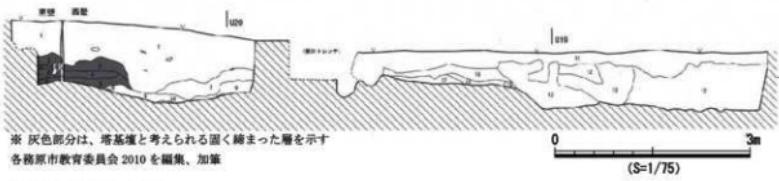
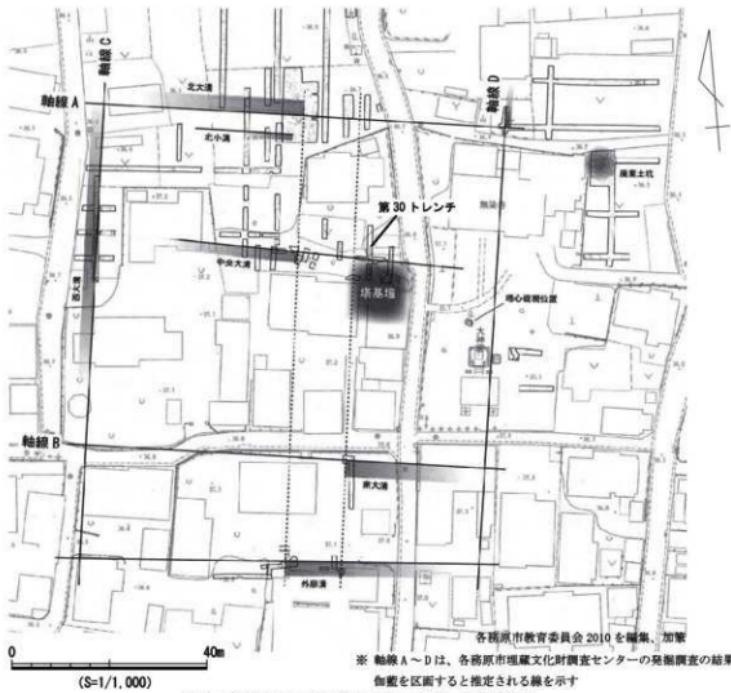
図 11 岩滝山毘沙門堂 地形観察図

【各務原市】

地区	岐阜	寺院番号	13059b	県遺跡番号	21213-3486	分布図番号	N5
ぶりがな	ぞうこうざんさんでんじきゅうけいだい (もとさんでんじあとおよびそせき・さんでんじあと)			所在地		各務原市蘇原寺島町	
寺院名	象耕山山田寺旧境内						
(史跡・遺跡名)	(元山田寺跡及び礎石・山田寺跡)						
時代区分	古代（飛鳥・奈良・平安）			宗派		不明	
立地	台地			現状(植生)		宅地	
東西規模	一	南北規模	一	標高(比高差)	37m (0m)	平坦面分類	不明
沿革	美濃國各務郡出身の僧護命が弘仁14（823）年に隠棲したのが山田寺とされ、護命とのつながりで『続日本後紀』（869）に「然而屏居古京山田寺。」（然り、而して古京の山田寺に屏居す。）と登場する。古京を古都の意に解すると、護命の出身地である各務郡の山田寺を指すが、古京を飛鳥と捉えると、大和山田寺を指すこととなる。現在の象耕山山田寺は、享保年間（1716～1736）に、武儀郡保木脇村の顕慶院次右衛門が、伽藍の痕跡が残る各務郡伊吹村（現寺島町）の旧寺地に寺を再興するために訪れ、同村の小林三郎兵衛から土地を購入し、宗寿（珠）庵を構え、33体の報世音像を設置したのが始まりである。沿革は不明であるが、各務原市埋蔵文化財調査センターの発掘調査によって出土した遺物から、7世紀後半に成立し、9世紀後半に消滅したと考えられている。						
遺構	大溝、基壇、構状遺構、廐棄土坑、外郭溝、礎石、塔心礎						
遺物	須恵器、土師器、土製品、軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、刻印瓦、風招、釘						
有形文化財等	美濃国移築郡山田寺塔心礎納置銅蓋（国指定、飛鳥時代）						
参考文献	各務原市教育委員会 2010『山田寺跡第1・2・3・4次範囲確認調査報告書』各務原市文化財調査報告書第50号						
備考	各務原市埋蔵文化財調査センターにより平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成21年度に発掘調査が行われた。						

遺構の概要 山田寺跡は、各務原台地の北端部、やや西寄りの半島状地形の最前線部に立地し、各務原台地上には山田寺跡を含め、5か所の古代寺院跡が集中して分布する。市の発掘調査により、山田寺伽藍の北側境界と考えられる大溝、西側境界と考えられる溝状遺構、南側境界と考えられる大溝が確認された。また、南側の大溝と並走する外郭溝も確認された。明らかに堂塔の基壇とわかる黒色土とローム土の交互堆積で固く締まる土壤が塔基壇と考えられているが、塔心礎、礎石とも抜き取られ基壇が崩れており、基壇範囲は明らかではない。伽藍推定域の東側の調査では、東側の境界の特定には至らなかったが、廐棄土坑を検出した。

遺物の概要 伽藍内部と推定される場所の調査では、埋土中に多量の瓦が詰まっており、平瓦が連続して同じ向きに揃うように出土した。また、瓦とともに埋もれた状態で金銅製の風招が出土した。伽藍推定域東側の廐棄土坑には、寺内で使用されていた仏具等が多量の瓦とともに出土した。出土した瓦の最古型式から、672年以降の遠くない時期に創建されたと考えられる。伽藍区画溝中に9世紀代の仏具として使用されたと考えられる須恵器が出土し、それ以降の年代の遺物は確認できないため、9世紀半ばには確実に寺が運営されており、9世紀後半に消滅したと考えられている。



第30トレンチ東・南・西壁 土層注記

1. 地底色 (10YR8/1) 土 塗土、多量の古代瓦、近代瓦、陶器片、礫を含む。
2. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 繊り強い、約1～10mmのローム粒を多く含む。
3. 黒褐色 (10YR2/1) 土 繊り強い、約1～3mmのローム粒を少々含む。
4. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 繊り強い、上部にロームブロック、約1～10mmのローム粒を多量含む。
5. 黑褐色 (10YR2/1) 土 繊り強い、約1～2mmのローム粒を少々含む。
6. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 ローム質に富む。
7. 黑褐色 (10YR2/1) 土 繊りやや弱い、約1～2mmのローム粒を少々含む。約2mmの块土を繊維含む。
8. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 繊りやや弱い、約1～5mmのローム粒を特に多量含む。
9. 黑褐色 (10YR2/1) 土 繊り強い、7層より強い、約1～2mmのローム粒を多量。瓦絆を微量含む。
10. 棕褐色 (10YR4/1) 土 繊り強い。ローム質に富む。
11. 棕褐色 (10YR5/2) 土 繊維質。
12. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 繊り強い。硬質土が大ブロック状に入り混じる。約1～2mmのローム粒を多量、約2～3mmのガーボンを微量含む。
13. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 オゾクゾ、日麗と混じて確認。
14. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 砂質、約1～10mmのローム粒を含む。粗粒ローム粒を水没に入る。約2～3mmのガーボン微量。
15. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 塵んだロームブロック。
16. 淡黄褐色 (10YR8/2) 土 ややローム質に富む。約1～5mmのローム粒を少量含む。
17. 黑褐色 (10YR7/7) 土 塵性土 (上半部) (10YR7/7) 土 下半部をやや繊りすぎ

図13 象耕山山田寺旧境内（山田寺跡）基壇土層断面図

地区	岐阜	寺院番号	13088	県遺跡番号	21213-7236	分布図番号	N6
ふりがな		なんぼうさんじょうこくじ (じょうこくじいせき)		所在地		各務原市鵜沼古市場	
寺院名 (史跡・遺跡名)		南法山承国寺 (承国寺遺跡)					
時代区分		中世（室町・安土桃山）		宗派		臨済宗若しくは曹洞宗	
立地		段丘		現状(植生)		宅地	
東西規模	一	南北規模	一	標高(比高差)	44m (0m)	平坦面分類	不明
沿革	南法山承国寺とも呼ばれ、五山派系の禅院であった。美濃国守護土岐持益が純仲全銳を招いて創建した。土岐持益が守護職にあった1414年～1456年の間に求められる。大永2年(1522年)『深田郷公用未進注文』を最後に、承国寺についての記録が途絶えることから、その後衰退していくと考えられる。						
遺構	溝状遺構、土壘、土坑、柱穴、土壤硬化部、被熱遺構						
遺物	土師器、山茶碗、陶器、瓦磚、金属製品、軒、宝鏡印塔（断片）、石臼						
有形文化財等	一						
参考文献	各務原市教育委員会 2004『承国寺遺跡発掘調査報告書』各務原市文化財調査報告第40号						
備考	各務原市埋蔵文化財調査センターにより平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成21年度に発掘調査が行われた。寺域については「土壘が承国寺のおよその範囲を継承して巡らされたものとすれば、北西端は小字地名と一致することから、ほぼ確定でき、南端は、東山道までと考えられ、東端は、小字の範囲に従うとすれば、およそ200m四方。」（各務原市教育委員会 2004）と考えられている。						

遺構の概要 承国寺遺跡は、各務原市の南東端、鵜沼古市場町の低位段丘面上に所在する。遺跡北部に、高さ2.64m以上に盛土された土壘があり、小字「承国寺」の北限と一致する。SD1の北側に土壘状の高まりがあり、SD2は逆に南側に盛土が存在していたことが埋土の状況から考えられる。盛り土が対極関係にあることから、両遺構の間は通路状の空間とも考えられる。SD4からは、158点もの瓦磚が出土し、SD4廃絶時に寺院内建物が破壊されたことが考えられる。遺跡北東部には掘立柱建物が想定される15基の柱穴群が所在する。柱間隔は、東西に2.7m前後、南北に1.9m前後で、各柱穴底部には、扁平な円礫を据えて礎石にしている。

遺物の概要 総数11,396点のうち、土師器皿が圧倒的に多く、遺物全体の47%を占め、山茶碗は17%、陶器（古瀬戸・大窯）は8%である。土師器皿の中には、煤やタールが付着したものがあり、何らかの儀礼的行為の中で灯明皿に使用されたと考えられる。出土した金属製品はほとんどが角釘である。瓦磚はいずれも破損しているが、全てについて反りがみられ、四角形の一辺が24cm前後、厚さは3.6cm～4.0cmある。

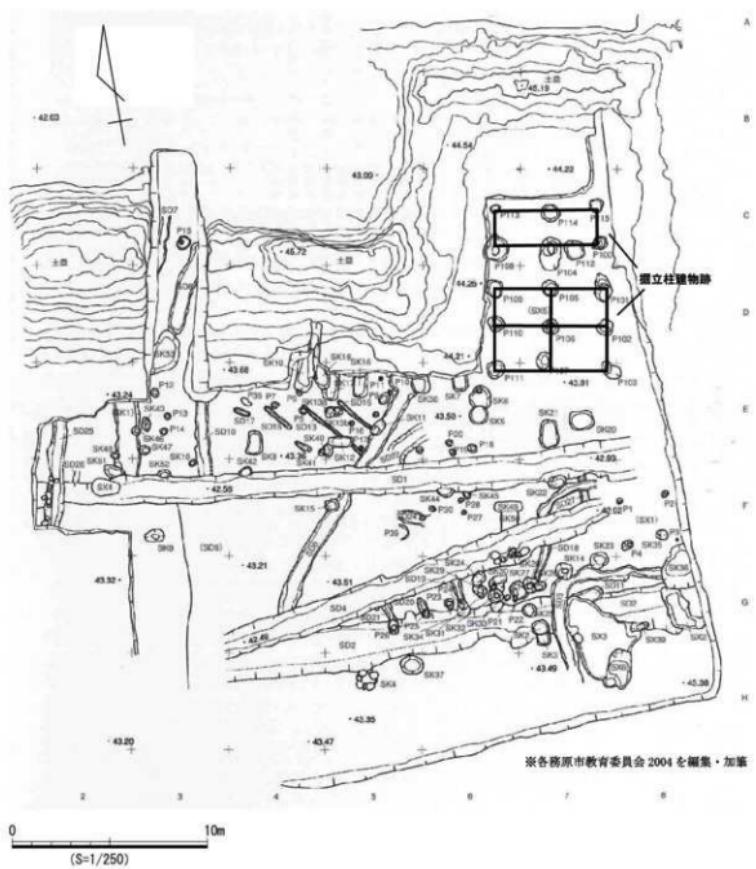


図14 南法山承国寺（承国寺遺跡） 遺構分布図

地区	岐阜	寺院番号	13090	県遺跡番号	21213-6396	分布図番号	N5
ふりがな		(のぐらはいじ)		所在地	各務原市蘇原新栄町		
寺院名 (史跡・遺跡名)		(野口廃寺)					
時代区分		古代（飛鳥・奈良）		宗派		不明	
立地		台地		現状(植生)		宅地	
東西規模	一	南北規模	一	標高(比高差)	40m (0m)	平坦面分類	不明
沿革		瓦の年代は、白鳳時代川原寺系の様式に属するもので、7世紀後半とを考えられる。出土した須恵器は、8世紀前葉から中葉のものと考えられ、7世紀に遡るものは確認されていない。7世紀末から8世紀初めの頃、官衙的施設の中に寺院施設が取り込まれたものが完成し、8世紀の中頃にはその機能を停止したものと考えられる。					
遺構	周溝状遺構、鉄造遺構、掘立柱建物跡、溝状遺構、堅穴住居跡、土坑						
遺物	須恵器、土師器、鉄釘、丸瓦、平瓦、鉢型片、溶解炉片、鉱滓、瓦塔、铁器、石製品						
有形文化財等	一						
参考文献	各務原市教育委員会 1993『野口廃寺A地区発掘調査報告書』各務原市文化財調査報告第13号、各務原市教育委員会 2005『野口廃寺C・D地区発掘調査報告書』各務原市文化財調査報告書第42号						
備考	各務原市埋蔵文化財調査センターにより平成3年度にA地区、平成7年度にC地区、平成8年度にD地区の発掘調査が行われた。						

遺構の概要 野口廃寺は、各務原台地高位面が中央で北方に向かって半島状に突き出した部分の基部に位置する。A地区からは周溝状遺構、鉄造遺構、掘立柱建物跡4棟、溝状遺構が確認されている。周溝状遺構は、溝自体に水を流すなどの機能ではなく、何らかの施設の基礎を区画するものであったと考えられる。基壇部分に建物柱穴などが確認されておらず、どのような施設であったかは不明だが、埋土中から鉄釘が出土し、周辺に瓦が密集して出土することから、基壇を有する瓦葺の礎石建物が存在していたと推定されている。掘立柱建物と寺院施設が重複するように存在していたことになり、官衙施設の中に、一時的に寺院的性格の施設が置かれたと考えられている。C地区には溝状遺構2基、柱穴75基、堅穴住居跡、大型土坑2基が確認され、D地区からは、柱穴32基、堅穴住居跡、土坑15基、溝状遺構5基が確認されている。

遺物の概要 A地区からは、美濃須古窯跡群のIV期第1小期に属すると考えられる須恵器、土師器、鉄釘、丸瓦、平瓦が出土している。鉄造遺構からは、鉢型片、溶解炉片、鉱滓と若干の須恵器類、瓦片が出土している。鉱滓は遺構のやや西寄りに集中して検出され、溶解炉片は遺構の南西寄りに集中している。C地区では、縄文土器、瓦、須恵器、土師器、山茶碗、土師質皿、中世陶器、近世陶器、鉄製品が出土し、須恵器と土師器の出土量が多い。瓦の出土量も多いが、軒丸瓦や軒平瓦の出土していない。D地区では、須恵器、土師器、瓦、山茶碗、中世陶器が出土し、瓦の出土量が最も多く、複弁八弁蓮華文軒丸瓦（川原寺式）が出土している。



図15 野口庵寺 遺構全体図

[山県市]

地区	岐阜	寺院番号	15032	県遺跡番号	21215-10340	分布図番号	L5
ふりがな	しぐらざんぐぜいじ (ぐぜいじさんじょういせき)			所在地		山県市椎倉	
寺院名 (史跡・遺跡名)	椎倉山弘誓寺 (弘誓寺山上遺跡)						
時代区分	中世～			宗派		天台宗→臨済宗	
立地	山腹			現状(植生)		境内地	
東西規模	150m	南北規模	200m	標高(比高差)	125m(75m)	平坦面面積	B+D
沿革	文安2(1445)年上岐成頼の願いにより、芦敷村(岐阜市安食)から移築建立した天台寺院であった。椎倉洞に伽藍があったことから、そのまま椎倉山と山号をつけ。村名も手神村から椎倉村と呼ぶようになった。天文年間(1532～1555) 藤原氏の兵乱の際、建物すべてが焼けてしまった。その後、長年、草庵のみだったが、慶安2(1649)年妙心寺月庭が来遊し、聖像をもとに立派な伽藍を建立、妙心寺派寺院として復興した。						
遺構	一						
遺物	五輪塔、一石五輪塔						
有形文化財等	釈迦牟尼如来像(市指定、室町)						
参考文献	高富町 1980『高富町史』						
備考	弘誓寺山上遺跡は現存寺院西部の山中にある。						

調査所見 現在の庫裏本堂から北に100mほど直線の参道を上ると山門があり、山門のある平坦面西側には池があり、中島には弁財天の祠がある。この平坦面北東の谷筋から続く水路があり池に流れている。平坦面北東の水路付近は水草植生が広がり湿地か池であった可能性があり、山門のある平坦面にも坊院が存在していたと考えられる。現在、参道東側の平坦面に墓地、参道西側の現庫裡本堂北に複数の平坦面が残る。参道の突き当りに観音堂があり、北裏に平坦面がある。観音堂や鐘楼がある平坦面から西に向かう参道があり、途中に小規模の平坦面を伴いながら弘誓寺山上遺跡へと続いている。参道途中の平坦面は上中下段と連なり、南北方向の参道によって往来できる。最上段の平坦面には南から直接参道がつながり、下2段は参道の西に位置する。最上段の平坦面では、「當國二十番」と刻まれた石碑(石仏)と1.5×2.5m規模の小さな池を確認した。

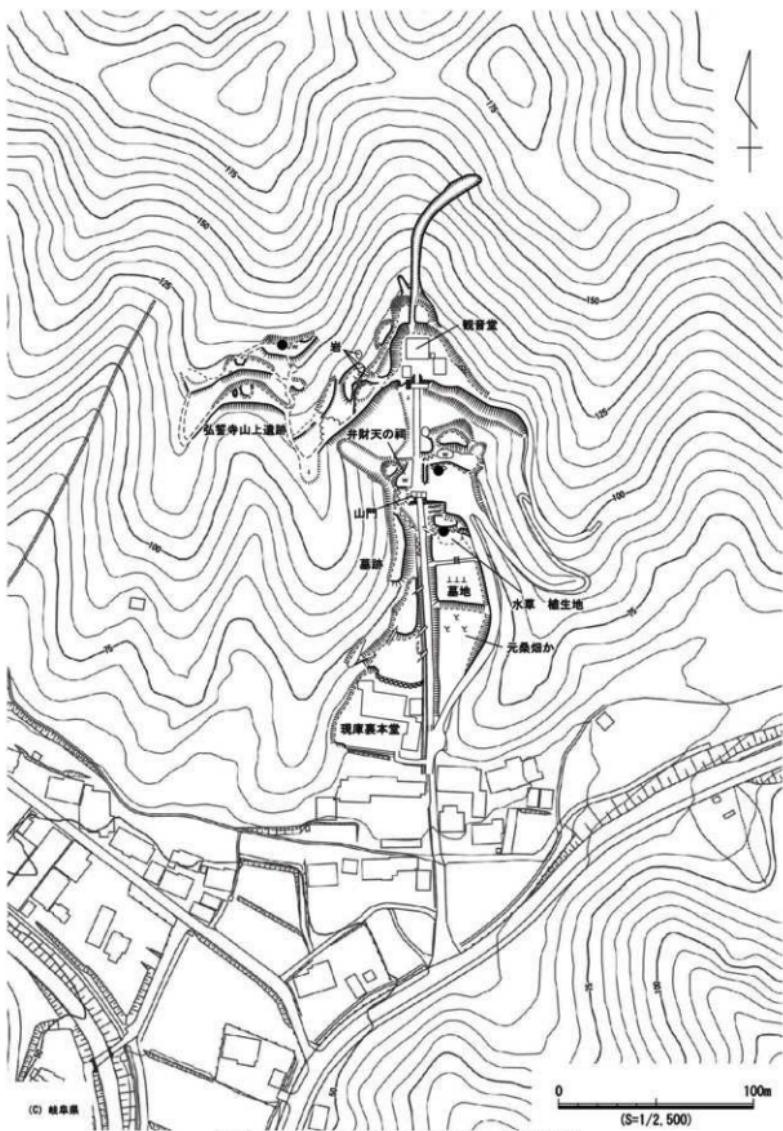


図16 椎倉山弘誓寺(弘誓寺山上遺跡) 地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	15044b	県遺跡番号	21215-10339	分布図番号	L4
ふりがな	はくかざんかんなみじきゅうけいだい (かまがたにおくのいんいせき)			所在地		山県市長瀬	
寺院名 (史跡・遺跡名)	白華山甘南美寺旧境内 (釜ヶ谷奥の院遺跡)						
時代区分		中世		宗派		天台宗	
立地	山腹			現状(植生)		山林	
東西規模	280m	南北規模	110m	標高(比高差)	442m(330m)	平坦面面積	B+D
沿革	寺伝によると、建久年間（1190～1199）に、高阿弥・那智阿弥の夫婦の念仏行者が、たまたま知り合った異僧より、教世の觀世音の尊像を授けられ、諸国遍歴の末、現在の奥の院の地に一字の坊舎を営んだことが始まりであるという。天文年間（1532～1555）村人の願いで現在の地に移転し、その際に前後の山に法華経を石に写して埋めて経塚とした。明治時代に鳴門和尚が中興した。						
遺構	巨岩（行者岩）、礎石						
遺物	五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	一						
参考文献	伊自良村教育委員会 1973『伊自良誌』						
備考	本尊の十一面千手觀音菩薩は行基の作、両脇二尊の不動明王、毘沙門天王は伝教大師の作と伝えられている。天文年間（1532～1555）に、尊像の眉間に後光が煌々として、遠く伊勢の国二見ヶ浦の海底に達し、毎夕波間に反射して明るくなり、漁人は魚ができなくなった。そこで村人が相談の末、灯油田八反歩を寄進し、尊像が山麓に移されることを懇願した。その後がかなって、現在の地に坊舎が移されたことある。						

調査所見 主要遺構群の平坦面は、北西から南東に向かって階段状に5段展開する。最も高い北西の段の平坦面には、平坦面の向きに合わせるように従三位甘南備明神と書かれた祠（甘南備神社）が建てられている。上から3段目の平坦面には、木製の堂が建っている。中には、觀音像が祀ってあったと思われる棚がある。またこの堂を囲むように石列がある。堂の向きと甘南備神社の向きは同じく南東方向を向いている。この2つの平坦面の残りは良好であるが、残りの3つの平坦面は比較的小さく、不明瞭である。甘南備神社から北北西に約100m、標高差40mの場所に、幅3m、奥行2m、高さ5mの行者岩がある。行者岩の上は人が座ることができ、傾斜はほとんどない。行者岩の下は、岩陰になる小さな空間がある。坊院跡と思われる標高400m辺りには、参道の北側に沿って不明瞭ではあるが平坦面が確認できる。さらにその北側には、湧水地のある円形の小さな凹状の平坦面を確認している。水は少量であるが、東側の谷に向かって流れている。坊院跡と思われる場所を東に下ったところにある平坦面に現在は東屋が建ち、南に広がる山並みを一望できる。

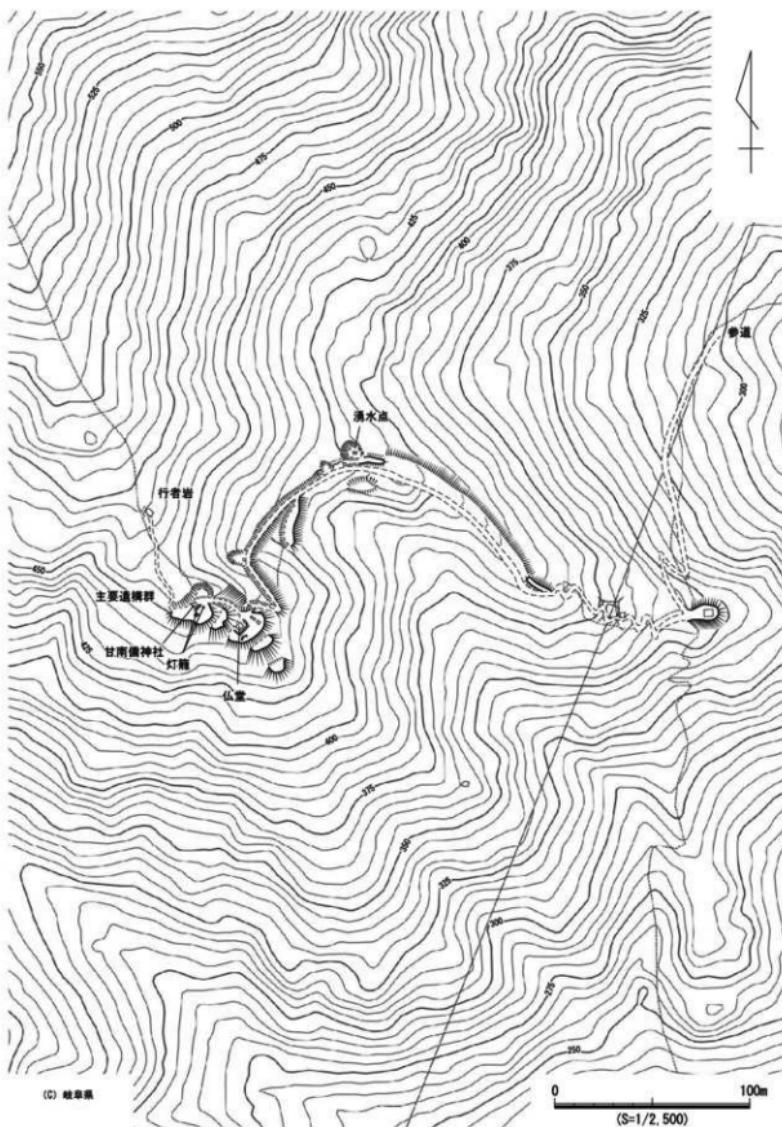


図 17 白華山甘南美寺旧境内（釜ヶ谷奥の院遺跡）地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	15095	県遺跡番号	21215-09639	分布図番号	L5
ふりがな	あみだじ（あみだじあと）	所在地	山県市梅原（椎爪）				
寺院名 (史跡・遺跡名)	阿弥陀寺 (阿弥陀寺跡)						
時代区分	中世	宗派		天台宗			
立地	山麓	現状(植生)		山林			
東西規模	80m	南北規模	150m	標高(比高差)	55m(5m)	平坦面分類	B+C2
沿革	宝徳元（1449）年に成立した。「15001 慈明院」の副住職の話によると、享禄元（1528）年に焼失し、翌年に改進された。天文14（1545）年に再建されているという。						
遺構	一						
遺物	五輪塔、石仏、無縫塔						
有形文化財等	一						
参考文献	高富町 1980『高富町史』						
備考	近隣住民の話によると、墓の手前の平坦面に寺があったといい、本堂跡と思われる。						

調査所見 本堂跡は扇状地の先端にあり、南東隅部に石積みが残る。本堂跡より北の白山神社までの参道周辺に平坦面が多いが、近代以降の水田か畑地と思われ、これらの影響で中世の痕跡はわずかに残るのみと考える。坊院と思われる平坦面は本堂の東に残っているが、坊院の展開が少なく比較的短期間の寺院であった可能性もある。西の山麓沿いに南へほぼ一直線に下る参道があり、本堂付近には土塁がある。現代の墓地は西側丘陵先端にあり、参道はその墓地に続いている。墓域には約10代ほどの歴代住職の墓と、幕末頃の近隣住民の先祖代々の墓がある。本堂のある平坦面とその北にある墓域との間に、自然地形を利用した比高差がある。



図18 阿弥陀寺（阿弥陀寺跡）地形観察図

[本巣市]

地区	岐阜	寺院番号	18059	県遺跡番号	21218-7131	分布図番号	M4
ふりがな	ふなきさんみろくじ（みろくじあと）			所在地		本巣市上保	
寺院名 (史跡・遺跡名)	船木山弥勒寺 (弥勒寺跡)						
時代区分	古代～			宗派		天台宗→臨済宗	
立地	山麓			現状(植生)		境内地	
東西規模	200m	南北規模	200m	標高(比高差)	30(0)m	平坦面分類	E
沿革	成立時期は不明であるが、奈良時代前期の瓦が弥勒寺の西にある白山神社から、東の慈雲寺にかけて確認されている。寺伝によると 18046 慈雲寺が弥勒寺の元の奥の院であるとされる。天文年間(1532～1555)に再興したときに、すでに室町時代の明応年間(1492～1501)に再興された東側の慈雲寺と分かれて再興されたと考えられる。天台宗古代寺院跡に慶長年間(1596～1615)瑞雲宗呈がこの寺を創めたとある。						
遺構	土壘、池、礎石						
遺物	陶生土器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、かわらけ、中世陶器、鉄滓、掛仏、埴輪、古代瓦、中世瓦、宝篋印塔、玉輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	絹本着色、涅槃図（室町）						
参考文献	糸貫町 1982『糸貫町史』通史編、本巣市教育委員会 2016『本巣市詳細遺跡分布調査報告書改訂版』						
備考	—						

調査所見 船来山南麓に位置する。南面する本堂への参道の方向は真南北ではなくやや東へ振っている。この参道及び建物の向きは、18046 慈雲寺も同様である。北側には墓域が広がっている。小規模の平坦面が石積みを伴って数段に築かれ、船来山古墳群の一つである 81 号墳の墳丘部も墓域となっている。81 号墳の西側には 30×30m 程の広い平坦面がある。寺伝の絵図では、本堂の北西側、現在の用水路の辺りに妙香坊という坊院があったとされる。そこでは石積みを伴う平坦面や、用水路から引かれた池が確認できる。白山神社は公民館から真北に伸びる直線道路が参道となっている。参道の両側には宅地と元耕作地の平坦面が広がっている。参道中間の鳥居のある平坦面には、礎石の可能性がある平石を 1 点確認した。聞き取りによると、神社参道の途中にかつて土壘状の高まりがあったとされ、調査では、東西方向に伸びる平行に並んだ 2 か所の高まりの痕跡を確認した。白山神社拝殿と本殿の間には小規模の平坦面があり、石塔を確認した。絵図にはこの辺りにも坊院が描かれている。船来山頂上に繋がる道の途中尾根上にある丘状高まりには、山乃神の石碑が置かれている。

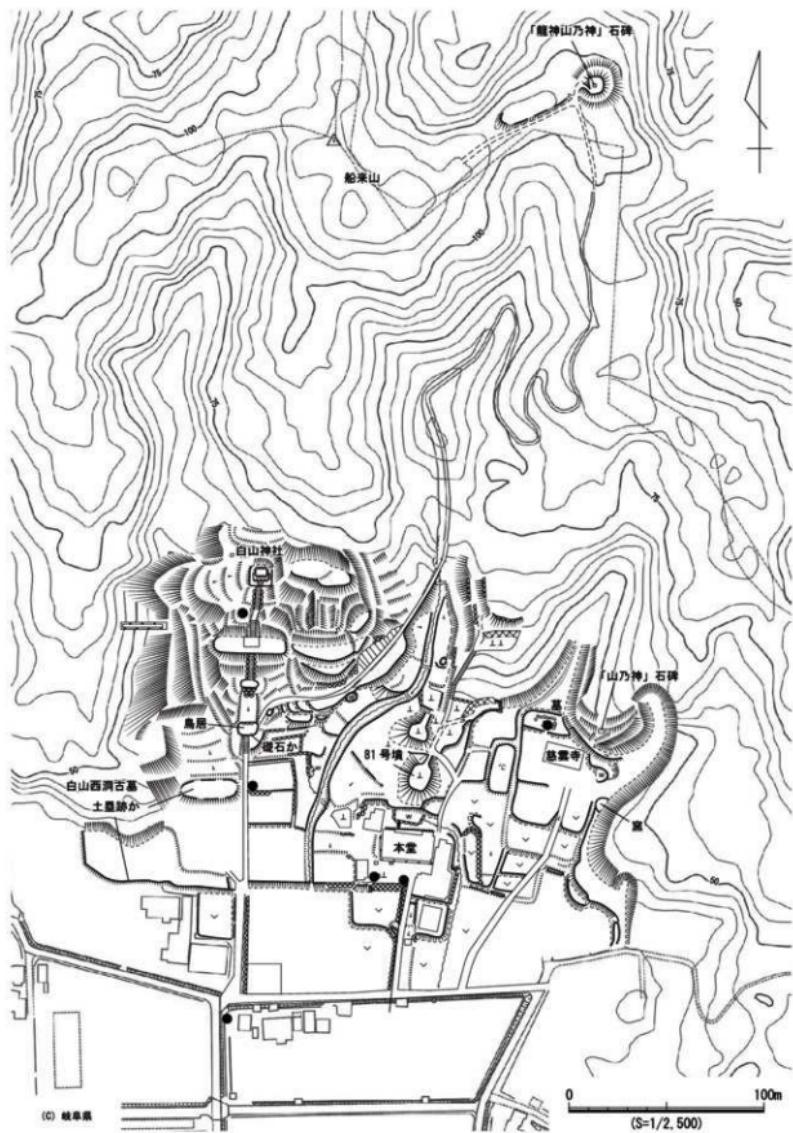


図 19 船木山弥勒寺（跡跡寺跡）地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	18066	県遺跡番号	21217-11237	分布図番号	M4
ふりがな	ごだいさんだいきじ（もんじゅはいじあと）	所在地		本巣市文殊			
寺院名 (史跡・遺跡名)	五台山大龜寺 (文殊庵寺跡)						
時代区分	古代～	宗派		曹洞宗			
立地	山麓	現状(植生)		境内地、山林			
東西規模	170m	南北規模	250m	標高(比高差)	50m(0m)	平坦面面類	B+D
沿革	奈良時代、文殊には、東大寺級の七堂伽藍が建てられており、文殊院と呼ばれていたとされる。本巣市によると、現在の大龜寺の場所に享禄元年（1528）に池田郡白樺城主長井長弘が文殊院文殊堂を建立したとされる。また、廢寺となっていた文殊堂を照空寺中興の玄洞和尚が再興し、堂宇を建立、大龜寺と号した。その後同和尚の遺言で、享保5年（1720）9月、石淳和尚が再度の復興をなし、五台山大龜寺と号した。（本巣町1975）						
遺構	石列、石積み、土塁						
遺物	古代瓦、宝篋印塔、五輪塔						
有形文化財等	—						
参考文献	本巣町1975『本巣町史通史編』、本巣市教育委員会2016『本巣市詳細遺跡分布調査報告書改訂版』						
備考	文殊庵寺跡は、大平山の南麓に位置し、豪雨の土砂崩れにより単弁八弁蓮華文軒丸瓦や瓦当面に鄭儀文を線刻した軒平瓦などの古代瓦が出土した。今も、この地区に、西ノ門、鐘衝殿、南堂門、法珠などの字名が残っている。						

調査所見 現境内外側の現況は竹林であり、整った形の平坦面を複数確認した。①の平坦面は現境内西側の中では最も高い場所に位置することから旧本堂が所在した可能性がある。平坦面は三日月状に細長く、幅は広い箇所で10m、狭い箇所で2mである。その北端部にコの字状の石列を確認した。①のすぐ南に平坦面を確認できるが、通路は確認できなかった。①の出入口が西側に設けられていた。①の西側には傾斜があり、そこを下ると②③の平坦面に迫り着く。②③の平坦面は区画が明瞭で、周辺の平坦面との高低差が大きい。④の平坦面の規模は35m×35mと広く、その東西に南北方向の溝によって方形に区画している。これらの溝とは別に北東－南西方向に溝1条が伸びており、平坦面に伴う区画溝とは性格が異なるようと思われる。④の北東部は東から水が入り込むようになっており、現状は湿地である。元は池があったのではないかと推測される。上記の平坦面の東端には石積みを伴った土塁を確認できる。

現境内北側は、湿地となっており、北から南に流れる流路周辺には不整形の平坦面が複数確認できる。谷奥の北東側には秋葉神社があり、古代瓦はこの辺りから出土している。現本堂の北には現代の墓地があり、五輪塔の部材を確認した。

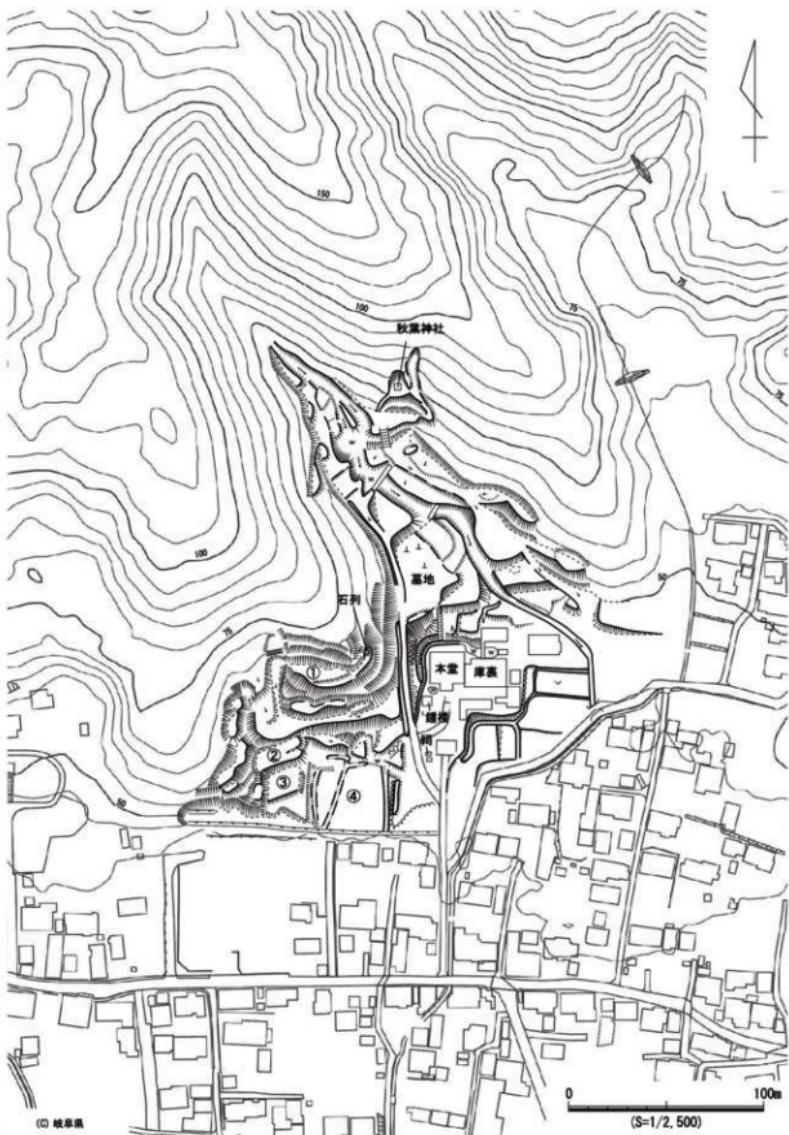


図 20 五台山大龜寺（文殊庵寺跡）地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	18079	県遺跡番号	21218-11616	分布図番号	L4
ふりがな	いこうじ（いこうだにいせき）	所在地	本巣市法輪寺字祐向				
寺院名 (史跡・遺跡名)	祐向寺 (祐向谷遺跡)						
時代区分	古代、中世、近世	宗派		一			
立地	山腹	現状(植生)		山麓			
東西規模	100m	南北規模	300m	標高(比高差)	115m(20m)	平坦面面類	D
沿革	沿革は明らかでないが、岐阜県各務原市の舟山北古窯では、「祐向寺」と刻まれた中世陶器が出土している（岐阜県文化財保護センター2000）。大垣市圓興寺の過去帳にも、祐向寺の坊主の名が掲載されている。「祐向（イコウ）」という地名は、この祐向谷周辺のほか存在せず、この周辺に寺院遺構が確認される可能性が考えられる。						
遺構	石積み						
遺物	須恵器、山茶碗、中世陶器、五輪塔						
有形文化財等	一						
参考文献	岐阜県文化財保護センター2000『舟山北古墳群・舟山北古窯跡群・船山北遺跡』、大垣市 2010『大垣市史』資料編 古代・中世、本巣市教育委員会 2016『本巣市詳細遺跡分布調査報告書改訂版』						
備考	谷の北の平坦面は毘沙門堂跡と伝わっており、南西の法林寺跡に関連するお堂があった可能性がある。本巣市教育委員会 2016によると、その平坦面に五輪塔があったという。						

調査所見 祐向山中腹から祐向谷山麓にかけての西斜面に広がる遺跡であり、遺跡内には、現在楞厳寺東にある毘沙門堂が元々祀られていたとされる平坦面と、注連縄が張られた桂の木がある。2つの谷川の合流地点付近に一番広い平坦面がある。合流後の谷川両側に平坦面が展開するが、谷川左岸の平坦面は残存状況がよいが、右岸側は緩やかな傾斜地になり坊院があった可能性があるが自然地形にも見えるため詳細は不明である。左岸側の平坦面では山茶碗等の遺物も採集されており寺院に関連する可能性が高い。

毘沙門堂跡が谷川沿いの平坦面の中では高い位置にあり、参道はおそらく毘沙門堂を中心として谷川沿いにあったと考えられる。石積みは毘沙門堂周辺を中心に残存している。

遺跡範囲は祐向谷の北西斜面と西斜面に展開しているが、現地確認の結果、北西斜面と西斜面に展開する平坦面は、急峻な斜面にあり、本堂跡と考えられる平坦面が無いこと、参道を確認できなかつたことから寺跡ではなく城跡の機能を有すると判断し、寺院に関連のある平坦面は谷川周辺のみと考える。祐向山山頂には祐向城跡等の山城が数多く展開している。

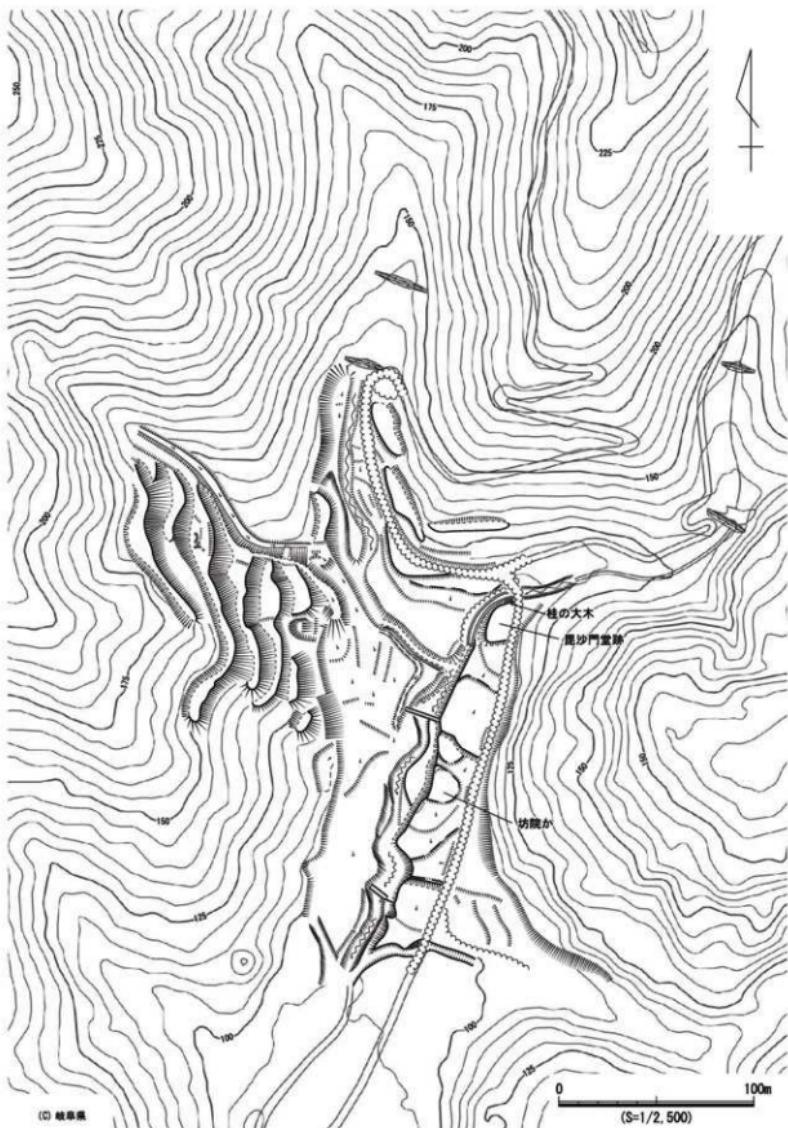


図21 祐向寺（祐向谷遺跡）地形観察図

地区	岐阜	寺院番号	18084	県遺跡番号	21218-6815	分布図番号	J3
ふりがな	のうごうはくさんじんじゅじんぐうじ (のうごうはくさんじんじゅこば)			所在地	本巣市根尾能郷		
寺院名 (史跡・遺跡名)	能郷白山神社神宮寺 (能郷白山神社古墓)						
時代区分	古代、中世			宗派	真言宗		
立地	山麓			現状(植生)	神社境内、山林		
東西規模	150m	南北規模	180m	標高(比高差)	271.5(18)	平坦面分類	D
沿革	能郷白山神社の成立は養老元年(717)か養老2年(718)とされる。能郷白山は泰澄が山頂に白山妙理権現を分祀したことから始まるが、山頂があまりに高く険しいので五里八丁くだった地に御旅所(里宮)として成立した。能郷白山頂上に本社奥ノ院があり、聽き取りにより「中宮」と呼ばれている祈禱所は神宮寺から移設されたとのことで、現在は虚空蔵菩薩・十一面觀音菩薩・聖觀音菩薩が安置されている。沿革は明らかでないが、昔は神宮寺と妙泉寺があり、500年前には泉麻坊と乗泉坊の2寺があったという。延徳2年(1490)の焼失時か、信長の坊主狩りの時かは不明であるが、同時焼失後の灰を集めて建てたという宝鏡印陀羅尼塔3基が白山神社境内東寄りに並ぶ。						
遺構	一						
遺物	宝鏡印塔、五輪塔、鏡						
有形文化財等	能面・狂言面、装束、能・狂言本(県指定、室町)、和鏡9面(県指定、平安～室町)、梵鐘(県指定、室町)、虚空蔵菩薩・十一面觀音菩薩・聖觀音菩薩(市指定、平安)、鰐口(市指定、室町)、神衣(市指定、安土桃山)、紺地金泥光明王経・紺地金泥法華経(市指定、平安)						
参考文献	根尾村1980『根尾村史』、本巣郡教育会1937『本巣郡志』上巻						
備考	境内南東にある宝鏡印塔などの石塔も神宮寺から移設とのこと。明治時代の絵図には根尾西谷川に桂庵と朝日庵、西の能郷谷に餃子庵が描かれている。代々神宮寺の火燈(ひとぼし)であったという個人宅で宝鏡印陀羅尼塔を守っている。						

調査所見 個人宅北裏に墓地と坊様の墓と伝わる自然石の墓石があり、墓地の奥に続く稍々高い窪地附近が神宮寺跡と伝わる。現在の本殿(標高 275.0m)の北東が神宮寺跡とされる平坦面にあたる。神宮寺跡の平坦面北西から湧水しており、南東方向の根尾西谷川へと流れ出る。標高 275.4m～301.5m、70m×110mの範囲の緩やかな斜面の南、尾根端部の落差 22mの最上段に現本殿があり、中段の西に中宮、東に八幡神社と牛頭天王、最下段に拝殿と舞殿がある。本殿も中宮も南向きで、同一方向を向いている。神宮寺跡へは中段から参道が伸びている。本殿や中宮周辺には多数の巨木がある。現在の本殿と神宮寺跡の平坦面がやや離れた位置関係にあるため、尾根上の緩い斜面上に成立時期の社殿等があった可能性も考えられる。



図 22 能郷白山神社神宮寺 地形観察図

岐阜圏域参考文献

- 藍川校下十周年記念実行委員会 1982『ふるさと藍川』、藍川小学校
- 厚見村史編集委員会 1960『厚見村史』
- 伊自良村教育委員会 1973『伊自良誌』
- 稲葉郡教育会 1915『美濃國稲葉郡誌』
- 糸貫町 1982『糸貫町史』通史編
- 鵜郷土史研究会 1996『鵜郷土史』
- 小川敏彦 2007『新なかかどま』
- 笠松町史編纂委員会 1956『笠松町史』上巻
- 笠松町史編纂委員会 1957『笠松町史』下巻
- 笠松町歴史未来館 2020『ぶらっと笠松町』歴史と文化 21話
- 各務原市稲羽町史刊行会 1977『稲羽町史』
- 各務原市教育委員会 1986『各務原市史』通史編 自然・原始・古代・中世
- 各務原市教育委員会 1987『各務原市史』通史編 近世・近代・現代
- 各務原市教育委員会 2020『新編 各務原市の文化財 わがまちの宝物』
- 各務原市埋蔵文化財調査センター2004『承国寺遺跡発掘調査報告書』各務原市文化財調査報告第40号、各務原市教育委員会
- 各務原市埋蔵文化財調査センター2005『野口廃寺 C・D 地区発掘調査報告書』各務原市文化財調査報告第42号、各務原市教育委員会
- 各務原市埋蔵文化財調査センター2010『山田寺跡第1・2・3・4次範囲確認調査報告書』各務原市文化財調査報告第50号、各務原市教育委員会
- 各務原市歴史サークル 1997『各務原市内寺院簿』(その一)
- 各務原市歴史サークル 1998『各務原市内寺院簿』(その二)
- 各務原市歴史サークル 1999『各務原市内寺院簿』(その三)
- 各務原市歴史サークル 1999『各務原市内寺院簿』(その四)
- 各務村史編纂委員会 1963『各務村史』
- 河田あや 1966『郷土の記録高富』
- 川並秀賢(岐阜市日置江自治会連合会) 2006『日置江の歴史』
- 北方町 1929『北方町志』
- 北方町 1982『北方町史』通史編
- 北方町教育委員会 2015『北方町の文化財』
- 北方町文化財保護協会 1995『北方町文化財だより縮刷版』
- 岐南町 1984『岐南町史』通史編
- 岐南町歴史民俗資料館 1998『岐南町歴史民俗資料集VII ふるさとの神社・仏閣と祭』
- 岐南町歴史民俗資料館 2007『歴史民俗資料集X ふるさと岐南 地名物語』
- 岐阜県羽島郡川島町 1976『ふる里かわしま』

- 岐阜県羽島郡川島町 1986 『川島町史』通史編
- 岐阜県羽島市江吉良・舟橋郷土史第二巻作成委員会 1992 『江吉良・舟橋郷土史』第二巻、羽島市江吉良公民館
- 岐阜市 1976 『岐阜市史』史料編 古代・中世
- 岐阜市 1979 『岐阜市史』史料編 考古・文化財
- 岐阜市 1980 『岐阜市史』通史編 原始・古代・中世
- 岐阜市立網代小学校 PTA 1980 『網代』
- 岐阜市合渡広報会連合会 1986 『岐阜市合渡の歴史』
- 吉岡勲監修 1987 『岐阜県百寺』郷土出版社
- 栗木謙二・吉岡勲 1966 『鵜沼の歴史』、旧美濃国各務部鵜沼村
- 黒野史誌編集委員会 1987 『岐阜市黒野史誌』
- 桑原町誌編集委員会 1994 『桑原町誌』、桑原町誌刊行実行委員会
- 小池実・瀬古喜三郎 1958 『江吉良郷郷土史 全』、江吉良公民館
- 小林義徳 1964 『那加町史』
- 鶯山史誌編集委員会 1989 『鶯山史誌』
- 市制五十年記念誌編纂委員会 2004 『羽島市制五十年史』、吉田三郎
- 真正町 1975 『真正町史』通史編
- 巣南町史編集委員会 1978 『巣南町史』
- 蘇原の歴史刊行委員会 1984 『蘇原の歴史』
- 高富町 1980 『高富町史』
- 根尾村 1980 『根尾村史』
- 則武史誌編集委員会 1990 『岐阜市則武史誌』
- 羽島市史編纂委員会 1966 『羽島市史』第二巻、羽島市役所
- 長谷川浅七 1983 『新井の歴史』
- ヒストリー各務原会 2011 『各務原の寺院 稲羽地区』
- ヒストリー各務原会 2011 『各務原の寺院 鵜沼地区』
- ヒストリー各務原会 2011 『各務原の寺院 各務地区』
- ヒストリー各務原会 2011 『各務原の寺院 川島地区』
- ヒストリー各務原会 2011 『各務原の寺院 蘇原地区』
- ヒストリー各務原会 2011 『各務原の寺院 那加地区』
- 船木村誌編纂委員会 1958 『船木村誌』
- ふるさと正木編集委員会 1996 『ふるさと正木』、ふるさと正木刊行委員会
- 徳積町 1979 『徳積町史』通史編上巻（古代・中世）
- 徳積町教育委員会 1987 『徳積のあゆみ』
- 美山町 1975 『美山町史』通史編
- 本巣郡網代村役場 1942 『網代村志』
- 本巣郡教育会 1937 『本巣郡志』上巻

本巣郡教育会 1937『本巣郡志』下巻

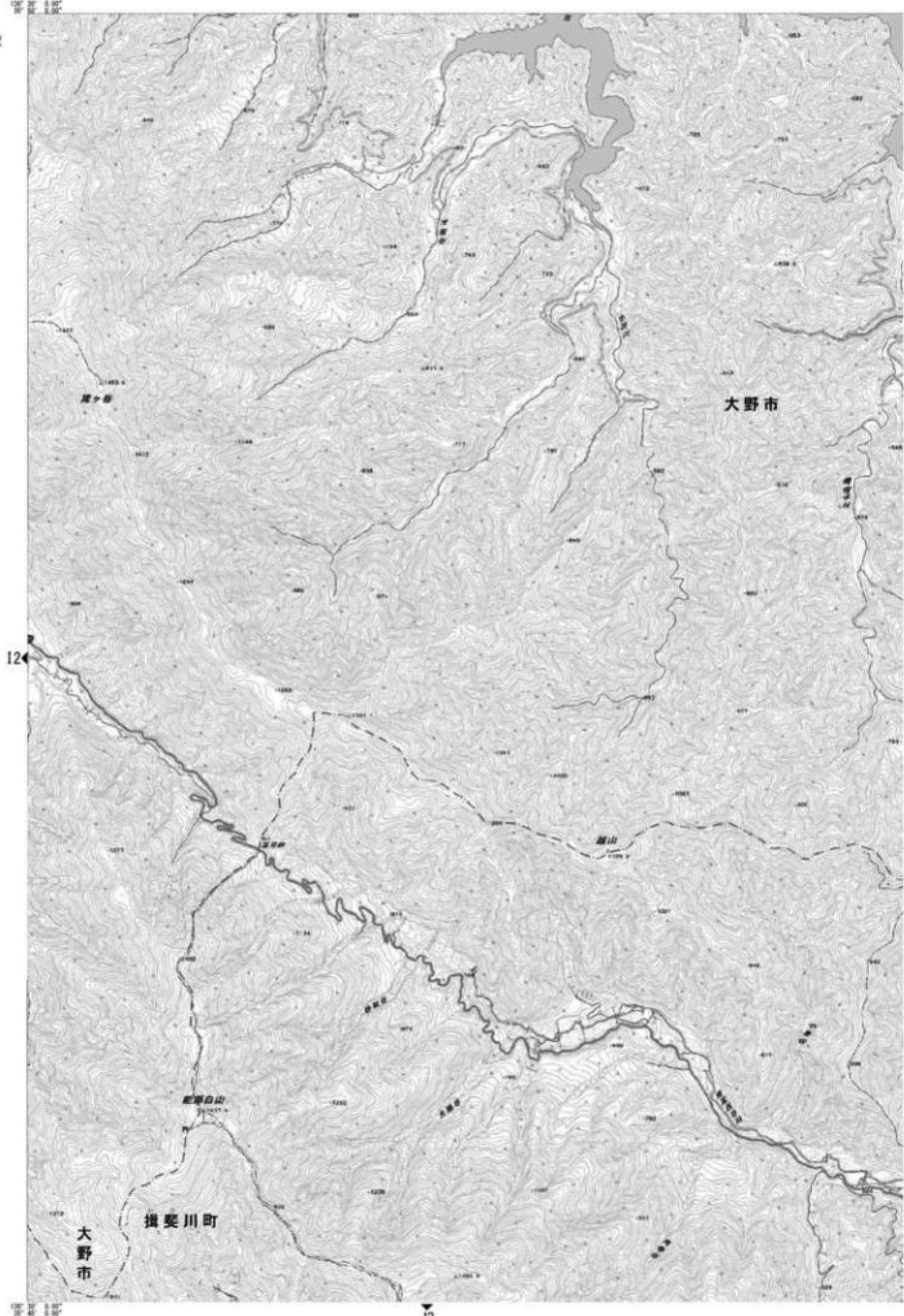
本巣市教育委員会 1995『糸貫町地名の由来』

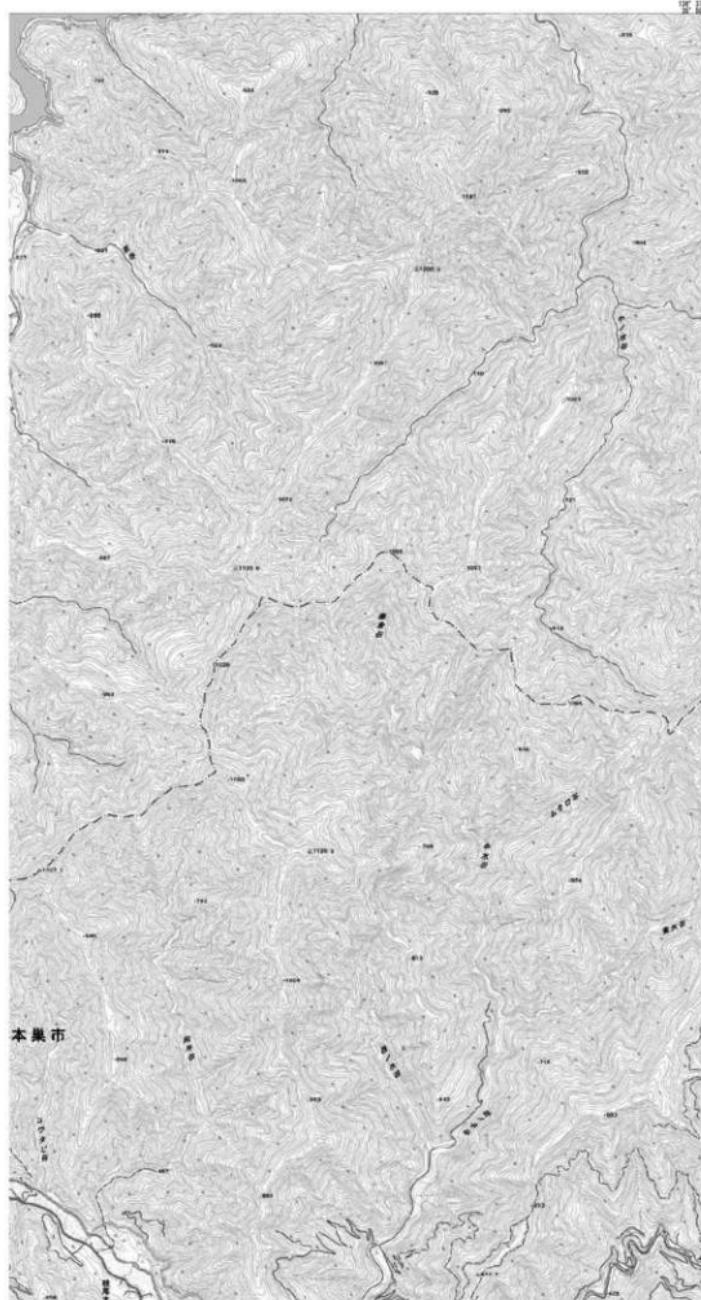
本巣市教育委員会 2016『本巣市詳細遺跡分布調査報告書改訂版』

本巣町 1975『本巣町史通史編』

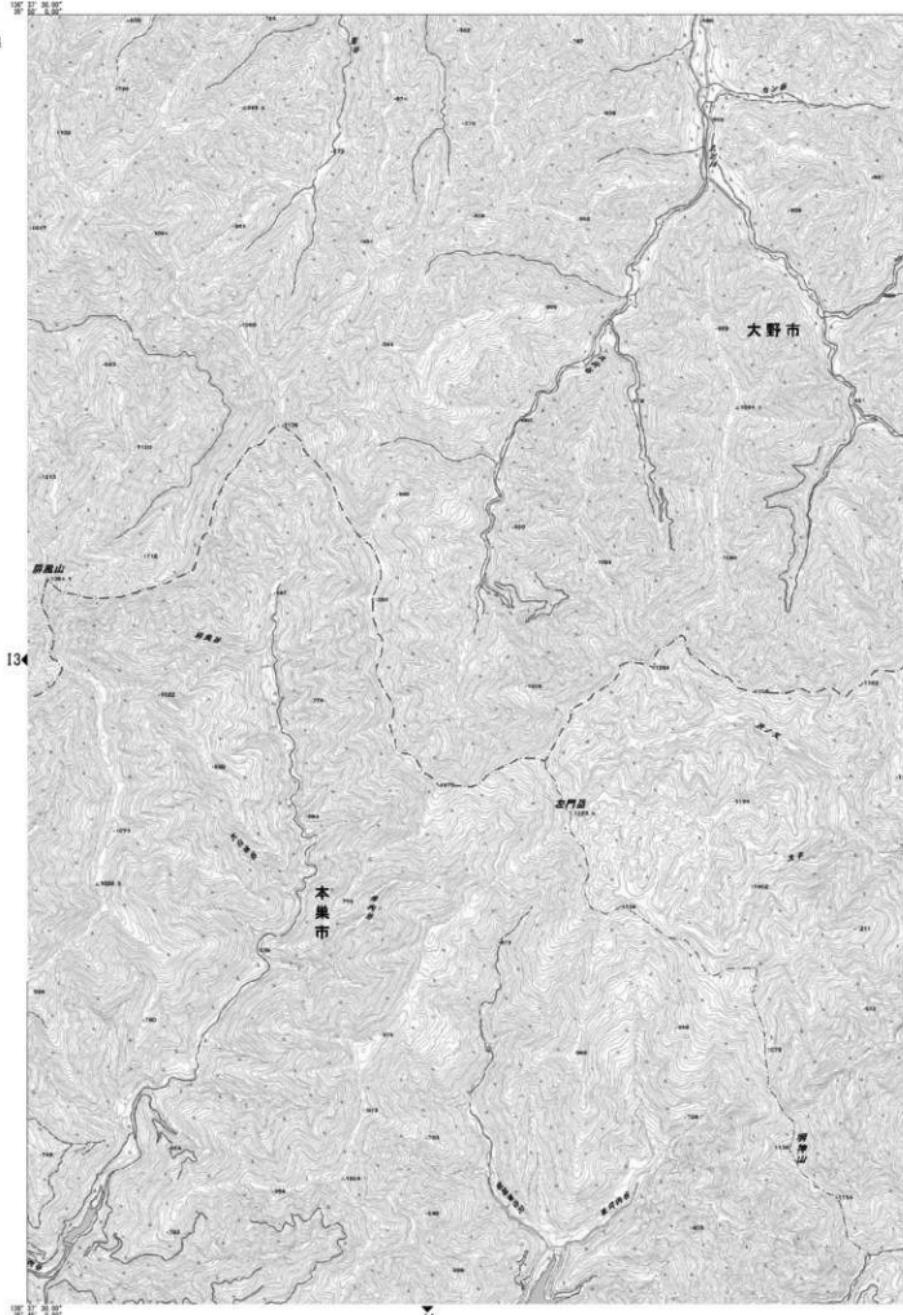
武藤重造 1951『竹鼻の歴史』、竹ヶ鼻町役場

第 4 節 寺 院 分 布 図



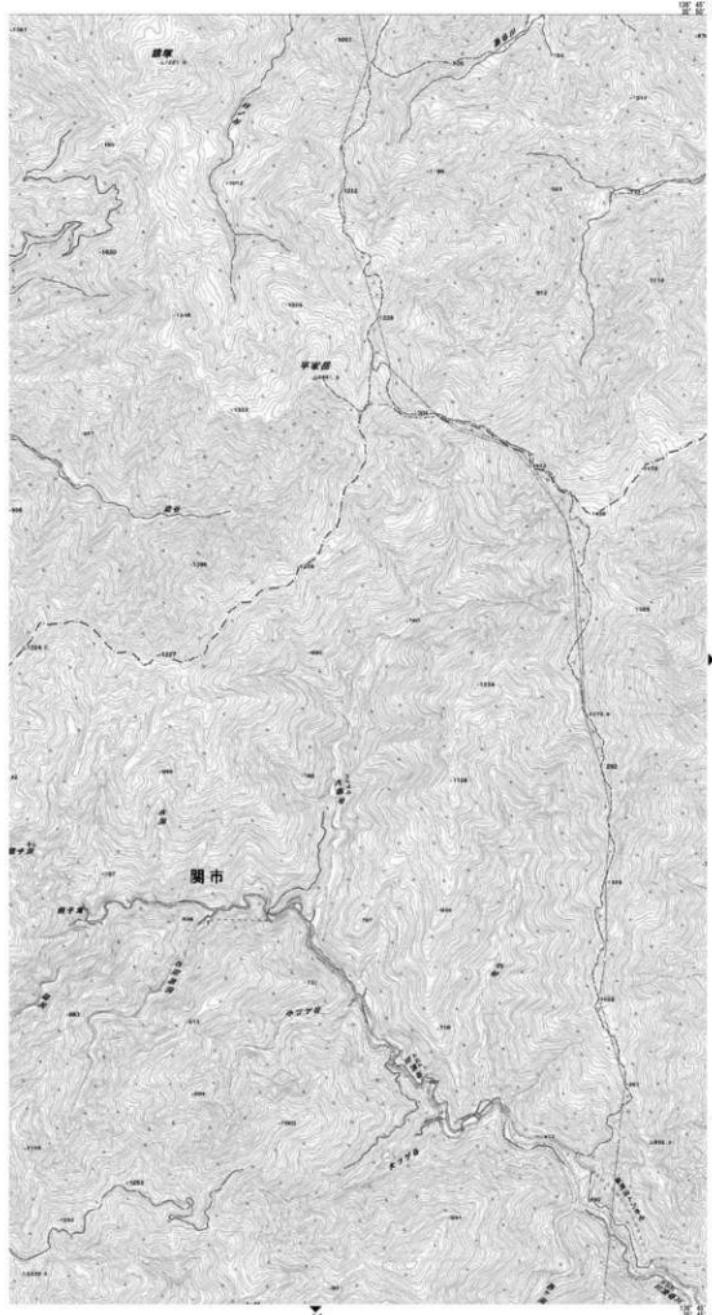


I2 冠山	I3 能郷白山	I4 平家岳
J2 美濃徳山	J3 能郷	J4 下大須

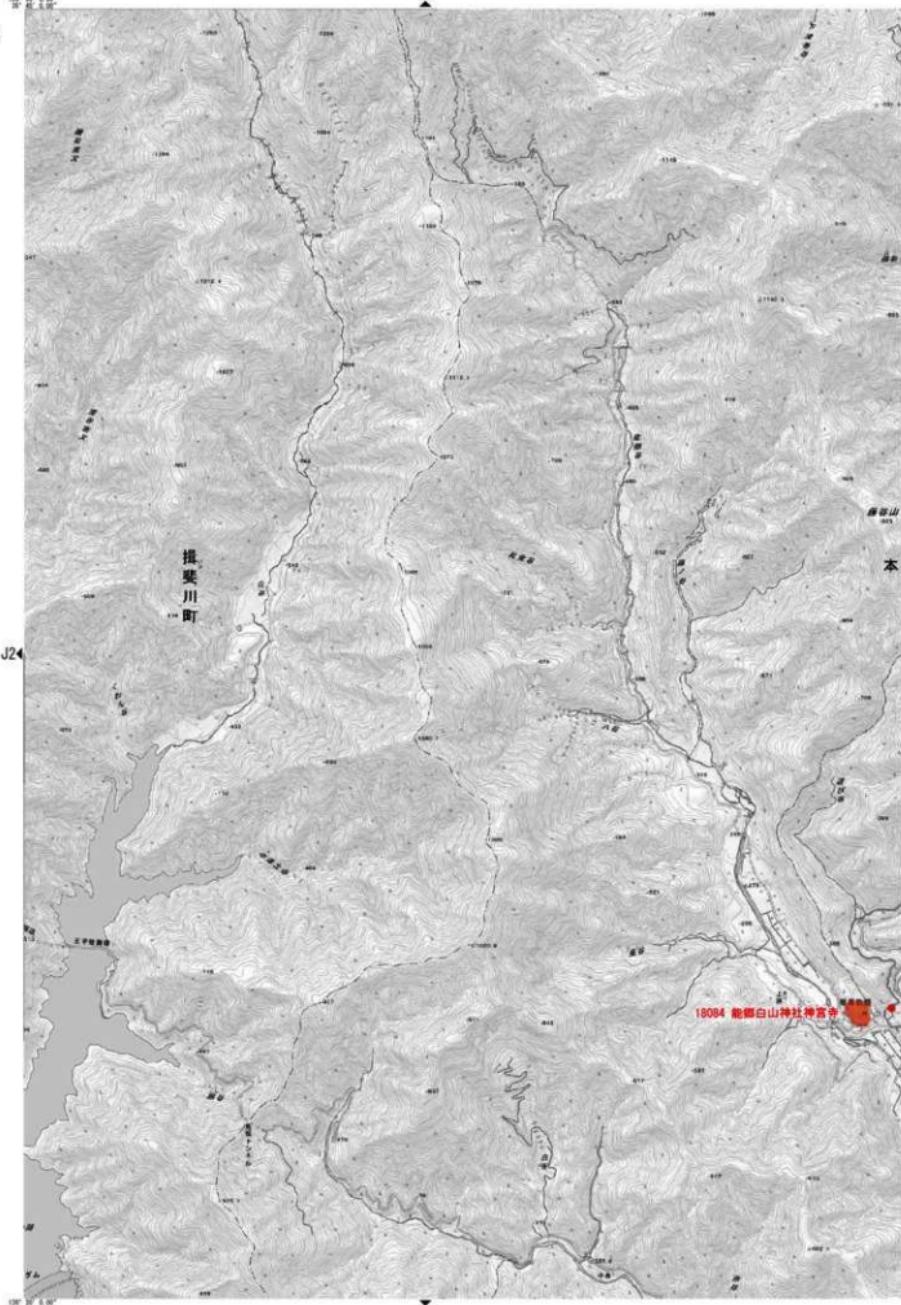


I4 平家岳

105

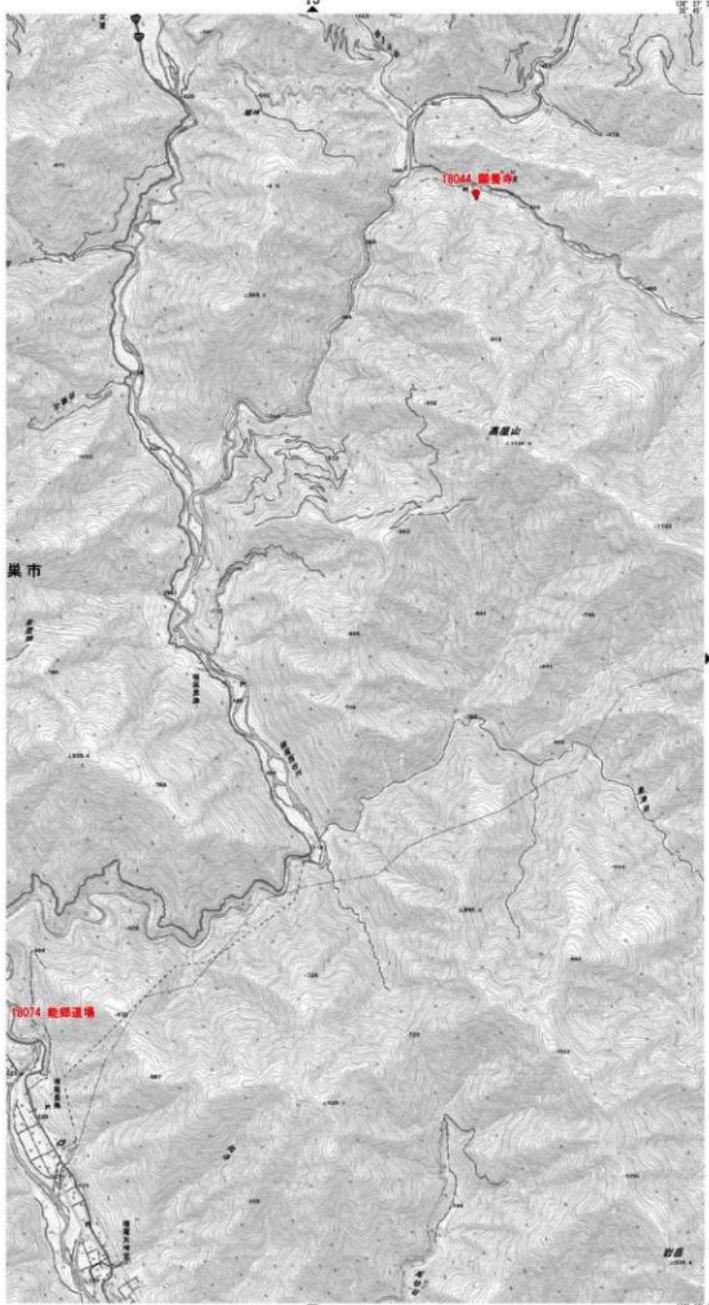


		H5 白鳥
I3 能郷白山	I4 平家岳	I5 門原
J3 能郷	J4 下大須	J5 上ヶ瀬

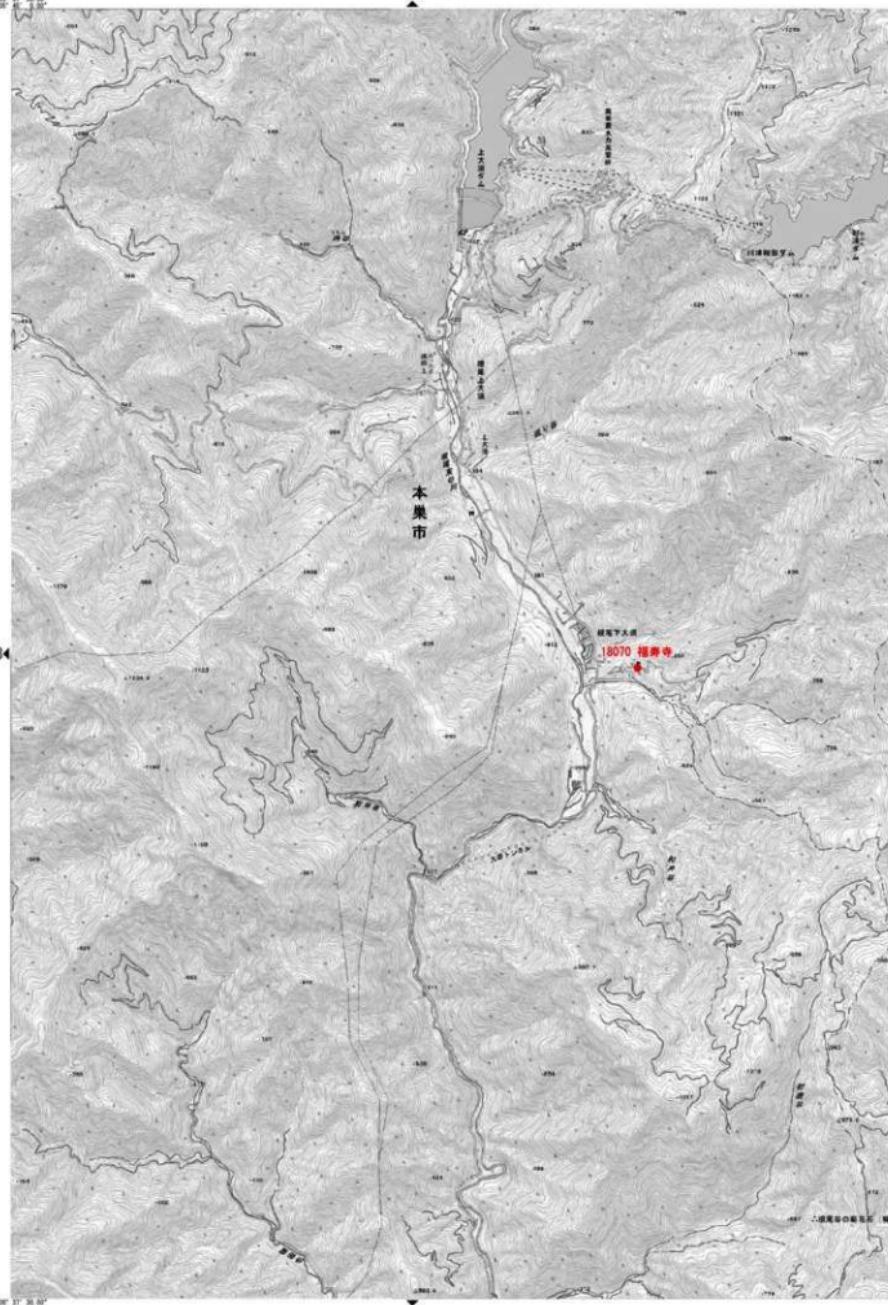


本巣市

18044 麗養寺
18074 能郷道場
18084 能郷白山神社神宮寺



I2 冠山	I3 能郷白山	I4 平家岳
J2 美濃徳山	J3 能郷	J4 下大須
K2 美濃広瀬	K3 梅見	K4 谷合



J4 下大須

109

本巣市

18070 福寿寺

関市

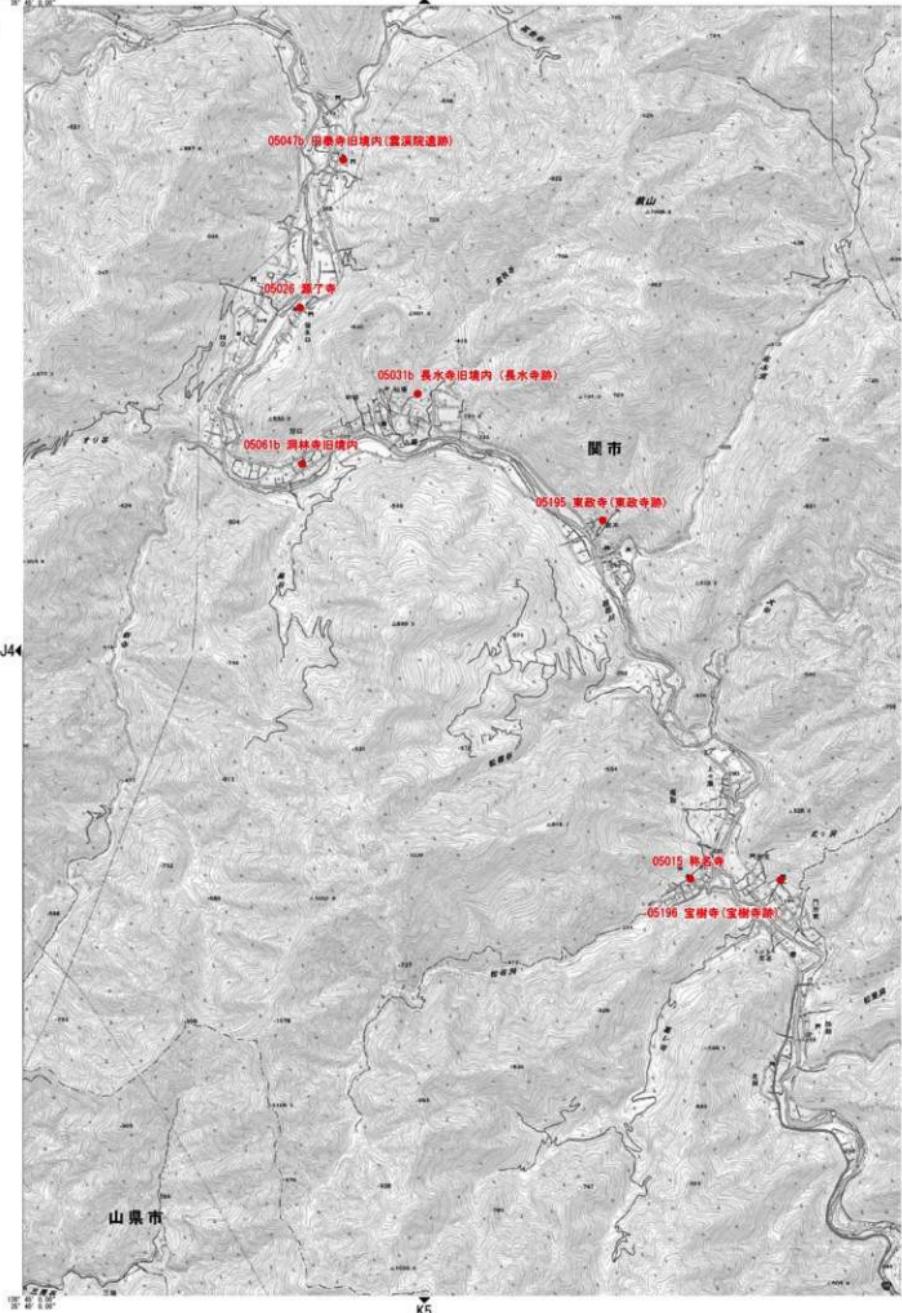
磐梯山

山県市

J5

K4

I3 能郷白山	I4 平家岳	I5 門原
J3 能郷	J4 下大須	J5 上ヶ瀬
K3 樹見	K4 谷合	K5 洞戸



J5 上ヶ瀬

関市

- 05015 称寺
 05026 遠了寺
 05031b 長水寺旧境内（長水寺跡）
 05047b 円教寺旧境内（圓教院遺跡）
 05061b 洞林寺旧境内
 05195 東教寺（東教寺跡）
 05196 宝樹寺（宝樹寺跡）

郡上市

- 19109 嶺屋本宮（那比本宮遺跡）

J6

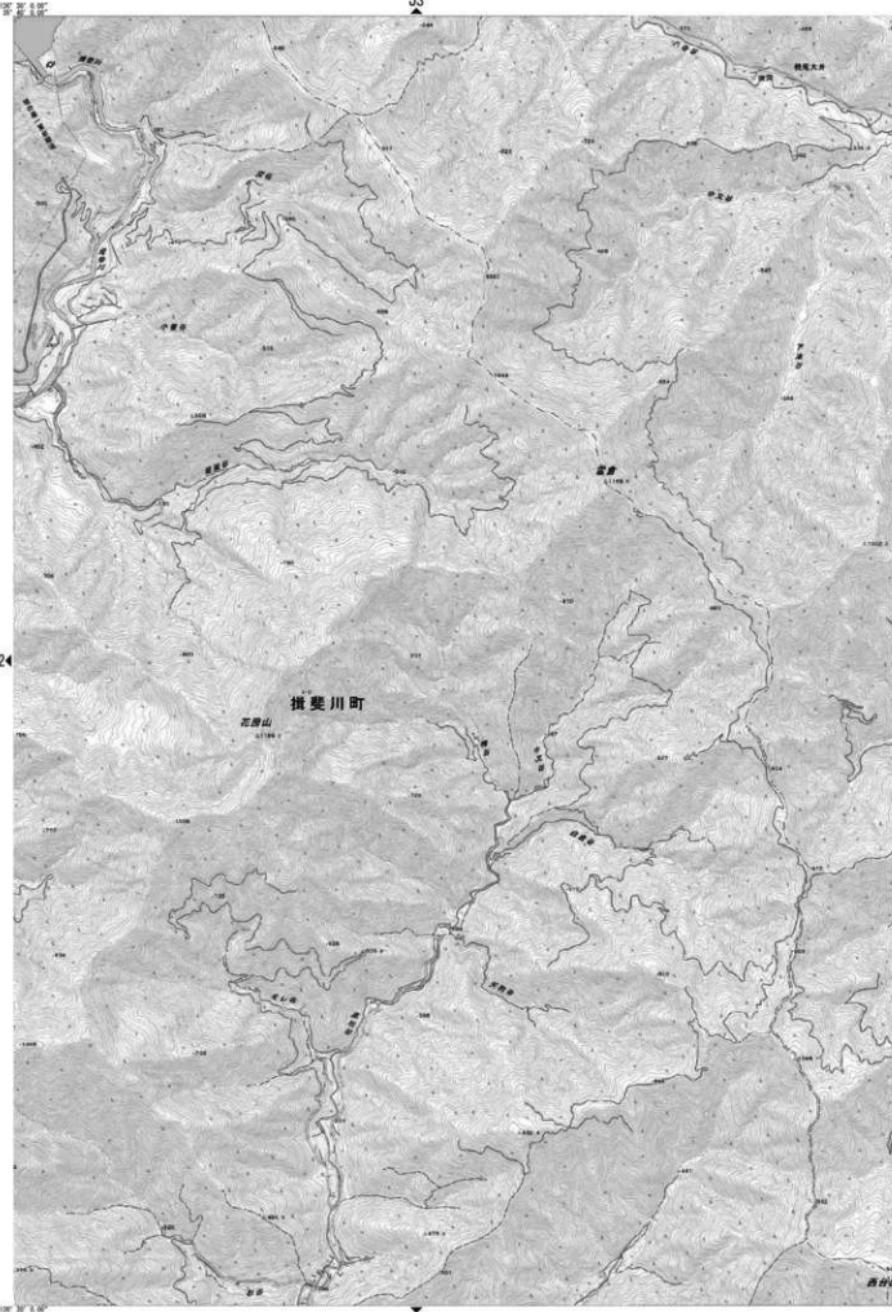
郡上市

19109 嶺屋本宮（那比本宮遺跡）

I4 平家岳	I5 門原	I6 德永
J4 下大須	J5 上ヶ瀬	J6 郡上八幡
K4 谷合	K5 洞戸	K6 芦安

112

J3



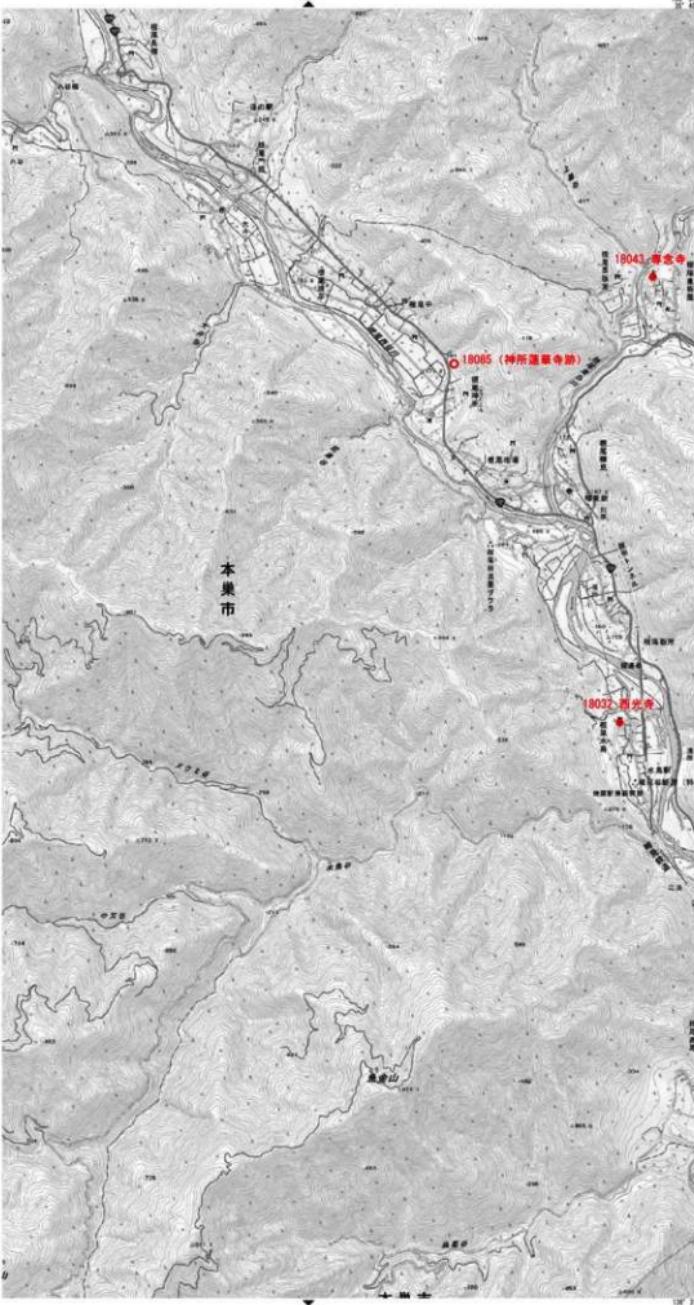
112-1

L3

K3 樽見

本巣市

18032 西光寺
18043 審念寺
18085 (神所蓮華寺跡)

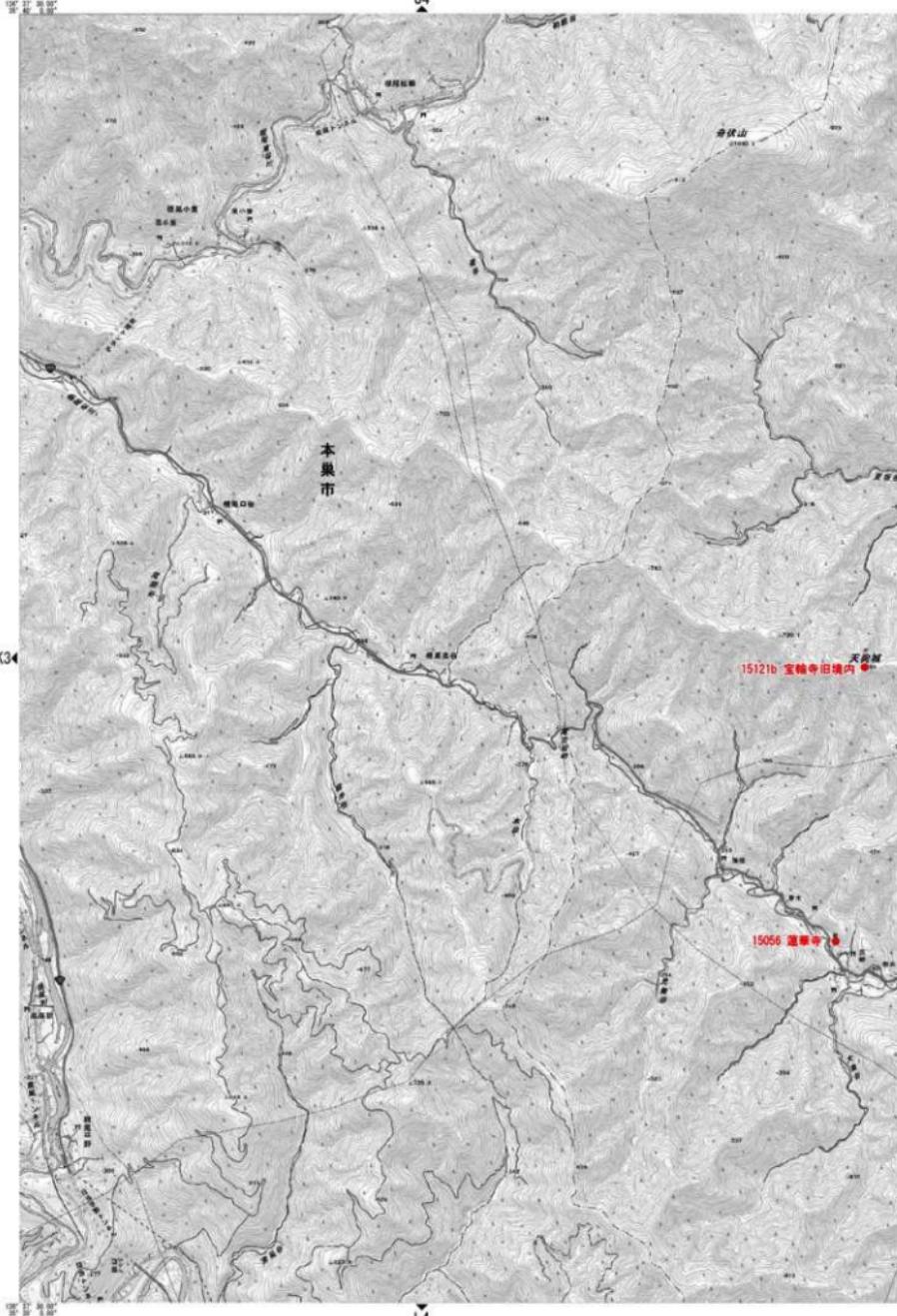


K4

J2 美濃德山	J3 能郷	J4 下大須
K2 美濃広瀬	K3 樽見	K4 谷合
L2 横山	L3 谷汲	L4 美濃神海

114

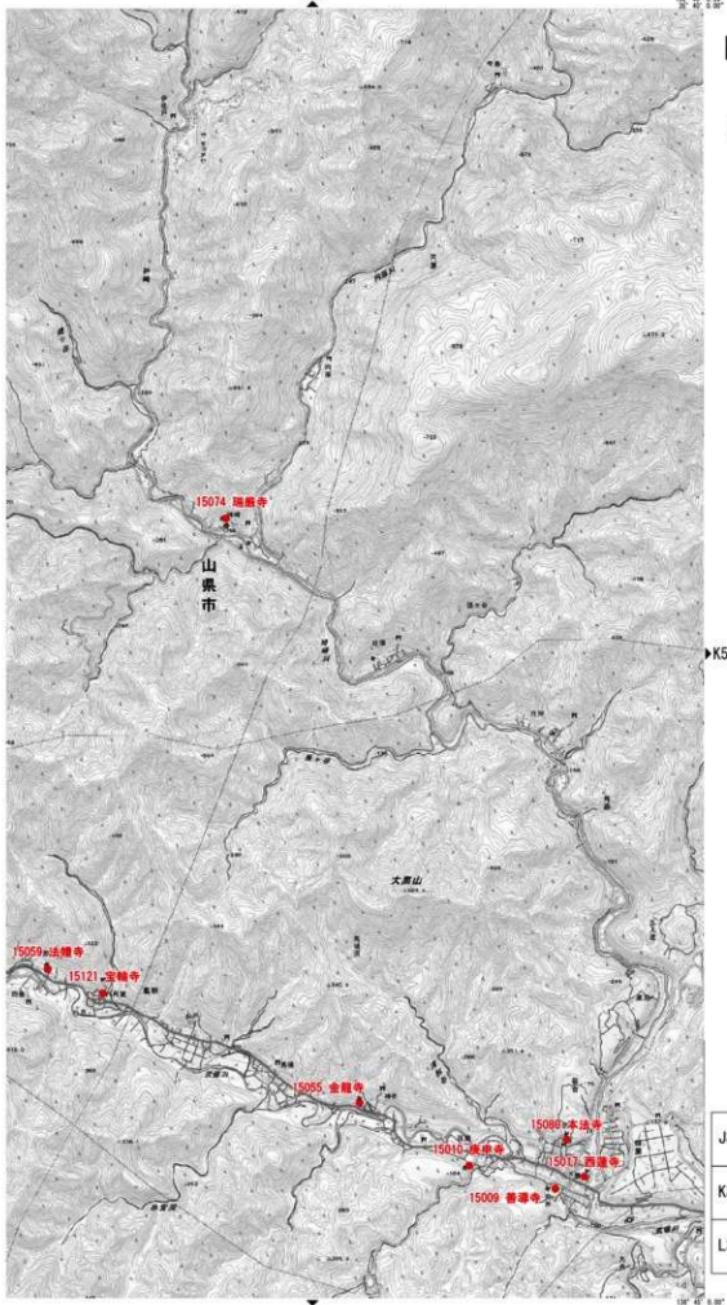
J4



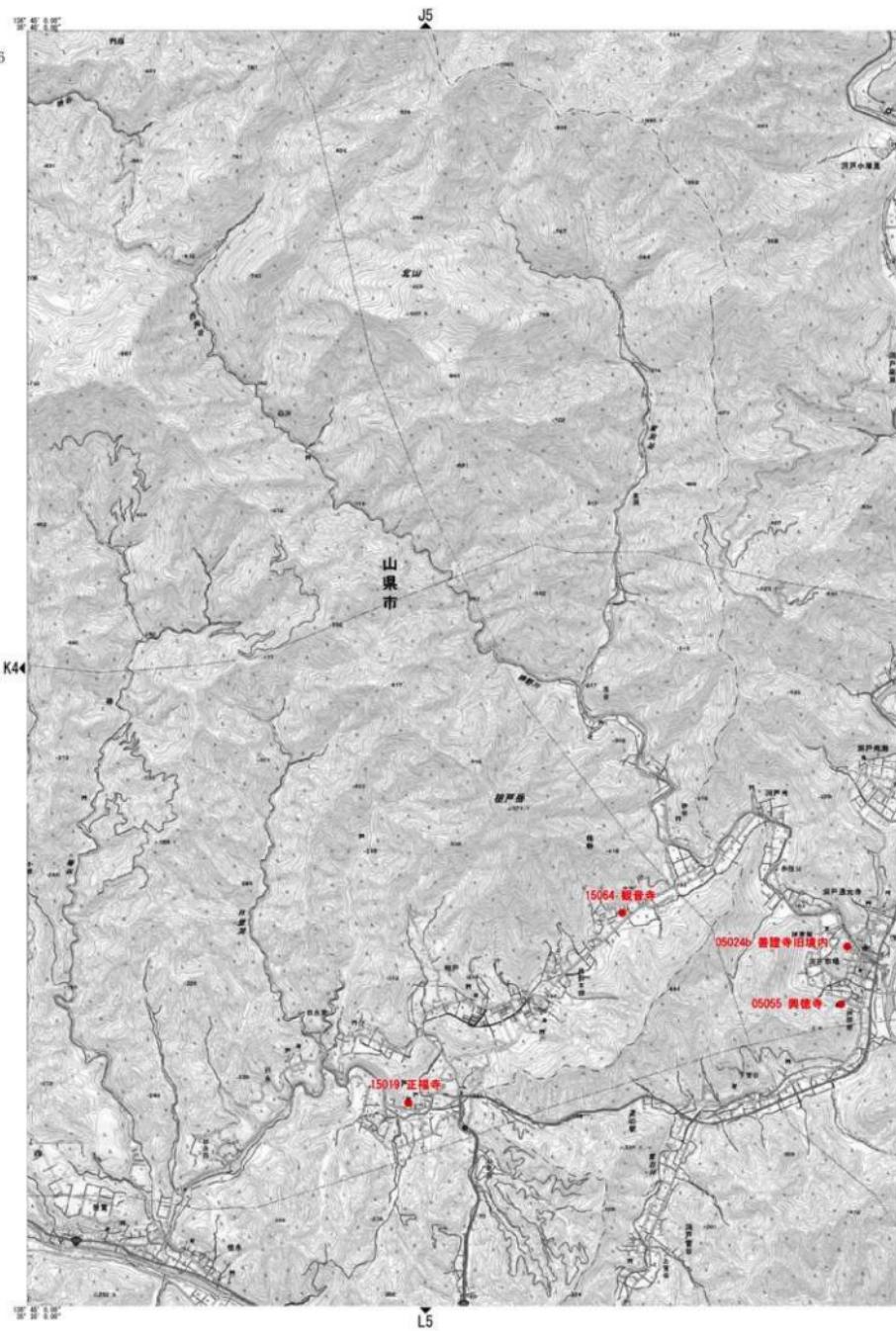
L4

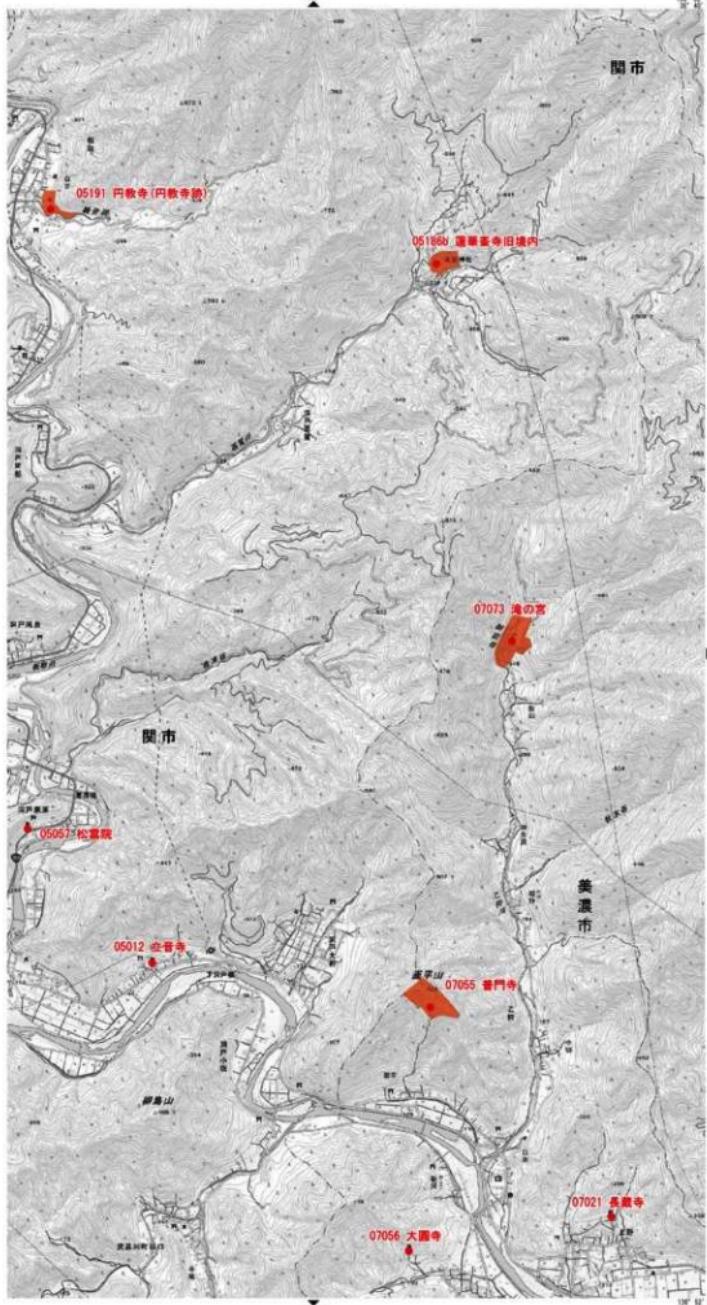
山県市

- 15009 善導寺
15010 庚申寺
15017 西蓮寺
15055 金龍寺
15056 蓮華寺
15059 法幢寺
15074 瑞嚴寺
15080 本法寺
15121 宝輪寺
15121b 宝輪寺旧境内



J3 能郷	J4 下大須	J5 上ヶ瀬
K3 槻見	K4 谷合	K5 洞戸
L3 谷汲	L4 美濃神海	L5 岩佐





関市

- 05012 立音寺
- 05024 青雲寺旧境内
- 05057 興徳寺
- 05057 松雲院
- 05188 蓮華寺旧境内
- 05191 円教寺(円教寺跡)

美濃市

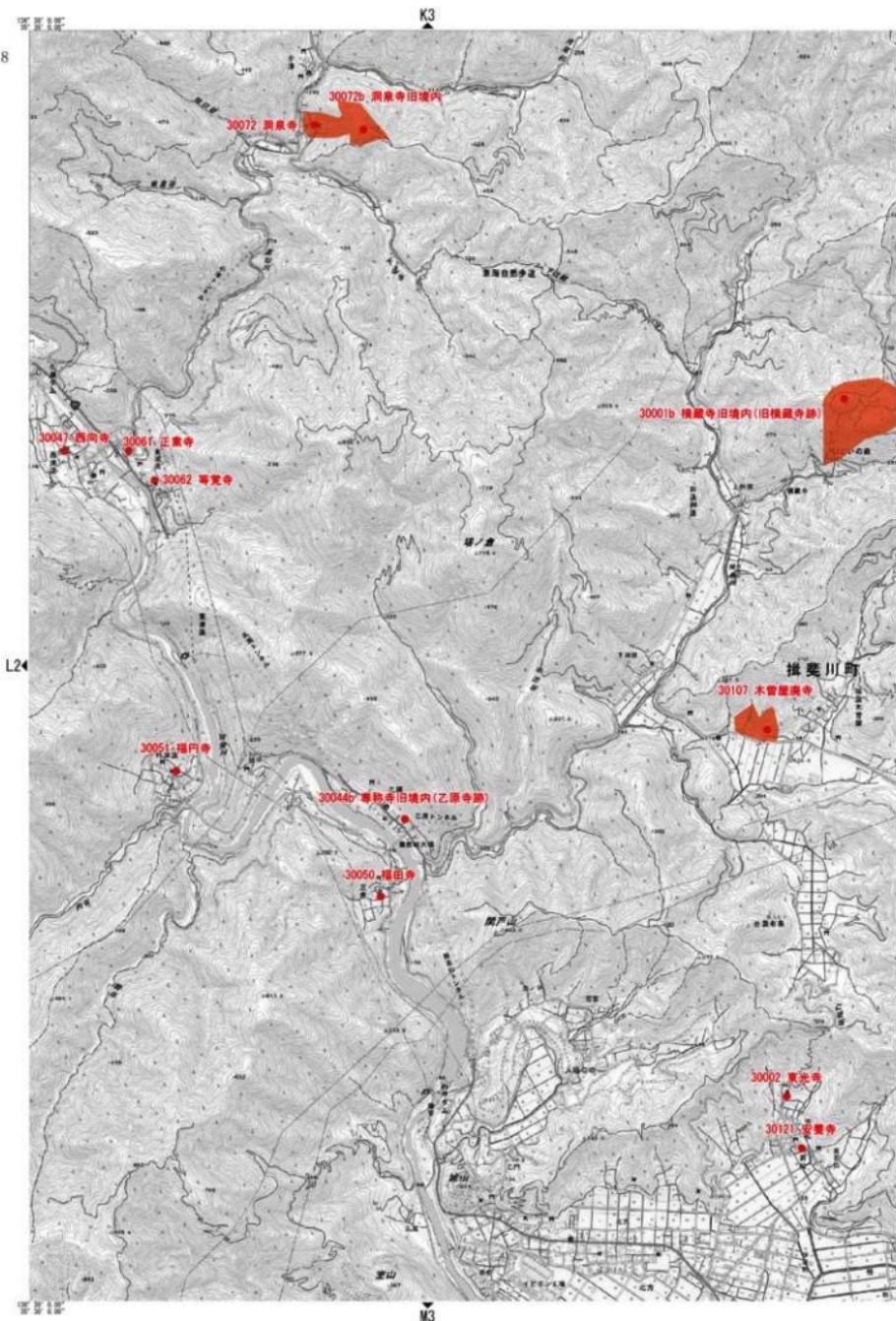
- 07021 長慶寺
- 07055 善門寺
- 07056 大圓寺
- 07073 海の宮

山県市

- 15019 正福寺
- 15064 鏡音寺

K6

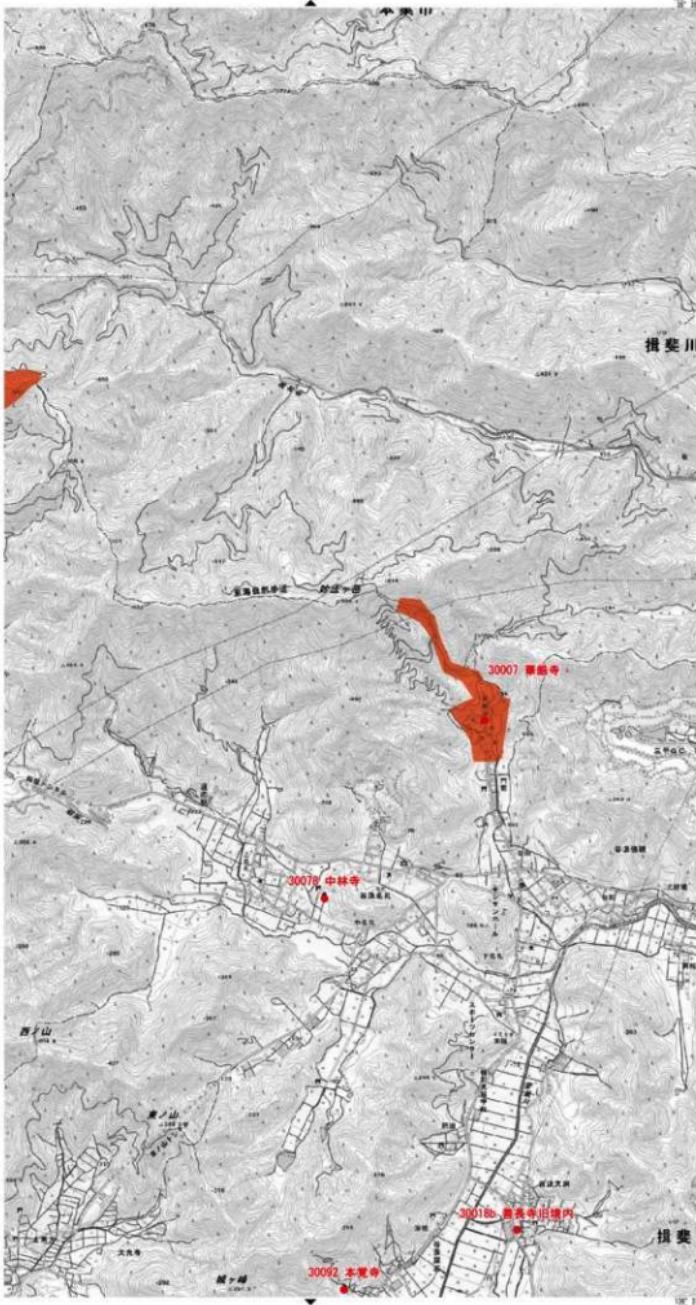
J4 下大須	J5 上ヶ瀬	J6 茅上八幡
K4 谷合	K5 洞戸	K6 莉安
L4 美濃神海	L5 岩佐	L6 美濃



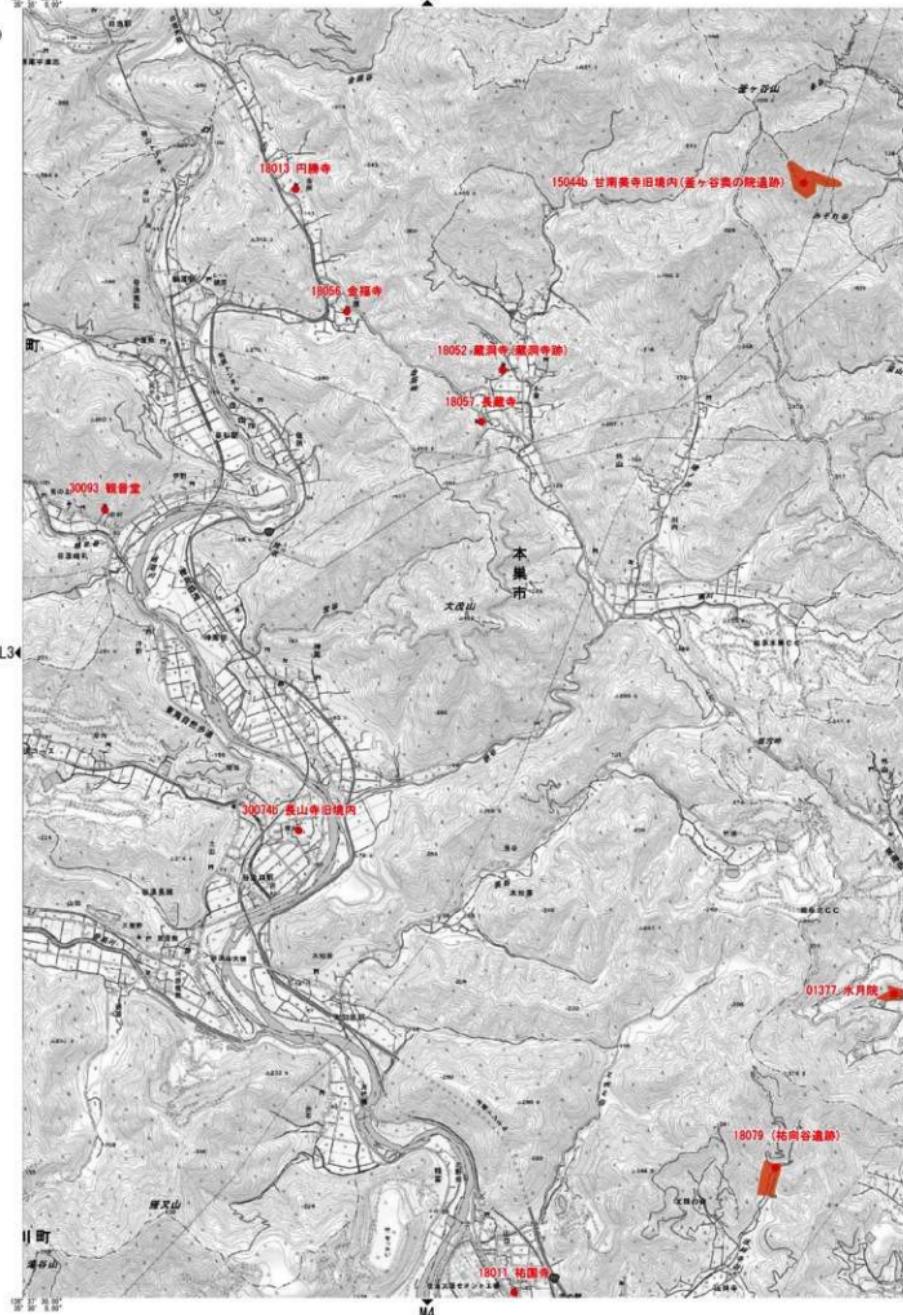
L3 谷汲

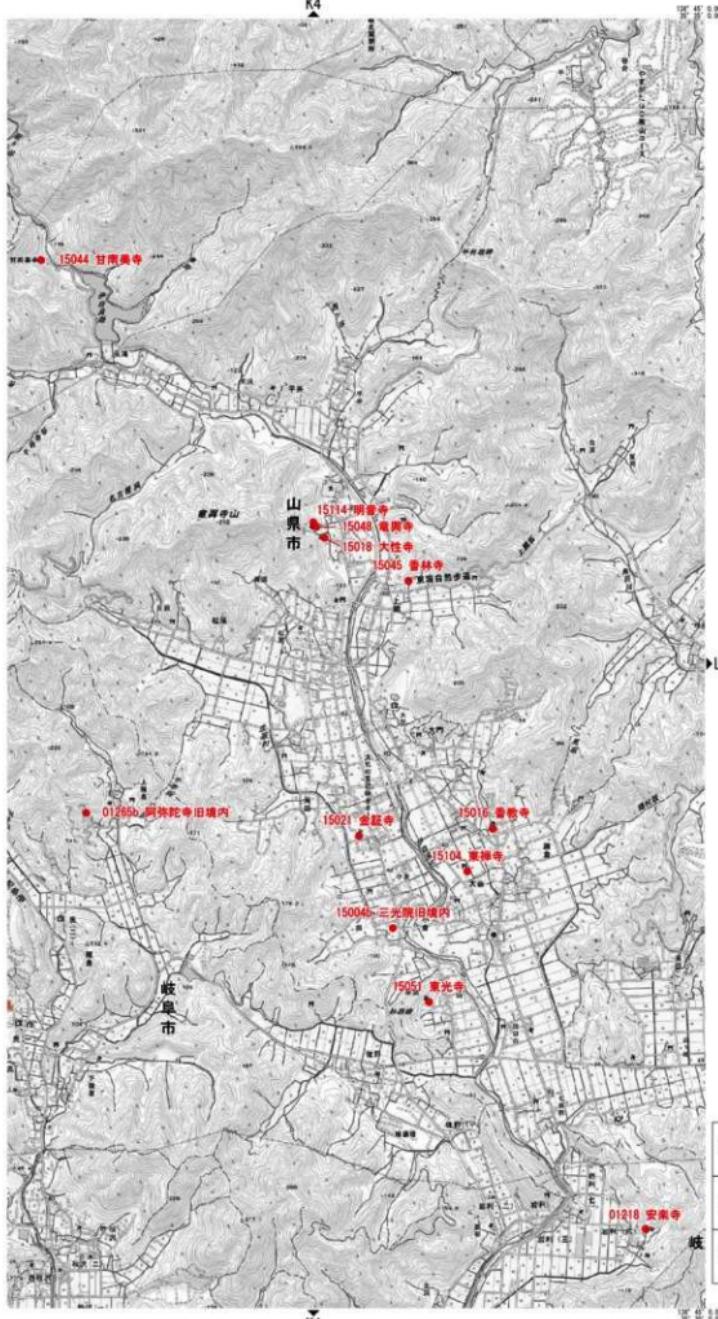
揖斐川町

- 30001b 横蔵寺旧境内(旧横蔵寺跡)
 30002 東光寺
 30007 菩薩寺
 3001fb 香長寺旧境内
 30044b 専利寺旧境内(乙西寺跡)
 30047 西向寺
 30050 福田寺
 30051 福円寺
 30061 正業寺
 30062 等寛寺
 30072 清泉寺
 30072b 清泉寺旧境内
 30078 中林寺
 30092 本覚寺
 30107 木曾屋鹿寺
 30121 安養寺



K2 美濃広瀬	K3 榛見	K4 谷合
L2 横山	L3 谷汲	L4 美濃神海
M2 美東	M3 池野	M4 北方





岐阜市

01218 安樂寺
01265 阿院院寺旧境内
01377 水月院

山県市

15046 三光院旧境内
15016 香教寺
15018 大性寺
15021 宝莊寺
15044 甘南美寺
15046 甘南美寺旧境内
(菩ヶ丘系の附道跡)
15045 香林寺
15048 露源寺
15051 東光寺
15104 夏禪寺
15114 明香寺

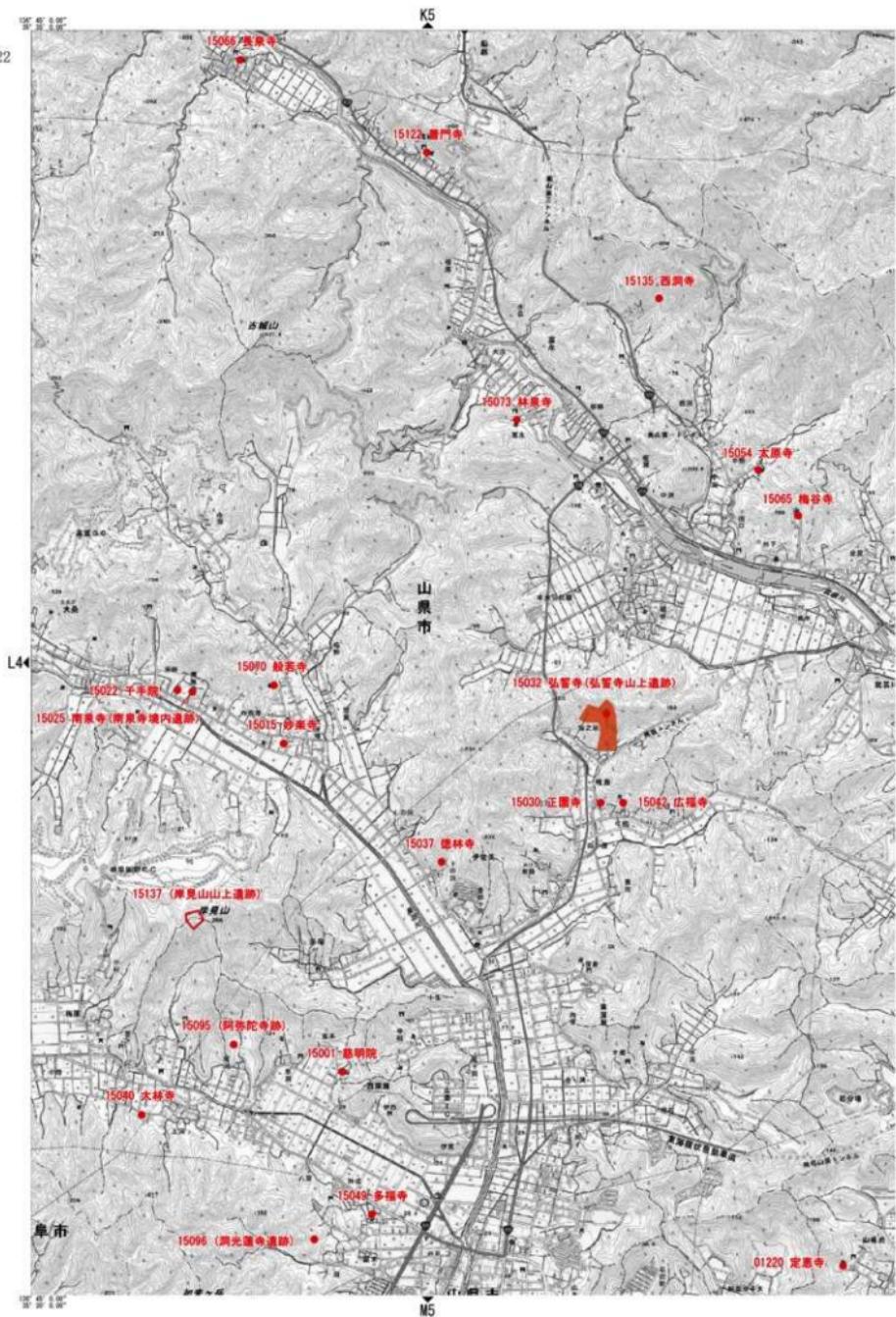
本郷市

18011 寶國寺
18013 円勝寺
18052 霊洞寺 (靈洞寺跡)
18056 金福寺
18057 正藏寺
18079 (祐谷谷通路)

揖斐川町

300746 長山寺旧境内
30093 稲音堂

K3 樹見	K4 谷合	K5 洞戸
L3 谷汲	L4 美濃神海	L5 岩佐
M3 池野	M4 北方	M5 岐阜北部



啟皇市

- 01009 真長寺
01051 淨智寺
01072 正蓮寺
01146b 丸山寺旧境内
01199 大智寺
01220 定恩寺

閩市

- 05050 福壽寺
 - 05066 龍泉院
 - 05068 恵利寺
 - 05069 賴德寺
 - 05070 永林寺
 - 05071 法泉寺
 - 05072b 汐福寺旧境内
 - 05073 瑞安寺
 - 05075 龍福寺
 - 05076b 長春寺旧境内
 - 05077 松見寺
 - 05179 大聖寺
 - 05180 宝珠寺
 - 05181 (仮)香積寺萬壽寺跡
 - 05183 阿陀院寺

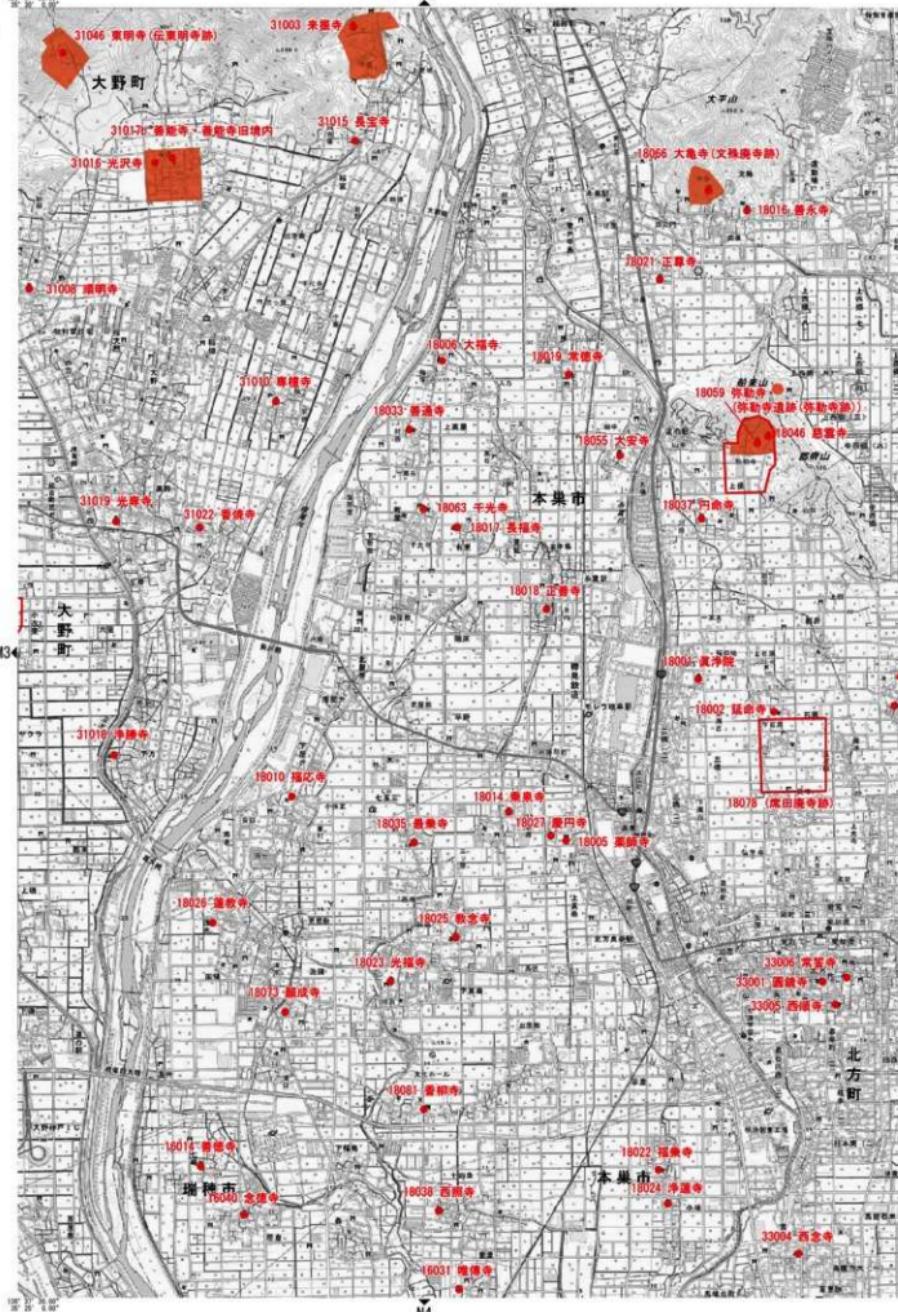
美濃市

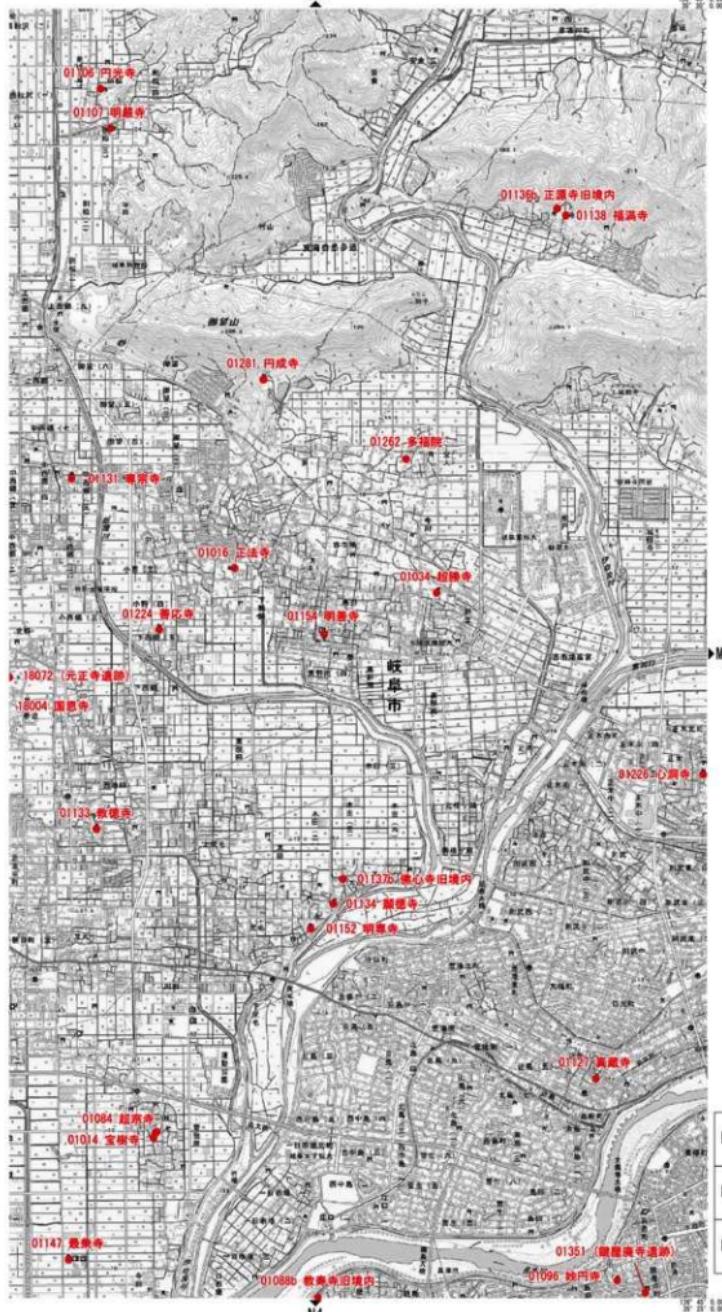
- 07011 菩源寺
07029 道樹寺
07033 順心寺
07060 指定寺

山県市

- 15001 智明院
15015 妙樂寺
15022 千手院
15025 南泉寺（南泉寺境内遺跡）
15030 正圓寺
15030 弘智院（弘智院山上遺跡）
15037 慶林寺
15040 大林寺
15042 広福寺
15049 多福寺
15054 太原寺
15065 梅谷寺
15066 長泉寺
15070 般若寺
15073 林泉寺
15095（阿彌陀寺跡）
15096（圓融寺遺跡）
15122 善門寺
15135 西洞院
15137（圓覺院山上遺跡）

K4 谷合	K5 洞戸	K6 莉安
L4 美濃神海	L5 岩佐	L6 美濃
M4 北方	M5 岐阜北部	M6 美濃関





M4 北方

岐阜市	大野町
0314 実宝寺	31003 美濃寺
0316 正徳寺	31008 鶴巣寺
0334 駿府寺	31010 駿府寺
0384 駿府寺	31015 駿府寺
0389 駿府寺内	31016 光宗寺
0396 勝持寺	31017b 勝持寺内道
0106 元光寺	31018 頂澤寺
0117 明徳寺	31019 光徳寺
0127 真雲寺	31022 香華寺
0131 菩提寺	31046 真雲寺
0133 救世寺	(佐藤明信譲)
0134 駿府寺	北方町
0136 正徳寺内道	33001 圓圓寺
0137 心印山徳内	33004 西秀寺
0138 駿府寺	33005 西空寺
0147 駿府寺	33006 駿賀寺
0152 初音寺	
0154 明辨寺	
0124 善光寺	
0125 心印寺	
0262 多聞院	
0281 元光寺	
0351 駿府寺道	

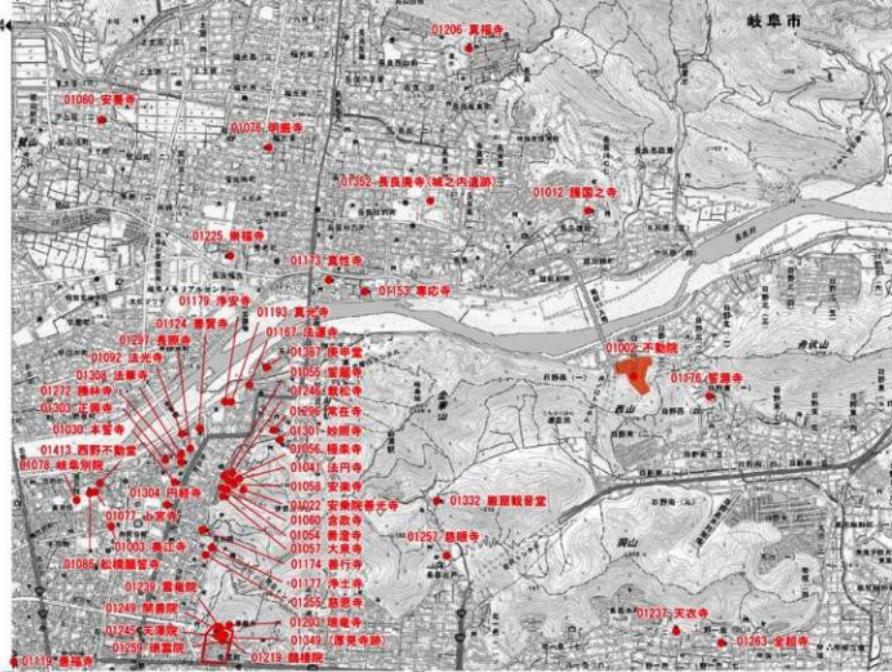
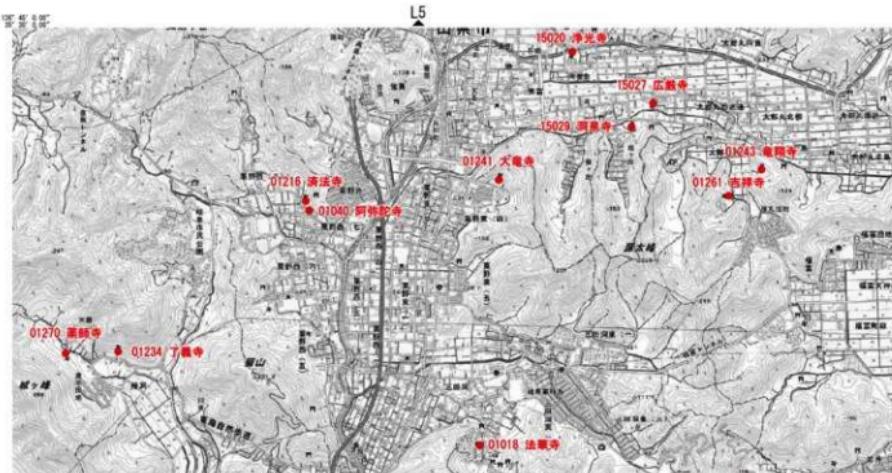
瑞穗市

16014

本卷市

18001 夏序既
18002 豐序命
18004 順志令
18005 露頭令
18006 大福令
18010 福忍令
18014 乘東令
18016 嘉永令
18017 亂福令
18018 正喜令
18019 宗惟令
18021 正尊令
18022 種樂令
18023 光福令
18024 洋運令
18025 敬念令
18026 運勝令
18027 廣円令
18033 遊通令
18035 鑿榮令
18037 合由令
18038 西照令
18046 慶豐令
18055 大安令
18059 伊勤令(伊勤萬羅令・伊勤那吉令)
18063 千光令
18066 大鳴令(文殊萬壽令部)
18072 玄王正源令
18077 願成令
18078 雅臣善長令
18091 義輝令

L3 谷汲	L4 美濃神海	L5 岩佐
M3 池野	M4 北方	M5 岐阜北部
N3 大垣	N4 岐阜西部	N5 岐阜



M5 岐阜北部 127

127

岐皋市

- | | |
|------------------|---------------|
| 0102 不動院 | 01341 大藏寺 |
| 0103 長江寺 | 01342 龍藏院 |
| 0104 謹慶寺 | 01345 天藏院 |
| 0105 仁王寺(寺内)付近内 | 01346 善藏院 |
| 0106 法華寺 | 01349 開福院 |
| 0107 安樂院(善光寺北) | 01355 慶應寺 |
| 0108 合香寺 | 01357 足利院 |
| 0109 鎌倉宮 | 01359 鎌倉院 |
| 0110 鎌倉城 | 01361 吉良院 |
| 0111 鎌倉宮(寺内)付近内 | 01363 全聖寺 |
| 0112 長政寺 | 01366 黑雲寺 |
| 0100 本誓寺 | 01370 墓惠寺 |
| 0104 阿彌陀寺 | 01372 淳祐寺 |
| 0104 通円寺 | 01394 寛在寺 |
| 0104 通慶寺 | 01397 長興寺 |
| 0105 宮澤寺 | 01399 神妙寺 |
| 0104 俗稱寺 | 01403 正藏寺 |
| 0107 大慶寺 | 01304 道元寺 |
| 0106 安樂院 | 01308 道宣寺 |
| 0106 合掌寺 | 01322 道圓觀音堂 |
| 0103 顯願院 | 01349 [原] 明尊院 |
| 0105 星聚寺 | 01353 長昌寺 |
| 0106 鎌倉殿 | 01355 鎌倉殿 |
| 01060 仁王寺(寺内)付近内 | 01367 萬葉寺 |
| 01071 仙光寺 | 01405 菩薩門院 |
| 01076 明應院 | 01413 西野不動院 |
| 01077 上安寺 | |

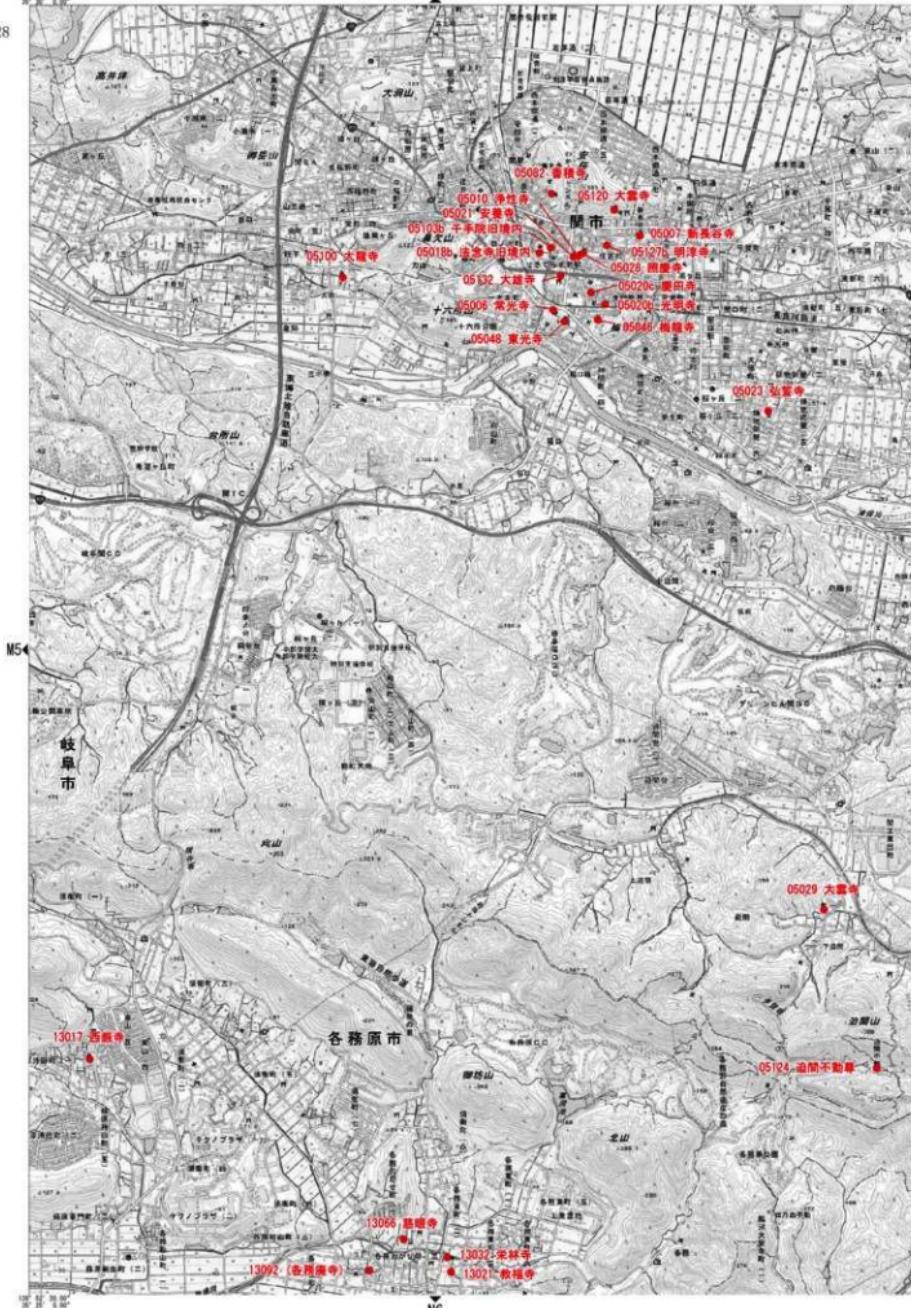
閩市

- 55009 蓬萊寺
 55016 福壽寺
 55041 遠東寺
 55043 金福寺
 55043b 金福寺(境內)
 55045 錦燈寺
 55062 東源寺
 55126 桂林寺

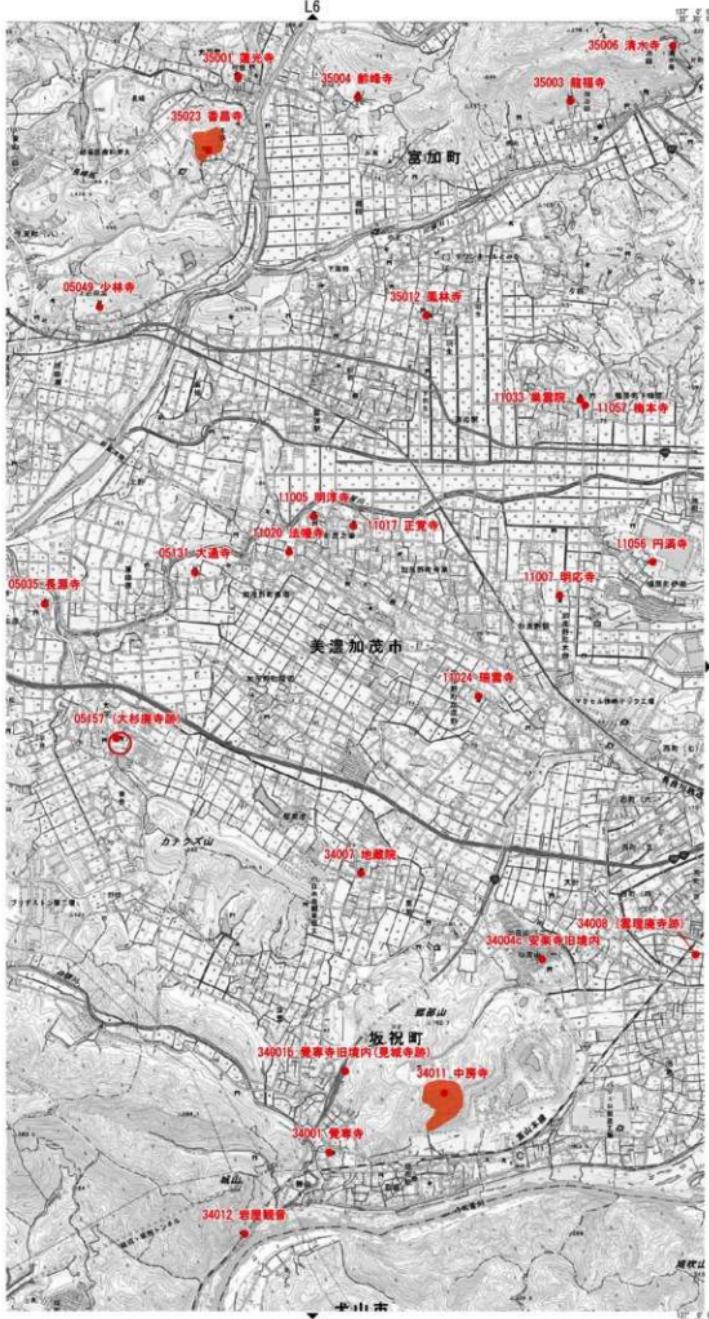
山縣市

- 15020 浄光寺
15027 広福寺
15029 圓融寺

L4 美濃神海	L5 岩佐	L6 美濃
M4 北方	M5 岐阜北部	M6 美濃閬
N4 岐阜西部	N5 岐阜	N6 犬山



M6 美濃関



關市

- 05001 実光寺
- 05002 新昌寺
- 05010 生性寺
- 05019 法光寺旧境内
- 05020c 幸平寺
- 05020c 麗香寺
- 05021 安樂寺
- 05023 雪雲寺
- 05028 大雲寺
- 05035 萬壽寺
- 05046 風林寺
- 05048 実光寺
- 05049 少林寺
- 05052 香樹寺
- 05102 大龍寺
- 05103 千手院寺内
- 05120 大靈寺
- 05124 三間不動尊
- 05175 朝清寺
- 05131 大通寺
- 05132 大龍寺
- 05151 (大妙圓寺跡)

美濃加茂市

- 11005 萬壽寺
- 11007 大応寺
- 11012 三愛寺
- 11020 法燈寺
- 11024 安樂寺
- 11033 瑞應院
- 11056 白雲寺
- 11062 白雲寺
- 11092 梅本寺

M7 各務原市

- 13017 萬壽寺
- 13021 敦福寺
- 13023 安樂寺
- 13064 龍福寺
- 13092 (名興寺跡)

坂祝町

- 34001 萬寿寺
- 340015 萬壽寺旧境内(見城寺跡)
- 34004c 安樂寺旧境内
- 34007 道場院
- 34009 (萬應院寺跡)
- 34011 興善寺
- 34012 瑞應觀音

富加町

- 35001 霊光寺
- 35002 龍福寺
- 35004 鶴峰寺
- 35006 清水寺
- 35012 少林寺
- 35023 香樹寺

L5	L6	L7
岐阜北部	M6 美濃関	N7 美濃加茂
N5 岐阜	N6 犬山	N7 小泉

100

A

10

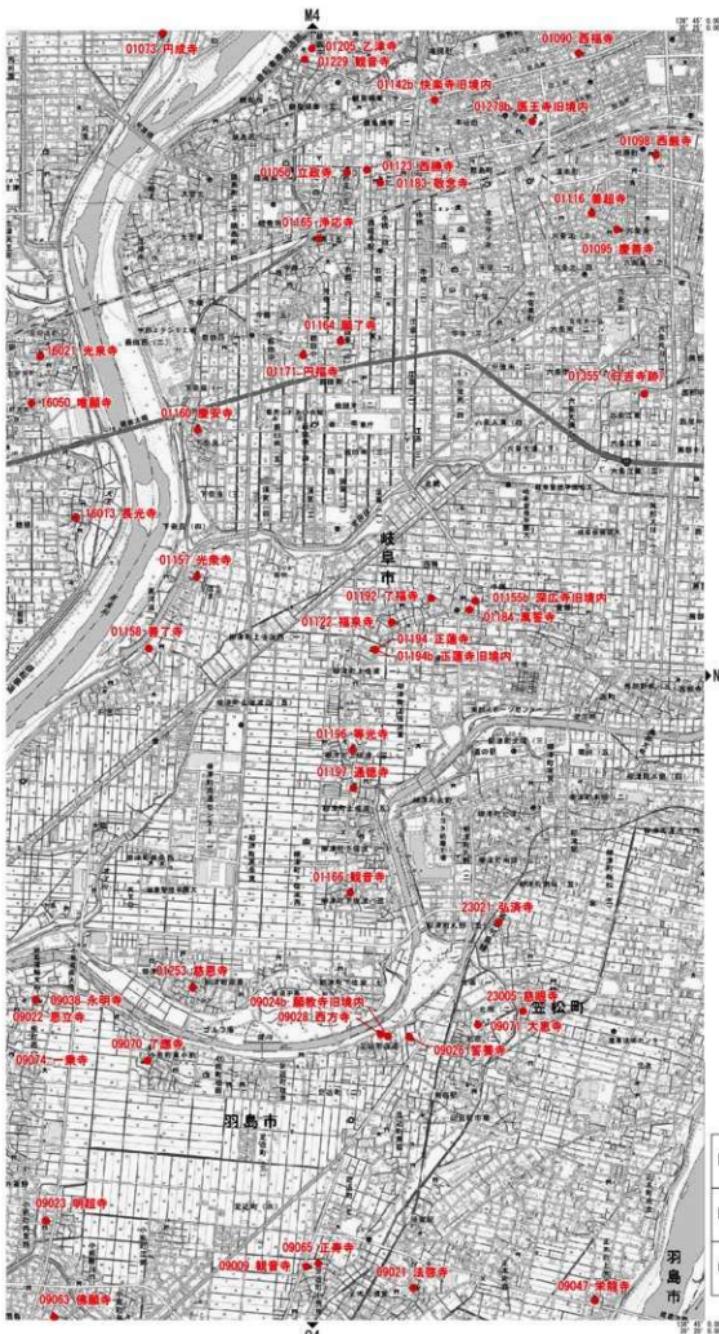
北方町

16018 超智寺

- This map displays the locations of numerous historical Buddhist temples (red dots) across the northern part of the Kita-ku area in Nagoya, Japan. The temples are labeled with their names in red text. The map also shows the city's street grid, major roads, and some geographical features like rivers. A prominent diagonal line cuts across the map from the bottom left towards the top right.

Key labels visible on the map include:

 - 大野町 (Oguchi)
 - 瑞穂市 (Sera City)
 - 大堀市 (Oobori City)
 - 安八町 (Anpo-chō)
 - 伊久味河原跡 (Ikuwa Riverbank Site)
 - 27015 菩提寺 (27015 Bodaiji)
 - 27022 廣田寺 (27022 Kōtokuji)
 - 27019 玉符寺 (27019 Tamagataji)
 - 27012 戴東寺 (27012 Daidōji)
 - 16034 相応寺 (16034 Sōyōji)
 - 16005 千手院 (16005 Chitoin)
 - 16038 丹慶寺 (16038 Tankeiji)
 - 16025 順光寺 (16025 Junkōji)
 - 16055 龍法寺 (16055 Ryōfaji)
 - 16047 開福寺 (16047 Kōfukuji)
 - 16046 通玄寺 (16046 Tsūgenji)
 - 16048 通玄寺 (16048 Tsūgenji)
 - 16001 千手院 (16001 Chitoin)
 - 16017 内應寺旧境内 (16017 Naiōji old site)
 - 16022 善照寺 (16022 Zenjōji)
 - 16019 超善寺 (16019 Chōzenji)
 - 16003 實精寺舊堂宇 (16003 Shiseiji old hall)
 - 16001 千手院 (16001 Chitoin)
 - 16036 佐々木蓮華 (16036 Sasaki Renge)
 - 16037 佐々木蓮華 (16037 Sasaki Renge)
 - 16035 通源寺 (16035 Tsūgenji)
 - 16041 普照寺 (16041 Pujuji)
 - 02060 安正寺 (02060 Anjōji)
 - 02187 佛顯寺 (02187 Fukkyōji)
 - 02194 黑教寺 (02194 Kurokyōji)
 - 02190 丁寧寺 (02190 Jōnōji)
 - 02053 林聖寺 (02053 Rinsōji)
 - 02146 通智寺 (02146 Tsūchiji)
 - 02194a 善教寺 (02194a Zenkyōji)
 - 02115 正果寺 (02115 Shōkōji)
 - 02195 西生寺 (02195 Saishōji)
 - 02076 通惠寺 (02076 Tsūhōji)
 - 02056 通淨寺 (02056 Tsūjōji)
 - 02238 菩提寺 (02238 Bodaiji)
 - 02051 菩提寺 (02051 Bodaiji)
 - 02075 振興寺 (02075 Shinshōji)
 - 02131 龍成寺 (02131 Ryōjōji)
 - 29003 龍成寺 (29003 Ryōjōji)
 - 29021 新聖觀音堂旧境内 (29021 Shinshōguanintō old site)
 - 29009 愛德寺 (29009 Aidōji)
 - 29005 通德寺 (29005 Tsūtokuji)
 - 29011 浄満寺 (29011 Jōmōji)
 - 29010 淨満寺 (29010 Jōmōji)
 - 29014 敦源寺 (29014 Jōnenji)
 - 29015 先聖寺 (29015 Senshōji)
 - 02158 本正舟 (02158 Honchōshū)
 - 02157 漢傳寺 (02157 Kōdenji)
 - 02043 明台寺 (02043 Myōtaiji)
 - 02112 広應寺 (02112 Kōeiji)
 - 02174 蓮泉寺 (02174 Renjinji)



八

四庫全書

- | 卷之三 | 子言之三 |
|----------------|---------------|
| 0150 立成寺 | 0509 聰善寺 |
| 0173 云成寺 | 0621 法游寺 |
| 0190 西福寺 | 0622 惠立寺 |
| 0195 廪善寺 | 0623 明超寺 |
| 0196 舜慈寺 | 0624 駿教寺(即境内) |
| 0116 舜超寺 | 0625 聰聖寺 |
| 0122 龍泉寺 | 0626 西方寺 |
| 0123 西隱寺 | 0634 未明寺 |
| 0142b 快美寺(即境内) | 0647 文超寺 |
| 0150 誓願寺(即境内) | 0663 駿福寺 |
| 0157 光慶寺 | 0665 正善寺 |
| 0158 昇了寺 | 0670 興善寺 |
| 0160 墾安寺 | 0671 大通寺 |
| 0164 升了寺 | 0674 大乘寺 |

编辑式

- 01003b 黃江寺旧境内
- 16001 千手院
- 16002 法王院
- 16003 寶勝寺修學院
- 16005 千尋寺
- 16010 大日院輝光寺
- 16012 慈惠寺
- 16013 長光寺
- 16016 清明寺
- 16017b 円融寺旧境内
- 16018 超智寺
- 16019b 震勝寺旧境内

大恒立

- | | |
|--------------|------------|
| 八重町 | |
| 02643 朝日店 | 16223 西端町 |
| 02651 真理店 | 16225 鹿嶋町 |
| 02653 林商店 | 16226 吉井町 |
| 02656 浩洋店 | 16234 鶴見町 |
| 02659 光洋店 | 16235 鶴見町 |
| 02676 菊屋辻商店 | 16238 菊屋町 |
| 02676 菊屋辻店舗内 | |
| 02676 菊屋辻店舗内 | 16237 菊屋町 |
| 02682 真理町 | 16241 竜ヶ崎町 |
| 02690 寛美店 | 16243 当麻町 |
| 02709 丁子町 | 16245 道達町 |
| 02712 庄内町 | 16247 関根町 |
| 02719 正門町 | 16250 鶴巻町 |
| 02731 連雀町 | 16255 鷺沼町 |
| 02746 通町 | |
| 02757 関根町 | 笠松町 |
| 02760 本町 | 23001 笠松町 |
| 02774 連雀町 | 23021 連雀町 |
| 02787 鶴巻町 | |
| 02790 鶴巻町 | 神戸町 |
| 02794 連雀町 | 27015 鶴巻町 |
| 02796 鶴巻町 | 27019 正門町 |
| 02797 西二町 | 27022 鶴巻町 |
| 02805 西二町 | 中川町 |

笔松居

江戸川区
23005 篠崎町
23021 弘明寺
神戸町
27015 審憲寺
27019 正行寺
27022 鹿内寺
安八町
29002 正明寺
29003 宽成寺
29005 慶徳寺
29009 安憲寺
29010 浄満寺
29011 斎藤寺
29014 教説寺
29015 天福寺
29021 町屋報喜堂
29027 伊久良河原宣室
29019 藤原寺

中西对照

27015 雷門寺
27016 正行寺

2002

安八町
29002 正明寺
29001 審成内

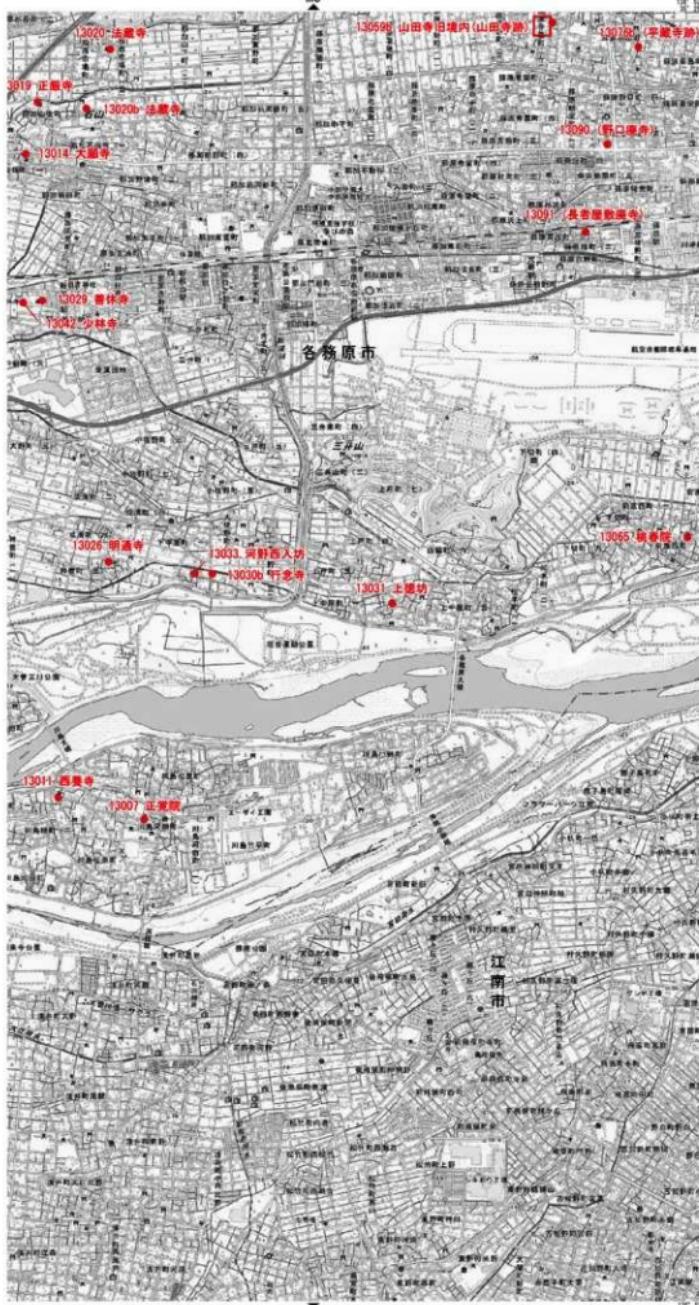
29005

29009 史德寺
29010 廟漢寺
29011 寺流寺

M3 池野	M4 北方	M5 岐阜北部
N3 大垣	N4 岐阜西部	N5 岐阜
03 養老	04 竹鼻	

This map displays the locations of numerous temples across Gifu City and its surrounding districts. The temples are marked with red dots and labeled with their names in red text. The districts shown include Gifu City, Iitamatsuji, and Ichinomiya City. The temples are categorized by color: red, green, blue, and yellow. A legend at the top left indicates the meaning of each color. The map also shows the city's street grid, major roads, and geographical features like the Gose River.

- Red temples (West Gifu area):
 - 01880 西豊寺
 - 01118 田邊寺
 - 01356 大宝院弁道跡
 - 01252 天童寺
 - 01033 西方寺
 - 01280 久遠寺
 - 01019 霞明院
 - 01098 西巣山山頂内
 - 01235 慶應寺
 - 01031 法華寺
 - 01162 福音寺
 - 0145b 正福寺旧境内(正法寺跡)
 - 01085 廣勝寺
 - 22001 廣光寺
 - 22004 才源寺(才源寺・門跡)
 - 22005 安淨寺
 - 22007 如意寺
 - 22002 正興寺
 - 22015 圓鏡寺
 - 23016 五分寺聖教跡
 - 23008 尊雲寺
 - 23011 円城寺
 - 23012 経安寺
 - 23016 光揚寺
 - 01353 (成就院跡)
 - 01364 神應寺
 - 23008 了達寺
 - 23028 蓬台寺(東流)南寺跡
- Green temples (Gifu City area):
 - 01185 正壽寺
 - 01161 上宮寺
 - 01112 真照寺
 - 01124b 聖覺寺旧境内
 - 23027 木澤聖庵跡
- Blue temples (Iitamatsuji area):
 - 22006 淨福寺
- Yellow temples (Ichinomiya City area):
 - 22003 如意寺



岐阜市

- 0101 道昭院
- 0103 本方寺
- 0102 法源寺
- 0105 德舟寺
- 0109b 西藏寺旧境内
- 01112 本乐寺
- 01113 本乐寺
- 0121 佛乘寺
- 211456 正覚院旧境内(正法寺跡)
- 0116 上宝寺
- 0116 藏宝寺
- 01180 宝寔寺
- 01185 宝藏寺
- 0123 宝徳寺
- 0124 大宝寺
- 0129 久瀬寺
- 0390 (大藏院中道跡)
- 0353 (武藏院跡)
- 0364 清淨寺

各務原市

- 13007 正覚院
- 13011 善林寺
- 13014 正慶寺
- 13019 西隱寺
- 13020 少林寺
- 13029 法藏寺
- 13033 河野西入坊
- 13031 上原坊
- 13036 仁多寺
- 13042 少林寺
- 130598 山田寺旧境内(山田寺跡)
- 13065 梅香院
- 13076 (平藏寺跡)
- 13091 (野寺跡)
- 1309 (長者屋敷跡)

→ N6

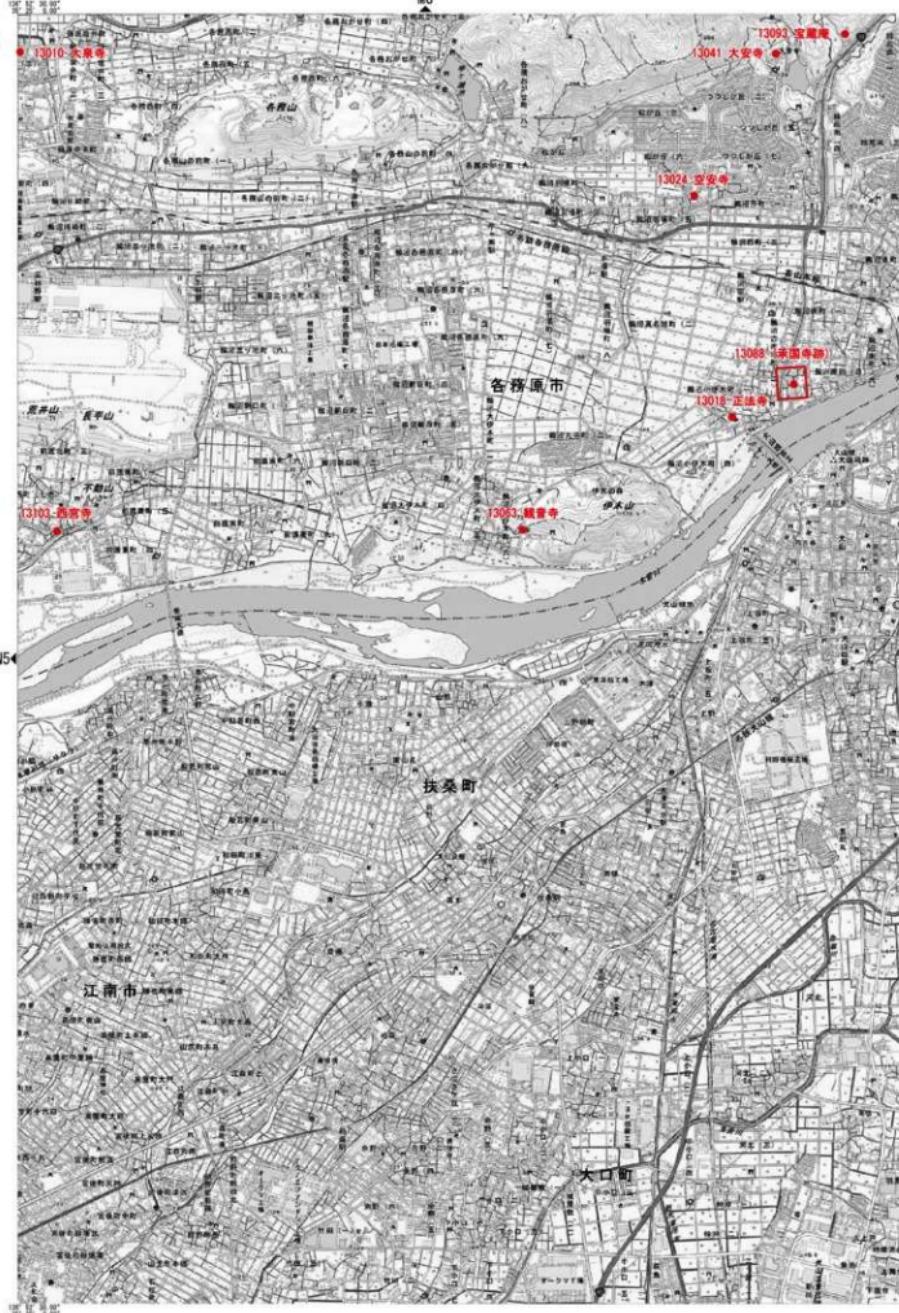
岐南町

- 21124b 善林寺旧境内
- 22001 善光寺
- 22000 善正寺
- 22003 安淨寺
- 22004 法善寺
- 22005 佛縛寺
- 22027 本樂寺
- 23041 本當寺 (才萬寺・門跡)
- 23042 五ヶ寺尼姑跡

笠松町

- 23008 善光寺
- 23009 了達寺
- 23011 本城寺
- 23012 本名寺
- 23016 光禪寺
- 23018 福嚴寺
- 23027 (木造庵跡)
- 23025 鹿台寺 (聚光院) 梵寺跡

M4 北方	N5 岐阜北部	M6 美濃側
N4 岐阜西部	N5 岐阜	N6 犬山
04 竹鼻		



14021 真福寺

N6 犬山

各務原市

- 13010 大泉寺
- 13018 正法寺
- 13024 宝安寺
- 13041 大安寺
- 13063 観音寺
- 13088 (承因寺跡)
- 13093 宝嚴庵
- 13103 西宮寺

可児市

- 14021 真福寺

N7

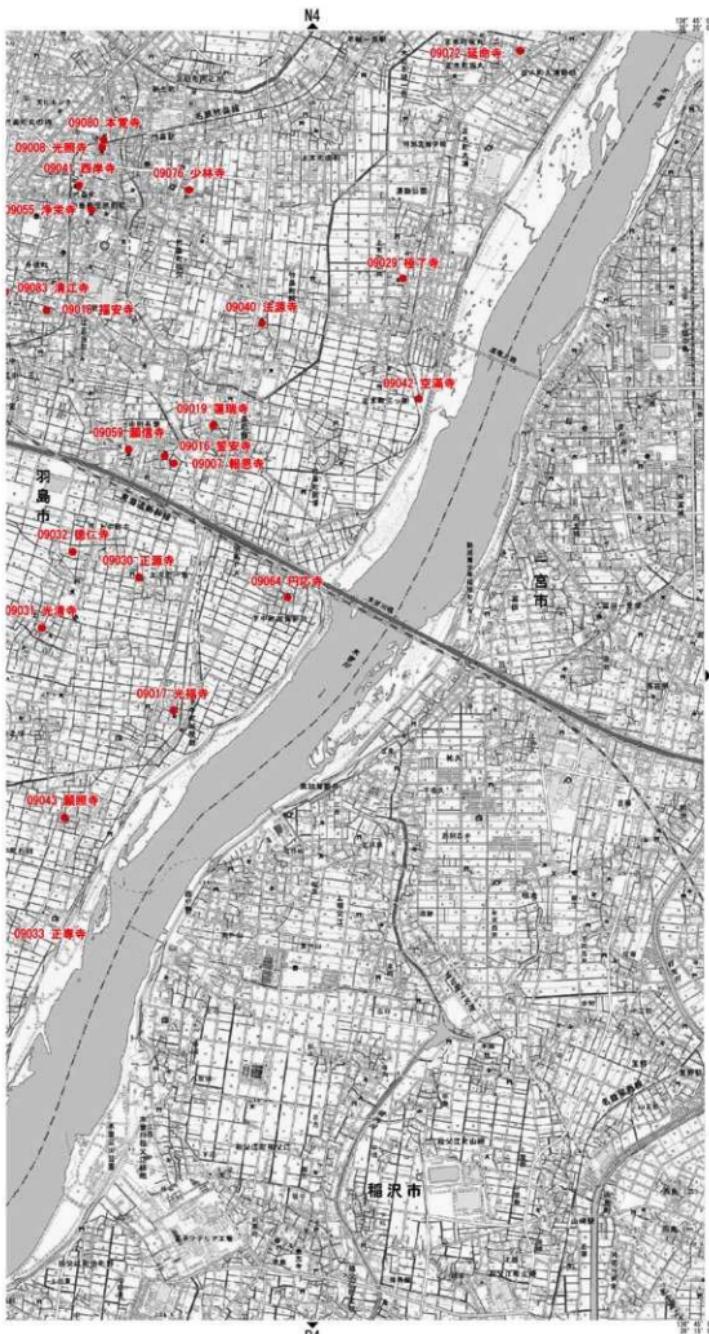
N5 岐阜北部	M6 美濃關	N7 美濃加茂
N5 岐阜	N6 犬山	N7 小泉
		07 高麗寺

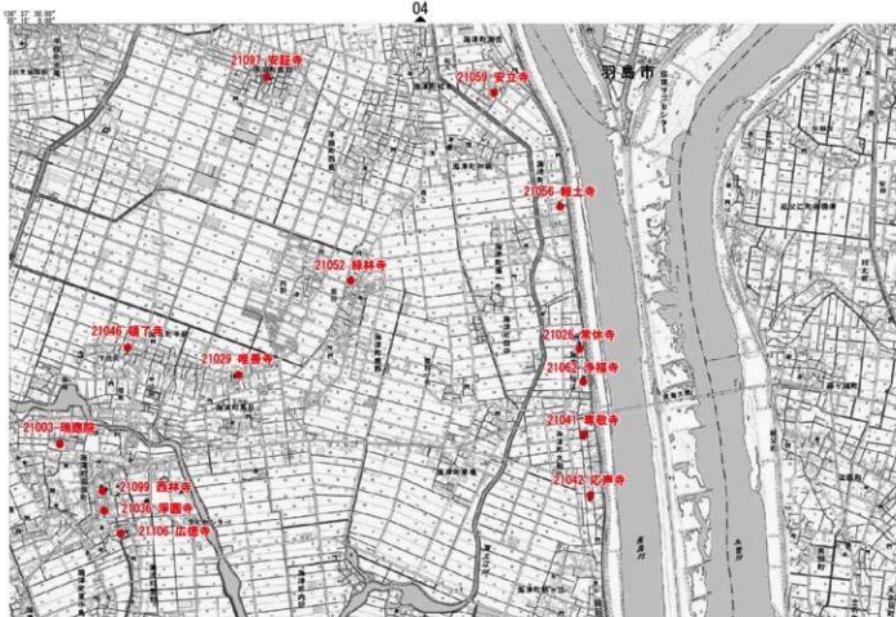


This map displays the locations of numerous temples across several districts in Gionji. Key labels include:

- 大垣市 (Ogaki City)
- 安八町 (Yanbachō)
- 輪之内町 (Wainichō)
- 海津市 (Kaizuka City)
- 29012 通住寺
- 29004 円長寺
- 28016 王福寺
- 28022 雅徳寺
- 28024 益法寺
- 28011 浄光寺
- 28021 本願寺
- 28025 受法寺
- 28029 鹤正寺
- 28012 田東寺
- 28005 善明寺
- 21085 円鏡寺
- 21087 菩提寺
- 21081 西園寺
- 21080 正休寺
- 21079 万寿寺
- 21076 趣園寺
- 21091 蓮休寺
- 21078 極善寺
- 21069 妙勝寺
- 21077 妙覺寺
- 21094 承徳寺
- 29013 通鑑寺
- 29000 寂雲寺
- 29017 長久寺
- 09062 水面寺
- 010862 菩薩寺旧境内
- 09068 廣西寺
- 09109 (吉良神宮道跡)
- 09048 伝説寺
- 09027 正明寺
- 09061 善教寺
- 09073 金寶寺
- 09053 极徳寺
- 09052 真福寺

04 竹鼻







P4 津島

海津市

- 21003 球磨院
- 21022 宮嶋寺
- 21023 実通寺
- 21026 常休寺
- 21029 唯善寺
- 21036 泽國寺
- 21038 覧念寺
- 21039 賀得寺
- 21041 菩敬寺
- 21042 忍芦寺
- 21046 積了寺
- 21052 鹿林寺
- 21056 輓土寺
- 21057 菩賢寺
- 21059 安立寺
- 21061 龍船寺
- 21062 淨福寺
- 21065 鶴壽寺
- 21087 中鳥寺
- 21097 安延寺
- 21099 西林寺
- 21106 広徳寺

03 養老	04 竹鼻	05 一宮
P3 駒野	P4 津島	
Q3 阿下喜	Q4 弥富	

第5節 岐阜圏域のまとめ

本節では、岐阜圏域の寺院数を旧郡単位で集計し、時代・時期ごとの成立数や立地を検討した上で、古代と中世の寺院について整理する。

1 概要

(1) 岐阜圏域の旧郡

岐阜圏域は、延喜式における大野郡の一部・本巣郡・席田郡・方県郡・山県郡・武儀郡の一部・厚見郡・各務郡と尾張国羽栗郡の一部（現在の羽島市）及び中島郡が含まれ¹⁾、本節では、これらの旧郡とともに寺院（以下、寺院跡を含む。）の分布等を検討する。なお、近世以前の詳細な郡域は明らかではないため、戦前に作成された五万分の一地形図や『改正美濃国明細全図』（明治17年作成、岐阜県図書館蔵）を参照した。

(2) 寺院数（表71）

954か寺を対象として調査した結果、古代成立寺院111か寺、中世成立寺院419か寺、合計530か寺を確認した²⁾。奈良時代以前には、席田郡、厚見郡、各務郡など岐阜圏域でも南部の東山道沿い、根尾川沿い、美濃国と尾張国の境い（旧木曽川沿い）、各務原台地上で寺院の成立が目立ち、平安時代になると山県郡、中島郡など広い範囲で成立されるようになる。一方、中世には寺院数がかなり増え、特に厚見郡の稻葉山周辺や、羽栗郡などの平野部で多く成立されている。なお、古代から中世を通して、東山道や川渓が所在する厚見郡と羽栗郡において寺院の成立が多く、これらの地域では中世に引き続き近世に成立する寺院も多い。

(3) 時期毎の成立時期等の検討（表72）

ここでは、市町村史等の文献に成立年代等の記載がある寺院を選択し、成立、移転、転宗、廃絶等を50年単位で集計し、寺院の消長やその関連性を検討する³⁾。なお、詳細な時期比定は、本来ならば発掘調査等によって明らかとなつた年代観で検討すべきであるが、現状では寺院の発掘調査等がほとんど進んでおらず、ここでは寺社縁起を含めた文献における記載を参考に検討した。しかし、その取扱いについては十分に考慮すべきである。

①成立時期の記録

寺院の成立記録は、7世紀後半から9世紀前半までは一定数認められるが、10世紀から12世紀前半まではやや少なく、特に11世紀後半から12世紀前半までは少ない。しかし、12世紀後半以降は成立数が一定数認められ、15世紀後半になると飛躍的に数が多くなり、それ以後17世紀後半まで多い状態が続いている。

②転宗時期の記録

寺院の転宗記録は、12世紀後半までは少なく、13世紀前半以降と15世紀後半に一定数あり、16世紀以降に多くなる。この15世紀後半の37か寺の転宗の内訳は、浄土真宗への転宗35か寺、臨済宗への転宗2か寺であり、浄土真宗への転宗は、そのほとんどが天台宗からの転宗である。このような浄土真宗への転宗の記録は、本願寺8世蓮如が浄土真宗の美濃への布教を15世紀中頃以降に行ったことの影響とされている（岐阜県2002）ことと矛盾しない。また、前述したように、寺院の成立数は15世紀

後半に多くなり、その大半の宗派が浄土真宗であることとも合致している。なお、16世紀前半以降は転宗した寺院数がやや少なくなり、浄土宗や曹洞宗への転宗寺院も散見される。

③移転・廃絶時期の記録

寺院の移転の記録⁴は、主に12世紀後半から散見でき、15世紀後半に数が増え、16世紀後半から17世紀後半までが最も多い。一方、寺院の廃絶の記録は少なもの、16世紀後半には火災（多くは戦火）による廃絶の記録⁴が28か寺で認められ、16世紀後半に移転した寺院が多いことと関連すると考えられる。また、15世紀後半から17世紀後半では寺院の成立数が多いことも加味すると、岐阜圏域では、この頃に寺院の成立・移転が盛んに行われていた可能性が指摘できる。

（4）寺院の立地（表73、図42・43）

ここでは所在地が明らかな寺院について、低地から高地まで分布する寺院の立地を、およそ平地、山麓、山腹・山頂（尾根上）に分けて記載する。

時期別の立地状況を概観すると、7世紀代の瓦が出土している寺院は本巣市の席田廃寺跡・弥勒寺跡、岐阜市の長良廃寺跡・厚見寺跡・山田寺跡・野口廃寺跡など、多くの寺が平地や各務原台地に造営されている。また、10世紀後半までに成立した寺院の8割は平地に造営され、2割は山麓に造営されている。岐阜圏域には岐阜市の金華山（稻葉山）や各務原市の迫間山・権現山など、標高300m前後の山が濃尾平野の北端部に広がり、これらの人里に近い山麓・山腹に12世紀後半以降に寺院が造営され、なかでも室町時代に成立した寺院が多く3割をしめる。岐阜圏域のなかには能郷白山に近い本巣市根尾の願義寺のように、平地寺院とは異なり靈山に近い山麓に造営される寺院、山県郡南泉寺（山県市）のように山中の河岸段丘沿いに造営される寺院もある。中世には平地に造営される寺院が圧倒的に多く7割をしめている。中世段階には古代から存続した寺院もあり、笠松町・羽島市・岐阜市南部に所在する羽島市足近町の西方寺・一乗寺、笠松町の慈眼寺、岐阜市柳津町の光澤寺など国境にまとまって存在した寺院群、街道沿いの拠点や川辺近くの北方町の圓鏡寺、瑞穂市の美江寺（室町時代に斎藤道三が岐阜市へ移転）、岐阜市の護国寺・乙津寺などがある。

以下、立地ごとの詳細について記載する。

①平地に位置する寺院

丘陵・山地裾部と寺城が接していない、氾濫原、河岸段丘、扇状地上などに位置する寺院である。各務原市に所在する山田寺跡（図42-1）を含む古代寺院群は、現在の木曽川よりやや高い標高約40mの各務原台地上に位置しており、古来より東山道等交通の要衝付近にある（岐阜県2002）。また、西方寺や光澤寺等は旧境川によって形成された河岸段丘上に位置し、東西方向の街道（東山道・鎌倉街道）に隣接する国境の寺院群である。

②山麓に位置する寺院

丘陵・山地裾部と寺城が接している寺院であり、丘陵・山地との境付近の地形が谷部や河川沿いの狭小地と見晴らしの良い平地などに分かれ。これらの寺院の多くは、濃尾平野周縁部の山地・丘陵帶の裾部に位置する。本巣市の弥勒寺、岐阜市の真長寺・瑞龍寺・厚見廃寺（図42-2～4）は山地・丘陵帶の山麓に位置する小規模な寺院であり、尾根等に囲まれていてために堂跡（以下、本堂、本堂跡、金堂跡などを「堂跡」と記す。）からの眺望はほとんどない。岐阜圏域の山麓に位置する寺院は、濃尾平野北端部にあたるため集落に近接している。図化した寺の他には岐阜市岩田の林陽寺、各務原市の大安

寺などがある。

③山腹・山頂（尾根上）に位置する寺院

山腹に位置する寺院、山頂や尾根上に位置する寺院に分かれる。岐阜市金華山にある巣窟観音堂（図43-5）や、各務原市の日出不動尊などは濃尾平野を一望できる山腹に位置し、堂跡からの眺望は広かったと考えられる。

岐阜市の城田寺（図43-6）は、城か峰山頂部及び権現山尾根上にあったとされ、尾根上に平坦面が残り、1～2段の石積みが残る。また、山県市赤尾の岸見山山上遺跡は山頂で古墳時代から中世の遺物が採集されているが、山県市の山にはこのような山上遺跡がいくつあるのか詳細は不明である。

2 古代寺院の様相（図44・45）

図44の分布^⑤をみると、飛鳥時代成立の寺院は、東山道や終末期古墳付近に建立されている。平安時代成立寺院では、能郷白山近辺の能郷白山神社神宮寺が挙げられる。また、能郷白山周辺を水源とする根尾川沿いに平安時代の寺院が分布するも岐阜圏域の特徴である。また、分布状況から時代を通して連縦と寺院がつくられる地点（圓鏡寺、瑞穂市の花王院、護国之寺・乙津寺、西方寺・一乗寺などの周辺）があり、これらは、交通の要衝という特質がある。

近年の発掘調査報告書及び詳細分布調査報告書から古代瓦について抜粋すると、本巣郡弥勒寺跡からは四重弧文軒平瓦が出土、7世紀末葉の川原寺式系の軒丸瓦が席田郡（本巣市）席田廃寺跡、各務郡（各務原市）山田寺跡・野口廃寺・加佐見廃寺等から出土し、厚見郡大宝廃寺と同范の種類と、平蔵寺跡と同范のものがある。各務原台地上の駅家郷内に5つの古代寺院跡が密集している（林正憲2021）。また、各務郡には瓦窯跡（各務原市の柄山古窯跡など）が知られている。

瓦当に複弁七弁鬼面文のある方県郡（岐阜市）長良廃寺では近年の発掘調査で溝跡が確認され、「寺」の墨書き土器が出土している。また、厚見郡（岐阜市寺町）厚見寺跡、方県郡（岐阜市長良）護国之寺や各務郡（各務原市）大安寺旧境内、尾張國羽栗郡（笠松町）の蓮台寺廃寺には塔心礎が確認されている。

飛鳥時代成立の郡別の主な寺院は、本巣郡（本巣市）願養寺は初め根尾寺といい法相宗で天武天皇勅願寺白鳳2（662）年成立と伝わる。方県郡（岐阜市）大童寺は持統天皇御代（687～696年）に国家鎮護のために成立、厚見郡（柳津町）光澤寺は寺伝で推古天皇6（598）年成立、各務郡（岐阜市大洞）如意山願成寺（真言宗）は養老5年成立で12坊あった、尾張國羽栗郡（羽島市足近町）西方寺は推古天皇20（612）年成立で法相宗と伝わる。尾張國羽栗郡（笠松町長池）蓮台寺廃寺跡からは古代瓦出土、尾張國中島郡（羽島市）（吉良神宮遺跡）には垂仁天皇が滞在したという神宮寺が伝わっている。

奈良時代成立の郡別の主な寺院は、本巣郡（瑞穂市馬場）超誓寺で初め天台宗、本巣郡（瑞穂市）美江寺旧境内は元正天皇（715～725）勅願の寺で初め天台宗、方県郡（岐阜市長良）雄絶山護國之寺は初め真言宗、各務郡（岐阜市岩田西）八幡山林陽寺は初め真言宗、各務郡（岐阜市芥見）清水寺は初め天台宗、厚見郡（岐阜市日野）不動闇不動院は真言宗、厚見郡（岐阜市三輪）三輪山真長寺は初め真言宗、厚見郡（岐阜市鏡島）乙津寺は真言宗、各務郡（岐阜市岩田西）林陽寺は初め真言宗、各務郡（岐阜市芥見）清水寺は天台宗と伝わる。尾張國中島郡（羽島市）清江寺は天平12（740）年、聖武天皇が泰澄に命じて建立との伝承がある。

平安時代成立の郡別の主な寺院は、本巣郡（北方町）圓鏡寺は弘仁年中（810～894）に成立し塔頭が

16坊あったと伝わる。本巣郡（瑞穂市本田）千手院は12坊あり弘仁10(810)年役行者開基と伝わる。本巣郡（瑞穂市本田）修学院は康治年間(1142~44)成立で真言宗、席田郡（本巣市春近）国恩寺は新撰美濃志に「往古国分寺また国分尼寺などいひし」とあり真言宗、席田郡（本巣市石原）席田廃寺跡は仁和3(887)年に成立し国分寺・国分尼寺焼失の際に一時国分寺の機能を移した定額尼寺とされる。方県郡（岐阜市三田洞）法華寺は真言宗で嵯峨天皇の勅願所とされる。方県郡（岐阜市城田寺）舍衛寺は天慶5(942)年成立聖武天皇御願所で真言宗、山県郡（岐阜市岩井）延算寺は清和天皇により貞觀6(864)年に定額寺に指定された天台宗寺院、各務郡（各務原市蘇原）山中不動は嘉祥年間(848~851)頃成立し、濃尾平野北端にある各務原市にある權現山全体が信仰の地域で日之出不動、閔市追間不動とともに美濃三不動に数えられている。

3 中世寺院の様相

(1) 寺院の分布（図46）

岐阜圏域において、中世に成立する寺院の多くは平地に位置し、山腹に新たに成立する寺院は極めて少ない。また、山腹に成立した寺院でも山麓との比高差が50m以内であり集落により近い位置に造営されている。室町時代成立の中世寺院が多く、木曾川の中洲など美濃國と尾張國の境近くに成立している寺院がある。古代寺院が東山道沿いに多く作られているのに比べ、中世は支流も含めた河川沿いに成立する傾向が多くみられる。中でも数が多く集まっているのは、木曾川の中洲周辺、金華山周辺である。また、鎌倉時代には、山県郡の甘南美寺周辺に多く成立するようである。安土桃山時代に成立する寺院は多くないが、室町時代成立の寺院が複数集まっているところに成立する傾向がある。

〔大野郡〕現在の瑞穂市と本巣市の一部が大野郡にあたり、大野郡の主な中世成立寺院は本巣市政田の光明寺で、池田郡溝口からの移転である。当地には織田信長が美濃攻めの際、軽海合戦で焼失した大乘院庵寺跡が知られている。

〔本巣郡〕本巣郡の主な中世成立寺院を列記すると、鎌倉時代成立では建久3(1192)年成立の瑞穂市別府の臨濟宗唯願寺で、岐阜市長良崇禪寺末で十王堂・觀音堂の境外仏堂と寺領を持っていたとされる。室町時代成立では、瑞穂市別府の入徳寺があり大永2(1522)年に別府城主広瀬氏が建立し、聽き取りによると別府城三の丸にあったというが、現地への移転時期は不明である。本巣市上真桑の薬師寺と喜多川氏は古来より權越として深い関係があり、永祿年間(1558~1569)に成立し広い寺域を有していたといい現在は薬師堂が残る。本巣市能郷の能郷道場は文明年間(1469~1486)の成立で、大垣市多芸島にある永寿寺の道場という。岐阜市奥の水月院は天正~文祿年間の成立である（調査略表・地形観察図参照）。詳細な時期は不明だが中世成立では、北方町北方了法寺の了法寺は、地名にも残る寺で圓鏡寺塔頭の北方町童法寺と同寺で、北方城主安藤氏が建立、天正10(1582)年の北方合戦で焼失している。

〔席田郡〕席田郡の主な中世成立寺院を列記すると、本巣市芝原上光寺と本巣市糸貫町仏生寺に寺名の地名が残り大規模な寺院が存在していたことが考えられる。本巣市石原の延命寺はかつての法応寺と考えられており、八幡神社の南に法応寺の伝放生池が残り、祇園坊・多門坊という地名が残っている。本巣市上保の慈雲寺は明応4(1489)年成立で本巣市弥勒寺の奥の院であった時期もあり寺域は現境内東側の尾根まであったとされる（地形観察図参照）。本巣市北野の元正寺遺跡には元正寺・仏供田

の地名が残る。

〔方県郡〕方県郡の主な中世成立寺院を列記すると、岐阜市長良の覚願寺で正慶2(1333)年の成立、元は川島町にあり文禄3(1594)年の太閤検地帳には現在地に当寺の名前がある。岐阜市鷺山の法光寺は近江国矢島から成立し大永2(1522)年方県郡下福光郷に移転するが火災のため、土岐頼芸の援助で再建復興、洪水で現在地へ移転している。岐阜市石谷の真宗福満寺は天文10(1541)年の成立で石谷氏の山城側にあり石谷氏に関連する可能性がある。岐阜市黒野専長寺は文明年間(1469~1487)の成立で黒野城主により城下町繁昌のため慶長14(1610)年に黒野別院南に移転している。岐阜市御望の満願寺は延徳3(1491)年に成立、天文11(1542)年に鶴飼山の戦いで斎藤氏に焼かれ、岐阜市伊奈波神社の別当でもと因幡寺といい醍醐寺末報恩寺の直末であったが、正保(1645~1648)年頃に満願寺と改名し尾張国中島郡長野村の真言宗萬德寺の末寺となった。岐阜市長良福光の崇福寺は明徳元(1390)年の成立、土岐満康が大權越となり斎藤利安が再興を企てたが洪水にあい利安の居館跡に移されたという。岐阜市正木心洞寺は美濃国11代守護土岐成頼が文明11(1479)年に建立、また同時期に土岐成頼が加納に瑞龍寺、革手に正法寺を建立している。永祿年間(1558~1570)に信長の兵火により焼失したが、天正年間(1573~1592)に信長が元心洞寺を再興し国家安全の祈願所とした。岐阜市東西郷の安国寺は暦応2(1339)年に足利直義が光厳上皇に請い安国利生塔を建立したもので、西門・東門の地名が残る。安国寺以前の古代瓦出土と本巣郡誌に記載があり、位置関係から川原寺式の瓦を探集している西郷庵寺跡が関係する可能性がある。岐阜市岩利の安楽寺は天正年間(1573~1592)に家康の兵火にあい岩利城と共に焼失したとある。

〔山県郡〕山県郡の南側には、山県市の南泉寺・定恵寺・弘誓寺などの土岐氏菩提寺が伊自良川等の長良川支流沿いに展開している。南泉寺・定恵寺は美濃国守護土岐政房が開山、弘誓寺は土岐成頼開基の寺院である。他に土岐氏が再興した寺や南泉寺の住職を開山とした寺があり、山県郡内の中世成立寺院には臨済宗が35か寺(4割)と多く、このうち平安時代成立が3か寺、鎌倉時代成立が3か寺、室町時代成立が12か寺、安土桃山時代成立が6か寺あり、室町時代成立が多いのは土岐家の居館跡に建つ南泉寺(永正14(1517)年成立)の影響と考えられる。大桑城関連では、大桑城鬼門鎮護の武儀郡(山県市佐野)普門寺がある。築城(1250年頃)以前からあったと伝わるのは山県郡(山県市梅原)金剛山般若寺、山県郡(山県市青波)天王山蓮華寺は平安時代に山中にあり天台宗であったのが、天正10(1582)年に山麓に再建し臨済宗となっている。

また、山県郡の白華山甘南美寺旧境内(山県市伊自良村)は標高696mの釜か谷中山腹にあり座禅岩や神奈備明神や奥の院の平坦面が登山道沿いにあることで知られ、山頂からは北西に能郷白山を見る事ができ、釜か谷山西麓には悪路で到達できなかったが、緩斜面が広がる地域があり、寺院跡に関連する可能性もある。

〔厚見郡〕厚見郡の稲葉山(金華山)周辺や岐阜市加納周辺には、稲葉山西の立政寺、稲葉山南西麓の瑞龍寺、岐阜市東川手の正福寺など土岐氏や織田氏に関係する寺院が多く集まっている。

厚見郡の鎌倉時代成立の主な寺院は、岐阜市加納の善徳寺は高倉天皇の勅願所として革手に嘉応2(1170)年に成立、稲葉山南東麓岐阜市長森岩戸の善龍寺は仁治2(1241)年比叡山延暦寺權大僧都の善竜が建立、岐阜市稲葉山西の井ノ口村(泉町)に二階堂氏菩提寺の円経寺寛元3(1245)年成立である。

厚見郡の室町時代成立の主な寺院を列記すると、岐阜市伊奈波通の法円寺は斎藤道三が応永6

(1399)年に山県市大桑に建立し天文3(1534)年に現地に移転、本巣郡美江寺村(瑞穂市)美江寺を斎藤道三が天文8(1549)年伊奈波山城の裏鬼門に移転させ、岐阜市西莊の立政寺は岐阜市蘇田領主小野氏と鏡島領主の石河氏が文和2(1353)年に建立し光厳天皇の勅願道場となる。岐阜市万力町の大泉寺は織田信長により岐阜市八ツ寺町辺りから現地に移転、含政寺は伊奈波八か寺の一つで織田信忠により現在の岐阜市伊奈波通に移転した。岐阜市東川手の正福寺は土岐頼康が延文年間(1356~1360)の革手府城の築城の頃に、城北に建立された土岐氏の氏寺であって焼亡した正法寺を継いで福藏坊とし、第3世の時に正福寺と改名している。稲葉山南麓にある岐阜市寺町の瑞龍寺は土岐成頼の菩提寺として斎藤妙椿が建立し塔頭は8か院有した。郡上郡美並村に斎藤妙純が明応3(1494)年に建立した大宝寺は、斎藤義龍が永禄5(1562)年に岐阜市寺町に移転している。岐阜市梶川町常在寺は斎藤妙椿が宝徳2(1450)年に開設した斎藤氏の帰依を受けた寺院であった。岐阜市長森岩戸の巖窟観音堂は斎藤利永が小堂を建て岩戸山觀音寺としたが、信長の兵火で焼失したものの、尊像は残り窟内に入れて村民が信仰し、現在は堂が建っている。

〔各務郡〕各務郡の中世成立の主な寺院を列記する。各務原市前渡東町の少林寺は明応8(1499)年に尾張の豪族薄田加賀守が建立し東陽英朝を中興開山とし、岐阜城を攻めた織田信長の兵火をうけ焼失し、寛永年間に再興し坪内家の菩提所となる。各務原市各務西町の桃林寺は天文7(1538)年に成立するが木曾川沿いにあり寛永年間(1624~1644)の洪水で流失している。各務原市小佐野町の河野安楽寺は尾張河野九門徒の一つで、初め天台宗であったが真宗に転宗し、寺伝によると織田信長の戦禍で各務原市蘇原寺島から、大佐野村を経て愛知県の尾閥へのがれ後に現在地に移転している。各務原市西市場の法藏寺は石山北山麓に天台宗法円寺があり、貞永元(1232)年に真宗に転宗して法藏寺と号していたが、信長の兵火で焼失、小字法円寺が残る。各務原市蘇原寺島町大安寺は、応永3(1396)年土岐頼益開基で成立、兵火にあい焼失後、再興し五山派南禅寺に属した臨濟宗妙心寺派に改め、山内寺有地に塔頭7か寺があった。各務原市鶴沼大安寺町承国寺跡は、土岐持益開基で、成立は長祿2(1458)年以前とされ文明年間(1469~1487)まで存続したとされる、現在は礎石が残り、近年の発掘調査で土壘・溝跡などが確認されている。寺内に塔頭の名が残っている。各務原市蘇原飛鳥町の宝蔵庵は、横藏寺所蔵の『大般若經』讃語によると、永和4(1378)年に宝蔵庵という天台密教系の寺があり乘成坊成空がいたことが知られ、大安寺に宝蔵庵の塔堂と伝える心礎が、大安寺の北東500mの台地上にあったと伝わる。

各務原市蘇原古市場の天野山は山全体が靈場であり信仰の場であり、嘉祥年間(848~851)にこの地で不動明王の石像が刻まれたと伝わる。各務原市矢熊山の西側には「西宮寺」の地名が残り、15世紀以降の五輪塔が多数出土している。各務原台地北には、濃尾平野の北端にある岩盤がチャートの岩山が東西方向に長くあり、岩窟や窪があるところでは現在も美濃三不動の信仰がある。

岐阜圏域南部の羽栗郡及び中島郡(羽島市)は尾張国にあたり、旧境川沿いには岐阜城主斎藤山城守を中興とする羽島市の大恵寺が、木曾川沿いには慶長元(1596)年に八神城毛利氏の菩提寺として開基された羽島市金宝寺がある。

(2) 平坦面の配置(図47)

ここでは、山麓及び山腹・山頂(尾根上)に位置する寺院の堂跡や門・通路・その他の平坦面などの配置と、それらが位置する地形などについて記載する。岐阜圏域での地形観察図の作成は、山県市の弘誓寺・甘南美寺旧境内・阿弥陀寺跡の3か寺、本巣市の弥勒寺旧境内・大龜寺旧境内・祐向谷遺跡・能

郷白山神社神宮寺の4か寺、岐阜市の真長寺、水月院、毘沙門堂、不動閣不動院の4か寺である。

① 地形の詳細

山麓に位置する寺院は、堂跡背面に山地を背負うもの（弥勒寺旧境内（図47-1）、阿弥陀寺跡、水月院、毘沙門堂など）、堂跡背面と側面の二方向若しくは三方向を尾根等で囲まれるもの（真長寺など）、山麓の谷間に位置するもの（弘誓寺、大龜寺旧境内、祐向谷遺跡など）がある。このうち、谷間や河川沿い以外の山麓に位置する寺院（稻葉山西側の寺院群等）では、現在の集落と接して寺院の平坦面が広がる事例が幾つかあり、このような場合は、今回図化した地形観察図の範囲よりも平坦面がさらに広がっていた可能性がある。

山腹に位置する寺院には、深く開削した谷状の窪地内に位置する寺院（不動閣不動院など）と、谷状の窪地周辺の平坦地や尾根などに位置する寺院（甘南美寺旧境内、能郷白山神社神宮寺など）がある。これらは、いずれも堂跡付近に流水が認められる点で共通しており、湧水点も確認できた。また、巨岩の露頭も幾つかの寺院で確認でき、不動閣不動院などでは岩窟も確認した。

② 堂跡とその周辺

堂跡のある平坦面は広く、平坦面群が展開する最奥の高所に位置することが多いが、岐阜圏域では堂跡において礎石が確認できた寺院や、建物規模がわかる寺院は本巣市の弥勒寺跡で、現本堂より一回り大きい基壇状の高まりが残る。塔跡の位置が推定できる寺院跡は該当がなかった。

③ 門・通路・平坦面

門跡の礎石が遺存している寺院は岐阜圏域では該当がなかった。模式図を作成した弥勒寺跡は、参道が山頂に向かって直線状に伸び、平坦面は山麓沿いに東西方向に広く展開している。

④ 堂跡と墓域

墓域⁶⁾は堂跡の背面に位置することが多い、真長寺中世墓群、阿弥陀寺跡などでは背面の山腹に、不動閣不動院の墓域は背面の谷筋に、弥勒寺跡では背面の尾根上に、それぞれ墓域を確認した。墓域が等高線に沿って幅の狭い平坦面を造営する場合（毘沙門堂など）がある。

（3）宗派

岐阜圏域の中世寺院の宗派は時期によって数が異なるものの、中世後期には真言宗から浄土真宗に属した寺院が圧倒的に多く、禪宗や浄土宗、日蓮宗、高野山真言宗などの寺院も確認できる。

浄土真宗は、13世紀前半頃に美濃に広まった（岐阜県 1969）。岐阜圏域における初期の成立及び転宗寺院は、嘉祿元（1225）年成立の木瀬草庵跡（笠松町）、嘉祿元（1235）年成立の専福寺（岐阜市）などが挙げられる。一方、15世紀中頃以降、本願寺8世蓮如の頃にその教義は拡大し、美濃国全城に及んだ。岐阜圏域では、天台・真言宗として成立した寺院が浄土真宗に転宗している寺院が多く、その初期の事例としては康正年間（1455～1457）改宗の円命寺（本巣市）と余淨寺（本巣市）などが挙げられる。

禪宗は、14世紀中頃に美濃国守護土岐氏を大壇越として興隆した。岐阜圏域において土岐氏が建立した禪宗寺院は、延文年間（1356～1360）土岐頼康（3代守護）開基の正福寺（岐阜市）、明徳元（1390）年土岐満康開基の崇福寺（岐阜市）、応永3（1396）年土岐頼益開基の大安寺（各務原市）、明応2（1493）年土岐政房開基の定恵寺（岐阜市）、永正14（1517）年土岐政房開基の南泉寺（岐阜市）、享禄年間（1528～1531）年、土岐頼純開基の広福寺（山県市）がある。正福寺と大安寺は成立時は天台宗であったが、

それ以外は臨済宗の寺院である。また、禪宗寺院は土岐氏以外の武家との関わりも多く、広嚴寺（山県市）は鷺見善右衛門開基で鷺見家菩提寺となった。なお、曹洞宗は臨済宗ほどに広まっていないが、三河国戸田憲光が永正11(1514)年に建立した全久院（岐阜市）などがある。

その他の宗派の寺院として、浄土宗の寺院は室町時代に成立したとされる立政寺（岐阜市）と法円寺（岐阜市）、日蓮宗の寺院は室町時代に成立したとされる常在寺（岐阜市）、高野山真言宗の圓鏡寺（北方町）などがある。

注

- 1) 「角川日本地名大辞典」編纂委員会編 1980『角川日本地名辞典 21 岐阜県』、角川書店
- 2) 基礎資料調査や現地調査により把握した寺院の沿革を基に、寺院の成立時期を整理した。現在の所在地へ移転している場合は、移転後の所在地の旧郡に含めた。なお、2つの時代に跨る場合（慶長年間等）には、古い方に帰属させた。
- 3) 「行基が創建」と記載のある場合は8世紀前半、「蓮如の時代に創建・転宗」と記載のある場合は15世紀後半に位置付いた。
- 4) 移転の記録は、自治体史等に記載の沿革から移転したことが確認できるものをカウントした。複数回移転している場合は、最初の移転のみカウントした。廃絶の記録は、兵火により焼失したことを確認できるものを「廃絶（火）」としてカウントした。なお、廃絶後に再建されたものを含む。「廃絶（他）」は、廃絶後に再興しない寺院をカウントした。
- 5) 旧東山道等については既存の資料（島方洸一 2012）を参考にした。また、地理情報システム QGIS3.10 を用いて、地理院タイルの背景地図上に米国スタンフォード大学が公開している戦前の五万分の一地形図をジオリファレンサーで読み込み、測図時点の郡界をトレースしている。なお、他地域の分布図も同様である。
- 6) ここでは、主に集石を伴う中世石塔を確認した範囲を墓域として取り扱う。

【引用文献】

- 各務原市教育委員会 2010『山田寺跡』第1・2・3・4次範囲確認調査報告書
 岐阜県 1969『岐阜県史 通史編 中世』
 岐阜県 2002『わかりやすい岐阜県史』岐阜新聞社
 島方洸一 2012『地図でみる東日本の古代 律令制下の陸海交通・条里・史跡』、株式会社平凡社
 林正憲 2021『美濃地域におかる古墳から寺院への変遷過程』『昼飯の丘に集う』-中井正幸さん還暦記念論集
 藤岡英礼 2011『縄張り調査と山寺研究』『佛教藝術』317 毎日新聞社
 松尾剛次 1995『勧進と破戒の中世史-中世仏教の実相-』吉川弘文館
 本巣市教育委員会 2012『本巣市詳細遺跡分布調査報告書』

表71 寺院の成立状況

時代	群名	大野郡	本巣郡	席田郡	方県郡	山県郡	武儀郡	厚見郡	各務郡	羽栗郡	中島郡	小計
飛鳥		1	3	0	3	0	0	5	6	4	1	23
奈良		1	2	1	3	4	0	3	15	0	1	30
平安		4	7	3	5	5	1	7	7	4	3	46
古代(細分不能)		0	1	1	1	2	0	3	2	2	0	12
古代寺院小計		6	13	5	12	11	1	18	30	10	5	111
鎌倉		3	3	0	3	7	0	17	5	13	5	56
室町		6	29	2	30	34	1	66	13	15	20	216
安土桃山		0	3	0	12	7	1	10	1	6	4	44
中世(細分不能)		10	16	2	4	14	3	26	11	14	3	103
中世寺院小計		19	51	4	49	62	5	119	30	48	32	419
古代・中世寺院合計		25	64	9	61	73	6	137	60	58	37	530
参考寺院等												
近世(江戸)		7	14	4	17	33	6	27	38	12	14	172
時期不明		8	21	5	29	41	7	32	15	14	7	179
近代以降等		1	1	0	9	2	0	31	17	10	2	73
近世以降等寺院小計		16	36	9	56	76	13	90	70	36	23	424
対象寺院合計		41	100	18	116	149	19	227	130	94	60	954

注)時代・時期は次のとおりとした。飛鳥(700年～)、奈良(710年～)、平安(794年～)、鎌倉(1185年～)、室町(1333年～)、安土桃山(1573年～)、江戸(1603年～)。なお、飛鳥時代から平安時代を古代、鎌倉時代から安土桃山時代を中世とし、明治時代以降は寺院以外のものを含めて近代以降等とした。

表72 時期別の成立数等

西暦 内容	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700
	成立	20	25	8	18	4	3	20	26	12	13
成立	20	25	8	18	4	3	20	26	12	13	29
転宗			1					26	6	5	1
移転		2					2	1	3	2	2
廃絶(火)					2	1			15	18	38
廃絶(他)						3			2	26	25
					1				1	3	4

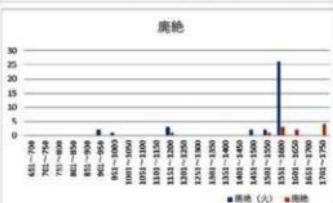
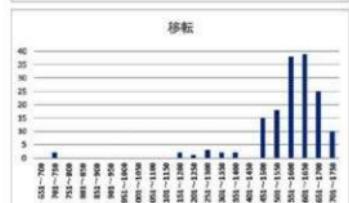
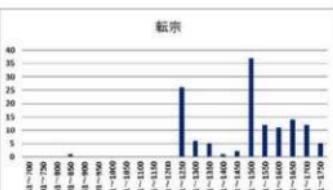
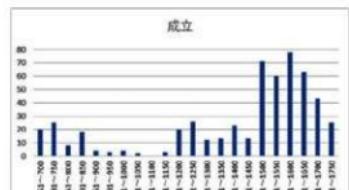


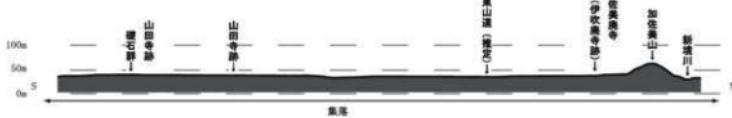
表73 時期別の立地数

西暦	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	合計								
平地	6	6	3	8	2	2	31	10	11	3	2	10	3	35	26	31	64	35	20	302
山麓	2	4						5	1	3	3	6	9	10	20	26	17	27	16	138
山腹・山頂			1						2	1					1					6
その他																				1

※山麓から山腹にかけて存在する寺院は山腹に含めた。

平地の寺院

1 山田寺跡（各務原市）



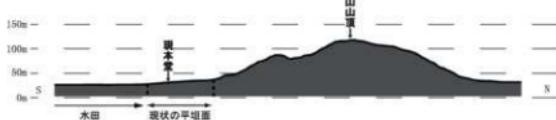
※東山道（推定）は2018 各務原市歴史民俗資料館『各務野ヒストリー探検MAP』を参考にした

※断面図左側の○mは標高を示す

0 200m

山麓の寺院

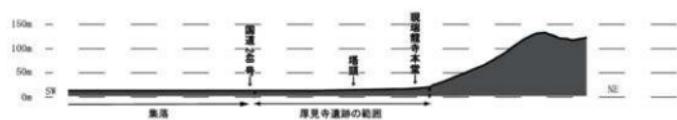
2 弥勒寺（本巣市）



3 真長寺（岐阜市）



4 瑞龍寺・厚見廃寺（岐阜市）



※断面図左側の○mは標高を示す

0 200m

図 42 岐阜圏域地形断面図（1）

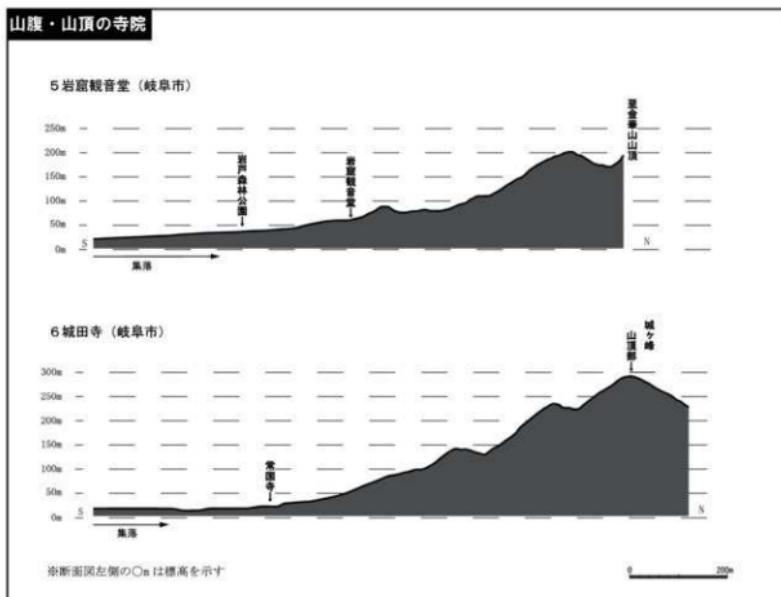


図43 岐阜圏域地形断面図（2）

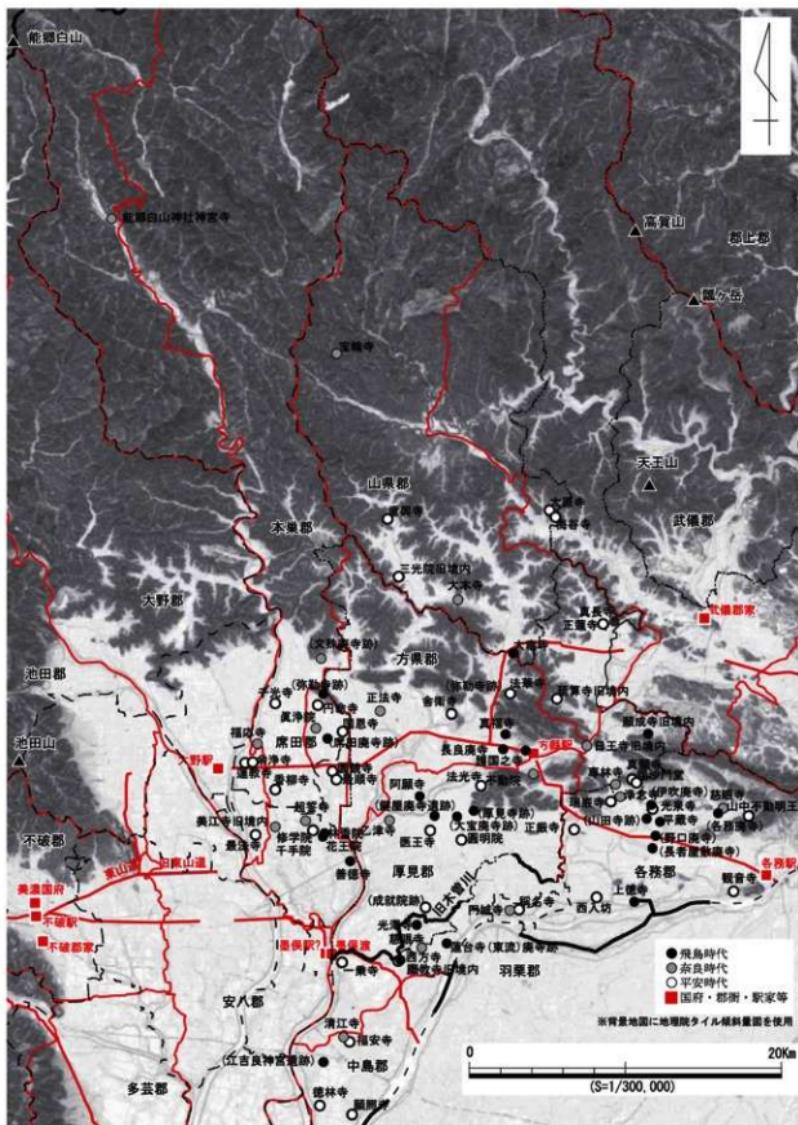


図44 岐阜圏域古代寺院分布図（1）

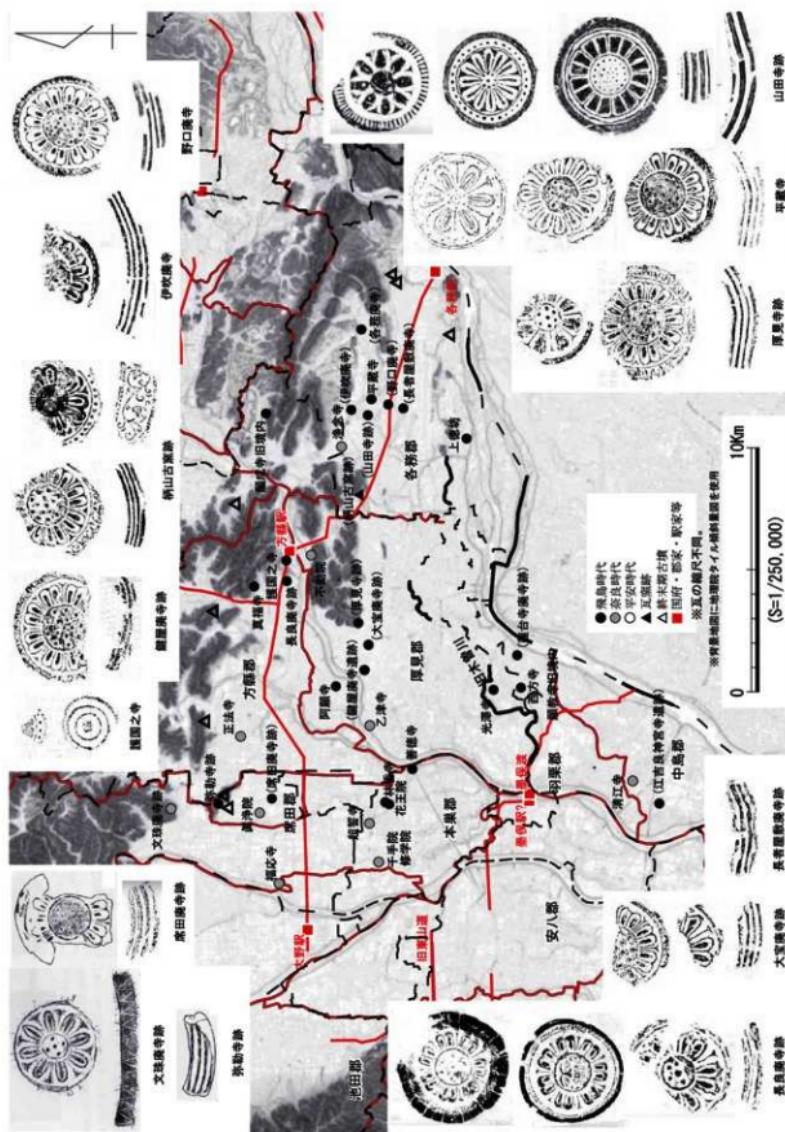


図45 岐阜圏域古代寺院分布図（2）

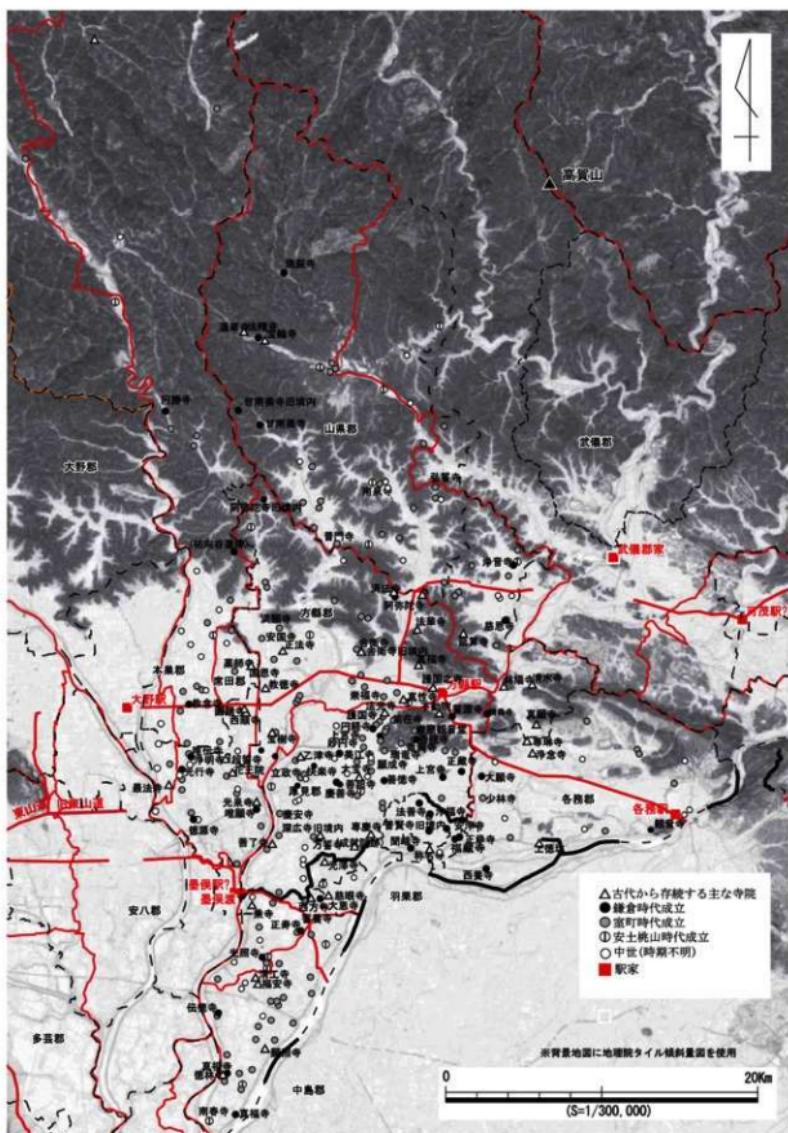


図46 岐阜圏域中世寺院分布図

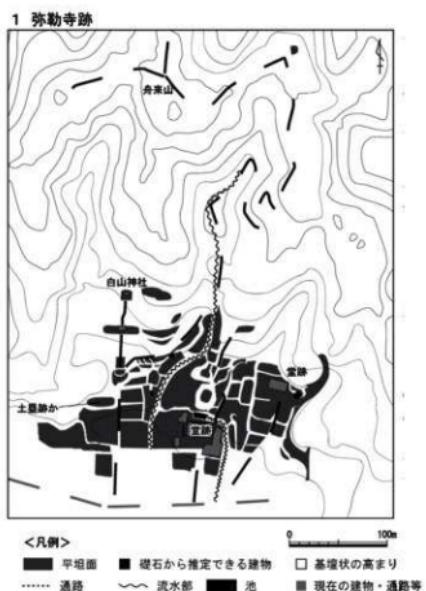


図 47 岐阜圏域 地形観察図模式図

報 告 書 抄 錄

岐阜県文化財保護センター調査報告書 第162集
岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書
(第1分冊)

2023年3月17日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

岐阜市三田洞東1-26-1

印 刷 株式会社もとすいんさつ